

HIROSHIMA
SHUDO
UNIVERSITY

入学試験要項2024



広島修道大学

人文学部 人間関係学科社会学専攻は

人文学部 **社会学科** に生まれ

SOCIOLOGY 社会学とは

社会学とは、究極的には
「社会とは何か」を考える学問です。

私たちが暮らす社会で起こるあらゆることが社会学の研究対象になります。社会現象がなぜ起こるのか、そのことがどのような意味を持つのかを、調査(データ収集・サーベイ)をとおして分析・考察します。この場合のデータになるのは、人びとの経験です。その意味で社会学は経験科学と言われています。社会学の研究を通して、社会をまなざす視点や社会学的なものの見方や考え方を学ぶことができます。そうした視点や考え方は、これから私たちがどのような社会を作っていくかについての新しい構想をもたらしてくれます。

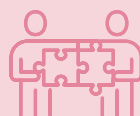
社会学科特設サイトはこちらから



社会学科の学びのポイント

1 

1年次から社会学の専門科目を学ぶことができる

2 

「専門講義科目」と「演習科目」が連動しており、講義で学んだ知識を演習で深め、専門的スキルを高める

3 

「専門演習科目」は2年次から自らの関心に合わせて複数履修することが可能であり、2~4年次生が同じクラスで議論を交わす環境がある

2024年4月 開設

入学定員95名 取得学位 学士(社会学)

変わります



関心に合わせて履修できる専門演習科目(一部)

- コミュニケーション論演習
- クールジャパン現象研究演習
- 犯罪社会学演習
- エリア・スタディーズ演習
- ボーダー・スタディーズ演習
- 労働社会学演習
- 感情労働論演習
- アニメ社会学演習
- 社会意識論演習
- 国際社会学演習
- 性現象論演習
- 産業社会学演習
- 消費社会論演習
- 宗教社会論演習
- 親密性の社会学演習
- 伝統文化論演習



CONTENTS

Part 1 入試制度

●イベント情報	03
●アドミッション・ポリシー	06
●募集人員	28
●入学試験スケジュール	29
●各種入試制度	31
○一般選抜(前期日程)	31
○共通テスト利用選抜(前期日程)	43
○一般選抜(後期日程)	51
○共通テスト利用選抜(後期日程)	55
○総合型選抜	63
○学校推薦型選抜(公募)	81
○特別選抜	97
・帰国生選抜 ・社会人選抜 ・外国人留学生選抜	

Part 2 出願ガイド

●入学検定料割引制度	104
●シューダイレクト(インターネット出願)の流れ	105
●入学検定料のお支払い	107
●書類の印刷・郵送	108
●インターネット出願Q&A	110
●ご宿泊についてのご案内	110

Part 3 共通事項

●受験上の注意	111
●インターネット合否照会システムについて	112
●入学手続について	112
●諸納付金について(2024年度)	113
●奨学金制度	114
●合格への道	115
●DATA 2023	122
●アクセス	130

個人情報の取り扱いについて

出願にあたって、書類等でお知らせいただく情報につきましては、以下の目的のために利用します。

- 1.入学試験実施・運営
- 2.受験票の送付(インターネット出願対象の入試制度を除く)
- 3.合格通知書および入学手続要項の送付
- 4.入学準備学習の資料送付
- 5.インターネット入学手続および入学後の学籍登録
- 6.「生協関連カタログ等(ただし、大学との協議を経たもの)」の発送用

合格者の入学後は、教育・調査・研究(入学試験の改善や志願者動向の調査・分析等)を行う目的をもって本学が管理します。他の目的での利用および本学の関係教職員以外への提供は行いません。

なお、個人情報については、適切な取り扱いに関する契約を締結した上で、コンピュータ処理をするため、関連業務を外部の事業者へ委託することがあります。

この入学試験要項の記載事項は変更となる場合があります。入学試験にかかわる最新情報は入試情報サイトで確認してください。

イベント情報

[受験生・保護者対象入試説明会]、 [オープンキャンパス]

2023年度は本学キャンパスにて全4回の「入試説明会・オープンキャンパス」を開催いたします。
実際にキャンパスにお越しいただき、修大の雰囲気を感じ取っていただけるイベントです。ぜひご参加ください!

私たちが
案内します!



受験生・保護者対象
入試説明会

6/18 日

第1回
オープンキャンパス

7/15 土

第2回
オープンキャンパス

7/16 日

第3回
オープンキャンパス

8/20 日

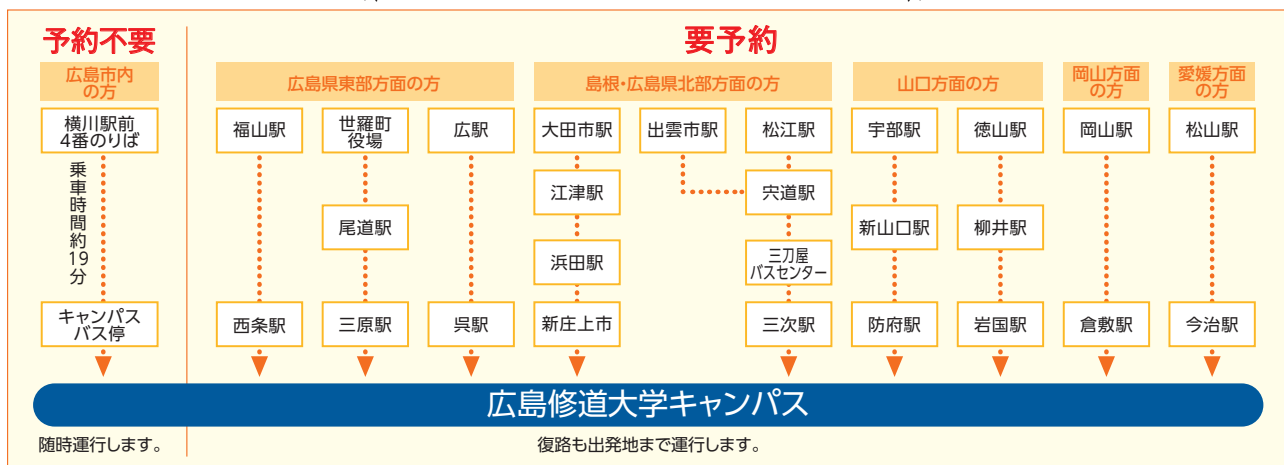
Let's Go!



- 10:00~15:30(全4回共通) ● 駐車場有 ● 無料送迎バス運行(JR横川駅発着便・広島市外・県外発着便)
- 来場登録制(当日登録も可能。事前に登録のうえお越しいただくと、スムーズに入場できます。)



全日程で無料送迎バスを運行します



プログラム

学部学科プログラム

13学科の教員が入試対策・学部学科説明・模擬講義を実施します。気になる学部学科のプログラムにはぜひ参加しましょう。

キャンパスツアー

最新式の調理設備を備えた9号館や日本図書館協会建築賞を受賞した図書館など学生スタッフがご案内します。

予備校講師による入試問題分析

一般選抜の受験を考えている方におすすめ! 入試問題(国語・英語)の傾向と対策のコツについて、大手予備校講師が解説します。(7/15・7/16・8/20実施予定)

留学生と話そう!

留学生と交流できるコーナーです。留学・国際交流に興味がある方はお越しください!(7/15・7/16・8/20実施予定)

各種相談コーナー

教員に直接相談できる学部別相談コーナーをはじめ、在学生相談コーナー、就職相談コーナー、住まい・奨学金相談コーナー等でもスタッフがお待ちしております。

入試説明・大学概要説明

2024年度入試の概要と修大の学び、課外活動、就職支援などについて入学課員がご説明します。

※ イベントの日程・時間・内容等は変更になる場合があります。最新の情報は入試情報サイトでご確認ください。

*日程・時間・開催の有無等は変更になる場合もありますので、本学入試情報サイトで確認のうえ、参加してください。

WEB入試直前対策講座

毎年好評のイベントを今年度もWEBで実施します。予備校講師による「本学一般選抜・共通テスト対策講座」をはじめ、一般選抜(前期)の対策・準備に役立つコンテンツを公開しますので、ぜひエントリーしてご参加ください。

イベント日程

12月4日(月) ~ エントリー受付開始

12月11日(月) ~ 特設ページ公開

コンテンツ

- 予備校講師による本学一般選抜・共通テスト対策講座動画
- インターネット出願実演動画
- 入学検定料割引制度説明動画 など

参加者プレゼント

オープンキャンパスや入試相談会など、イベントへの参加者には

- 入学試験要項
- 修大過去問題集(赤本)
- 修大オリジナルグッズをプレゼント!



※グッズは写真と異なる場合があります。
※プレゼント内容はイベントにより異なります。

入試相談会

入試相談会では、本学の職員が学びや学生生活、入試について丁寧にご説明します。お気軽にご相談ください。

中国地区

開催地	開催日	会場	時間
呉	4月20日(木)	広まちづくりセンター	15:30~18:00
広島西	4月26日(水)	広島サンプラザ	16:00~18:30
岡山	4月27日(木)	岡山コンベンションセンター	15:30~19:00
広島	6月5日(月)	基町クレド	15:30~18:30
福山	6月6日(火)	福山ニューキャッスルホテル	15:30~18:00
広島	6月10日(土)	NTTクレドホール	10:30~16:00
広島	6月14日(水)	基町クレド	15:30~18:30
広島	6月14日(水)	広島産業会館 本館2階 第1・2展示場	16:00~18:30
岩国	6月19日(月)	シンフォニア岩国	16:00~18:30
岡山	6月20日(火)	コンパックス岡山	13:00~18:00
山口	6月21日(水)	山口市民会館	16:00~18:30
広島	7月11日(火)	広島産業会館 東展示館	10:30~17:00
広島	8月26日(土)	広島産業会館 東展示館	12:30~17:00
福山	9月22日(金)	福山ニューキャッスルホテル	16:00~18:30
広島	9月27日(水)	基町クレド	15:30~18:30
広島西	10月18日(水)	広島サンプラザ	16:00~18:30
広島	11月8日(水)	広島産業会館 東展示館	16:00~18:00
岡山	11月9日(木)	岡山コンベンションセンター	16:00~18:30
松江	11月10日(金)	松江テルサ	16:00~18:30

四国地区

開催地	開催日	会場	時間
松山	6月9日(金)	松山市総合コミュニティセンター体育館	15:30~18:30
今治	9月14日(木)	今治国際ホテル	16:00~18:30
松山	11月9日(木)	松山市総合コミュニティセンター企画展示ホール	16:00~18:30

九州地区

開催地	開催日	会場	時間
福岡	9月21日(木)	ソラリア西鉄ホテル	15:00~18:30

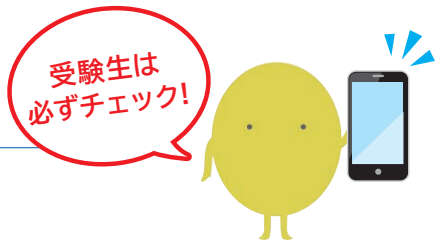
LINE公式アカウント

各イベント情報、学部学科の学び、修大生の声など、タイムリーな情報を配信しています。大事なお知らせを見逃さないためにも、ぜひ登録してください。



QRコードから登録!

入試情報サイト



入試情報サイトでは、受験生の皆さんに必要な情報をタイムリーに更新しています。
入試対策、イベント情報、重要なお知らせなどを公開しますので、随時ご確認ください。

出願も入試情報サイトから

インターネット出願は入試情報サイトからのログインが必要です。
出願方法、出願書類、入試Q&Aなど、出願期間が始まる前から時間に余裕をもって確認しましょう。

出願受付

- 一般選抜 (前期)
- 共通テスト利用選抜 (前期)

WEB入試対策コンテンツ

総合型選抜と公募推薦の入試対策資料や出願書類の見本も掲載。
一般選抜前の「WEB入試直前対策講座」も要チェック!

トピックス

- 対象者の皆さまへ
「高等教育修学支援新制度」の申請について
申請書(電子書式)のダウンロードはこちら
高等教育修学支援新制度に係る本学の取り扱いについて
- LINE公式アカウント
@shudo
LINE公式アカウント
- テレメール全国一斉進学調査調べ
危険が! 広島修道大学に入学を決めた理由
広島修道大学への入学を決めた理由をご紹介します
- 広島修道大学 大学院入試・進学に関する相談受付中
ページ内のお問い合わせフォームに質問内容を書いてお送りください
大学院入試試験のお問い合わせについて

PICK UP CONTENTS

SHUDO×授業紹介動画

修大の学生リポーターが、各学科の学びやプロジェクトを紹介します。修大ならではの学びのワクワクをお届けします!

SHUDO×授業紹介動画

連載企画!
あなたの「道」が見つかる授業
高校生の学科選びに



動画の視聴はこちら

🔍 広島修道大学 授業紹介動画 🔍 検索

<https://www.shudo-u.ac.jp/admissions/>



こちらから
チェック!



広島修道大学のアドミッション・ポリシー

学生の受け入れ方針(アドミッション・ポリシー)

広島修道大学は、学生一人ひとりが「地球的視野を持って、地域社会の発展に貢献できる人材」となることを教育目標としています。この目標のもと、次のような人を広く受け入れます。

1. 大学での学びに必要な基礎学力を有する人
2. 地域・国際社会における課題を自ら発見し解決していく意欲がある人
3. 主体性を持って多様な人々と協働し価値を創造する意欲がある人
4. 持続可能な社会の創出に積極的に貢献する意欲がある人

各学部・学科では、これらの人を受け入れるため、入学者に求める能力やその評価方法を、知識・技能、思考力・判断力・表現力、主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度と関連付けて明示し、合否判定にあたっては多面的・総合的に資質や意欲を評価・判定します。



商学部

THE FACULTY OF COMMERCIAL SCIENCES

1. 求める学生像

商学部では、世界、日本及び地域社会に関心を持つ人、商学、経営学に関心を持つ人、スポーツ・文化活動・ボランティア活動に取り組む人、多様な人々と協働して課題を解決しようとする人を広く国内外から求めます。基本的な学力として、①知識・技能、②思考力・判断力・表現力、③主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度という学力の3要素を求めます。

2. 入学試験制度と評価

商学部は、上記の基礎能力や資質を確かめるために、入学試験制度ごとに「知

識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を多面的・総合的に評価します。評価の比重及び評価方法は、各学科のアドミッション・ポリシーで明示します。

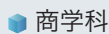
3. 商学部の教育を通じて養う能力

商学部の入学者には、カリキュラム・ポリシーに基づく教育課程を通じてディプロマ・ポリシーで定める①知識・技能、②思考力・判断力・表現力、③協働力を養い、「地球的視野を持って、地域社会の発展に貢献できる人材」を育成します。



商学部

THE FACULTY OF COMMERCIAL SCIENCES



商学科

1. 求める学生像

商学科は、学士課程教育を受けるに必要な基礎学力と主体性を備えた人を、様々な入学試験制度により選抜し、受け入れます。具体的には、世界、日本及び地域社会に関心を持つこと、商学に関心を持つこと、スポーツ・文化活動・ボランティア活動に取り組むこと、多様な人々と協働して課題を解決しようとすることを重視します。商学科が求める学生像は、次の「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「主体性等」を有する人です。

(1) 知識・技能

高等学校における国語・英語の教科に関する知識・技能を有する人。商学科の専門分野を学ぶために、社会に対する関心・基礎知識、学校等で修得すべき基本的な知識・教養を持っている人。

(2) 思考力・判断力・表現力

商学に関わる問題に気づく観察力、その問題を解決するために文献を読解し、それをもとに考察し自らの結論を導く思考力・判断力、その結論を論理的な文章や口頭発表によって説得的に示す表現力、及びこの問題解決プロセスに主体性を持って取り組む態度を有する人。

(3) 主体性等

多様な価値観を持つ他者に対する包容力を備え、主体性を持って共感的な人間関係を創造しながら、同時に自らの意図を明確に表明して相互理解を図る能力を有する人。

【入学前に学習しておくことを期待する内容】

大学での学修には幅広い分野の基礎知識が必要です。したがって入学を希望

する人は、高等学校における教科・科目の教科書レベルの知識を幅広く習得していることが大切です。

英語については高等学校の学習を基本として、入学までに可能な限り英語力の向上に努めてください。国語の基礎学力は、大学での授業や演習で文献を読んだり、レポートを書いたり、自分の意見を発表するために必要です。また、社会に対する興味関心を広げるために、様々な本を読むこともおすすめします。

2. 入学試験制度と評価

商学科は、以下の入学試験制度ごとに、「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「主体性等」を多面的・総合的に評価します。それぞれの入学試験制度における評価の比重と評価方法については、別表をご覧ください。

(1) 一般選抜

入学後に必要な基礎学力を有する生徒を選抜するために、個別学力検査と調査書によって多面的・総合的に評価します。後期日程では、個別学力検査で合否ラインの得点帯の受験生について、調査書に記載される主体性に関する情報を評価して、個別学力検査の得点に加点したうえで合否判定します。

一般選抜では、学力の3要素のうち、知識・技能、思考力・判断力・表現力に重点を置いて評価・判定します。

(2) 共通テスト利用選抜

入学後に必要な基礎学力を有する生徒を選抜するために、大学入学共通テストの成績と調査書によって多面的・総合的に評価します。

共通テスト利用選抜では、学力の3要素のうち、知識・技能、思考力・判断力・表現力に重点を置いて評価・判定します。

(3)総合型選抜

商学科入学を強く希望し、高等学校等での正課・課外活動に積極的に取り組み、商学科で学ぶことの意義についてしっかりとした興味・関心を持っている生徒を選抜するために、個別学力検査として小論文(資料小論文)、面接、出願書類によって、能力・意欲・適性等を多面的・総合的に評価します。個別学力検査では、学力の3要素のうち知識・技能、思考力・判断力・表現力を見るために小論文(資料小論文)を出題します。面接では自己アピール、志望理由、高校生活などを合わせてコミュニケーション能力を見ることで、学力の3要素全てを評価します。出願書類では、学力の3要素を、調査書、志望理由書、活動報告書によって評価します。

総合型選抜[活動実績重視方式]では、学力の3要素のうち、思考力・判断力・表現力、主体性等に重点を置いて評価・判定します。

総合型選抜[小論文重視方式]では、学力の3要素のうち、知識・技能、思考力・判断力・表現力に重点を置いて評価・判定します。

(4)学校推薦型選抜(公募)

学校長から推薦され、商学科入学を強く希望する学修意欲の高い生徒を選抜すべく、一定の学習成績の状況を条件に、所有する資格・検定試験等の成績・面接・出願書類・推薦書・調査書等に基づいて多面的・総合的に評価します。英語方式では、英語の個別学力検査で知識・技能、思考力・判断力・表現力を評価します。集団面接、調査書、志望理由書では、学力の3要素を全て評価します。指定資格方式、英語資格方式では、資格・検定等の書類、志望理由書、調査書、個別面接によって学力の3要素を全て評価します。

学校推薦型選抜(公募)では、学力の3要素のうち、知識・技能、思考力・判断力・表現力に重点を置いて評価・判定します。

(5)学校推薦型選抜(指定校)

商学科への進学実績をともなう高等学校等を対象に、学校長が推薦し商学科入学を強く希望する生徒を選抜すべく、一定の学習成績の状況を条件に、面接・出願書類・推薦書・調査書等に基づいて学力の3要素を多面的・総合的に評価します。

学校推薦型選抜(指定校)では、学力の3要素全てに同等の比重を置いて評価・判定します。

(6)学校推薦型選抜(附属校)

【専願】

志望理由書に基づいて商学科で学修することの意義を理解し、強く入学を希望していることを確認したうえで、面接に基づいて主体性、多様な価値観に対する包容力、及び相互理解を図る能力を評価します。

学校推薦型選抜(附属校・専願)では、学力の3要素全てを同等の比重で評価し、調査書、推薦書の評価を加味して多面的・総合的に評価・判定します。

【併願】

志望理由書に基づいて商学科で学修することの意義を理解し、学修意欲があることを確認したうえで、面接に基づいて主体性、多様な価値観に対する包容力、及び相互理解を図る能力を評価します。

学校推薦型選抜(附属校・併願)では、学力の3要素全てに同等の比重を置いて評価・判定します。

(7)帰国生選抜

総合型選抜[活動実績重視方式]と同じ方式で評価します。

帰国生選抜では、学力の3要素のうち、思考力・判断力・表現力、主体性等に重点を置いて評価・判定します。

(8)外国人留学生選抜

外国人留学生選抜では、入学後の学修に必要な基礎学力を有している外国人留学生を選抜し、小論文、日本留学試験(日本語・総合科目)の成績、面接、出願書類等で能力・意欲・適性等を多面的・総合的に評価・判定します。

(9)編入学試験・学士入学試験

編入学試験、学士入学試験では、主に3年次からの修学に必要な学力を有する者を選抜すべく、英語・小論文・面接・出願書類等で能力・意欲・適性等を多面的・総合的に評価・判定します。

3.商学科の教育を通じて養う能力

商学科の入学者には、カリキュラム・ポリシーに基づく教育課程を通じてディプロマ・ポリシーで定める①知識・技能、②思考力・判断力・表現力、③協働力を養い、「地球的視野を持って、地域社会の発展に貢献できる人材」を育成します。

1.求める学生像

経営学科は、学士課程教育を受けるに必要な基礎学力と主体性を備えた人を、様々な入学試験制度により選抜し、受け入れます。具体的には、世界、日本及び地域社会に関心を持つこと、経営学に関心を持つこと、スポーツ・文化活動・ボランティア活動に取り組むこと、多様な人々と協働して課題を解決しようとするを重視します。経営学科が求める学生像は、次の「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「主体性等」を有する人です。

(1)知識・技能

高等学校における国語・英語の教科に関する知識・技能を有する人。経営学科の専門分野を学ぶために、社会に対する関心・基礎知識、学校等で修得すべき基本的な知識・教養を持っている人。

(2)思考力・判断力・表現力

経営学に関わる問題に気づく観察力、その問題を解決するために文献を読解し、それをもとに考察し自らの結論を導く思考力・判断力、その結論を論理的な文章や口頭発表によって説得的に示す表現力、及びこの問題解決プロセスに主体性を持って取り組む態度を有する人。

(3)主体性等

多様な価値観を持つ他者に対する包容力を備え、主体性を持って共感的な人間関係を創造しながら、同時に自らの意図を明確に表明して相互理解を図る能力を有する人。

【入学前に学習しておくことを期待する内容】

大学での学修には幅広い分野の基礎知識が必要です。したがって入学を希望する人は、高等学校における教科・科目の教科書レベルの知識を幅広く習得していることが大切です。

英語については高等学校の学習を基本として、入学までに可能な限り英語力の向上に努めてください。国語の基礎学力は、大学での授業や演習で文献を読んだり、レポートを書いたり、自分の意見を発表するために必要です。また、社会に対する興味関心を広げるために、様々な本を読むこともおすすめします。

2.入学試験制度と評価

経営学科は、以下の入学試験制度ごとに、「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「主体性等」を多面的・総合的に評価します。それぞれの入学試験制度における評価の比重と評価方法については、別表をご覧ください。

(1)一般選抜

入学後に必要な基礎学力を有する生徒を選抜するために、個別学力検査と調査書によって多面的・総合的に評価します。後期日程では、個別学力検査で合否ラインの得点帯の受験生について、調査書に記載される主体性に関する情報を評価して、個別学力検査の得点に加点したうえで合否判定します。

一般選抜では、学力の3要素のうち、知識・技能、思考力・判断力・表現力に重点を置いて評価・判定します。

(2)共通テスト利用選抜

入学後に必要な基礎学力を有する生徒を選抜するために、大学入学共通テストの成績と調査書によって多面的・総合的に評価します。

共通テスト利用選抜では、学力の3要素のうち、知識・技能、思考力・判断力・表現力に重点を置いて評価・判定します。

(3)総合型選抜

経営学科入学を強く希望し、高等学校等での正課・課外活動に積極的に取り組み、経営学科で学ぶことの意義についてしっかりとした興味・関心を持っている生徒を選抜するために、個別学力検査として小論文(資料小論文)、面接、出願書類によって、能力・意欲・適性等を多面的・総合的に評価します。個別学力検査では、学力の3要素のうち知識・技能、思考力・判断力・表現力を見るために小論文(資料小論文)を出題します。面接では自己アピール、志望理由、高校生活などを合わせてコミュニケーション能力を見ることで、学力の3要素全てを評価します。出願書類では、学力の3要素を、調査書、志望理由書、活動報告書によって評価します。

総合型選抜[活動実績重視方式]では、学力の3要素のうち、思考力・判断力・表現力、主体性等に重点を置いて評価・判定します。

総合型選抜[小論文重視方式]では、学力の3要素のうち、知識・技能、思考力・判断力・表現力に重点を置いて評価・判定します。

(4)学校推薦型選抜(公募)

学校長から推薦され、経営学科入学を強く希望する学修意欲の高い生徒を選抜すべく、一定の学習成績の状況を条件に、所有する資格・検定試験等の成績・面接・出願書類・推薦書・調査書等に基づいて多面的・総合的に評価します。英語方式では、英語の個別学力検査で知識・技能、思考力・判断力・表現力の評価します。集団面接、調査書、志望理由書では、学力の3要素を全て評価します。指定資格方式、英語資格方式では、資格・検定等の書類、志望理由書、調査書、個別面接によって学力の3要素を全て評価します。

学校推薦型選抜(公募)では、学力の3要素のうち、知識・技能、思考力・判断力・表現力に重点を置いて評価・判定します。

(5)学校推薦型選抜(指定校)

経営学科への進学実績をともなう高等学校等を対象に、学校長が推薦し経営学科入学を強く希望する生徒を選抜すべく、一定の学習成績の状況を条件に、面接・出願書類・推薦書・調査書等に基づいて学力の3要素を多面的・総合的に評価します。

学校推薦型選抜(指定校)では、学力の3要素全てに同等の比重を置いて評価・判定します。

(6)学校推薦型選抜(附属校)

【専願】

志望理由書に基づいて経営学科で学修することの意義を理解し、強く入学を希望していることを確認したうえで、面接に基づいて主体性、多様な価値観に対する包容力、及び相互理解を図る能力を評価します。

学校推薦型選抜(附属校・専願)では、学力の3要素全てを同等の比重で評価

し、調査書、推薦書の評価を加味して多面的・総合的に評価・判定します。

【併願】

志望理由書に基づいて経営学科で学修することの意義を理解し、学修意欲があることを確認したうえで、面接に基づいて主体性、多様な価値観に対する包容力、及び相互理解を図る能力を評価します。

学校推薦型選抜(附属校・併願)では、学力の3要素全てに同等の比重を置いて評価・判定します。

(7)帰国生選抜

総合型選抜[活動実績重視方式]と同じ方式で評価します。

帰国生選抜では、学力の3要素のうち、思考力・判断力・表現力、主体性等に重点を置いて評価・判定します。

(8)外国人留学生選抜

外国人留学生選抜では、入学後の学修に必要な基礎学力を有している外国人留学生を選抜し、小論文、日本留学試験(日本語・総合科目)の成績、面接、出願書類等で能力・意欲・適性等を多面的・総合的に評価・判定します。

(9)編入学試験・学士入学試験

編入学試験、学士入学試験では、主に3年次からの修学に必要な学力を有する者を選抜すべく、英語・小論文・面接・出願書類等で能力・意欲・適性等を多面的・総合的に評価・判定します。

3.経営学科の教育を通じて養う能力

経営学科の入学者には、カリキュラム・ポリシーに基づく教育課程を通じてディプロマ・ポリシーで定める①知識・技能、②思考力・判断力・表現力、③協創力を養い、「地球的視野を持って、地域社会の発展に貢献できる人材」を育成します。

(別表)商学科・経営学科共通 各入試制度における学力の3要素の評価比重と評価方法 (◎は重点評価項目)

区分	入試制度	知識・技能		思考力・判断力・表現力		主体性等	
		比重	評価方法	比重	評価方法	比重	評価方法
一般選抜	一般選抜(前期日程)	◎	・個別学力検査 ・共通テストの成績 (共通テストプラス方式のみ) ・英語資格・検定 (共通テストプラス方式のみ) ・調査書	◎	・個別学力検査 ・共通テストの成績 (共通テストプラス方式のみ)		
	一般選抜(後期日程)	◎	・個別学力検査 ・調査書	◎	・個別学力検査	○	・調査書
	共通テスト利用選抜 (前期日程・後期日程)	◎	・共通テストの成績 ・英語資格・検定 ・調査書	◎	・共通テストの成績		
総合型選抜	総合型選抜 (活動実績重視方式)	○	・小論文 ・面接 ・調査書	◎	・小論文 ・面接 ・志望理由書 ・活動報告書	◎	・面接 ・志望理由書 ・活動報告書
	総合型選抜 (小論文重視方式)	◎	・小論文 ・面接 ・調査書	◎	・小論文 ・面接 ・志望理由書 ・活動報告書	○	・面接 ・志望理由書 ・活動報告書
学校推薦型選抜	学校推薦型選抜(公募) (英語方式)	◎	・個別学力検査(英語) ・面接 ・推薦書 ・調査書	◎	・個別学力検査(英語) ・面接 ・推薦書 ・志望理由書	○	・面接 ・推薦書 ・志望理由書
	学校推薦型選抜(公募) (指定資格方式)	◎	・面接 ・推薦書 ・調査書 ・資格・検定等申請書	◎	・面接 ・推薦書 ・志望理由書	○	・面接 ・推薦書 ・志望理由書
	学校推薦型選抜(公募) (英語資格方式)	◎	・面接 ・推薦書 ・調査書 ・資格・検定等の証明書	◎	・面接 ・推薦書 ・志望理由書	○	・面接 ・推薦書 ・志望理由書
	学校推薦型選抜(指定校)	○	・面接 ・推薦書 ・調査書	○	・面接 ・推薦書 ・志望理由書	○	・面接 ・推薦書 ・調査書 ・志望理由書
	学校推薦型選抜(附属校)	○	・面接 ・推薦書 ・調査書	○	・面接 ・推薦書 ・志望理由書	○	・面接 ・推薦書 ・調査書 ・志望理由書

人文学部 THE FACULTY OF HUMANITIES AND HUMAN SCIENCES

社会学科

1. 求める学生像

社会学科は、高等学校卒業程度の学力、すなわち入学後に学士課程教育を受けるに必要な学力を有し、次のような人を広く国内外から受け入れます。具体的には、(1)社会における諸現象・諸問題に関心があり、自ら調査し、考え、他者とコミュニケーションすることによって学ぼうとする人、(2)豊かな人間性を培うために、広い視野を有し、多角的な社会学的視点から実社会を理解しようと努める人、(3)社会学の視角・方法・理論を修得しようと努める人、(4)将来に関して目標を持ち、自己の人生を切り開く能力を身につけようとする人です。

社会学科が求める学生像は、次の「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「主体性等」を有する人です。

(1) 知識・技能

高等学校における英語・国語・社会科・数学などの教科に関する知識・技能を

習得している人。社会の構造、社会に生きる人々の意識や価値観を理解し、社会におけるさまざまな現象や問題・課題について理解・分析し、自身の考えを表現し、他者と議論する際に基礎となる能力を有する人。

(2) 思考力・判断力・表現力

自ら社会的な課題や問題を発見し、その解決に取り組み、成果を社会において表現するのに必要な社会学的思考力・判断力・表現力を修得することに意欲がある人。

(3) 主体性等

激しく変化していく現代社会のなかで多様な価値観を持つ他者に対して理解しようとする態度を備え、主体性を持って多様な人々と学びあい、相互理解をはかっていこうとする意欲がある人。

【入学前に学習しておくことを期待する内容】

大学での学習には幅広い分野の基礎知識が必要です。したがって入学を希望する人は、高等学校における教科・科目の教科書レベルの知識を幅広く習得していることが大切です。特に、英語と国語については高等学校の学習を基本として、入学までに可能な限り基礎学力の向上に努めてください。基礎学力は、大学での授業や演習で文献を読んだり、レポートを書いたり、自分の意見を発表するために必要です。また、自分の興味関心を広げるために、様々な本を読むこともおすすめします。

2. 入学試験制度と評価

社会学科は、以下の入学試験制度ごとに、「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「主体性等」を多面的・総合的に評価します。それぞれの入学試験制度における評価の比重と評価方法については、別表をご覧ください。

(1) 一般選抜

入学後に必要な基礎学力を有する生徒を選抜するために、個別学力検査と調査書によって多面的・総合的に評価します。後期日程では、個別学力検査で合否ラインの得点帯の受験生について、調査書に記載される主体性に関する情報を評価して、個別学力検査の得点に加点したうえで合否判定します。

一般選抜では、学力の3要素のうち、知識・技能、思考力・判断力・表現力に重点を置いて評価・判定します。

(2) 共通テスト利用選抜

入学後に必要な基礎学力を有する生徒を選抜するために、大学入学共通テストの成績と調査書によって多面的・総合的に評価します。

共通テスト利用選抜では、学力の3要素のうち、知識・技能、思考力・判断力・表現力に重点を置いて評価・判定します。

(3) 総合型選抜

社会学科への入学を強く希望し、社会学を学ぶことの意義について適切に理解し、かつ入学後に学士課程教育を受けるに必要な基礎学力を有している学生を、主として個別学力検査に基づいて、面接、志望理由書、調査書の内容、高等学校などでの活動・経験などを加味して選抜します。さらに、面接に基づいて、「思考力・判断力・表現力」及び「主体性等」を評価します。

総合型選抜では、学力の3要素のうち、知識・技能、思考力・判断力・表現力に重点を置き、調査書に基づく知識・技能の評価を加味して多面的・総合的に評価・判定します。

(4) 学校推薦型選抜(公募)

社会学科での学修に意欲を持つ者で、社会学を学ぶことの意義について適切に理解し、かつ入学後に学士課程教育を受けるに必要な基礎学力を有していると高等学校長などから推薦された者から、主として個別学力検査と面接に基づいて、志望理由書、調査書の内容、高等学校などでの活動・経験などを加味して学生を選抜します。個別学力検査では、英語を含めた資料読解力・理解力に基づいた資料小論文方式を実施します。

学校推薦型選抜(公募)では、学力の3要素のうち、知識・技能、思考力・表現力に重点を置き、調査書に基づく知識・技能の評価を加味して多面的・総合的に評価・判定します。

(5) 学校推薦型選抜(指定校)

社会学科への入学を強く希望し、社会学を学ぶことの意義について適切に理解し、かつ入学後に学士課程教育を受けるに必要な基礎学力を有していると高等学校長などから推薦された者から、主として面接に基づいて、志望理由書、調査書の内容、高等学校などでの活動・経験などを加味して、学生を選抜します。

学校推薦型選抜(指定校)では、学力の3要素全てを同じ比重で評価し、調査書、推薦書の評価を加味して多面的・総合的に評価・判定します。

(6) 学校推薦型選抜(附属校)

【専願】

志望理由書に基づいて社会学科で学修することの意義を理解し、強く入学を希望していることを確認したうえで、面接に基づいて主体性、多様な価値観に対する包容力及び相互理解を図る能力を評価します。

学校推薦型選抜(附属校・専願)では、学力の3要素全てを同等の比重で評価し、調査書、推薦書の評価を加味して多面的・総合的に評価・判定します。

【併願】

志望理由書に基づいて社会学科で学修することの意義を理解し、学習意欲があることを確認したうえで、面接に基づいて主体性、多様な価値観に対する包容力、及び相互理解を図る能力を評価します。

学校推薦型選抜(附属校・併願)では、学力の3要素全てを同等の比重で評価し、調査書、推薦書の評価を加味して多面的・総合的に評価・判定します。

(7) 社会人選抜

社会学を学ぶことの意義について適切に理解し、かつ入学後に学士課程教育を受けるに必要な基礎学力を有している学生を、個別学力検査に基づいて、面接、志望理由書、調査書の内容、社会人としての活動・経験などを加味して選抜します。個別学力検査では、英語を含めた資料読解力・理解力に基づいた資料小論文方式を実施します。

(8) 帰国生選抜

帰国生選抜は、総合型選抜と同じ方式で評価・判定します。

(9) 外国人留学生選抜

日本留学試験の成績によって日本語運用能力を評価します。さらに面接によって、知識・技能、思考力・判断力・表現力、主体性等、及び日本語でのコミュニケーション能力等を評価したうえで、日本留学試験の成績と面接結果を同等の比重で評価・判定します。

(10) 編入学試験・学士入学試験

個別学力検査によって、主に第3学年次に修学するために必要な知識・技能及び思考力・判断力・表現力を評価します。さらに面接によって主体性等を評価したうえで、個別学力検査結果及び面接結果を同等の比重で評価・判定します。

3. 社会学科の教育を通じて養う能力

社会学科の教育を通じて養う能力は、以下のような能力です。

(1) 社会学の知識に基づく視角・方法・理論の成り立ちと現代的展開を自ら学び考えることによって、実社会における現象や問題・課題について、社会学的に理解・分析し、自身の考えを表現できる能力。

(2) 修得した社会学的知識に基づく視角・方法・理論を持って、自ら社会的な課題を発見し、社会問題の解決に取り組み、その成果を社会的に表現するために必要な社会学的思考力・判断力・コミュニケーション能力。

(3) 激しく変動していく現代社会において、自ら身につけた社会学的知識を多様な科学や学問に照らしつつ、主体性を持って多様な人々と学びあう能力。

(4) 国際化を進める社会で活躍できる確かなコミュニケーション能力を身につけ、自らの課題とテーマに関して主体性を持って学問的に追求する能力。

(別表) 社会学科 各入試制度における学力の3要素の評価比重と評価方法 (◎は重点評価項目)

区分	入試制度	知識・技能		思考力・判断力・表現力		主体性等	
		比重	評価方法	比重	評価方法	比重	評価方法
一般選抜	一般選抜(前期日程)	◎	・個別学力検査 ・共通テストの成績 (共通テストプラス方式のみ) ・英語資格・検定 (共通テストプラス方式のみ) ・調査書	◎	・個別学力検査 ・共通テストの成績 (共通テストプラス方式のみ)		
	一般選抜(後期日程)	◎	・個別学力検査 ・調査書	◎	・個別学力検査	○	・調査書
	共通テスト利用選抜 (前期日程・後期日程)	◎	・共通テストの成績 ・英語資格・検定 ・調査書	◎	・共通テストの成績		
総合型選抜	総合型選抜	○	・課題小論文 ・調査書	◎	・課題小論文 ・面接 ・志望理由書	◎	・面接 ・志望理由書
学校推薦型選抜	学校推薦型選抜(公募)	◎	・小論文 ・推薦書 ・調査書	○	・小論文 ・面接 ・推薦書 ・志望理由書	◎	・面接 ・推薦書 ・調査書 ・志望理由書
	学校推薦型選抜(指定校)	○	・面接 ・推薦書 ・調査書	○	・面接 ・推薦書 ・志望理由書	○	・面接 ・推薦書 ・調査書 ・志望理由書
	学校推薦型選抜(附属校)	○	・面接 ・推薦書 ・調査書	○	・面接 ・推薦書 ・志望理由書	○	・面接 ・推薦書 ・調査書 ・志望理由書

人文学部 教育学科

THE FACULTY OF HUMANITIES AND HUMAN SCIENCES

1. 求める学生像

教育学科は、学士課程教育を受けるに必要な基礎学力と主体性を備えた人を、様々な入学試験制度により選抜し、受け入れます。教育学とは、ある社会・文化における人間の生成・発達と学習の過程に意図的に働きかける教育という営みを対象とする学問です。そのため、教育学を学ぶ学生には、多様な視点やアプローチによって教育という営みについて考察し、教育のありうる姿を構想・具体化する力を身につけることが必要です。

教育学科が求める学生像は、次の「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「主体性等」を有する人です。

(1) 知識・技能

教育学の専門分野を学ぶために必要な高等学校までの基礎的・基本的な知識・技能を習得し、観察・実験をし、その結果をもとにレポートを作成したり、文章や資料を読んだうえで、知識や経験に照らして自分の考えをまとめたりするなど、それぞれの教科の知識・技能を活用できる力を身につけている人。

(2) 思考力・判断力・表現力

教育学的な視点で自ら問題を発見し、課題解決のため教科等を横断した探究活動ができる力を身につけている人。

情報を多面的・多角的に精査し構造化することを通して、自分の考えを形成し、様々な方法で表現できる力を身につけている人。

(3) 主体性等

学ぶことに興味や関心を持ち、見通しを持って粘り強く取り組み、自己の学習活動を振り返って次につなげる態度が身についている人。

多様性を尊重する態度や互いの良さを生かして協働する力が身についている人。

【入学前に学習しておくことを期待する内容】

大学での学習には幅広い分野の基礎知識が必要です。したがって入学を希望する人は、高等学校における教科・科目の教科書レベルの知識を幅広く習得していることが大切です。特に、国語については、高等学校の学習を基本として、入学までに可能な限り基礎学力の向上に努めてください。基礎学力は、大学での授業や演習で文献を読んだり、レポートを書いたり、自分の意見を発表するために必要です。自分の興味関心を広げるために、様々な本を読むこともおすすめします。

また、自ら問題を発見し、様々な情報を活用しながら、問題を解決し、それを発信できる言語能力を高めてきてください。

2. 入学試験制度と評価

教育学科は、以下の入学試験制度ごとに、「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「主体性等」を多面的・総合的に評価します。それぞれの入学試験制度における評価の比重と評価方法については、別表をご覧ください。

(1) 一般選抜

入学後に必要な基礎学力を有する生徒を選抜するために、個別学力検査と調査書に基づいて多面的・総合的に評価します。後期日程では、個別学力検査で合否ラインの得点帯の受験生について、調査書に記載される主体性に関する情報を評価して、個別学力検査の得点に加点したうえで合否判定します。

一般選抜では、学力の3要素のうち、知識・技能、思考力・判断力・表現力に重点を置いて評価・判定します。

(2) 共通テスト利用選抜

入学後に必要な基礎学力を有する生徒を選抜するために、大学入学共通テストの成績と調査書に基づいて多面的・総合的に評価します。

共通テスト利用選抜では、学力の3要素のうち、知識・技能、思考力・判断力・表現力に重点を置いて評価・判定します。

(3) 総合型選抜

志望理由書に基づいて教育学科で学修することの意義を理解し、強く入学を希望していることを確認します。そのうえで、筆記試験に基づいて読解、要約、分析、論述の能力を多面的・総合的に評価します。また、集団討論に基づいて思考力・判断力・表現力、主体性、協働性を多面的・総合的に評価します。さらに、面接に基づいて主体性、入学後の学びに対する計画性、言語運用能力を評価します。

総合型選抜では、学力の3要素のうち、知識・技能、思考力・判断力・表現力に重点を置き、調査書に基づく知識・技能の評価を加味して多面的・総合的に評価・判定します。

(4) 学校推薦型選抜(公募)

志望理由書に基づいて教育学科で学修することの意義を理解し、強く入学を希望していることを確認します。そのうえで、資料小論文に基づいて読解、要約、分析、論述の能力を多面的・総合的に評価します。さらに、面接に基づいて主体性、入学後の学びに対する計画性、言語運用能力を評価します。

学校推薦型選抜(公募)では、学力の3要素のうち、知識・技能、思考力・判断力・表現力に重点を置き、調査書に基づく知識・技能の評価を加味して多面的・総合的に評価・判定します。

(5) 学校推薦型選抜(指定校)

志望理由書に基づいて教育学科で学修することの意義を理解し、強く入学を希望していることを確認します。そのうえで、面接に基づいて主体性、入学後の学びに対する計画性、言語運用能力を評価します。

学校推薦型選抜(指定校)では、学力の3要素全てを同じ比重で評価し、調査書、推薦書の評価を加味して多面的・総合的に評価・判定します。

(6) 学校推薦型選抜(附属校)**【専願】**

志望理由書に基づいて教育学科で学修することの意義を理解し、強く入学を希望していることを確認します。そのうえで、面接に基づいて主体性、入学後の学びに対する計画性、言語運用能力を評価します。

学校推薦型選抜(附属校・専願)では、学力の3要素全てを同等の比重で評価し、調査書、推薦書の評価を加味して多面的・総合的に評価・判定します。

【併願】

志望理由書に基づいて教育学科で学修することの意義を理解し、学習意欲があることを確認します。そのうえで、面接に基づいて主体性、入学後の学びに対する計画性、言語運用能力を評価します。

学校推薦型選抜(附属校・併願)では、学力の3要素全てを同等の比重で評価し、調査書、推薦書の評価を加味して多面的・総合的に評価・判定します。

(7) 外国人留学生選抜

日本留学試験の成績に基づいて日本語運用能力を評価します。そのうえで、面接に基づいて知識・技能、思考力・判断力・表現力、主体性等、及び日本語でのコミュニケーション能力等を評価します。

外国人留学生選抜では、日本留学試験の成績と面接結果を同等の比重で評価・判定します。

(8) 社会人選抜

志望理由書に基づいて教育学科で学修することの意義を理解し、強く入学を希望していることを確認します。そのうえで、資料小論文に基づいて読解、要約、分析、論述の学力を多面的・総合的に評価します。さらに、面接に基づいて主体性、入学後の学びに対する計画性、言語運用能力を評価します。

社会人選抜では、資料小論文の結果及び面接結果を同等の比重で評価・判定します。

(9) 編入学試験・学士入学試験

英語に関する個別学力検査と小論文に基づいて、主に第3学年次に修学するために必要な知識・技能及び思考力・判断力・表現力を評価します。そのうえで、面接に基づいて主体性、入学後の学びに対する計画性、言語運用能力を評価します。

編入学試験・学士入学試験では、個別学力検査と小論文の結果及び面接結果を同等の比重で評価・判定します。

3. 教育学科の教育を通じて養う能力

教育学の学修方法は、「教える一学」に関連する理論と実践について、言語、身体、感覚の全てを視野に含みつつ、考察を行うことを基盤としています。その学修方法を通して、多様な視点やアプローチによって教育という営みについて考察し、教育のありうる姿を構想・具体化する能力を身につけます。

(別表) 教育学科 各入試制度における学力の3要素の評価比重と評価方法 (◎は重点評価項目)

区分	入試制度	知識・技能		思考力・判断力・表現力		主体性等	
		比重	評価方法	比重	評価方法	比重	評価方法
一般選抜	一般選抜(前期日程)	◎	・個別学力検査 ・共通テストの成績 (共通テストプラス方式のみ) ・英語資格・検定 (共通テストプラス方式のみ) ・調査書	◎	・個別学力検査 ・共通テストの成績 (共通テストプラス方式のみ)		
	一般選抜(後期日程)	◎	・個別学力検査 ・調査書	◎	・個別学力検査	○	・調査書
	共通テスト利用選抜 (前期日程・後期日程)	◎	・共通テストの成績 ・英語資格・検定 ・調査書	◎	・共通テストの成績		
総合型選抜	総合型選抜	◎	・課題図書に関する筆記試験 ・集団討論 ・調査書	◎	・課題図書に関する筆記試験 ・集団討論 ・面接 ・志望理由書	○	・集団討論 ・面接 ・志望理由書
学校推薦型選抜	学校推薦型選抜(公募)	◎	・小論文 ・推薦書 ・調査書 ・志望理由書	◎	・小論文 ・面接 ・推薦書 ・志望理由書	○	・面接 ・推薦書 ・志望理由書
	学校推薦型選抜(指定校)	○	・面接 ・推薦書 ・調査書	○	・面接 ・推薦書 ・志望理由書	○	・面接 ・推薦書 ・調査書 ・志望理由書
	学校推薦型選抜(附属校)	○	・面接 ・推薦書 ・調査書	○	・面接 ・推薦書 ・志望理由書	○	・面接 ・推薦書 ・調査書 ・志望理由書



1. 求める学生像

英語英文学科は、学士課程教育を受けるに必要な基礎学力と主体性を備えた人を、様々な入学試験制度により選抜し、受け入れます。具体的には、言語や文化、とりわけ英語や英語圏の文化に強い関心と探究心があり、英語習得に必要な不可欠な努力を惜みず、英語で他者と積極的に交流し、多様な価値観を持つ他者とともに問題の解決に当たる協働性を備えていることを重視します。英語英文学科が求める学生像は、次の「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「主体性等」を有する人です。

(1) 知識・技能

高等学校における英語・国語の教科に関する知識・技能を有する人。すなわち、英語圏の文学や英語学・応用言語学の文献読解、さらにこれを踏まえた論述や口頭でのコミュニケーションを行うための基礎となる英語の音声・語彙・文法の知識及び「聞く」、「話す」、「読む」、「書く」の四技能に加え、伝達の内容に関して論理的に思考・判断・表現する際に基礎となる日本語能力を有する人。

(2) 思考力・判断力・表現力

言語や文化に関わる問題に気づく観察力、その問題を解決するために文献を読解し、それをもとに考察し自らの結論を導く思考力・判断力、その結論を論理的な文章や口頭発表によって説得的に示す表現力、及びこの問題解決プロセスに主体性を持って取り組む態度を有する人。

(3) 主体性等

多様な価値観を持つ他者に対する包容力を備え、主体性を持って共感的な人間関係を創造しながら、同時に自らの意図を明確に表明して相互理解を図る能力を有する人。

【入学前に学習しておくことを期待する内容】

大学での学習には幅広い分野の基礎知識が必要です。したがって入学を希望する人は、高等学校における教科・科目の教科書レベルの知識を幅広く習得していることが大切です。

特に、英語については高等学校の学習を基本として、入学までに可能な限り英語力の向上に努めてください。国語の基礎学力は、大学での授業や演習で文献を読んだり、レポートを書いたり、自分の意見を発表するために必要です。また、自分の興味関心を広げるために、様々な本を読むこともおすすめします。

英語学習に関しては、英文法を一通り学習すること、正しい発音で大きな声で音読すること、英検等各種検定試験に積極的に挑戦することです。これらのことは「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「主体性等」等の育成に役立ちます。

2. 入学試験制度と評価

英語英文学科は、以下の入学試験制度ごとに、「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「主体性等」を多面的・総合的に評価します。それぞれの入学試験制度における評価の比重と評価方法については、別表をご覧ください。

(1) 一般選抜

入学後に必要な基礎学力を有する生徒を選抜するために、個別学力検査と調査書によって多面的・総合的に評価します。後期日程では、個別学力検査で合否ラインの得点帯の受験生について、調査書に記載される主体性に関する情報を評価して、個別学力検査の得点に加点したうえで合否判定します。

一般選抜では、学力の3要素のうち、知識・技能、思考力・判断力・表現力に重点を置いて評価・判定します。

(2) 共通テスト利用選抜

入学後に必要な基礎学力を有する生徒を選抜するために、大学入学共通テストの成績と調査書によって多面的・総合的に評価します。

共通テスト利用選抜では、学力の3要素のうち、知識・技能、思考力・判断力・

表現力に重点を置いて評価・判定します。

(3) 総合型選抜

志望理由書に基づいて英語英文学科で学修することの意義を理解し、強く入学を希望していることを確認したうえで、英語力試験に基づいて基礎となる英語能力を評価します。さらに、面接に基づいて、「思考力・判断力・表現力」及び「主体性等」を評価します。

総合型選抜では、学力の3要素のうち、知識・技能、思考力・判断力・表現力に重点を置き、調査書に基づく知識・技能の評価を加味して多面的・総合的に評価・判定します。

(4) 学校推薦型選抜(公募)

志望理由書に基づいて英語英文学科で学修することの意義を理解し、強く入学を希望していることを確認したうえで、資料小論文試験に基づいて基礎となる英語能力及び思考力・判断力・表現力を評価します。さらに、面接に基づいて、主体性と、口頭による思考力・判断力・表現力を評価します。また、出願書類に基づき、取得した英語資格も加味します。

学校推薦型選抜(公募)では、学力の3要素のうち、知識・技能、思考力・判断力・表現力に重点を置き、調査書に基づく知識・技能の評価を加味して多面的・総合的に評価・判定します。

(5) 学校推薦型選抜(指定校)

志望理由書に基づいて英語英文学科で学修することの意義を理解し、強く入学を希望していることを確認したうえで、面接に基づいて主体性、多様な価値観に対する包容力、及び相互理解を図る能力を評価します。

学校推薦型選抜(指定校)では、学力の3要素全てを同じ比重で評価し、調査書、推薦書の評価を加味して多面的・総合的に評価・判定します。

(6) 学校推薦型選抜(附属校)

志望理由書に基づいて英語英文学科で学修することの意義を理解し、強く入学を希望していることを確認したうえで、面接に基づいて主体性、多様な価値観に対する包容力、及び相互理解を図る能力を評価します。

学校推薦型選抜(附属校)では、学力の3要素全てを同等の比重で評価し、調査書、推薦書の評価を加味して多面的・総合的に評価・判定します。

(7) 帰国生選抜

帰国生選抜は、総合型選抜と同じ方式で評価・判定します。

(8) 外国人留学生選抜

日本留学試験の成績によって日本語運用能力を評価します。さらに面接によって、知識・技能、思考力・判断力・表現力、主体性等、及び日本語でのコミュニケーション能力等を評価したうえで、日本留学試験の成績と面接結果を同等の比重で評価・判定します。

(9) 編入学試験・学士入学試験

英語に関する個別学力検査によって、主に第3学年次に修学するために必要な知識・技能及び思考力・判断力・表現力を評価します。さらに面接によって主体性等を評価したうえで、個別学力検査結果及び面接結果を同等の比重で評価・判定します。

3. 英語英文学科の教育を通じて養う能力

言語としての英語、及び英語圏の文化の諸相に関する知識と、国際化を進める社会で活躍できる的確なコミュニケーション能力を身につけ、自らの課題とテーマを学問的に追求し、主体性を持って協創する能力を身につけます。

(別表)英語英文学科 各入試制度における学力の3要素の評価比重と評価方法 (○は重点評価項目)

区分	入試制度	知識・技能		思考力・判断力・表現力		主体性等	
		比重	評価方法	比重	評価方法	比重	評価方法
一般選抜	一般選抜(前期日程)	○	・個別学力検査 ・共通テストの成績 (共通テストプラス方式のみ) ・英語資格・検定 (共通テストプラス方式のみ) ・調査書	○	・個別学力検査 ・共通テストの成績 (共通テストプラス方式のみ)		
	一般選抜(後期日程)	○	・個別学力検査 ・調査書	○	・個別学力検査	○	・調査書
	共通テスト利用選抜 (前期日程・後期日程)	○	・共通テストの成績 ・英語資格・検定 ・調査書	○	・共通テストの成績		
総合型 選抜	総合型選抜	○	・英語力試験 ・面接 ・調査書 ・活動報告書	○	・英語力試験 ・面接 ・志望理由書 ・活動報告書	○	・面接 ・志望理由書 ・活動報告書
学校推薦型 選抜	学校推薦型選抜(公募)	○	・小論文 ・英語資格・検定 ・推薦書 ・調査書	○	・小論文 ・面接 ・推薦書 ・志望理由書	○	・面接 ・推薦書 ・調査書 ・志望理由書
	学校推薦型選抜(指定校)	○	・面接 ・推薦書 ・調査書	○	・面接 ・推薦書 ・志望理由書	○	・面接 ・推薦書 ・調査書 ・志望理由書
	学校推薦型選抜(附属校)	○	・面接 ・推薦書 ・調査書	○	・面接 ・推薦書 ・志望理由書	○	・面接 ・推薦書 ・調査書 ・志望理由書

法学部 THE FACULTY OF LAW

法律学科

1. 求める学生像

法学部法律学科は、学士課程教育を受けるのに必要な基礎的な学力を備えている人を様々な入学制度により選抜し、受け入れます。求める学生像は、以下の「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「主体性等」を有する人で、法と国家・社会の関わりに関心を持ち、社会に生じる問題について多様な価値観を尊重しつつ合理的な解決に向けて意欲的に学習し行動しようとする人です。

(1) 知識・技能

まず、国語の基礎学力を有する学生を求めます。法律学科で法解釈の素養を身につけるためには、正確に文章を読み解き、論理的に考えることがとりわけ重要です。次に、理数系科目の基礎学力を有する学生を求めます。法学に必要な論理的思考力は数学などの理数系科目の学習によって培われると考えられています。また、グローバル化した社会の中で法的素養を身につけるには、諸外国の法制度にも関心を持たなければなりません。そのため、高等学校における英語の教科に関する知識・技能を有する学生を求めます。さらに、今日の法制度を学ぶにあたって、歴史的な経緯を理解することも重要であるため、日本史・世界史の知識を有することも必要です。

(2) 思考力・判断力・表現力

公正な社会の実現に努める意欲を持っており、様々な社会の諸現象や諸問題に強い関心があり、自ら調査し、事態の背景や推移を正確に理解し、問題解決に必要な情報を収集・蓄積することのできる学生、先入観や偏見にとらわれず、多様な考え方や価値観を学習・理解するとともに、多数の解決法を比較・選択したうえで、自分の意見を決定することのできる学生、文章や議論の中で自分の意見を積極的にかつ説得力を持って表現することのできる学生を求めます。

(3) 主体性等

法律専門家・公務員・企業人など、将来の進路について明確な目標を持つよう模索し、主体的に学ぶことのできる学生、多様な立場や価値観を尊重し、他者の意見や価値観の相互理解に努めようとする協働性やコミュニケーション能力を有する学生を求めます。

【入学前に学習しておくことを期待する内容】

法律の学習には幅広い分野の基礎知識が必要です。したがって法学部法律学科への入学を希望する学生は、高等学校における科目の教科書レベルの知識を幅広くしっかりと習得していることが大切です。特に国語や数学、英語、歴史などの科目をしっかりと学んでください。また、新聞や様々な本を読むことにより、社会科学に関する幅広い知識を習得できるため、新聞や様々な本を読むことを強くおすすめします。

2. 入学試験制度と評価

法学部法律学科は、以下の入学試験制度ごとに、「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「主体性等」を多面的・総合的に評価します。それぞれの入学試験制度における評価の比重と評価方法については、別表をご覧ください。

(1) 一般選抜

入学後に必要な基礎学力を有する生徒を選抜するために、個別学力検査と調査書によって多面的・総合的に評価します。後期日程では、個別学力検査で合否ラインの得点帯の受験生について、調査書に記載される主体性に関する情報を評価して、個別学力検査の得点に加点したうえで合否判定します。

一般選抜では、学力の3要素のうち、「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」に重点を置いて評価・判定します。

(2) 共通テスト利用選抜

入学後に必要な基礎学力を有する生徒を選抜するために、大学入学共通テストの成績と調査書によって多面的・総合的に評価します。

共通テスト利用選抜では、学力の3要素のうち、「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」に重点を置いて評価・判定します。

(3) 総合型選抜

本学への入学を強く希望し、高等学校等における正課活動及び課外活動に積極的に取り組み、本学法学部法律学科で学ぶことの意義について明確な興味・関心を持った者を選抜します。

総合型選抜では、学力の3要素のうち、「思考力・判断力・表現力」、「主体性等」に重点を置き、特定の課題に関するゼミナール(ゼミナール方式の場合)・社会問題についての小論文(スポーツ実績方式、芸術・文化実績方式の場合)、面接(スポーツ実績方式、芸術・文化実績方式の場合)、活動報告書(スポーツ実績方式、芸術・文化実績方式の場合)、出身学校調査書(一定の学習成績の状況を満たす必要があります)、志望理由書等をもとにして、能力・意欲・適性等を多面的・総合的に評価・判定します。

(4) 学校推薦型選抜(公募)

本学への入学を強く希望し、学校長から推薦され、高等学校における正課活動及び課外活動に積極的に取り組み、本学法学部法律学科で学ぶことの意義について明確な興味・関心を持った者を選抜します。

学校推薦型選抜(公募)では、学力の3要素のうち、「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」に重点を置き、英語試験(英語方式)・資料小論文試験(小論文方式)、面接、出身学校長の推薦書、出身学校調査書(一定の学習成績の状況を満たす必要があります)、志望理由書等をもとにして、能力・意欲・適性等を多面的・総合的に評価・判定します。

(5) 学校推薦型選抜(指定校)

本学への入学を強く希望し、学校長から推薦され、高等学校における正課活動及び課外活動に積極的に取り組み、本学法学部法律学科で学ぶことの意義について明確な興味・関心を持った者を選抜します。

学校推薦型選抜(指定校)では、学力の3要素全てを同じ比重で、社会問題について的小論文及び社会問題に関する3分間説明、面接、出身学校長の推薦書、出身学校調査書(一定の学習成績の状況を満たす必要があります)、志望理由書等をもとにして、能力・意欲・適性等を多面的・総合的に評価・判定します。

(6) 学校推薦型選抜(附属校)

本学への入学を強く希望し、学校長から推薦され、高等学校における正課活動及び課外活動に積極的に取り組み、本学法学部法律学科で学ぶことの意義について明確な興味・関心を持った者を選抜します。

学校推薦型選抜(附属校)では、学力の3要素全てを同等の比重で、面接、出身学校長の推薦書、出身学校調査書(一定の学習成績の状況を満たす必要があります)、志望理由書等をもとにして、能力・意欲・適性等を多面的・総合的に評価・判定します。

(7) 帰国生選抜

帰国生選抜は、総合型選抜(ゼミナール方式)と同じ方式で実施します。

(8) 外国人留学生選抜

主に入学後の学修に必要な基礎学力を有している者を選抜します。選抜においては、資料小論文試験、日本留学試験のスコア、面接、出願書類等をもとにして、能力・意欲・適性等を多面的・総合的に評価・判定します。

(9) 編入学試験・学士入学試験

第3学年次に編入するために必要な基礎学力を有している者を選抜します。選抜においては、英語試験・資料小論文試験、面接、成績証明書、志望理由書等をもとにして、能力・意欲・適性等を多面的・総合的に評価・判定します。

3. 法律学科の教育を通じて養う能力

法律学科の教育目標を実現するために必要な法的知識と技能を修得し、法的課題の発見及び解決に積極的に取り組み、その成果を表現するために必要な法的思考力・判断力・表現力等の能力を持ち、多様な人々と協創して学びあう能力を養います。

(別表) 法律学科 各入試制度における学力の3要素の評価比重と評価方法 (◎は重点評価項目)

区分	入試制度	知識・技能		思考力・判断力・表現力		主体性等	
		比重	評価方法	比重	評価方法	比重	評価方法
一般選抜	一般選抜(前期日程)	◎	・個別学力検査 ・共通テストの成績 (共通テストプラス方式のみ) ・英語資格・検定 (共通テストプラス方式のみ) ・調査書	◎	・個別学力検査 ・共通テストの成績 (共通テストプラス方式のみ)		
	一般選抜(後期日程)	◎	・個別学力検査 ・調査書	◎	・個別学力検査	○	・調査書
	共通テスト利用選抜 (前期日程・後期日程)	◎	・共通テストの成績 ・英語資格・検定 ・調査書	◎	・共通テストの成績		
総合型選抜	総合型選抜 (ゼミナール方式)	○	・ゼミナール ・調査書 ・ゼミナール報告要旨	◎	・ゼミナール ・志望理由書 ・ゼミナール報告要旨	◎	・ゼミナール ・調査書 ・志望理由書 ・ゼミナール報告要旨
	総合型選抜 (スポーツ実績方式) (芸術・文化実績方式)	○	・社会問題について的小論文 ・面接 ・調査書	◎	・社会問題について的小論文 ・面接 ・活動報告書 ・志望理由書	◎	・社会問題について的小論文 ・面接 ・活動報告書 ・調査書 ・志望理由書
学校推薦型選抜	学校推薦型選抜(公募) (英語方式)	◎	・英語 ・面接 ・推薦書 ・調査書	◎	・英語 ・面接 ・推薦書 ・志望理由書	○	・面接 ・推薦書 ・調査書 ・志望理由書
	学校推薦型選抜(公募) (小論文方式)	◎	・小論文 ・面接 ・推薦書 ・調査書	◎	・小論文 ・面接 ・推薦書 ・志望理由書	○	・面接 ・推薦書 ・調査書 ・志望理由書
	学校推薦型選抜(指定校)	○	・社会問題について的小論文 ・面接 ・推薦書 ・調査書	○	・社会問題について的小論文 ・面接 ・推薦書 ・志望理由書	○	・社会問題について的小論文 ・面接 ・推薦書 ・調査書 ・志望理由書
	学校推薦型選抜(附属校)	○	・面接 ・推薦書 ・調査書	○	・面接 ・推薦書 ・志望理由書	○	・面接 ・推薦書 ・調査書 ・志望理由書

1. 求める学生像

経済科学部では、経済社会・情報社会に強い関心を持ち、これまでの学修経験を通じて、次の基礎能力を有する人を求めます。物事を論理的に考察できる人、物事を科学的に考察できる人、学修に真摯かつ熱心に取り組むことのできる人、明朗快活にコミュニケーションをとることができる人。

2. 入学試験制度と評価

経済科学部は、上記の基礎能力や資質を確かめるために、入学試験制度ごとに「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「主体性を持って多様な人々と協働

して学ぶ態度」を多面的・総合的に評価します。評価の比重及び評価方法は、各学科のアドミッション・ポリシーで明示します。

3. 経済科学部の教育を通じて養う能力

経済科学部の入学者には、カリキュラム・ポリシーに基づく教育課程を通じ、ディプロマ・ポリシーに定めるところの知識・技能、思考力・判断力・表現力、多様な人々と協創する姿勢を涵養し、「現代の経済社会・情報社会に求められる高度な知識と技術を有する人材」として養成します。

1. 求める学生像

現代経済学科は、学士課程教育を受ける際に必要とされる基礎学力及び主体性等を備えた人を、様々な入学試験制度によって選抜し、受け入れます。現代経済学科が求める学生像は、経済社会・経済問題・経済現象等に強い関心を持ち、これまでの学修経験を通じて、以下の「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「主体性等」を有する人です。

(1) 知識・技能

高等学校における英語・国語・数学の初等的な知識・技能は修得していること。すなわち、現代経済学の講義を受ける際に最低限必要とされる基礎学力を有し、真摯に受講すれば講義内容を十分に理解できる能力を有する人。

(2) 思考力・判断力・表現力

経済問題や経済現象に対し、論理的かつ科学的に思考・判断する能力を有し、さらに考察結果を明快に表現する能力を有する人。

(3) 主体性等

経済問題や経済現象に常に関心を持ち、主体的・能動的に学修に取り組むと同時に、学修過程において多種多様な他者と明朗快活にコミュニケーションをとる能力を有する人。

【入学前に学習しておくことを期待する内容】

文科系・理科系を問わず、あるいは商業・工業・総合等の学科を問わず、高校低学年次における英国数の必須科目は確実に学修しておいてください。その基礎学力と真摯な学修姿勢があれば、現代経済学科の大半の講義は修得できます。

2. 入学試験制度と評価

現代経済学科は、以下の入学試験制度ごとに、「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「主体性等」を多面的・総合的に評価します。それぞれの入学試験制度における評価の比重と評価方法については、別表をご覧ください。

(1) 一般選抜

入学後に必要な基礎学力を有する生徒を選抜するために、個別学力検査と調査書によって多面的・総合的に評価します。後期日程では、個別学力検査で合否ラインの得点帯の受験生について、調査書に記載される主体性に関する情報を評価して、個別学力検査の得点に加点したうえで合否判定します。

一般選抜では、学力の3要素のうち、知識・技能、思考力・判断力・表現力に重点を置いて評価・判定します。

(2) 共通テスト利用選抜

入学後に必要な基礎学力を有する生徒を選抜するために、大学入学共通テストの成績と調査書によって多面的・総合的に評価します。

共通テスト利用選抜では、学力の3要素のうち、知識・技能、思考力・判断力・

表現力に重点を置いて評価・判定します。

(3) 総合型選抜

講義理解力試験で現代経済学を学ぶ際に必要な「思考力・判断力・表現力」を評価します。また、面接・出願書類に基づいて、現代経済学科入学を強く希望しているか、学修のみならず万事に真摯かつ熱心であるかなど、「主体性等」を評価します。

総合型選抜では、学力の3要素のうち、思考力・判断力・表現力及び主体性等に重点を置き、調査書に基づく知識・技能の評価を加味して多面的・総合的に評価・判定します。

(4) 学校推薦型選抜(公募)

現代経済学科入学を強く希望し学校長が推薦する学修意欲の高い生徒を、一定の学習成績の状況を条件に、英語方式・小論文方式・指定資格方式・英語資格方式で選抜します。

英語方式・小論文方式では個別学力検査で知識・技能、思考力・判断力・表現力を評価し、面接・出願書類で主体性等を評価し、調査書も加味して多面的・総合的に評価・判定します。指定資格方式・英語資格方式では面接・出願書類で知識・技能、主体性等を評価し、調査書で思考力・判断力・表現力を確認して多面的・総合的に評価・判定します。

(5) 学校推薦型選抜(指定校)

修学実績をとともう高校等を対象に、現代経済学科入学を強く希望し学校長が推薦する生徒を、一定の学習成績の状況を条件に選抜します。志望理由書等に基づいて現代経済学科入学を強く希望しているか等を評価し、面接で特に主体性等を評価します。

学校推薦型選抜(指定校)では、学力の3要素のうち、主体性等に重点を置き、調査書に基づく知識・技能及び思考力・判断力・表現力の評価を加味して多面的・総合的に評価・判定します。

(6) 学校推薦型選抜(附属校)

【専願】

附属高校を対象に、現代経済学科入学を強く希望し学校長が推薦する生徒を、一定の学習成績の状況を条件に選抜します。志望理由書等に基づいて現代経済学科入学を強く希望しているか等を評価し、面接で特に主体性等を評価します。

学校推薦型選抜(附属校・専願)では、学力の3要素のうち、主体性等に重点を置き、調査書に基づく知識・技能及び思考力・判断力・表現力の評価を加味して多面的・総合的に評価・判定します。

【併願】

附属高校を対象に、現代経済学科入学を希望し学校長が推薦する生徒を、一定の学習成績の状況を条件に選抜します。志望理由書等に基づいて現代経済学科で学修することの意義を理解し学習意欲があるか等を評価し、面接で特に主体性等を評価します。

学校推薦型選抜(附属校・併願)では、学力の3要素のうち、主体性等に重点を置き、調査書に基づく知識・技能及び思考力・判断力・表現力の評価を加味して多面的・総合的に評価・判定します。

(7) 帰国生選抜

帰国生選抜は、総合型選抜と同じ方式で評価・判定します。

(8) 外国人留学生選抜

小論文によって知識・技能及び思考力・判断力・表現力を評価し、日本留学試験の成績によって日本語運用能力を評価します。さらに面接と出願書類によって、主体性等も加味して多面的・総合的に評価・判定します。

(9) 編入学試験・学士入学試験

個別学力検査によって、主に第3学年次に修学するために必要な知識・技能及び思考力・判断力・表現力を評価します。さらに面接と出願書類によって、主体性等も加味して多面的・総合的に評価・判定します。

3. 現代経済学科の教育を通じて養う能力

現代経済学科の入学には、カリキュラム・ポリシーに基づく教育課程を通じ、ディプロマ・ポリシーに定めるところの知識・技能、思考力・判断力・表現力、多様な人々と協創する姿勢を涵養し、「現代の経済社会を体系的に把握かつ科学的に分析する能力を有する人材」として養成します。



経済科学部
THE FACULTY OF ECONOMIC SCIENCES

経済情報学科

1. 求める学生像

経済情報学科は、学士課程教育を受ける際に必要とされる基礎学力及び主体性等を備えた人を、様々な入学試験制度によって選抜し、受け入れます。経済情報学科が求める学生像は、情報社会・情報科学・システム科学等に強い関心を持ち、これまでの学修経験を通じて、以下の「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「主体性等」を有する人です。

(1) 知識・技能

高等学校における英語・国語・数学の初等的な知識・技能は修得していること。すなわち、経済情報学の講義を受ける際に最低限必要とされる基礎学力を有し、真摯に受講すれば講義内容を十分に理解できる能力を有する人。

(2) 思考力・判断力・表現力

情報科学やシステム科学の学修に際し、論理的かつ科学的に思考・判断する能力を有し、さらに考察結果を明快に表現する能力を有する人。

(3) 主体性等

情報科学やシステム科学に常に興味を持ち、主体的・能動的に学修に取り組むと同時に、学修過程において多種多様な他者と明朗快活にコミュニケーションをとる能力を有する人。

【入学前に学習しておくことを期待する内容】

文科系・理科系を問わず、あるいは商業・工業・総合等の学科を問わず、高校低学年次における英国数の必須科目は確実に学修しておいてください。その基礎学力と真摯な学修姿勢があれば、経済情報学科の大半の講義は修得できます。

2. 入学試験制度と評価

経済情報学科は、以下の入学試験制度ごとに、「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「主体性等」を多面的・総合的に評価します。それぞれの入学試験制度における評価の比重と評価方法については、別表をご覧ください。

(1) 一般選抜

入学後に必要な基礎学力を有する生徒を選抜するために、個別学力検査と調査書によって多面的・総合的に評価します。後期日程では、個別学力検査で合否ラインの得点帯の受験生について、調査書に記載される主体性に関する情報を評価して、個別学力検査の得点に加点したうえで合否判定します。

一般選抜では、学力の3要素のうち、知識・技能、思考力・判断力・表現力に重点を置いて評価・判定します。

(2) 共通テスト利用選抜

入学後に必要な基礎学力を有する生徒を選抜するために、大学入学共通テストの成績と調査書によって多面的・総合的に評価します。

共通テスト利用選抜では、学力の3要素のうち、知識・技能、思考力・判断力・

表現力に重点を置いて評価・判定します。

(3) 総合型選抜

講義理解力試験で経済情報学を学ぶ際に必要な「思考力・判断力・表現力」を評価します。また、面接・出願書類に基づいて、経済情報学科入学を強く希望しているか、学修のみならず万事に真摯かつ熱心であるかなど、「主体性等」を評価します。

総合型選抜では、学力の3要素のうち、思考力・判断力・表現力及び主体性等に重点を置き、調査書に基づく知識・技能の評価を加味して多面的・総合的に評価・判定します。

(4) 学校推薦型選抜(公募)

経済情報学科入学を強く希望し学校長が推薦する学修意欲の高い生徒を、一定の学習成績の状況を条件に、英語方式・小論文方式・指定資格方式・英語資格方式で選抜します。英語方式・小論文方式では個別学力検査で知識・技能、思考力・判断力・表現力を評価し、面接・出願書類で主体性等を評価し、調査書も加味して多面的・総合的に評価・判定します。指定資格方式・英語資格方式では面接・出願書類で知識・技能、主体性等を評価し、調査書で思考力・判断力・表現力を確認して多面的・総合的に評価・判定します。

(5) 学校推薦型選抜(指定校)

修学実績をともなう高校等を対象に、経済情報学科入学を強く希望し学校長が推薦する生徒を、一定の学習成績の状況を条件に選抜します。志望理由書等に基づいて経済情報学科入学を強く希望しているか等を評価し、面接で特に主体性等を評価します。

学校推薦型選抜(指定校)では、学力の3要素のうち、主体性等に重点を置き、調査書に基づく知識・技能及び思考力・判断力・表現力の評価を加味して多面的・総合的に評価・判定します。

(6) 学校推薦型選抜(附属校)

【専願】

附属高校を対象に、経済情報学科入学を強く希望し学校長が推薦する生徒を、一定の学習成績の状況を条件に選抜します。志望理由書等に基づいて経済情報学科入学を強く希望しているか等を評価し、面接で特に主体性等を評価します。

学校推薦型選抜(附属校・専願)では、学力の3要素のうち、主体性等に重点を置き、調査書に基づく知識・技能及び思考力・判断力・表現力の評価を加味して多面的・総合的に評価・判定します。

【併願】

附属高校を対象に、経済情報学科入学を希望し学校長が推薦する生徒を、一定の学習成績の状況を条件に選抜します。志望理由書等に基づいて経済情報学科で学修することの意義を理解し学習意欲があるか等を評価し、面接で特に主体性等を評価します。

学校推薦型選抜(附属校・併願)では、学力の3要素のうち、主体性等に重点を置き、調査書に基づく知識・技能及び思考力・判断力・表現力の評価を加味して多面的・総合的に評価・判定します。

3. 経済情報学科の教育を通じて養う能力

経済情報学科の入学者には、カリキュラム・ポリシーに基づく教育課程を通じ、ディプロマ・ポリシーに定めるところの知識・技能、思考力・判断力・表現力、多様な人々と協創する姿勢を涵養し、「経済社会の発展に貢献しうる情報処理能力及び論理的思考力を有する人材」として養成します。

(7) 帰国生選抜

帰国生選抜は、総合型選抜と同じ方式で評価・判定します。

(8) 外国人留学生選抜

小論文によって知識・技能及び思考力・判断力・表現力を評価し、日本留学試験の成績によって日本語運用能力を評価します。さらに面接と出願書類によって、主体性等も加味して多面的・総合的に評価・判定します。

(9) 編入学試験・学士入学試験

個別学力検査によって、主に第3学年次に修学するために必要な知識・技能及び思考力・判断力・表現力を評価します。さらに面接と出願書類によって、主体性等も加味して多面的・総合的に評価・判定します。

(別表) 現代経済学科・経済情報学科共通 各入試制度における学力の3要素の評価比重と評価方法 (◎は重点評価項目)

区分	入試制度	知識・技能		思考力・判断力・表現力		主体性等	
		比重	評価方法	比重	評価方法	比重	評価方法
一般選抜	一般選抜(前期日程)	◎	・個別学力検査 ・共通テストの成績 (共通テストプラス方式のみ) ・英語資格・検定 (共通テストプラス方式のみ) ・調査書	◎	・個別学力検査 ・共通テストの成績 (共通テストプラス方式のみ)		
	一般選抜(後期日程)	◎	・個別学力検査 ・調査書	◎	・個別学力検査	○	・調査書
	共通テスト利用選抜 (前期日程・後期日程)	◎	・共通テストの成績 ・英語資格・検定 ・調査書	◎	・共通テストの成績		
総合型選抜	総合型選抜	○	・講義理解力試験 ・調査書	◎	・講義理解力試験 ・面接 ・志望理由書 ・活動報告書	◎	・面接 ・志望理由書 ・活動報告書
学校推薦型選抜	学校推薦型選抜(公募) (英語方式)	◎	・英語 ・面接 ・推薦書 ・調査書 ・志望理由書	◎	・英語 ・面接 ・推薦書 ・志望理由書	◎	・面接 ・推薦書 ・志望理由書
	学校推薦型選抜(公募) (小論文方式)	◎	・小論文 ・面接 ・推薦書 ・調査書 ・志望理由書	◎	・小論文 ・面接 ・推薦書 ・志望理由書	◎	・面接 ・推薦書 ・志望理由書
	学校推薦型選抜(公募) (指定資格方式)	◎	・面接 ・推薦書 ・調査書 ・資格・検定等申請書	○	・面接 ・推薦書 ・志望理由書	◎	・面接 ・推薦書 ・志望理由書
	学校推薦型選抜(公募) (英語資格方式)	◎	・面接 ・推薦書 ・調査書 ・資格・検定等申請書	○	・面接 ・推薦書 ・志望理由書	◎	・面接 ・推薦書 ・志望理由書
	学校推薦型選抜(指定校)	○	・面接 ・推薦書 ・調査書	○	・面接 ・推薦書 ・志望理由書	◎	・面接 ・推薦書 ・調査書 ・志望理由書
	学校推薦型選抜(附属校)	○	・面接 ・推薦書 ・調査書	○	・面接 ・推薦書 ・志望理由書	◎	・面接 ・推薦書 ・調査書 ・志望理由書



1. 求める学生像

人間環境学科は、学士課程教育を受けるのに必要な基礎学力を備えた人を、様々な入学試験制度により選抜し、受け入れます。具体的には、環境問題に広く関心を持ち、その解決に向けて主体的に学習・行動し、持続可能な社会の構築に資する意欲を持つ人材を広く国内外から受け入れます。人間環境学科が求める学生像は、次の「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「主体性等」を有する人です。

(1) 知識・技能

- ・高等学校で学習する教科についての基礎的な知識を身につけている人
- ・高等学校等で学習する環境問題についての基礎的な知識を身につけている人
- ・基礎的な知識を伝達するために、外国語を含む基本的な言語運用能力を身につけている人

(2) 思考力・判断力・表現力

- ・環境問題についての基礎的な知識に基づいて、理論的・体系的に考えることができる人
- ・環境問題についての基礎的な知識に基づいて、問題解決に必要な情報を選択し、解決の方向性について自分の考えを持つことができる人
- ・外国語を含む基本的な言語運用能力を用いて、自分の考えを論理的にわかりやすく表現することができる人

(3) 主体性等

- ・地域社会から地球全体に至る様々な環境問題を自分自身の問題としてとらえ、問題解決のために学ぶ意欲・関心・態度を持つ人
- ・持続可能な社会を構築するために、様々な活動に積極的に参加する意欲を持つ人
- ・持続可能な社会を構築するために、多様な人々と対話し協働して活動することができる人

【入学前に学習しておくことを期待する内容】

- ・環境問題に関連する文系・理系の枠組みを超えた専門分野を学ぶために、高等学校で学習する幅広い教科の教科書レベルの知識を身につけておくこと
- ・書籍や新聞等を読んで、環境問題をはじめとする国内外の問題について幅広い知識を身につける努力をしておくこと
- ・国内外の環境問題について普段から関心を持ち、自分の考えを表現できるようになっておくこと

2. 入学試験制度と評価

人間環境学科は、以下の入学試験制度ごとに、「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「主体性等」を多面的・総合的に評価します。それぞれの入学試験制度における評価の比重と評価方法については、別表をご覧ください。

(1) 一般選抜

入学後に必要な基礎学力を有する生徒を選抜するために、個別学力検査と調査書によって多面的・総合的に評価します。後期日程では、個別学力検査で合否ラインの得点帯の受験生について、調査書に記載される主体性に関する情報を得点化して、個別学力検査の得点に加点したうえで合否判定します。一般選抜では、学力の3要素のうち、知識・技能、思考力・判断力・表現力に重点を置いて評価・判定します。

(2) 共通テスト利用選抜

入学後に必要な基礎学力を有する生徒を選抜するために、大学入学共通テストの成績と調査書によって多面的・総合的に評価します。共通テスト利用選抜では、学力の3要素のうち、知識・技能、思考力・判断力・表現力に重点を置いて評価・判定します。

(3) 総合型選抜

本学への入学を強く希望し、高等学校等での正課・課外活動に積極的に取り組み、本学科で学ぶことの意義をしっかりと理解している人を選抜します。選抜の方式には、総合型選抜(レポート方式)、総合型選抜(プレゼンテーション方式)、総合型選抜(活動実績方式)があります。

総合型選抜(レポート方式)では、入学後に必要な基礎学力を有する生徒を選抜するために、テーマに関するレポート、レポートに関する質疑応答審査、テーマに関連する知識を問う筆記試験、志望理由書、調査書(高等学校での学習成績の状況を満たす必要があります)によって多面的・総合的に評価します。総合型選抜(レポート方式)では、学力の3要素のうち、知識・技能、思考力・判断力・表現力に重点を置いて評価・判定します。

総合型選抜(プレゼンテーション方式)では、入学後に必要な基礎学力を有する生徒を選抜するために、テーマに関するプレゼンテーション審査、テーマに関連する知識を問う筆記試験、志望理由書、調査書(高等学校での学習成績の状況を満たす必要があります)によって多面的・総合的に評価します。総合型選抜(プレゼンテーション方式)では、学力の3要素のうち、思考力・判断力・表現力、主体性等に重点を置いて評価・判定します。

総合型選抜(活動実績方式)では、入学後に必要な基礎学力を有する生徒を選抜するために、高等学校等での活動実績、小論文、面接、志望理由書、調査書(高等学校での学習成績の状況を満たす必要があります)によって多面的・総合的に評価します。総合型選抜(活動実績方式)では、学力の3要素全てを同等の比重で評価・判定します。

(4) 学校推薦型選抜(公募)

【専願】

本学への入学を強く希望し、学校長から推薦され、本学科で学ぶことの意義をしっかりと理解している人を選抜します。選抜の方式には、学校推薦型選抜(公募)(英語方式・専願)があります。

学校推薦型選抜(公募)(英語方式・専願)では、入学後に必要な基礎学力を有する生徒を選抜するために、英語の個別学力検査、面接、志望理由書、推薦書、調査書(高等学校での学習成績の状況を満たす必要があります)によって多面的・総合的に評価します。学校推薦型選抜(公募)(英語方式・専願)では、学力の3要素のうち、知識・技能、思考力・判断力・表現力に重点を置いて評価・判定します。

【併願】

本学での学修に意欲を持ち、学校長から推薦され、本学科で学ぶことの意義をしっかりと理解している人を選抜します。選抜の方式には、学校推薦型選抜(公募)(英語資格方式・併願)、学校推薦型選抜(公募)(数学資格方式・併願)があります。

学校推薦型選抜(公募)(英語資格方式・併願)では、入学後に必要な基礎学力を有する生徒を選抜するために、英語の資格・検定、面接、志望理由書、推薦書、調査書(高等学校での学習成績の状況を満たす必要があります)によって多面的・総合的に評価します。学校推薦型選抜(公募)(英語資格方式・併願)では、学力の3要素のうち、知識・技能に重点を置いて評価・判定します。

学校推薦型選抜(公募)(数学資格方式・併願)では、入学後に必要な基礎学力を有する生徒を選抜するために、数学の資格・検定、面接、志望理由書、推薦書、調査書(高等学校での学習成績の状況を満たす必要があります)によって多面的・総合的に評価します。学校推薦型選抜(公募)(数学資格方式・併願)では、学力の3要素のうち、知識・技能に重点を置いて評価・判定します。

(5) 学校推薦型選抜(指定校)

本学への入学を強く希望し、学校長から推薦され、高等学校等での正課・課外活動に積極的に取り組み、本学科で学ぶことの意義をしっかりと理解している人を選抜します。入学後に必要な基礎学力を有する生徒を選抜するために、面接、志望理由書、推薦書、調査書(高等学校での学習成績の状況を満たす必要があります)によって多面的・総合的に評価します。学校推薦型選抜(指定校)では、学力の3要素全てを同等の比重で評価・判定します。

(6) 学校推薦型選抜(附属校)

【専願】

本学への入学を強く希望し、附属校の学校長から推薦され、高等学校等での正課・課外活動に積極的に取り組み、本学科で学ぶことの意義をしっかりと理解している人を選抜します。入学後に必要な基礎学力を有する生徒を選抜するために、面接、志望理由書、推薦書、調査書(高等学校での学習成績の状況を満たす必要があります)によって多面的・総合的に評価します。学校推薦型選抜(附属校・専願)では、学力の3要素全てを同等の比重で評価・判定します。

【併願】

本学での学修に意欲を持ち、附属校の学校長から推薦され、高等学校等での正課・課外活動に積極的に取り組み、本学科で学ぶことの意義をしっかりと理解している人を選抜します。入学後に必要な基礎学力を有する生徒を選抜するために、面接、志望理由書、推薦書、調査書(高等学校での学習成績の状況を満たす必要があります)によって多面的・総合的に評価します。学校推薦型選抜(附属校・併願)では、学力の3要素全てを同等の比重で評価・判定します。

(7) 社会人選抜

入学後に必要な基礎学力を有する者を選抜するために、小論文、面接、志望理由書、調査書、その他の出願書類によって多面的・総合的に評価します。社会人選抜では、学力の3要素全てを同等の比重で評価・判定します。

(8) 帰国生選抜

入学後に必要な基礎学力を有する者を選抜するために、総合型選抜と同じ方式で多面的・総合的に評価・判定します。ただし、総合型選抜における調査書の代わりとなる出願書類の提出を求めます。

(9) 外国人留学生選抜

入学後に必要な基礎学力を有する者を選抜するために、小論文、日本留学試験(日本語)の成績、面接、志望理由書、その他の出願書類によって多面的・総合的に評価します。外国人留学生選抜では、学力の3要素全てを同等の比重で評価・判定します。

(10) 編入学試験・学士入学試験

第3学年次に修学するために必要な学力を有する者を選抜するために、英語の個別学力検査、小論文、面接、志望理由書、その他の出願書類によって多面的・総合的に評価します。編入学試験・学士入学試験では、学力の3要素のうち、知識・技能、思考力・判断力・表現力に重点を置いて評価・判定します。

3. 人間環境学科の教育を通じて養う能力

社会・文化・経済・政治・法律・自然等、多様な領域に関連させながら、環境問題を総合的に把握・分析するための知識と理解力を身につけ、環境問題を解決するための思考力や判断力を獲得します。そのうえで、多様な人々と協働・協創し、その実現に向けて主体的に行動する能力を身につけます。

(別表) 人間環境学科 各入試制度における学力の3要素の評価比重と評価方法 (◎は重点評価項目)

区分	入試制度	知識・技能		思考力・判断力・表現力		主体性等	
		比重	評価方法	比重	評価方法	比重	評価方法
一般選抜	一般選抜(前期日程)	◎	・個別学力検査 ・共通テストの成績 (共通テストプラス方式のみ) ・英語資格・検定 (共通テストプラス方式のみ) ・調査書	◎	・個別学力検査 ・共通テストの成績 (共通テストプラス方式のみ)		
	一般選抜(後期日程)	◎	・個別学力検査 ・調査書	◎	・個別学力検査	○	・調査書
	共通テスト利用選抜 (前期日程・後期日程)	◎	・共通テストの成績 ・英語資格・検定 ・調査書	◎	・共通テストの成績		
総合型選抜	総合型選抜 (レポート方式)	◎	・レポートのテーマに関する筆記試験 ・レポートに関する質疑応答審査 ・調査書 ・レポート	◎	・レポートのテーマに関する筆記試験 ・レポートに関する質疑応答審査 ・志望理由書 ・レポート	○	・レポートに関する質疑応答審査 ・調査書 ・志望理由書
	総合型選抜 (プレゼンテーション方式)	○	・プレゼンテーションのテーマに関する筆記試験 ・プレゼンテーション審査 ・調査書 ・プレゼンテーション資料	◎	・プレゼンテーションのテーマに関する筆記試験 ・プレゼンテーション審査 ・志望理由書 ・プレゼンテーション資料	◎	・プレゼンテーション審査 ・調査書 ・志望理由書
	総合型選抜 (活動実績方式)	○	・小論文 ・面接 ・調査書 ・活動実績	○	・小論文 ・面接 ・活動実績 ・志望理由書	○	・小論文 ・面接 ・調査書 ・活動実績 ・志望理由書
学校推薦型選抜	学校推薦型選抜(公募) (英語方式・専願)	◎	・英語 ・面接 ・推薦書 ・調査書	◎	・英語 ・面接 ・推薦書 ・志望理由書	○	・面接 ・推薦書 ・調査書 ・志望理由書
	学校推薦型選抜(公募) (英語資格方式・併願)	◎	・推薦書 ・調査書 ・英語資格・検定	○	・面接 ・推薦書 ・志望理由書	○	・面接 ・推薦書 ・調査書 ・志望理由書
	学校推薦型選抜(公募) (数学資格方式・併願)	◎	・推薦書 ・調査書 ・数学資格・検定	○	・面接 ・推薦書 ・志望理由書	○	・面接 ・推薦書 ・調査書 ・志望理由書
	学校推薦型選抜(指定校)	○	・面接 ・推薦書 ・調査書	○	・面接 ・推薦書 ・志望理由書	○	・面接 ・推薦書 ・調査書 ・志望理由書
	学校推薦型選抜(附属校)	○	・面接 ・推薦書 ・調査書	○	・面接 ・推薦書 ・志望理由書	○	・面接 ・推薦書 ・調査書 ・志望理由書



1. 求める学生像

健康科学部では、学力の3要素(知識・技能・思考力・判断力・表現力、主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度)に加え、人間の「こころ」と「からだ」の仕組みと働きに関して、絶えざる興味を持った人を求めます。すなわち、学士課程教育を受けるために必要な基礎知識・技能とともに、入学後の学修において必要な、思考の柔軟性、創造力、主体性を持った問題発見能力・問題解決能力、及び倫理性を持ち、多様な価値観を持つ他者と協働・協創して真摯に学ぶことができる人を求めます。

2. 入学試験制度と評価

健康科学部は、上記の基礎能力や資質を確かめるために、入学試験制度ごとに「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を多面的・総合的に評価します。評価の比重及び評価方法は、各学科のアドミッション・ポリシーで明示します。

3. 健康科学部の教育を通じて養う能力

健康科学部では、人間の「こころ」と「からだ」の心理学的・生理学的・生物学的な仕組みと働きについて科学的に探究し、健康の回復・保持・増進に向けて問題の解決に当たることのできる能力を身につけます。



1. 求める学生像

心理学科では、学士課程教育を受けるために必要な基礎知識及び技能を備え、入学後の学修において必要な柔軟な思考力、創造力、主体性を持った問題発見能力・問題解決能力、及び倫理性を持ち、多様な価値観を持つ他者と協働して「こころの健康」に強い関心と探究心を持って学ぶことができる人を求めます。心理学科が求める学生像は、次の「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「主体性等」を有する人です。

(1) 知識・技能

高等学校における主要教科に関する基礎的な知識・技能を有する人。すなわち、日本語や英語で書かれた文献を読解し、論述や口頭でのコミュニケーションを行うための基礎的な国語力や英語力、社会の動向に関心を持ち、図表や資料を読み取ったり、図表を用いて表現したりするための数学や理科、社会に関する基礎的な知識・技能を有する人。

(2) 思考力・判断力・表現力

「こころの健康」に強い関心を持ち、地域や社会における日常の身近な問題に気づく観察力、その問題を解決するために文献を読解し、それをもとに考察し、自らの結論を導く思考力・判断力、その結論を論理的な文章や口頭発表によって説得的に示す表現力、及びこの問題解決プロセスに主体性を持って取り組む態度を有する人。

(3) 主体性等

自らの考えや意見を明確に表現するとともに、多様な価値観を持つ他者の考えや意見も尊重し、互いに理解し合う共感的な人間関係を築きながら、積極的に他者と協働する力を有する人。

【入学前に学習しておくことを期待する内容】

大学での学習には幅広い分野の基礎知識が必要です。したがって入学を希望する人は、高等学校における教科・科目の教科書レベルの基本的な知識を幅広く習得していることが大切です。

特に、大学での授業や演習で文献を読んだり、レポートを書いたり、自分の意見を発表するために、国語の基礎学力が必要です。また、自分の興味関心を広げるために、様々な本や記事を読むこともおすすめです。

2. 入学試験制度と評価

心理学科は、以下の入学試験制度ごとに、「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「主体性等」を多面的・総合的に評価します。それぞれの入学試験制度における評価の比重と評価方法については、別表をご覧ください。

(1) 一般選抜

入学後に必要な基礎学力を有する生徒を選抜するために、個別学力検査と調

査書によって多面的・総合的に評価します。後期日程では、個別学力検査で合否ラインの得点帯の受験生について、調査書に記載される主体性に関する情報を評価して、個別学力検査の得点に加点したうえで合否判定します。

一般選抜では、学力の3要素のうち、知識・技能、思考力・判断力・表現力に重点を置いて評価・判定します。

(2) 共通テスト利用選抜

入学後に必要な基礎学力を有する生徒を選抜するために、大学入学共通テストの成績と調査書によって多面的・総合的に評価します。

共通テスト利用選抜では、学力の3要素のうち、知識・技能、思考力・判断力・表現力に重点を置いて評価・判定します。

(3) 総合型選抜

志望理由書に基づいて心理学科で学修することの意義について強い関心を持って入学を希望していることを確認します。そのうえで、集団活動試験及び集団討論に基づいて、問題解決のための柔軟な思考力・情報収集力、問題解決の成果を分析する能力と判断力、分析結果を論理的な文章と適切な図表とによって説得的に示す表現力、及びこの問題解決プロセスに主体性を持って他者とともに取り組む協働力を評価します。

総合型選抜では、学力の3要素のうち、思考力・判断力・表現力、主体性等に重点を置き、調査書に基づく知識・技能の評価を加味して多面的・総合的に評価・判定します。

(4) 学校推薦型選抜(公募)

志望理由書に基づいて心理学科で学修することの意義について強い関心を持って入学を希望していることを確認します。そのうえで、小論文形式による個別学力検査に基づいて、知識・技能、身の周りの日常的な問題に気づく観察力や思考力、問題解決の成果を分析する能力と判断力、及び分析結果を論理的な文章によって説得的に示す表現力を評価します。さらに、集団面接、志望理由書、及び推薦書等によって、高等学校等での正課・課外活動への主体性を持った取り組み、及び多様な価値観を持つ他者に対する包容力と協働力を評価します。

学校推薦型選抜(公募)では、学力の3要素のうち、知識・技能、思考力・判断力・表現力に重点を置き、推薦書等に基づく主体性等の評価を加味して多面的・総合的に評価・判定します。

(5) 学校推薦型選抜(指定校)

志望理由書に基づいて心理学科で学修することの意義について強い関心を持って入学を希望していることを確認したうえで、面接に基づいて主体性、多様な価値観に対する包容力、及び協働力を評価します。

学校推薦型選抜(指定校)では、学力の3要素全てを同じ比重で評価し、調査書、推薦書の評価を加味して多面的・総合的に評価・判定します。

(6) 学校推薦型選抜(附属校)

【専願】

志望理由書に基づいて心理学科で学修することの意義について強い関心を持って入学を希望していることを確認したうえで、面接に基づいて主体性、多様な価値観に対する包容力、及び協働力を評価します。面接の結果に重点を置き、志望理由書と推薦書に基づく知識及び思考力等の評価を加味して多面的・総合的に評価します。

学校推薦型選抜(附属校・専願)では、学力の3要素全てを同等の比重で評価し、調査書、推薦書の評価を加味して多面的・総合的に評価・判定します。

【併願】

志望理由書に基づいて心理学科で学修することの意義を理解し、学習意欲があることを確認したうえで、面接に基づいて主体性、多様な価値観に対する包容力、及び協働力を評価します。面接の結果に重点を置き、志望理由書と推薦書に基づく知識及び思考力等の評価を加味して多面的・総合的に評価します。

学校推薦型選抜(附属校・併願)では、学力の3要素全てを同等の比重で評価し、調査書、推薦書の評価を加味して多面的・総合的に評価・判定します。

(7) 帰国生選抜

帰国生選抜は、総合型選抜と同じ方式で評価・判定します。

(8) 外国人留学生選抜

日本留学試験の成績によって日本語運用能力を評価します。さらに、志望理由書に基づいて心理学科で学修することの意義について強い関心を持って入学を希望していることを確認したうえで、面接によって知識・技能、思考力・判断力・表現力、主体性、協働力、及び日本語でのコミュニケーション能力等を評価したうえで、日本留学試験の成績と面接結果を同等の比重で評価・判定します。

(9) 編入学試験・学士入学試験

英語、小論文、面接の試験科目を課して、第3年次に入学するために必要な知識・技能、思考力・判断力・表現力、主体性等を有しているかを多面的・総合的に評価します。(2024年度は実施しません。)

3. 心理学科の教育を通じて養う能力

心理学科では、人間の「こころ」の心理学的・生理学的な仕組みと働きについて科学的に探究し、「こころの健康」の回復・保持・増進に向けて、他者と協働・協創して、問題の解決に当たることのできる能力を身につけます。

(別表) 心理学科 各入試制度における学力の3要素の評価比重と評価方法 (◎は重点評価項目)

区分	入試制度	知識・技能		思考力・判断力・表現力		主体性等	
		比重	評価方法	比重	評価方法	比重	評価方法
一般選抜	一般選抜(前期日程)	◎	・個別学力検査 ・共通テストの成績 (共通テストプラス方式のみ) ・英語資格・検定 (共通テストプラス方式のみ) ・調査書	◎	・個別学力検査 ・共通テストの成績 (共通テストプラス方式のみ)		
	一般選抜(後期日程)	◎	・個別学力検査 ・調査書	◎	・個別学力検査	○	・調査書
	共通テスト利用選抜 (前期日程・後期日程)	◎	・共通テストの成績 ・英語資格・検定 ・調査書	◎	・共通テストの成績		
総合型選抜	総合型選抜	○	・課題図書に関する筆記試験 ・集団活動試験 ・集団討論 ・調査書	◎	・課題図書に関する筆記試験 ・集団活動試験 ・集団討論 ・調査書	◎	・集団活動試験 ・集団討論 ・志望理由書
学校推薦型選抜	学校推薦型選抜(公募)	◎	・小論文 ・面接 ・推薦書 ・調査書 ・志望理由書	◎	・小論文 ・面接 ・推薦書 ・志望理由書	○	・面接 ・推薦書 ・志望理由書
	学校推薦型選抜(指定校)	○	・面接 ・推薦書 ・調査書 ・志望理由書	○	・面接 ・推薦書 ・志望理由書	○	・面接 ・推薦書 ・調査書 ・志望理由書
	学校推薦型選抜(附属校)	○	・面接 ・推薦書 ・調査書 ・志望理由書	○	・面接 ・推薦書 ・志望理由書	○	・面接 ・推薦書 ・調査書 ・志望理由書



1. 求める学生像

健康栄養学科では、学士課程教育を受けるために必要な基礎知識及び技能を備え、入学後の学修において必要な柔軟な思考力、創造力、主体性を持った問題発見能力・問題解決能力、及び倫理性を持ち、多様な価値観を持つ他者と協働して「人の健康と栄養」に強い関心と探究心を持って学ぶことができる人を求めます。健康栄養学科が求める学生像は、次の「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「主体性等」を有する人です。

(1) 知識・技能

高等学校における主要教科に関する基本的な知識・技能を有する人。すなわち、日本語や英語で書かれた文献を読解し、論述や口頭でのコミュニケーションを行うための基礎的な国語力や英語力、社会の動向に関心を持ち、図表や資料を読み取ったり、図表を用いて表現したりするための数学や理科、社会に関する基礎的な知識・技能を有する人。

(2) 思考力・判断力・表現力

「人の健康と栄養」に強い関心を持ち、地域や社会における日常の身近な問題に気づく観察力、その問題を解決するために文献を読解し、それをもとに考察し、自らの結論を導く思考力・判断力、その結論を論理的な文章や口頭発表によって説得的に示す表現力、及びこの問題解決プロセスに主体性を持って他者と協働できる態度を有する人。

(3) 主体性等

自らの考えや意見を明確に表現するとともに、多様な価値観を持つ他者の考えや意見も尊重し、互いに理解し合う共感的な人間関係を築きながら、積極的に他者と協働する力を有する人。

【入学前に学習しておくことを期待する内容】

大学での学習には幅広い分野の基礎知識が必要です。したがって入学を希望する人は、高等学校における教科・科目の教科書レベルの基本的な知識を幅広く習得していることが大切です。

特に、大学での授業や演習で文献を読んだり、レポートを書いたり、自分の意見を発表するために、国語の基礎学力が必要です。また、自分の興味関心を広げるために、様々な本や記事を読むこともおすすめです。

2. 入学試験制度と評価

健康栄養学科は、以下の入学試験制度ごとに、「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「主体性等」を多面的・総合的に評価します。それぞれの入学試験制度における評価の比重と評価方法については、別表をご覧ください。

(1) 一般選抜

入学後に必要な基礎学力を有する生徒を選抜するために、個別学力検査と調査書によって多面的・総合的に評価します。後期日程では、個別学力検査で合否ラインの得点帯の受験生について、調査書に記載される主体性に関する情報を評価して、個別学力検査の得点に加点したうえで合否判定します。

一般選抜では、学力の3要素のうち、知識・技能、思考力・判断力・表現力に重点を置いて評価・判定します。

(2) 共通テスト利用選抜

入学後に必要な基礎学力を有する生徒を選抜するために、大学入学共通テストの成績と調査書によって多面的・総合的に評価します。

共通テスト利用選抜では、学力の3要素のうち、知識・技能、思考力・判断力・表現力に重点を置いて評価・判定します。

(3) 総合型選抜

志望理由書に基づいて健康栄養学科で学修することの意義を理解し、強く

入学を希望していることを確認します。そのうえで、課題に関するレポート、課題レポートをもとにしたプレゼンテーションの内容(質疑応答の状況を含む)で審査を行います。その審査結果及び調査書に基づき、多面的・総合的に評価します。

総合型選抜では、学力の3要素のうち、思考力・判断力・表現力、主体性等に重点を置き、調査書に基づく知識・技能の評価を加味して多面的・総合的に評価・判定します。

(4) 学校推薦型選抜(公募)

志望理由書に基づいて健康栄養学科で学修することの意義を理解し、強く入学を希望していることを確認します。そのうえで、小論文形式による個別学力検査に基づいて、知識・技能、身の周りの日常的問題に気づく観察力や思考力、問題解決の成果を分析する能力と判断力、及び分析結果を論理的な文章によって説得的に示す表現力を評価します。さらに、集団面接、志望理由書、及び推薦書等によって、高等学校等での正課・課外活動への主体性を持った取り組み、及び多様な価値観を持つ他者に対する包容力と他者との協働性等を評価します。

学校推薦型選抜(公募)では、学力の3要素のうち、知識・技能、思考力・判断力・表現力に重点を置き、推薦書等に基づく主体性等の評価を加味して多面的・総合的に評価・判定します。

(5) 学校推薦型選抜(指定校)

志望理由書に基づいて健康栄養学科で学修することの意義を理解し、「人の健康と栄養」に関して強い関心を持ち、入学を希望していることを確認したうえで面接に基づいて主体性、多様な価値観に対する包容力、及び他者との協働性を評価します。

学校推薦型選抜(指定校)では、学力の3要素全てを同じ比重で評価し、調査書、推薦書の評価を加味して多面的・総合的に評価・判定します。

(6) 学校推薦型選抜(附属校)

【専願】

志望理由書に基づいて健康栄養学科で学修することの意義を理解し、「人の健康と栄養」に関して大いに関心を持ち、強く入学を希望していることを確認したうえで、面接に基づいて主体性、多様な価値観に対する包容力、及び他者との協働性を評価します。面接の結果に重点を置き、志望理由書と推薦書に基づく知識及び思考力等の評価を加味して多面的・総合的に評価します。

学校推薦型選抜(附属校・専願)では、学力の3要素全てを同等の比重で評価し、調査書、推薦書の評価を加味して多面的・総合的に評価・判定します。

【併願】

志望理由書に基づいて健康栄養学科で学修することの意義を理解し、「人の健康と栄養」に関して大いに関心を持ち、学習意欲があることを確認したうえで、面接に基づいて主体性、多様な価値観に対する包容力、及び他者との協働性を評価します。面接の結果に重点を置き、志望理由書と推薦書に基づく知識及び思考力等の評価を加味して多面的・総合的に評価します。

学校推薦型選抜(附属校・併願)では、学力の3要素全てを同等の比重で評価し、調査書、推薦書の評価を加味して多面的・総合的に評価・判定します。

(7) 帰国生選抜

帰国生選抜は、総合型選抜と同じ方式で評価・判定します。

(8) 外国人留学生選抜

日本留学試験の成績によって日本語運用能力を評価します。さらに、志望理由書に基づいて健康栄養学科で学修することの意義について強い関心を持って入学を希望していることを確認し、面接によって知識・技能、思考力・判断力・表現力、主体性、協働性、及び日本語でのコミュニケーション能力等を評価したうえで、日本留学試験の成績と面接結果を同等の比重で評価・判定します。

3.健康栄養学科の教育を通じて養う能力

健康栄養学科では、「人と食」の多面的な学びをベースに、主たるテーマである「人の健康と栄養」を科学的に探求し、栄養士・管理栄養士として「人の健康

の回復・保持・増進」に向けて、他者と協働・協創して、問題の解決に当たることができる能力を身につけます。

(別表)健康栄養学科 各入試制度における学力の3要素の評価比重と評価方法 (◎は重点評価項目)

区分	入試制度	知識・技能		思考力・判断力・表現力		主体性等	
		比重	評価方法	比重	評価方法	比重	評価方法
一般選抜	一般選抜(前期日程)	◎	・個別学力検査 ・共通テストの成績 (共通テストプラス方式のみ) ・英語資格・検定 (共通テストプラス方式のみ) ・調査書	◎	・個別学力検査 ・共通テストの成績 (共通テストプラス方式のみ)		
	一般選抜(後期日程)	◎	・個別学力検査 ・調査書	◎	・個別学力検査	○	・調査書
	共通テスト利用選抜 (前期日程・後期日程)	◎	・共通テストの成績 ・英語資格・検定 ・調査書	◎	・共通テストの成績		
総合型選抜	総合型選抜	○	・プレゼンテーション審査 ・調査書 ・課題レポート	◎	・プレゼンテーション審査 ・志望理由書 ・課題レポート	◎	・プレゼンテーション審査 ・志望理由書 ・課題レポート
学校推薦型選抜	学校推薦型選抜(公募)	◎	・小論文 ・面接 ・推薦書 ・調査書 ・志望理由書	◎	・小論文 ・面接 ・推薦書 ・志望理由書	○	・面接 ・推薦書 ・志望理由書
	学校推薦型選抜(指定校)	○	・面接 ・推薦書 ・調査書 ・志望理由書	○	・面接 ・推薦書 ・志望理由書	○	・面接 ・推薦書 ・調査書 ・志望理由書
	学校推薦型選抜(附属校)	○	・面接 ・推薦書 ・調査書 ・志望理由書	○	・面接 ・推薦書 ・志望理由書	○	・面接 ・推薦書 ・調査書 ・志望理由書

国際コミュニティ学部

THE FACULTY OF GLOBAL AND COMMUNITY STUDIES

1. 求める学生像

国際コミュニティ学部は、学士課程教育を受けるに必要な基礎学力と主体性を備えた人を、様々な入学試験制度により選抜し、受け入れます。具体的には、Think Globally, Act LocallyとThink Locally, Act Globallyの理念とともに重視し、社会における多様性とダイナミズムを理解できる思考力と知性を身につけ、自己の在り方生き方を考えながら、よりよく課題を発見し解決していくための資質・能力を備えていることを重視します。

国際コミュニティ学部が求める学生像は、次の「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「主体性等」を有する人です。

(1) 知識・技能

高等学校における社会・国語・英語の教科に関する知識・技能を有する人。すなわち、地域社会や国際社会における多様性やダイナミズムへの関心や疑問を持ち、「聞く」、「話す」、「読む」、「書く」の四技能に加え、伝達の内容に関して論理的に思考・判断・表現する際に基礎となる日本語能力及び国際的なコミュニケーションを行うための基礎となる英語の音声・語彙・文法の知識を有する人。

(2) 思考力・判断力・表現力

社会の持続的発展平和な生活の実現のために文献を読解し、それをもとに考察し自らの結論を導く思考力・判断力、その結論を論理的な文章や口頭発表によって社会に対する幅広い視野を持った意見を説得的に示す表現力を有する人。

(3) 主体性等

社会における相互理解と協力関係の形成に向けて多様な人々とコミュニケーションをとり、それら社会が抱える諸問題や課題の解決に向けて、さまざまな人々と協働して取り組もうとする人。

【入学前に学習しておくことを期待する内容】

大学での学習には幅広い分野の基礎知識が必要です。したがって入学を希望する人は、高等学校における教科・科目の教科書レベルの知識を幅広く習得していることが大切です。特に、社会については高等学校の学習を基本として、入学までに可能な限り社会を読み解く力の向上に努めてください。国語の基礎学力は、大学での授業や演習で文献を読んだり、レポートを書いたり、自分の意見を発表するために必要です。さらに、英語は国際社会を理解し世界の人々とつながるために必要です。

2. 入学試験制度と評価

国際コミュニティ学部で学ぶために必要な「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「主体性等」を多面的・総合的に評価するために、各学科で多様な入学試験を実施し、選抜します。

3. 国際コミュニティ学部の教育を通じて養う能力

国際コミュニティ学部の教育目標を実現するために必要な知識と技能を習得し、課題発見・課題解決に取り組み、その成果を表現するために必要な思考力・判断力・表現力を持ち、多様な人々と協働する能力を養います。

1. 求める学生像

国際政治学科は、学士課程教育を受けるに必要な基礎学力と主体性を備えた人を、様々な入学試験制度により選抜し、受け入れます。具体的には、Think Globally, Act LocallyとThink Locally, Act Globallyの理念とともに重視し、コミュニティ間のグローバルなつながりから社会をとらえる視点を有し、社会が直面する様々な問題を理解し、課題の解決へ積極的に関与するとともに、英語によるコミュニケーション力により広島と世界との架け橋となるとうとする志向を備えていることを重視します。

国際政治学科が求める学生像は、次の「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「主体性等」を有する人です。

(1) 知識・技能

高等学校における社会・国語・英語の教科に関する知識・技能を有する人。すなわち、コミュニティ間のグローバルなつながりから社会をとらえる視点と国際的な政治・文化・歴史・生活への知識、「聞く」、「話す」、「読む」、「書く」の四技能に加え、伝達の内容に関して論理的に思考・判断・表現する際に基礎となる日本語能力及び国際的なコミュニケーションを行うための基礎となる英語の知識を有する人。

(2) 思考力・判断力・表現力

社会との関連性を意識して社会に関わる出来事や問題に気づく観察力、その出来事・問題を理解するために文献を読み解き、それをもとに考察し自らの結論を導く思考力・判断力、その結論を論理的な文章や口頭発表によって社会に対する幅広い視野を持った意見を説得的に示す表現力を有する人。

(3) 主体性等

多様な価値観を持つ他者に対する包摂力を備え、主体性を持って社会において人々とつながりを生む人。同時に自らの意図を明確に表明し、さまざまな国の人々と相互協力して課題解決を目指し、意見する能力を有する人。

【入学前に学習しておくことを期待する内容】

大学での学習には幅広い分野の基礎知識が必要です。したがって入学を希望する人は、高等学校における教科・科目の教科書レベルの知識を幅広く習得していることが大切です。特に、社会については高等学校の学習を基本として、入学までに可能な限り社会を読み解く力の向上に努めてください。国語・英語の基礎学力は、大学での授業や演習で文献を読んだり、レポートを書いたり、自分の意見を発表するために必要です。また、自分の興味関心を広げるために、日本や世界の国々に関する様々な本を読むこと、多様な体験をしてみることを勧めます。

2. 入学試験制度と評価

国際政治学科は、以下の入学試験制度ごとに、「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「主体性等」を多面的・総合的に評価します。それぞれの入学試験制度における評価の比重と評価方法については、別表をご覧ください。

(1) 一般選抜

入学後に必要な基礎学力を有する生徒を選抜するために、個別学力検査と調査書によって多面的・総合的に評価します。後期日程では、個別学力検査で合否ラインの得点帯の受験生について、調査書に記載される主体性に関する情報を評価して、個別学力検査の得点に加点したうえで合否判定します。

一般選抜では、学力の3要素のうち、知識・技能、思考力・判断力・表現力に重点を置いて評価・判定します。

(2) 共通テスト利用選抜

入学後に必要な基礎学力を有する生徒を選抜するために、大学入学共通テストの成績と調査書によって多面的・総合的に評価します。

共通テスト利用選抜では、学力の3要素のうち、知識・技能、思考力・判断力・表現力に重点を置いて評価・判定します。

(3) 総合型選抜

志望理由書に基づいて国際政治学科で学修することの意義を理解し、強く入学を希望していることを確認したうえで、小論文試験等に基づいて基礎となる知識・技能及び思考力・判断力・表現力を評価します。さらに、面接等に基づいて、思考力・判断力・表現力及び主体性等を評価します。

総合型選抜では、学力の3要素のうち、思考力・判断力・表現力、主体性等に重点を置き、知識・技能の評価を加味して多面的・総合的に評価・判定します。

(4) 学校推薦型選抜(公募)

志望理由書に基づいて国際政治学科で学修することの意義を理解し、強く入学を希望していることを確認したうえで、面接等に基づいて主体性、社会の出来事や問題への関心の程度、社会的多様性に対する理解力を評価します。

学校推薦型選抜(公募)(英語方式)では、学力の3要素のうち、知識・技能、思考力・判断力・表現力に重点を置き、主体性等の評価を加味して多面的・総合的に評価・判定します。

学校推薦型選抜(公募)(課題探究方式)では、学力の3要素のうち、思考力・判断力・表現力及び主体性等に重点を置き、知識・技能の評価を加味して多面的・総合的に評価・判定します。

学校推薦型選抜(公募)(指定資格方式)では、学力の3要素のうち、知識・技能及び主体性等に重点を置き、思考力・判断力・表現力の評価を加味して多面的・総合的に評価・判定します。

(5) 学校推薦型選抜(指定校・前期)

志望理由書に基づいて国際政治学科で学修することの意義を理解し、強く入学を希望していることを確認したうえで、面接等に基づいて主体性、社会の出来事や問題への関心の程度、社会的多様性に対する理解力を評価します。

学校推薦型選抜(指定校・前期)では、学力の3要素全てを同じ比重で評価し、調査書、推薦書の評価を加味して多面的・総合的に評価・判定します。

(6) 学校推薦型選抜(指定校・後期)

志望理由書に基づいて国際政治学科で学修することの意義を理解し、強く入学を希望していることを確認します。日本留学試験の成績によって日本語運用能力を評価します。さらに、面接によって、知識・技能、思考力・判断力・表現力、主体性等、及び日本語でのコミュニケーション能力等を評価したうえで、志望理由書等出願書類と面接結果に基づいて多面的・総合的に評価・判定します。

(7) 学校推薦型選抜(附属校)

【専願】

志望理由書に基づいて国際政治学科で学修することの意義を理解し、強く入学を希望していることを確認したうえで、面接等に基づいて主体性、社会の出来事や問題への関心の程度、社会的多様性に対する理解力を評価します。

学校推薦型選抜(附属校・専願)では、学力の3要素全てを同じ比重で評価し、調査書、推薦書の評価を加味して多面的・総合的に評価・判定します。

【併願】

志望理由書に基づいて国際政治学科で学修することの意義を理解し、学習意欲があることを確認したうえで、面接等に基づいて主体性、社会の出来事や問題への関心の程度、社会的多様性に対する理解力を評価します。

学校推薦型選抜(附属校・併願)では、学力の3要素全てを同じ比重で評価し、調査書、推薦書の評価を加味して多面的・総合的に評価・判定します。

(8) 帰国生選抜

帰国生選抜は、総合型選抜と同じ方式で評価・判定します。

(9)外国人留学生選抜

志望理由書に基づいて国際政治学科で学修することの意義を理解し、強く入学を希望していることを確認します。

日本留学試験の成績によって日本語運用能力を評価します。さらに面接によって、知識・技能、思考力・判断力・表現力、主体性等、及び日本語でのコミュニケーション能力等を評価したうえで、小論文、日本留学試験の成績と面接結果に基づいて評価・判定します。

3.国際政治学科の教育を通じて養う能力

国際政治や世界の国々に関する知識を習得し、国際共通語である英語の力を伸ばし、社会における課題の発見及び解決を目指すことのできる能力、その成果を表現するために必要な思考力・判断力・表現力を持ち、多様な人々と協働する能力を養います。

国際コミュニティ学部

THE FACULTY OF GLOBAL AND COMMUNITY STUDIES

地域行政学科

1.求める学生像

地域行政学科は、学士課程教育を受けるに必要な基礎学力と主体性を備えた人を、様々な入学試験制度により選抜し、受け入れます。具体的には、Think Globally, Act LocallyとThink Locally, Act Globallyの理念をともに重視し、ローカルなコミュニティの有り様から社会をとらえる視点を有し、社会が直面する様々な問題を理解し、質的な豊かさを伴った個人と社会の成長につながる新たな価値を生み出すことで、持続可能な社会の担い手になるようとする志向を備えていることを重視します。

地域行政学科が求める学生像は、次の「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「主体性等」を有する人です。

(1)知識・技能

高等学校における社会・国語・英語の教科に関する知識・技能を有する人。すなわち、ローカルなコミュニティの有り様から社会をとらえる視点と政治・行政・生活への知識、「聞く」、「話す」、「読む」、「書く」の四技能に加え、伝達の内容に関して論理的に思考・判断・表現する際に基礎となる日本語能力及び国際的なコミュニケーションを行うための基礎となる英語の知識を有する人。

(2)思考力・判断力・表現力

社会との関連性を意識して社会に関わる出来事や問題に気づく観察力、その出来事・問題を解決するために文献を読解し、それをもとに考察し自らの結論を導く思考力・判断力、その結論を論理的な文章や口頭発表によって社会に対する幅広い視野を持った意見を説得的に示す表現力を有する人。

(3)主体性等

多様な価値観を持つ他者に対する包摂力を備え、主体性を持って社会において共感的な人間関係を創造する人。同時に自らの意図を明確に表明し、地域と協働して課題解決を目指し、相互理解を図り、社会の発展に貢献する能力を有する人。

【入学前に学習しておくことを期待する内容】

大学での学習には幅広い分野の基礎知識が必要です。したがって入学を希望する人は、高等学校における教科・科目の教科書レベルの知識を幅広く習得していることが大切です。特に、社会については高等学校の学習を基本として、入学までに可能な限り社会を読み解く力の向上に努めてください。国語の基礎学力は、大学での授業や演習で文献を読んだり、レポートを書いたり、自分の意見を発表するために必要です。また、自分の興味関心を広げるために、日本や世界の地域社会に関する様々な本を読むこと、多様な体験を試みることを勧めます。

2.入学試験制度と評価

地域行政学科は、以下の入学試験制度ごとに、「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「主体性等」を多面的・総合的に評価します。それぞれの入学試験制度における評価の比重と評価方法については、別表をご覧ください。

(1)一般選抜

入学後に必要な基礎学力を有する生徒を選抜するために、個別学力検査と調査書によって多面的・総合的に評価します。後期日程では、個別学力検査で合否ラインの得点帯の受験生について、調査書に記載される主体性に関する情報を評価して、個別学力検査の得点に加点したうえで合否判定します。

一般選抜では、学力の3要素のうち、知識・技能、思考力・判断力・表現力に重点を置いて評価・判定します。

(2)共通テスト利用選抜

入学後に必要な基礎学力を有する生徒を選抜するために、大学入学共通テストの成績と調査書によって多面的・総合的に評価します。

共通テスト利用選抜では、学力の3要素のうち、知識・技能、思考力・判断力・表現力に重点を置いて評価・判定します。

(3)総合型選抜

志望理由書に基づいて地域行政学科で学修することの意義を理解し、強く入学を希望していることを確認したうえで、小論文試験等に基づいて基礎となる知識・技能及び思考力・判断力・表現力を評価します。さらに、面接等に基づいて、思考力・判断力・表現力及び主体性等を評価します。

総合型選抜では、学力の3要素のうち、思考力・判断力・表現力、主体性等に重点を置き、知識・技能の評価を加味して多面的・総合的に評価・判定します。

(4)学校推薦型選抜(公募)

志望理由書に基づいて地域行政学科で学修することの意義を理解し、強く入学を希望していることを確認したうえで、面接等に基づいて主体性、社会の出来事や問題への関心の程度、社会的多様性に対する理解力を評価します。

学校推薦型選抜(公募)(英語方式)では、学力の3要素のうち、知識・技能、思考力・判断力・表現力に重点を置き、主体性等の評価を加味して多面的・総合的に評価・判定します。

学校推薦型選抜(公募)(課題探究方式)では、学力の3要素のうち、思考力・判断力・表現力及び主体性等に重点を置き、知識・技能の評価を加味して多面的・総合的に評価・判定します。

学校推薦型選抜(公募)(指定資格方式)では、学力の3要素のうち、知識・技能及び主体性等に重点を置き、思考力・判断力・表現力の評価を加味して多面的・総合的に評価・判定します。

(5) 学校推薦型選抜(指定校)

志望理由書に基づいて地域行政学科で学修することの意義を理解し、強く入学を希望していることを確認したうえで、面接等に基づいて主体性、社会の出来事や問題への関心の程度、社会的多様性に対する理解力を評価します。

学校推薦型選抜(指定校)では、学力の3要素全てを同じ比重で評価し、調査書、推薦書の評価を加味して多面的・総合的に評価・判定します。

(6) 学校推薦型選抜(附属校)

【専願】

志望理由書に基づいて地域行政学科で学修することの意義を理解し、強く入学を希望していることを確認したうえで、面接等に基づいて主体性、社会の出来事や問題への関心の程度、社会的多様性に対する理解力を評価します。

学校推薦型選抜(附属校・専願)では、学力の3要素全てを同じ比重で評価し、調査書、推薦書の評価を加味して多面的・総合的に評価・判定します。

【併願】

志望理由書に基づいて地域行政学科で学修することの意義を理解し、学習意欲があることを確認したうえで、面接等に基づいて主体性、社会の出来事や問題への関心の程度、社会的多様性に対する理解力を評価します。

学校推薦型選抜(附属校・併願)では、学力の3要素全てを同じ比重で評価し、調査書、推薦書の評価を加味して多面的・総合的に評価・判定します。

(7) 帰国生選抜

帰国生選抜は、総合型選抜と同じ方式で評価・判定します。

(8) 外国人留学生選抜

志望理由書に基づいて地域行政学科で学修することの意義を理解し、強く入学を希望していることを確認します。日本留学試験の成績によって日本語運用能力を評価します。さらに面接によって、知識・技能、思考力・判断力・表現力、主体性等、及び日本語でのコミュニケーション能力等を評価したうえで、小論文、日本留学試験の成績と面接結果に基づいて評価・判定します。

3. 地域行政学科の教育を通じて養う能力

政治学、行政学、政策学等に関する知識を習得し、地域の価値・魅力に気づく力を伸ばし、社会における課題の発見及び解決に取り組むことのできる能力、その成果を表現するために必要な思考力・判断力・表現力を持ち、多様な人々と協働する能力を養います。

(別表) 国際政治学科・地域行政学科共通 各入試制度における学力の3要素の評価比重と評価方法 (◎は重点評価項目)

区分	入試制度		知識・技能		思考力・判断力・表現力		主体性等	
			比重	評価方法	比重	評価方法	比重	評価方法
一般選抜	一般選抜(前期日程)		◎	・個別学力検査 ・共通テストの成績 (共通テストプラス方式のみ) ・英語資格・検定 (共通テストプラス方式のみ) ・調査書	◎	・個別学力検査 ・共通テストの成績 (共通テストプラス方式のみ)		
	一般選抜(後期日程)		◎	・個別学力検査 ・調査書	◎	・個別学力検査	○	・調査書
	共通テスト利用選抜 (前期日程・後期日程)		◎	・共通テストの成績 ・英語資格・検定 ・調査書	◎	・共通テストの成績		
総合型選抜	総合型選抜		○	・小論文 ・調査書 ・自己アピール書	◎	・小論文 ・面接 ・志望理由書 ・自己アピール書	◎	・面接 ・調査書 ・志望理由書 ・自己アピール書
学校推薦型選抜	学校推薦型選抜(公募) (英語方式)		◎	・英語 ・推薦書 ・調査書 ・自己アピール書	◎	・英語 ・面接 ・推薦書 ・志望理由書 ・自己アピール書	○	・面接 ・推薦書 ・調査書 ・志望理由書 ・自己アピール書
	学校推薦型選抜(公募) (指定資格方式)		◎	・推薦書 ・調査書 ・資格・検定等の証明書 ・自己アピール書	○	・面接 ・推薦書 ・志望理由書 ・自己アピール書	◎	・面接 ・推薦書 ・調査書 ・志望理由書 ・自己アピール書
	学校推薦型選抜(公募) (課題探究方式)		○	・小論文 ・推薦書 ・調査書 ・自己アピール書	◎	・小論文 ・面接 ・推薦書 ・志望理由書 ・自己アピール書	◎	・面接 ・推薦書 ・調査書 ・志望理由書 ・自己アピール書
	学校推薦型選抜 (指定校)	国際政治学科 (前期日程・後期日程)	○	・面接 ・推薦書 ・調査書	○	・面接 ・推薦書 ・志望理由書	○	・面接 ・推薦書 ・調査書 ・志望理由書
		地域行政学科						
	学校推薦型選抜(附属校)		○	・面接 ・推薦書 ・調査書	○	・面接 ・推薦書 ・志望理由書	○	・面接 ・推薦書 ・調査書 ・志望理由書

2024年度入学試験 募集人員

学部	学科	一般		共通テスト利用		総合型	学校推薦型 (公募)	学校推薦型 (指定校・ 附属校)	合計
		前期 A~C 日程	後期 日程	前期 日程	後期 日程				
商学部	商学科	73名	3名	8名	2名	活動実績重視方式 小論文重視方式 16名	英語方式 指定資格方式 英語資格方式 22名	前期 31名 後期 若干名	155名
	経営学科	68名	2名	8名	2名	活動実績重視方式 小論文重視方式 14名	英語方式 指定資格方式 英語資格方式 17名	前期 29名 後期 若干名	140名
	合計	141名	5名	16名	4名	30名	39名	60名	295名
人文学部	社会学科	68名	2名	3名	1名	9名	併願 3名	9名	95名
	教育学科	51名	3名	4名	2名	8名	専願 15名	17名	100名
	英語英文学科	45名	5名	5名	2名	15名	専願 10名	18名	100名
	合計	164名	10名	12名	5名	32名	28名	44名	295名
法学部	法律学科	85名	10名	15名	5名	ゼミナール方式 15名 スポーツ実績方式 芸術・文化実績方式 } 5名	専願 英語方式 小論文方式 5名 15名	40名	195名
	合計	85名	10名	15名	5名	20名	20名	40名	195名
経済科学部	現代経済学科	59名	5名	5名	2名	11名	専願 英語方式 小論文方式 指定資格方式 英語資格方式 10名	23名	115名
	経済情報学科	59名	5名	5名	2名	11名	専願 英語方式 小論文方式 指定資格方式 英語資格方式 10名	23名	115名
	合計	118名	10名	10名	4名	22名	20名	46名	230名
人間環境学部	人間環境学科	64名	3名	4名	2名	レポート方式 プレゼンテーション方式 10名 活動実績方式	専願 英語方式 3名 併願 英語資格方式 数学資格方式 } 5名	24名	115名
	合計	64名	3名	4名	2名	10名	8名	24名	115名
健康科学部	心理学科	47名	3名	3名	2名	6名	専願 6名	13名	80名
	健康栄養学科	18名	3名	2名	2名	15名	専願 15名	25名	80名
	合計	65名	6名	5名	4名	21名	21名	38名	160名
国際コミュニティ学部	国際政治学科	34名	3名	4名	2名	課題図書方式 14名	専願 英語方式 指定資格方式 課題探究方式 8名	前期 10名 後期 若干名	75名
	地域行政学科	34名	3名	4名	2名	課題図書方式 14名	専願 英語方式 指定資格方式 課題探究方式 8名	10名	75名
	合計	68名	6名	8名	4名	28名	16名	20名	150名
総計		705名	50名	70名	28名	163名	152名	272名	1,440名

2024年度 入学試験スケジュール

		2023年 9月	10月	11月	12月
総合型選抜 ▶P63~ (全学部・学科)  <small>インターネット 出願</small>	<ul style="list-style-type: none"> ●商学部 ●経済科学部 ●人間環境学部 	出願期間 《インターネット 出願受付》 9/19~9/29 <small>※帰国生選抜は 郵送</small>	試験日 10/21 合格発表 11/1	入学手続期間 (手続選択制) 《一括手続》 11/2 11/10 <small>《分割手続(第1次)》</small>	
	帰国生選抜 ▶P97~ 		<ul style="list-style-type: none"> ●人文学部 ●法学部 ●健康科学部 ●国際コミュニティ学部 	試験日 10/22 合格発表 11/1	11/2 11/10
学校推薦型 選抜(公募) ▶P81~ (全学部・学科)  <small>インターネット 出願</small>	専願 <ul style="list-style-type: none"> ●商学部 ●人文学部教育学科 ●人文学部英語英文学科 ●法学部 ●経済科学部 ●人間環境学部(英語方式) ●健康科学部 ●国際コミュニティ学部 			出願期間 《インターネット 出願受付》 11/1 11/10 試験日 11/25 合格発表 12/1	入学手続期間(手続選択制) 《一括手続》12/4~12/12 <small>《分割手続(第1次)》12/4~12/12</small>
	併願 <ul style="list-style-type: none"> ●人文学部社会学科 ●人間環境学部(英語資格方式) (数学資格方式) 			11/1 11/10 合格発表 12/1	入学手続期間 《分割手続(第1次)》 12/4~12/12
学校推薦型 選抜(指定校) (全学部・学科)  <small>インターネット 出願</small>				出願期間 《インターネット 出願受付》 11/1~11/10 試験日 11/26 合格発表 12/1	入学手続期間(手続選択制) 《一括手続》12/4~12/12 <small>《分割手続(第1次)》12/4~12/12</small>
	後期 日程 <ul style="list-style-type: none"> ●商学部 ●国際コミュニティ学部 国際政治学科 				出願期間 《インターネット出願受付》 商学部:12/13~12/21 《郵送受付》 国際政治学科:12/13~12/27(必着)
一般選抜 (全学部・学科)  <small>インターネット 出願</small> 前期日程 ▶P31~ 後期日程 ▶P51~	前期A日程 全学部・学科				
	前期B日程 全学部・学科				
	前期C日程 全学部・学科				
	後期日程 全学部併願制				
共通テスト 利用選抜 (全学部・学科)  <small>インターネット 出願</small>	前期日程 ▶P43~ 全学部併願制				
	後期日程 ▶P55~ 全学部併願制				
社会人選抜 <ul style="list-style-type: none"> ●人文学部社会学科 ●人文学部教育学科 ●人間環境学部 	外国人留学生選抜 (全学部・学科) ▶P97~				出願期間 《郵送受付》 社会人:12/13~12/21(必着) 外国人留学生:12/13~12/27(必着)



今年度から人文学部教育学科において、
総合型選抜を新たに実施します(詳細は68ページに記載)。

2024年 1月	2月	3月
		入学手続期間 (手続選択制) 《分割手続(第2次)》 2/26~3/4
		入学手続期間 《分割手続(第2次)》3/11~3/22(必着)
		入学手続期間 (手続選択制) 《分割手続(第2次)》 2/26~3/4
試験日 合格発表 1/6 1/11	入学手続期間 《一括手続》 2/16~2/22	
試験日 2/1	試験日 2/2	入学手続期間(手続選択制)
出願期間 《インターネット出願受付》 12/25~1/12 15:00 《窓口受付》 1/15・16 9:00~17:00	合格発表 2/15	《一括手続》 2/16~2/22 《分割手続(第1次)》 2/16~2/22
試験日 2/3		《分割手続(第2次)》3/11~3/22(必着)
	出願期間 《インターネット出願受付》 2/15 2/26 15:00	試験日 3/4 合格発表 3/9
	試験日 2/15	入学手続期間(手続選択制) 《一括手続》3/11~3/18 《分割手続(第1次)》3/11~3/18 《分割手続(第2次)》3/19~3/22(必着)
出願期間 《インターネット出願受付》 12/25~1/12 15:00 《窓口受付》 1/15・16 9:00~17:00	試験日 個別学力 検査は ありません	入学手続期間(手続選択制) 《一括手続》2/16~2/22 《分割手続(第1次)》2/16~2/22
	合格発表 2/15	《分割手続(第2次)》3/11~3/22(必着)
	出願期間 《インターネット出願受付》 2/15 2/26 15:00	試験日 個別学力検査は ありません 合格発表 3/9
		入学手続期間(手続選択制) 《一括手続》3/11~3/18 《分割手続(第1次)》3/11~3/18 《分割手続(第2次)》3/19~3/22(必着)
試験日 合格発表 1/6 1/11	入学手続期間 《一括手続》 2/16~2/22	

★インターネット出願初日のみ8:45~受付開始。受付最終日の登録は15:00まで、検定料入金は16:00までです。



一般選抜 (前期日程)

試験日・試験地・出願期間

学部 学科	出願期間	試験日	方式	試験地	合格発表	入学手続期間《手続選択制》	
						一括手続	分割手続
全学部 全学科	インターネット 《インターネット出願受付》 2023年 2024年 12/25(月)～1/12(金) ※出願初日のみ8:45～ 受付開始 ※最終日の登録は15:00まで、 検定料入金は16:00まで 締切日消印有効 《本学窓口受付》 2024年 1/15(月)・1/16(火) 9:00～17:00	2024年 A日程 2/1 (木)	NEW 受験必須 スタンダード方式 併願可 高得点科目重視方式 共通テストプラス方式 全日程共通で、 3方式を実施	広島 (本学) 福山 三次 三原 山口市 周南市 山田 松江 浜田 松山 今治 高松 福岡 北九州	2024年 2/15 (木)	2024年 2/16(金)～ 2/22(木) 締切日消印有効	《第1次入学手続》 2024年 2/16(金)～ 2/22(木) 締切日消印有効 《第2次入学手続》 2024年 3/11(月)～ 3/22(金) 締切日必着
		B日程 2/2 (金)					
		C日程 2/3 (土)					

POINT
01

1日につき3つの方式で選抜を実施します!

①スタンダード方式【受験必須】

どの日程でも**受験必須**とし、英語+国語+選択科目の**3科目の合計点**で判定します。

②高得点科目重視方式【併願可】

スタンダード方式で受験した3科目のうち**2科目**で判定します。**得意科目を活かして併願**できます。

③共通テストプラス方式【併願可】

スタンダード方式の**高得点科目**、共通テストの**高得点科目**、**英語資格を活かして併願**できます。

受験必須 スタンダード方式

英語の配点は150点の学科と100点の学科があります。国語と選択科目の配点は全学科100点です。

英語 150点
または
100点

+

国語 100点

+

選択科目 100点

=

350点満点
または
300点満点

併願可 高得点科目重視方式

スタンダード方式で受験した3科目のうち、
2科目を使用して合否判定をします。

(例) 英語と国語の得点が高かった場合、選択科目の
得点は合否判定に使用しません。(詳細34ページ)

英語	国語	選択	=	英語・国語の合計
63点	60点	55点		123点で判定

併願可 共通テストプラス方式

スタンダード方式と大学入学共通テスト両方の
高得点科目、英語資格を活かして併願できます。

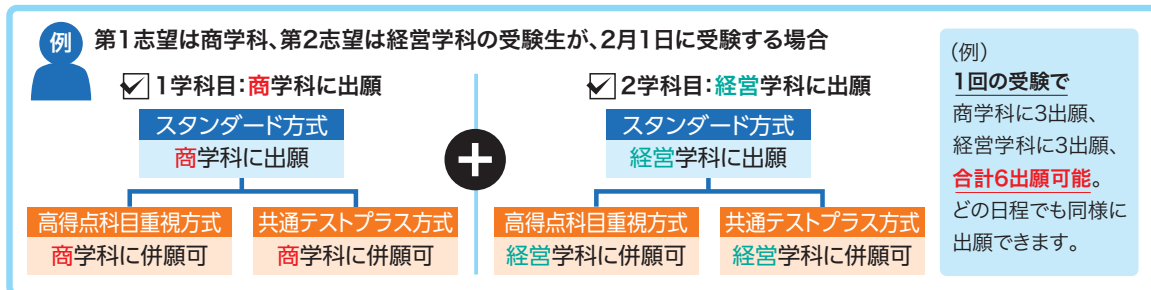
スタンダード方式	共通テスト	両試験合計
100点×2科目	+ 100点×2科目	= 400点満点

指定する英語資格を取得していれば、共通テストの
英語の得点に換算します。(詳細35ページ)

POINT
02

1日につき2学科まで併願できます!

2月1日から3日までの全日程において、**1日につき2学科まで併願**できます。各日程において、**全ての学科から選んで**出願可能です。これにより、第1志望学科に加えて、第2志望学科まで、**1回の受験で同時に**合否判定を受けることが可能です。さらに、3つの方式を組み合わせると、**1回の受験で1学科につき3出願可**(2学科出願すると、1回の受験で最大6出願可。3日間で最大18出願可)となり、受験機会が広がります。



併願の注意点

高得点科目重視方式と共通テストプラス方式は、Standard方式で受験した科目の得点を利用します。このため、Standard方式を受験せずに、高得点科目重視方式のみの出願や、共通テストプラス方式のみの出願はできません。また、**高得点科目重視方式と共通テストプラス方式において出願できる学科は、Standard方式に出願した学科**となります。

POINT
03

経済的負担を大幅に軽減する検定料割引制度 (詳細は104ページ)

「Standard方式」「高得点科目重視方式」「共通テストプラス方式」の3つの方式を、同一日・同一学科に出願すると**3方式セット割引**が適用されます。**また、Standard方式は2出願目から大幅に値引きされます。**

※割引制度は、**1度の出願登録**で、複数出願する場合のみ、適用されます。追加で出願した場合、既に登録済みの出願内容と合わせた割引は適用されません。



POINT
04

全日程で自宅から近い入学試験場で受験が可能!

本学の他に、西日本の各地に入学試験場を設置。全試験場、同じ時間、同じ問題で試験を実施します。自宅から近い試験場を利用すれば、交通費や宿泊費などの経済面はもちろん、精神面でも余裕ができます。

入学試験場のご案内



出願資格

次のいずれかに該当する者

- 高等学校または中等教育学校を卒業した者および2024年3月卒業見込みの者
- 通常の課程による12年の学校教育を修了した者および2024年3月修了見込みの者
- 学校教育法施行規則第150条の規定により高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者および2024年3月31日までにこれに該当する見込みの者。この出願資格については2023年11月24日(金)までに本学入学センターへ問い合わせください。ただし、高等学校卒業程度認定試験の合格者(合格見込者)または大学入学資格検定の合格者については問い合わせの必要はありません。

学科・方式毎の配点について

POINT スタンダード方式、高得点科目重視方式、共通テストプラス方式の配点は、学科・方式により「**英語を重視するパターン①**」と、「**受験科目全てを同等の比重で扱うパターン②**」の2パターンに分かれます。出願する学科・方式がどちらのパターンになっているのかをよく確認して出願してください。

スタンダード方式

パターン①：英語の配点は**150点**、国語と選択科目の配点は100点。
 パターン②：英語、国語、選択科目の配点は**全て100点**。

高得点科目重視方式 共通テストプラス方式

パターン①：**英語は必ず合否判定に使用**し、他に受験した科目のうち**高得点1科目**を使用。
 パターン②：受験した科目のうち、**高得点2科目**を使用。

学科・方式別 配点パターン表

学科	スタンダード方式		高得点科目重視方式		共通テストプラス方式	
	①英語150点	②全科目100点	①英語+1科目	②高得点2科目	①英語+1科目	②高得点2科目
商	●	—	—	●	—	●
経営	●	—	—	●	—	●
社会	●	—	●	—	●	—
教育	—	●	—	●	—	●
英語英文	●	—	●	—	●	—
法律	—	●	—	●	—	●
現代経済	—	●	—	●	—	●
経済情報	—	●	—	●	—	●
人間環境	—	●	—	●	—	●
心理	—	●	—	●	—	●
健康栄養	—	●	—	●	—	●
国際政治	●	—	●	—	●	—
地域行政	●	—	●	—	●	—

必須

スタンダード方式 2/1(木)・2/2(金)・2/3(土)

必ず3科目を受験してください

POINT

1日程につき2つの学科に出願できます。各日程において、**全ての学科から選んで**出願できます。どの日程でも受験必須とし、**英語+国語+選択科目の3科目の合計点**で判定します。

■英語の配点は**150点の学科と100点の学科**があります。国語と選択科目は全学科100点です。

パターン① 英語**150点** 【対象】商学科、経営学科、社会学科、英語英文学科、国際政治学科、地域行政学科

パターン② 英語**100点** 【対象】教育学科、法律学科、現代経済学科、経済情報学科、人間環境学科、心理学科、健康栄養学科

英語 **150点**
または
100点

+

国語 **100点**

+

選択科目 **100点**

=

350点満点
または
300点満点

試験内容 (試験科目は全学科共通とし、共通の問題を使用します)

受験	教科/試験科目	試験日	出題範囲	配点	時間
必須	国語		国語総合、現代文B、古典B(国語総合と古典Bは漢文を除く)	100点	10:20~11:30(70分)
必須	外国語 英語		コミュニケーション英語I、コミュニケーション英語II、コミュニケーション英語III、英語表現I、英語表現II	150点または100点	13:00~14:10(70分)
選択科目1科目	世界史	2/1(木)	世界史B	100点	15:00~16:10(70分)
	地理歴史	2/2(金)	日本史B		
	地理	2/3(土)	地理B		
	公民		政治・経済		
	数学		数学I、数学A、数学II		
	理科		化学基礎、生物基礎		
	化学・生物	2/1(木)、2/2(金)	生物基礎、生物(生命現象と物質、生殖と発生、生物の環境応答)		

* 当日は、9:50までに試験室に入室してください。 * 数学と理科以外の科目は、全部または一部マークシート方式で実施します。

POINT

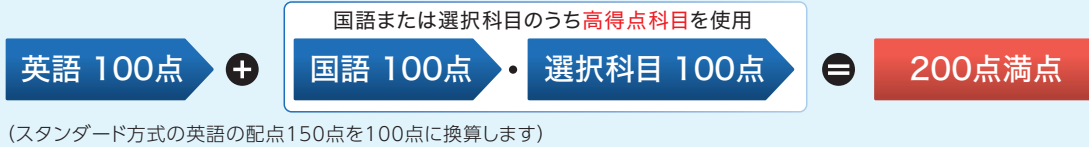
スタンダード方式で受験した3科目のうち、**2科目を使用して**判定します。高得点科目を重視するので、**得意な科目を活かして**受験できます。高得点科目の使用方法は、学科により**2パターン**に分かれます。

スタンダード方式に
出願した学科で併願可

パターン①

「英語」は必ず合否判定に使用し、「国語と選択科目」は**高得点1科目**を使用。
1科目100点×2科目の合計200点満点で判定。

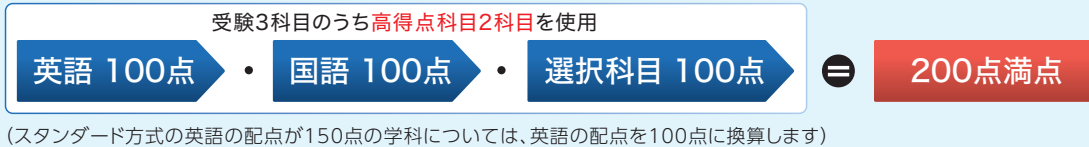
【対象】社会学科、英語英文学科、国際政治学科、地域行政学科



パターン②

「英語」、「国語」、「選択科目」のうち、**高得点2科目**を合否判定に使用。
1科目100点×2科目の合計200点満点で判定。

【対象】商学科、経営学科、教育学科、法律学科、現代経済学科、経済情報学科、人間環境学科、心理学科、健康栄養学科



「得意な科目」を活かして合格をつかもう！

(例)「スタンダード方式」と「高得点科目重視方式」に出願したAさんの場合

スタンダード方式	
英語(100点満点)	55点
国語(100点満点)	50点
日本史(100点満点)	70点
合計点(300点満点)	175点 (得点率58.3%)
合格最低点	180点(得点率60%)

高得点科目重視方式	
英語 高得点科目	55点
国語	50点
日本史 高得点科目	70点
合計点(200点満点)	125点 (得点率62.5%)
合格最低点	120点(得点率60%)

高得点科目の点数が使用され、合格へ！

Aさんはスタンダード方式では得点率58.3%で不合格でしたが、得意科目を活かすことができる高得点科目重視方式では得点率62.5%になり、合格することができました。得意な科目を活かせることがこの制度のメリットです。

POINT1

得意科目を活かせる!

「スタンダード方式で受験した**2科目**」と「大学入学共通テストで受験した**2科目**」の**合計点**で合否判定をします。高得点科目重視方式と同様に**得意な科目を活かして**受験することができます。

スタンダード方式に
出願した学科で併願可

POINT2

英語資格を活用できる!

本学が指定する**英語資格**を取得していれば、スコア・級に応じて大学入学共通テストの英語の得点を「**満点の8割または満点に換算します(みなし得点)**」。合否判定には、大学入学共通テストの英語の得点と、みなし得点のいずれか高い方の得点を使用します。
これにより、**得意な科目だけでなく、英語資格も活かして**受験することができます。

英語資格 みなし得点換算表

実施主体名	資格・検定試験名	満点の8割	満点
日本英語検定協会	実用英語技能検定(英検)	2級	準1級以上
	英検CSEスコア	1,980点以上	2,304点以上
	TEAP	225点以上	309点以上
	TEAP CBT	420点以上	600点以上
ベネッセコーポレーション	GTEC(4技能)※	930点以上	1,180点以上
国際ビジネスコミュニケーション協会	TOEIC(L&R)+TOEIC(S&W)	1,150点以上	1,560点以上
Educational Testing Service	TOEFL iBT	42点以上	72点以上
ケンブリッジ大学英語検定機構	ケンブリッジ英語検定	140点以上	160点以上
ブリティッシュ・カウンシル	IELTS(アカデミック・モジュール)	4.0以上	5.5以上

※GTEC(4技能)はオフィシャルスコアに限る。また、2023年3月以前に取得したスコアで申請する場合は、960点以上で満点の8割、1,190点以上で満点とする。

POINT3

高得点科目の使用方法は、学科により**2パターン**に分かれます。

パターン①

「英語」は必ず合否判定に使用し、「国語と選択科目」は**高得点1科目**を使用

【対象】社会学科、英語英文学科、国際政治学科、地域行政学科

スタンダード方式(100点×2科目)

「英語**100点**」+「国語・選択科目のうち**高得点1科目100点**」
(英語の配点150点を100点に換算)

+

大学入学共通テスト(100点×2科目)

「英語**100点**」+「他に受験した科目のうち**高得点1科目100点**」
(英語と国語の配点は、200点を100点に換算)

=

両試験の合計
400点満点
で合否判定

パターン②

受験した科目のうち、**高得点2科目**を使用

【対象】商学科、経営学科、教育学科、法律学科、現代経済学科、経済情報学科、人間環境学科、心理学科、健康栄養学科

スタンダード方式(100点×2科目)

「英語、国語、選択科目」のうち
高得点2科目200点
(英語の配点が150点の学科は、英語の配点を100点に換算)

+

大学入学共通テスト(100点×2科目)

「受験した科目」のうち
高得点2科目200点
(英語と国語の配点は、200点を100点に換算)

=

両試験の合計
400点満点
で合否判定

共通テストプラス方式 試験内容・配点

パターン① 【対象】 社会学科、英語英文学科、国際政治学科、地域行政学科

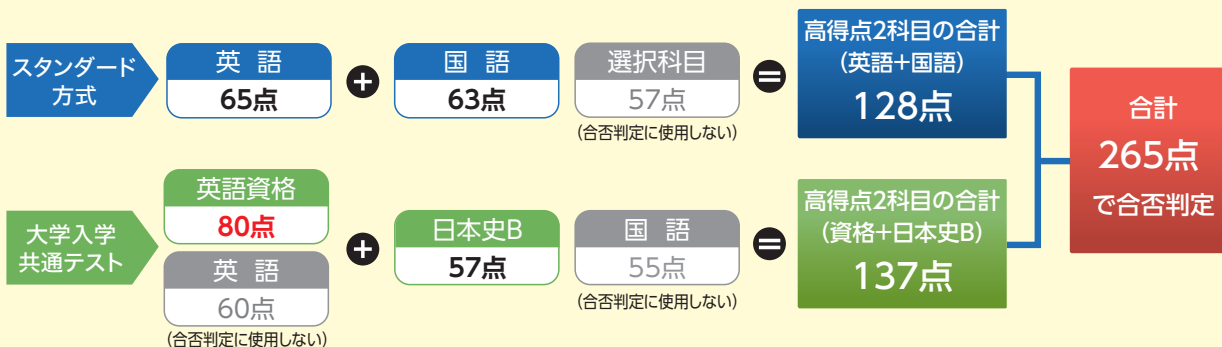
試験種別	受験	教科/試験科目	出題範囲	配点	備考
一般選抜 (スタンダード方式)	必須	外国語 英語	コミュニケーション英語Ⅰ、コミュニケーション英語Ⅱ、 コミュニケーション英語Ⅲ、英語表現Ⅰ、英語表現Ⅱ	100点	英語は必ず合否判定に使用し 国語と選択科目は高得点の1科目を使用 スタンダード方式の英語の配点150点を100点に換算
	必須	国語	国語総合、現代文B、古典B(国語総合と古典Bは漢文を除く)	100点 ×1科目	
	選択科目1科目	世界史	世界史B		
		地理歴史	日本史B		
		地理	地理B		
		公民	政治・経済		
		数学	数学Ⅰ、数学A、数学Ⅱ		
理科		化学・生物 化学基礎、生物基礎 生物基礎、生物(生命現象と物質、生殖と発生、生物の環境応答)			
試験種別	受験	教科	科目	配点	備考
大学入学 共通テスト	必須	外国語	「英語」	100点	英語は必ず合否判定に使用し 他に受験した科目のうち高得点の1科目を使用 英語はリーディング100点、 リスニング100点、合計 200点を100点に換算 国語は200点を100点に換算
	いずれか1科目	国語	「国語」近代以降の文章、古典(古文・漢文)全て含む		
		地理歴史・公民	「世界史A」「世界史B」「日本史A」「日本史B」「地理A」「地理B」「現代社会」「倫理」「政治・経済」「倫理、政治・経済」		
		数学①	「数学Ⅰ」「数学Ⅰ・数学A」		
		数学②	「数学Ⅱ」「数学Ⅱ・数学B」「簿記・会計」「情報関係基礎」		
		理科①	「物理基礎」「化学基礎」「生物基礎」「地学基礎」 ※基礎を付した科目2科目の合計を1科目の得点として取り扱う。		
		理科②	「物理」「化学」「生物」「地学」		

パターン② 【対象】 商学科、経営学科、教育学科、法律学科、現代経済学科、経済情報学科、人間環境学科、心理学科、健康栄養学科

試験種別	受験	教科/試験科目	出題範囲	配点	備考
一般選抜 (スタンダード方式)	必須	外国語 英語	コミュニケーション英語Ⅰ、コミュニケーション英語Ⅱ、 コミュニケーション英語Ⅲ、英語表現Ⅰ、英語表現Ⅱ	100点 ×2科目	受験した3科目のうち高得点の2科目を合否判定に使用 スタンダード方式の英語の配点が150点の学科については、 英語の配点を100点に換算
	必須	国語	国語総合、現代文B、古典B(国語総合と古典Bは漢文を除く)		
	選択科目1科目	世界史	世界史B		
		地理歴史	日本史B		
		地理	地理B		
		公民	政治・経済		
		数学	数学Ⅰ、数学A、数学Ⅱ		
理科		化学・生物 化学基礎、生物基礎 生物基礎、生物(生命現象と物質、生殖と発生、生物の環境応答)			
試験種別	受験	教科	科目	配点	備考
大学入学 共通テスト	いずれか2科目	外国語	「英語」	100点 ×2科目	受験した科目のうち高得点の2科目を合否判定に使用 英語はリーディング100点、 リスニング100点、合計 200点を100点に換算 国語は200点を100点に換算
		国語	「国語」近代以降の文章、古典(古文・漢文)全て含む		
		地理歴史・公民	「世界史A」「世界史B」「日本史A」「日本史B」「地理A」「地理B」「現代社会」「倫理」「政治・経済」「倫理、政治・経済」		
		数学①	「数学Ⅰ」「数学Ⅰ・数学A」		
		数学②	「数学Ⅱ」「数学Ⅱ・数学B」「簿記・会計」「情報関係基礎」		
		理科①	「物理基礎」「化学基礎」「生物基礎」「地学基礎」 ※基礎を付した科目2科目の合計を1科目の得点として取り扱う。		
		理科②	「物理」「化学」「生物」「地学」		

「得意な科目」と「英語資格」を活かして合格をつかもう!

(例) 「英検2級(みなし得点80点)」を取得しており、共通テストの英語が60点(100点換算後)だった場合



試験場案内

※三原試験場のみ、出願時の先着順とし、人数制限を設けます。

広島修道大学(本学) 広島市安佐南区大塚東1-1-1

全日程

※試験場の下見はできますが、建物内に入ることはできません。また、本学以外の試験場およびその周辺には、駐車場がありませんので、公共交通機関を利用し、時間に余裕を持って集合してください。

※検定料入金後の試験場の変更はできません。出願の際は、間違いのないようご注意ください。



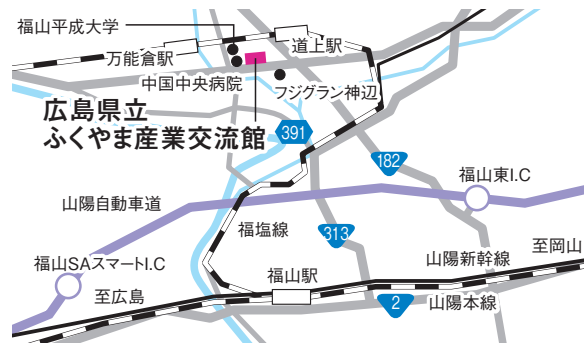
アストラムライン 県庁前駅	約36分	アストラムライン	約32分	広域公園前駅 (修道大学前)
広島駅	約3分	新白鳥駅	約25分	大町駅
	約5分	JR可部線	約18分	アストラムライン
広島バスセンター	約7分	横川駅	約19分	広島修道大学 キャンパス バス停
	約24分	広島バスセンター-シアウトレット広島行 (広島高速4号線 経由)	約37分	五月が丘団地 (修道大学南口)
西広島駅	約30分	本通	約37分	広域公園前駅 (修道大学前)
広島港 宇品	約30分	市内電車	約37分	アストラムライン 広域公園前駅 (修道大学前)
マイカー利用	五日市I.C. 左に出ですぐ			

*曜日によって運行されないものもありますので十分注意してください。

福山試験場

広島県立ふくやま産業交流館(ビッグ・ローズ)
福山市御幸町上岩成正戸476-5

JR福山駅から ●バスで30分、「ビッグ・ローズ前」下車
JR万能倉駅から ●徒歩20分



三次試験場

三次市民ホール きりり 三次市三次町111-1

JR三次駅から ●バスで12分
●徒歩20分

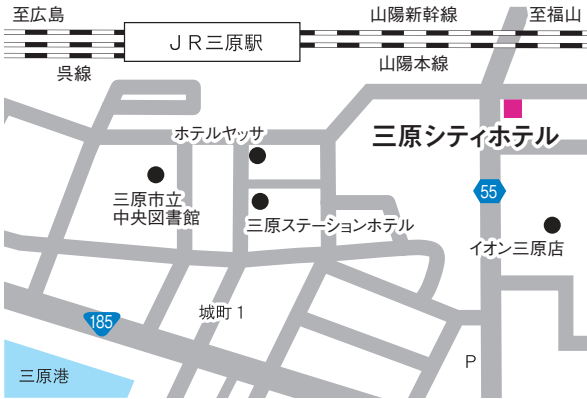


三原試験場

※三原試験場のみ、出願時の先着順とし、人数制限を設けます。

三原シティホテル 三原市城町2-2-2

JR三原駅から ●徒歩3分



山口市試験場

山口県教育会館 山口市大手町2-18

JR上山口駅から ●徒歩17分

JR新山口駅から ●バスで40分、「美術館前」下車

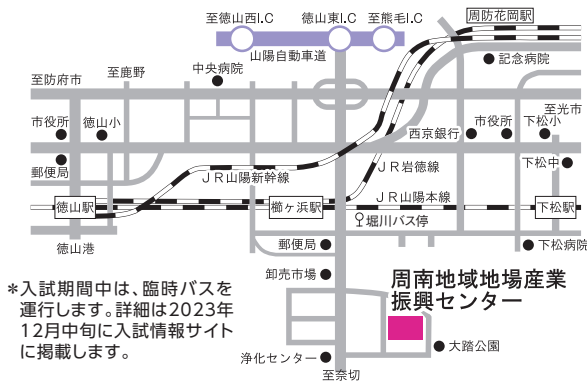


周南市試験場

周南地域地場産業振興センター 周南市鼓町2-118-24

JR徳山駅から ●バスで13分、「堀川」下車 徒歩17分

JR櫛ヶ浜駅から ●徒歩25分



*入試期間中は、臨時バスを運行します。詳細は2023年12月中旬に入試情報サイトに掲載します。

岡山試験場

岡山コンベンションセンター 岡山市北区駅元町14-1

JR岡山駅中央改札口から ●徒歩3分



松江試験場

島根県民会館 松江市殿町158

JR松江駅から ●バスで10分、「県民会館前」下車



浜田試験場

いわみーる 浜田市野原町1826-1

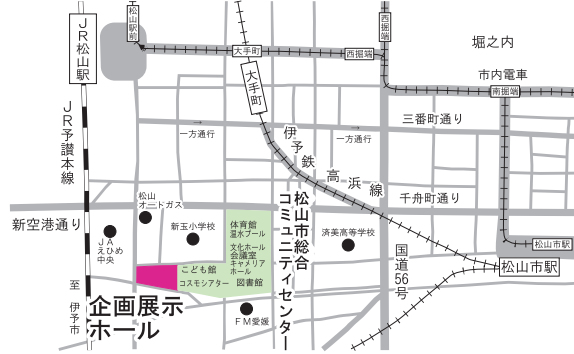
JR浜田駅から ●バスで10分「大学線」いわみーる下車



松山試験場

松山市総合コミュニティセンター
企画展示ホール 松山市湊町7-5

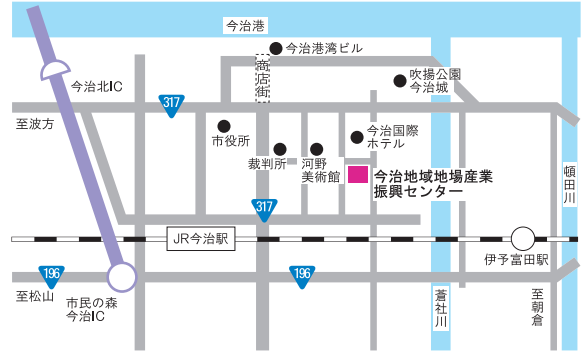
JR松山駅から ●徒歩10分
伊予鉄電車高浜線松山市駅から ●徒歩10分



今治試験場

今治地域地場産業振興センター
(じばさんセンター) 今治市旭町2-3-5

JR今治駅から ●徒歩10分



高松試験場

高松市生涯学習センター(まなびCAN)
高松市片原町11-1

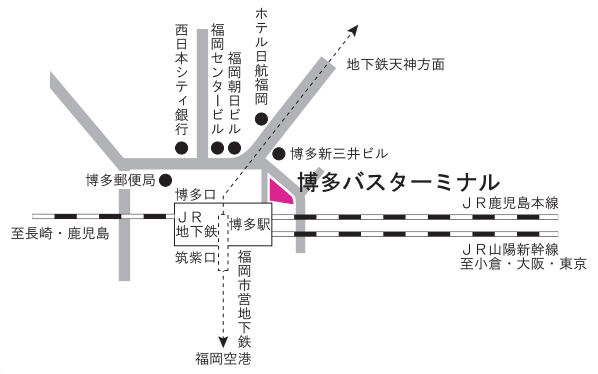
ことでん高松築港駅から ●電車で2分、「片原町駅」下車 徒歩1分



福岡試験場

博多バスターミナル 9階
福岡市博多区博多駅中央街2-1

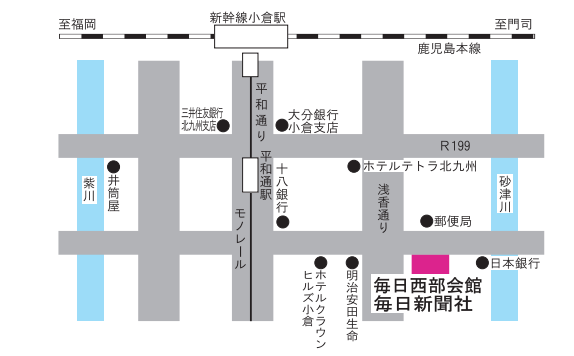
JR博多駅「博多口」から ●徒歩1分



北九州試験場

毎日西部会館 [(株)毎日ビルディング]
北九州市小倉北区紺屋町13-1

JR小倉駅から ●徒歩9分
都市モノレール線平和通駅から ●徒歩5分



MEMO

アドミッション・
ポリシー

一般前期

共通テスト利用
前期

一般後期

共通テスト利用
後期

総合型

学校推薦型
(公募)

特別

出願ガイド

合格への道

全学部共通事項

1. 選抜方法

- (1) 英語、国語および選択科目の合計得点と調査書を資料として多面的・総合的に評価・判定します。
- (2) A日程、B日程、C日程・方式の募集人員を、日程ごとの受験者数に応じて、按分します。
- (3) A日程、B日程、C日程・方式それぞれ別に可否を判定します。
- (4) 英語、国語および選択科目の得点は「中央値補正法」により、問題難易差による得点差を調整します。

2. 入学検定料

1出願で27,000円です。2出願目以降は1出願追加毎にプラス15,000円となります。
高得点科目重視方式と共通テストプラス方式を同時に出願すると、3方式セット割引の対象となり入学検定料がさらに割引されます。
詳細は104ページを参照してください。
※提出された書類および納入された入学検定料は、いかなる理由があるうとも返還いたしません。

3. 出願期間・出願方法



出願は、インターネット出願「シュューダイレクト」でのみ受け付けます。

【出願期間】2023年12月25日(月)～2024年1月12日(金) ※出願初日のみ8:45～受付開始

- (1) シューダイレクトで出願登録する(最終日の登録締切時間は15:00)
- (2) 入学検定料を納入する(最終日の入学検定料入金締切時間は16:00)
- (3) 出願書類を郵送する: 出願書類は入学検定料の入金後、速達・簡易書留で早急に郵送してください。(締切日消印有効)
※シュューダイレクトでの出願方法および入学検定料のお支払いについては、103～110ページを参照してください。

【窓口受付期間】2024年1月15日(月)・16日(火)9:00～17:00

- (1) 広島修道大学入学センター窓口で、出願登録する。
- (2) 入学検定料を納入する(現金のみ)。
- (3) 出願書類を提出する。
※ 持参物: 入学検定料(現金のみ)、出身学校の調査書1通、資格・検定等の証明書(写)(共通テストプラス方式で英語資格を利用する方のみ)、窓口受付記入シート(2024年1月初旬に入試情報サイトに掲載します)。
共通テスト利用選抜(前期日程)を同時に出願する場合は、写真1枚と、共通テスト成績請求票が1枚必要です。
共通テストプラス方式を同時に出願する場合は、共通テスト成績請求票が1枚必要です。

【受験生氏名等の漢字表記について】

本学では、入学試験に際して発行する受験票・合格通知書類の漢字氏名等の表記方法について、基準を設けております。
その結果、本来の漢字氏名等とは異なる表記となる場合がありますので、あらかじめご了承ください。

4. 出願書類

出願書類は、入学検定料の支払い後にインターネット出願ページ「シュューダイレクト」の「印刷・確認」画面から印刷できます。
シュューダイレクトからダウンロードする出願書類は全てA4サイズで印刷し、速達・簡易書留で郵送してください。

- (1) 出願シート(共通テストプラス方式に出願する方は、大学入学共通テスト成績請求票を貼付)
- (2) 資格・検定等の証明書(写)(共通テストプラス方式で英語資格を利用する方のみ)
- (3) 出身学校調査書(出願前3カ月以内に発行し、厳封してください)

※前期日程で複数の入試制度、学科を受験する場合でも、出身学校調査書は1通で結構です。

ただし、一度郵送した後に追加で出願する場合は、新たに1通郵送してください。

※高等学校卒業程度認定試験の合格者(または合格見込みの者)は「合格(成績)証明書」または「合格見込成績証明書」を郵送してください。

※出身学校調査書の保存期間が経過した場合および廃校・被災その他の事情により調査書が得られない場合には、卒業証明書(原本)を郵送してください。

5. 障がいなどのある志願者の配慮について

病気・負傷や障がい等のために、受験上の配慮および入学後の支援を希望する場合、出願に先立ち2023年11月24日(金)までに本学入学センターに問い合わせてください。

大学入学共通テストの英語について、受験上の配慮申請により「リスニング」を免除された場合は、「リーディング」の得点を「リスニング」の得点に換算します。この場合も、本学入学センターにご連絡ください。

6. 感染症(インフルエンザなど)について

試験日当日に感染症(インフルエンザやはしかなど)にかかっている場合は受験できません。詳細は111ページを参照してください。

7. 合格発表

1. 合格発表について

(1) 合格発表日: 2024年2月15日(木) 10:00(予定)

合格者に「合格通知書」と「入学手続書類」を速達で郵送します。

なお、合格通知書等は、合格発表日に発送しますが、郵便事情により遅れる場合があります。以下(2)で合格を確認したうえで、2月19日(月)を過ぎても届かない場合は本学入学センターまで連絡してください。

(2) 合否確認の補助手段について

インターネットによる合否照会システムで合否結果を確認できます。詳細については112ページを確認してください。

2. 補欠者の繰り上げ合格について(全学部対象)

一般選抜(前期日程)スタンダード方式を対象に、以下の要領で補欠者の繰り上げ合格を通知します。ただし、補欠者の繰り上げ合格は、入学手続の状況により欠員の発生が想定される場合に限り行うものであり、繰り上げ合格を行わない(補欠者の繰り上げ合格者がいない)場合もあります。よって、補欠者全員が繰り上げ合格となるものではありません。

(1) 補欠者の発表日

2024年2月15日(木) 10:00(予定)

補欠者に「補欠者通知書」を速達で郵送します。

(2) 補欠者確認の補助手段について

上記1の(2)と同様に、インターネットによる合否照会システムで補欠者であることを確認できます。

(3) 補欠者の繰り上げ合格発表日

■ 1回目: 2024年2月23日(金・祝) 15:00(予定)

繰り上げ合格者に、「合格通知書」と「入学手続書類」を速達で郵送します。また、本学入試情報サイトにて、補欠者の繰り上げ合格について掲載します(合否照会システムは使用しません)。

■ 2回目: 2024年3月23日(土) 10:00~(予定)

繰り上げ合格候補者に、本学から電話連絡し、入学の意思を確認します。

【注意点】

- ① 補欠者は、本学からの電話連絡を確実に受けられるようにしておいてください。本学からの電話連絡の際、不在等のため本人の入学の意思確認ができなかった場合や、すみやかに入学の意思を表明しなかった場合は、いかなる理由があろうとも入学の意思がないものとして取り扱います。
- ② 補欠者の繰り上げ合格は、欠員が充足した時点で終了します。
- ③ 欠員の状況により、補欠者以外の受験生を対象とし、追加合格を通知する場合があります。その場合も、電話連絡により入学の意思を確認します。注意点は、上記①②と同様です。

*「合格通知書」等の不着および遅配を理由とした入学手続期間終了後の入学手続は一切認めませんので、ご注意ください。
*合格発表、補欠者の発表、補欠者の繰り上げ合格および追加合格に関するお問い合わせには、いかなる理由があろうとも一切応じられません。

8. 入学試験成績(一般選抜)の開示について

本学では、希望者(受験者本人)に対して、入学試験の成績を次のように開示します。

- (1) 受付期間/2024年4月8日(月)~4月19日(金)
- (2) 開示する入試制度および内容 <一般選抜> 個人入試科目別(得点調整後)成績
- (3) 開示対象者 一般選抜を受験して不合格となった者
- (4) 開示手続きについて

① 入試成績開示申請の受付

成績開示希望の旨を上記期間内に、本学入学センターに申し出てください。申し出を受けて、本学より「入試成績開示申請書」を送付しますので、必要事項を記入のうえ、上記期間内に提出してください。

郵送で提出する場合、封筒に「入試成績開示申請書在中」と明記し、本学入学センター宛に郵送してください。締切日必着ですので、郵送に要する日数を確認し、申し出てください。受付期間最終日またはその前日に申し出た場合、開示ができなくなることがあります。

② 入試成績の開示

入試成績開示を許可した者に、「入試成績開示決定通知書」を発送します。

入試成績開示は、受験生本人(代理は不可)であることを確認のうえ、本学(入学センター)で行います。

受験票および本人が確認できる書類を持参してください。

受験上の注意は111ページを参照してください。



インターネット出願



共通テスト利用選抜 (前期日程)

試験日・出願期間

学部 学科	出願期間	試験日	合格発表	入学手続期間《手続選択制》	
				一括手続	分割手続
全学部 全学科	<p>インターネット</p> <p>《インターネット出願受付》 2023年 2024年 12/25(月)~1/12(金) ※出願初日のみ8:45~ 受付開始 ※最終日の登録は15:00まで、 検定料入金は16:00まで 締切日消印有効</p> <p>《本学窓口受付》 2024年 1/15(月)・16(火) 9:00~17:00</p>	<p>本学での個別学力 検査はありません</p> <p>大学入学共通テスト 2024年 1/13(土)・1/14(日)</p>	<p>2024年 2/15(木)</p>	<p>2024年 2/16(金)~ 2/22(木) 締切日消印有効</p> <p>2024年 2/22(木) 締切日消印有効</p>	<p>《第1次入学手続》 2024年 2/16(金)~ 2/22(木) 締切日消印有効</p> <p>《第2次入学手続》 2024年 3/11(月)~ 3/22(金) 締切日必着</p>

出願資格

次のいずれかに該当する者で令和6年度大学入学共通テスト(2024年1月13日(土)、14日(日)に実施)において本学が指定する教科・科目を受験する者

- 高等学校または中等教育学校を卒業した者および2024年3月卒業見込みの者
- 通常の課程による12年の学校教育を修了した者および2024年3月修了見込みの者
- 学校教育法施行規則第150条の規定により高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者および2024年3月31日までにこれに該当する見込みの者。この出願資格については2023年11月24日(金)までに本学入学センターへ問い合わせてください。ただし、高等学校卒業程度認定試験の合格者(合格見込者)または大学入学資格検定の合格者については問い合わせの必要はありません。



インターネット出願 **ロシュダイレクト** を ご利用ください。受験生のみさんの出願にかかる時間と費用の負担を軽減します。

入試制度の特徴・入試日程

1月に実施される大学入学共通テストの成績と調査書で多面的・総合的に評価・判定する入試です。

本学の個別学力検査はありません。一般選抜(前期日程)との併願が可能のほか、全学部・学科に併願できるのも、この入試の特徴です。

01 大学入学共通テストの成績を利用

大学入学共通テストに出願し、2024年1月13日(土)・14日(日)に実施される試験を受験してください。

大学入学共通テストにおいて、必ず本学が指定した科目を受験してください。

02 全学部・学科の併願が可能

7学部13学科全ての学部・学科で併願できます。(最大13出願可能)

03 経済的負担を大幅に軽減する検定料割引制度

複数出願割引

2出願目から割引されます

1出願のみ
15,000円



1出願追加毎に
+5,000円

最大13
出願可能

割引制度は、1度の出願登録で、複数出願する場合のみ適用されます。追加で出願した場合、既に登録済みの出願内容と合わせた割引は適用されません。

POINT みなし得点

**「英語」の資格・検定試験で基準を満たせば、
「英語」の得点を満点の8割または満点にします。**

本学が指定する英語資格を取得していれば、スコア・級に応じて「大学入学共通テストの英語の得点」に換算。
合否判定には、大学入学共通テストの英語の得点と、みなし得点のいずれか高い方の得点を使用します。

英語資格の得点換算表

実施主体名	資格・検定試験名	満点の8割	満点
日本英語検定協会	実用英語技能検定(英検)	2級	準1級以上
	英検CSEスコア	1,980点以上	2,304点以上
	TEAP	225点以上	309点以上
	TEAP CBT	420点以上	600点以上
ベネッセコーポレーション	GTEC(4技能)※	930点以上	1,180点以上
国際ビジネスコミュニケーション協会	TOEIC(L&R)+TOEIC(S&W)	1,150点以上	1,560点以上
Educational Testing Service	TOEFL iBT	42点以上	72点以上
ケンブリッジ大学英語検定機構	ケンブリッジ英語検定	140点以上	160点以上
ブリティッシュ・カウンシル	IELTS(アカデミック・モジュール)	4.0以上	5.5以上

※GTEC(4技能)はオフィシャルスコアに限る。また、2023年3月以前に取得したスコアで申請する場合は、960点以上で満点の8割、1,190点以上で満点とする。

配点 *必ず指定された**3科目**を受験してください

英語 200点
+
国語 200点
+
選択科目 100点
=
500点満点

試験内容

指定	教科	科目	配点	備考
必須	外国語	「英語」	200点	リーディング100点・リスニング100点
必須	国語	「国語」近代以降の文章、古典(古文、漢文)全て含む	200点	
選択科目1科目	地理歴史・公民	「世界史A」「世界史B」「日本史A」「日本史B」 「地理A」「地理B」「現代社会」「倫理」 「政治・経済」「倫理、政治・経済」	100点	選択科目について2科目以上受験していた場合は、最高得点科目の得点を合否判定に使用
	数 学 ①	「数学I」「数学I・数学A」		
	数 学 ②	「数学II」「数学II・数学B」 「簿記・会計」「情報関係基礎」		
	理 科 ①	「物理基礎」「化学基礎」「生物基礎」「地学基礎」 ※基礎を付した科目2科目の合計を1科目の得点として取り扱う。		
	理 科 ②	「物理」「化学」「生物」「地学」		

配点 *必ず指定された**3科目**を受験してください

英語 200点
+
国語 200点
+
選択科目 100点
=
500点満点

試験内容

指定	教科	科目	配点	備考
必須	外国語	「英語」	200点	リーディング100点・リスニング100点
必須	国語	「国語」近代以降の文章、古典(古文、漢文)全て含む	200点	
選択科目1科目	地理歴史・公民	「世界史A」「世界史B」「日本史A」「日本史B」 「地理A」「地理B」「現代社会」「倫理」 「政治・経済」「倫理、政治・経済」	100点	選択科目について2科目以上受験していた場合は、最高得点科目の得点を合否判定に使用
	数 学 ①	「数学I」「数学I・数学A」		
	数 学 ②	「数学II」「数学II・数学B」 「簿記・会計」「情報関係基礎」		
	理 科 ①	「物理基礎」「化学基礎」「生物基礎」「地学基礎」 ※基礎を付した科目2科目の合計を1科目の得点として取り扱う。		
	理 科 ②	「物理」「化学」「生物」「地学」		



人文学部

THE FACULTY OF HUMANITIES AND HUMAN SCIENCES

英語英文学科

*本学での個別学力検査はありません

配点

*必ず指定された3科目を受験してください

英語 250点



国語 200点



選択科目 100点



550点満点

試験内容

指定	教科	科目	配点	備考
必須	外国語	[英語]	250点	リーディング100点を150点に換算・リスニング100点
必須	国語	[国語] 近代以降の文章、古典(古文、漢文)全て含む	200点	
選択科目1科目	地理歴史・公民	[世界史A][世界史B][日本史A][日本史B] [地理A][地理B][現代社会][倫理] [政治・経済][倫理、政治・経済]	100点	選択科目について2科目以上受験していた場合は、最高得点科目の得点を合否判定に使用
	数学 ①	[数学I][数学I・数学A]		
	数学 ②	[数学II][数学II・数学B] [簿記・会計][情報関係基礎]		
	理科 ①	[物理基礎][化学基礎][生物基礎][地学基礎] ※基礎を付した科目2科目の合計を1科目の得点として取り扱う。		
理科 ②	[物理][化学][生物][地学]			



法学部

THE FACULTY OF LAW

法律学科

*本学での個別学力検査はありません

配点

*必ず指定された3科目を受験してください

英語 200点



国語 200点



選択科目 100点



500点満点

試験内容

指定	教科	科目	配点	備考
必須	外国語	[英語]	200点	リーディング100点・リスニング100点
必須	国語	[国語] 近代以降の文章、古典(古文、漢文)全て含む	200点	
選択科目1科目	地理歴史・公民	[世界史A][世界史B][日本史A][日本史B] [地理A][地理B][現代社会][倫理] [政治・経済][倫理、政治・経済]	100点	選択科目について2科目以上受験していた場合は、最高得点科目の得点を合否判定に使用
	数学 ①	[数学I][数学I・数学A]		
	数学 ②	[数学II][数学II・数学B] [簿記・会計][情報関係基礎]		
	理科 ①	[物理基礎][化学基礎][生物基礎][地学基礎] ※基礎を付した科目2科目の合計を1科目の得点として取り扱う。		
理科 ②	[物理][化学][生物][地学]			



配点

*必ず指定された**3科目**を受験してください

英語 200点 + 国語 200点 + 選択科目 100点 = 500点満点

試験内容

指定	教科	科目	配点	備考
必須	外国語	「英語」	200点	リーディング100点・リスニング100点
必須	国語	「国語」近代以降の文章、古典(古文、漢文)全て含む	200点	
選択科目1科目	地理歴史・公民	「世界史A」「世界史B」「日本史A」「日本史B」 「地理A」「地理B」「現代社会」「倫理」 「政治・経済」「倫理、政治・経済」	100点	選択科目について2科目以上受験していた場合は、最高得点科目の得点を合否判定に使用
	数学①	「数学I」「数学I・数学A」		
	数学②	「数学II」「数学II・数学B」 「簿記・会計」「情報関係基礎」		
	理科①	「物理基礎」「化学基礎」「生物基礎」「地学基礎」 ※基礎を付した科目2科目の合計を1科目の得点として取り扱う。		
	理科②	「物理」「化学」「生物」「地学」		



配点

*必ず指定された**3科目**を受験してください

英語・国語・数学のうち高得点科目2科目

英語 200点 ・ 国語 200点 ・ 数学 200点 = 400点満点

試験内容

指定	教科	科目	配点	備考
必須	外国語	「英語」	200点 ×2科目	リーディング100点・リスニング100点
必須	国語	「国語」近代以降の文章、古典(古文、漢文)全て含む		
数学1科目	数学①	「数学I」「数学I・数学A」		
	数学②	「数学II」「数学II・数学B」 「簿記・会計」「情報関係基礎」		

人間環境学部

THE FACULTY OF HUMAN ENVIRONMENTAL STUDIES

人間環境学科

*本学での個別学力検査はありません

配点

*必ず指定された3科目を受験してください

英語 200点 + 国語 200点 + 選択科目 100点 = 500点満点

試験内容

指定	教科	科目	配点	備考
必須	外国語	[英語]	200点	リーディング100点・リスニング100点
必須	国語	[国語] 近代以降の文章	200点	100点を200点に換算
選択科目1科目	地理歴史・公民	[世界史A][世界史B][日本史A][日本史B] [地理A][地理B][現代社会][倫理] [政治・経済][倫理、政治・経済]	100点	選択科目について2科目以上受験していた場合は、最高得点科目の得点を合否判定に使用
	数学 ①	[数学I][数学I・数学A]		
	数学 ②	[数学II][数学II・数学B] [簿記・会計][情報関係基礎]		
	理科 ①	[物理基礎][化学基礎][生物基礎][地学基礎] ※基礎を付した科目2科目の合計を1科目の得点として取り扱う。		
理科 ②	[物理][化学][生物][地学]			

健康科学部

THE FACULTY OF HEALTH SCIENCES

心理学科

*本学での個別学力検査はありません

配点

*必ず指定された3科目を受験してください

英語 200点 + 国語 200点 + 選択科目 100点 = 500点満点

試験内容

指定	教科	科目	配点	備考
必須	外国語	[英語]	200点	リーディング100点・リスニング100点
必須	国語	[国語] 近代以降の文章	200点	100点を200点に換算
選択科目1科目	地理歴史・公民	[世界史A][世界史B][日本史A][日本史B] [地理A][地理B][現代社会][倫理] [政治・経済][倫理、政治・経済]	100点	選択科目について2科目以上受験していた場合は、最高得点科目の得点を合否判定に使用
	数学 ①	[数学I][数学I・数学A]		
	数学 ②	[数学II][数学II・数学B] [簿記・会計][情報関係基礎]		
	理科 ①	[物理基礎][化学基礎][生物基礎][地学基礎] ※基礎を付した科目2科目の合計を1科目の得点として取り扱う。		
理科 ②	[物理][化学][生物][地学]			



健康科学部

THE FACULTY OF HEALTH SCIENCES



健康栄養学科

*本学での個別学力検査はありません

配点

*必ず指定された**4科目**を受験してください



試験内容

指定	教科	科目	配点	備考
必須	外国語	「英語」	200点	リーディング100点・リスニング100点
理科1科目	理科 ①	「化学基礎」「生物基礎」 ※基礎を付した科目2科目の合計を1科目の得点として取り扱う。	200点	理科について2科目受験していた場合は、高得点科目の得点を合否判定に使用100点を200点に換算
	理科 ②	「化学」「生物」		
必須	国語	「国語」近代以降の文章	100点	数学について2科目受験していた場合は、高得点科目の得点を合否判定に使用
数学1科目	数学 ①	「数学I」「数学I・数学A」		
	数学 ②	「数学II」「数学II・数学B」 「簿記・会計」「情報関係基礎」		



国際コミュニティ学部

THE FACULTY OF GLOBAL AND COMMUNITY STUDIES



国際政治学科



地域行政学科

*本学での個別学力検査はありません

配点

*必ず指定された**3科目**を受験してください



試験内容

指定	教科	科目	配点	備考
必須	外国語	「英語」	200点	リーディング100点・リスニング100点
必須	国語	「国語」近代以降の文章、古典(古文、漢文)全て含む	200点	
選択科目1科目	地理歴史・公民	「世界史A」「世界史B」「日本史A」「日本史B」 「地理A」「地理B」「現代社会」「倫理」 「政治・経済」「倫理、政治・経済」	200点	選択科目について2科目以上受験していた場合は、最高得点科目の得点を合否判定に使用100点を200点に換算
	数学 ①	「数学I」「数学I・数学A」		
	数学 ②	「数学II」「数学II・数学B」 「簿記・会計」「情報関係基礎」		
	理科 ①	「物理基礎」「化学基礎」「生物基礎」「地学基礎」 ※基礎を付した科目2科目の合計を1科目の得点として取り扱う。		
	理科 ②	「物理」「化学」「生物」「地学」		

全学部共通事項

1. 選抜方法

大学入学共通テストの得点および調査書を資料として、多面的・総合的に評価・判定します。

2. 入学検定料

1出願で15,000円です。2出願目以降は1出願追加毎にプラス5,000円となります。

(例)	2出願	20,000円	3出願	25,000円
-----	-----	---------	-----	---------

※全学部・学科に併願可能です。 ※一般選抜(前期日程)を同時に出願すると、セット割引の対象となり入学検定料がさらに割引されます。
※提出された書類および納入された入学検定料は、いかなる理由があろうとも返還いたしません。

3. 出願期間・出願方法



出願は、インターネット出願「シュューダイレクト」でのみ受け付けます。

【出願期間】2023年12月25日(月)～2024年1月12日(金) ※出願初日のみ8:45～受付開始

- (1)シュューダイレクトで出願登録する(最終日の登録締切時間は15:00)
- (2)入学検定料を納入する(最終日の入学検定料入金締切時間は16:00)
- (3)出願書類を郵送する:出願書類は入学検定料の入金後、速達・簡易書留で早急に郵送してください(締切日消印有効)。
※シュューダイレクトでの出願方法および入学検定料のお支払いについては103～110ページを参照してください。

【窓口受付期間】2024年1月15日(月)・16日(火)9:00～17:00

- (1)広島修道大学入学センター窓口で、出願登録する。
- (2)入学検定料を納入する(現金のみ)。
- (3)出願書類を提出する。
※持参物:入学検定料(現金のみ)、出身学校の調査書1通、写真1枚、大学入学共通テスト成績請求票1枚
窓口受付記入シート(2024年1月初旬に入試情報サイトに掲載します)

【受験生氏名等の漢字表記について】

本学では、入学試験に際して発行する受験票・合格通知書類の漢字氏名等の表記方法について、基準を設けております。その結果、**本来の漢字氏名等とは異なる表記となる場合があります**ので、あらかじめご了承ください。

4. 出願書類

出願書類は、入学検定料の支払い後にインターネット出願ページ「シュューダイレクト」の「印刷・確認」画面から印刷できます。シュューダイレクトからダウンロードする出願書類は全てA4サイズで印刷し、速達・簡易書留で郵送してください。

- (1) 出願シート(所定欄に写真と大学入学共通テスト成績請求票を貼付)
- (2) 出身学校調査書(出願前3カ月以内に発行し、厳封してください)
- (3) 資格・検定等の証明書(写)(英語資格を利用する方のみ)
※**前期日程で複数の入試制度、学科を受験する場合でも、出身学校調査書は1通**で結構です。
ただし、一度郵送した後に追加で出願する場合は、新たに1通郵送してください。
※高等学校卒業程度認定試験の合格者(または合格見込みの者)は「合格(成績)証明書」または「合格見込成績証明書」を郵送してください。
※出身学校調査書の保存期間が経過した場合および廃校・被災その他の事情により調査書が得られない場合には、卒業証明書(原本)を郵送してください。

5. 障がいなどのある志願者の配慮について

病気・負傷や障がい等のために、受験上の配慮および入学後の支援を希望する場合、出願に先立ち2023年11月24日(金)までに本学入学センターにお問い合わせください。

大学入学共通テストの英語について、受験上の配慮申請により「リスニング」を免除された場合は、「リーディング」の得点を「リスニング」の得点に換算します。この場合も、本学入学センターにご連絡ください。

6. 合格発表

合格発表日:2024年2月15日(木)10:00(予定)

- (1) 合格者には、「合格通知書」と「入学手続書類」を速達で郵送します。
なお、「合格通知書」等は、合格発表日に発送しますが、郵便事情により遅れる場合があります。以下(2)で合格を確認したうえで、2月19日(月)を過ぎても届かない場合は本学入学センターまで連絡してください。
- (2) 可否確認の補助手段について
インターネットによる合否照会システムで合否結果を確認することができます。詳細については112ページを確認してください。
- (3) 合格者の入学手続の状況により欠員の発生が想定される場合に限り、追加合格を発表することがあります。
なお、追加合格がある場合は、2024年2月23日(金・祝)15:00に本学入試情報サイトで発表する予定です。

※「合格通知書」等の不着および遅配を理由とした入学手続期間終了後の入学手続は一切認めませんので、ご注意ください。
※合格発表および追加合格に関する本学への電話での問い合わせには、いかなる理由があろうとも一切応じられません。



一般選抜 (後期日程)

試験日・試験地・出願期間

学部 学科	出願期間	試験日	試験地	合格発表	入学手続期間 《手続選択制》	
					一括手続	分割手続
全学部 全学科	<p>インターネット</p> <p>《インターネット出願受付》</p> <p>2024年 2/15(木)～2/26(月)</p> <p>※出願初日のみ8:45～受付開始</p> <p>※最終日の登録は15:00まで、 検定料入金は16:00まで</p> <p>締切日消印有効</p>	2024年 3/4(月)	広島 (本学)	2024年 3/9(土)	2024年 3/11(月)～ 3/18(月)	<p>《第1次入学手続》</p> <p>2024年 3/11(月)～ 3/18(月)</p> <p>締切日消印有効</p> <p>《第2次入学手続》</p> <p>2024年 3/19(火)～ 3/22(金)</p> <p>締切日必着</p>

試験時間

1時限目	10:20～11:30(70分)	国語
2時限目	13:00～14:10(70分)	英語

*当日は、9:50までに所定の試験室に入室してください

出願資格

次のいずれかに該当する者

- 高等学校または中等教育学校を卒業した者および2024年3月卒業見込みの者
- 通常の課程による12年の学校教育を修了した者および2024年3月修了見込みの者
- 学校教育法施行規則第150条の規定により高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者および2024年3月31日までにこれに該当する見込みの者。この出願資格については2024年2月5日(月)までに本学入学センターへ問い合わせてください。ただし、高等学校卒業程度認定試験の合格者(合格見込者)または大学入学資格検定の合格者については問い合わせの必要はありません。

インターネット出願 **ワンシューダイレクト** を
ご利用ください。受験生のみなさんの出願にかかる時間と費用の負担を軽減します。

入試制度の特徴・入試日程

01 学部・学科間で併願が可能

全ての学部・学科に出願できる併願制です。
1回の受験で最大13の学部・学科に出願できます。
共通テスト利用選抜（後期日程）との併願も可能です。

02 全学部、2科目で入試を実施

試験の結果と調査書で多面的・総合的に評価・判定します。
試験科目は全学部共通で、英語と国語の2科目で実施します。

03 経済的負担を大幅に軽減する検定料割引制度（詳細は104ページ）



割引制度は、1度の出願登録で、複数出願する場合のみ適用されます。
追加で出願した場合、既に登録済みの出願内容と合わせた割引は適用されません。

配点

*必ず2科目を受験してください

商学部

商学科／経営学科

英語 100点 + 国語 100点 = 200点満点

人文学部

社会学科／教育学科／英語英文学科

英語 150点 + 国語 100点 = 250点満点

法学部

法律学科

英語 100点 + 国語 100点 = 200点満点

経済科学部

現代経済学科／経済情報学科

英語 100点 + 国語 100点 = 200点満点

人間環境学部

人間環境学科

英語 100点 + 国語 100点 = 200点満点

健康科学部

心理学科／健康栄養学科

英語 100点 + 国語 100点 = 200点満点

国際コミュニティ学部

国際政治学科／地域行政学科

英語 100点 + 国語 100点 = 200点満点

試験内容

指定	教科	試験科目	出題範囲	時間
必須	外国語	英語	コミュニケーション英語I、コミュニケーション英語II、コミュニケーション英語III、英語表現I、英語表現II	70分
必須	国語	国語	国語総合(古文・漢文を除く)、現代文B	70分

全学部共通事項

1. 試験地

広島修道大学(本学)キャンパス

<注>試験会場の下見はできますが、建物内に入ることはできません。本学キャンパスの詳細については、37ページをご覧ください。

2. 選抜方法

英語、国語の合計得点および調査書を資料として多面的・総合的に評価・判定します。

なお、筆記試験で合否ラインの得点帯の受験生については、調査書に記載される主体性に関する情報を評価して、筆記試験の得点に加点したうえで合否判定します。加点する点数は、0点・1点・2点の三段階で評価します。評価する調査書の記載事項は、総合的な学習の時間の内容・評価、特別活動の記録(生徒会、学校行事の活動)、指導上参考となる諸事項(学習における特徴等、行動の特徴、特技等、部活動、ボランティア活動、留学・海外経験等、取得資格・検定、表彰・顕彰等の記録)等です。

3. 入学検定料

1出願で、27,000円です。2出願目以降は1出願追加毎にプラス10,000円となります。

(1回の受験で最大13の学部・学科に出願可能)

共通テスト利用選抜(後期日程)を同時にセットで出願すると、一般・共通テストセット割引の対象となり、入学検定料が2,000円割引されます。

*提出された書類および納入された入学検定料は、いかなる理由があろうとも返還いたしません。

*前期日程を受験された方で、補欠者の繰り上げ合格等により後期日程の受験をとりやめても、入学検定料は返還いたしません。

4. 出願期間・出願方法



出願は、インターネット出願「シュエダイレクト」でのみ受け付けます。

【出願期間】2024年2月15日(木)～2月26日(月) ※出願初日のみ8:45～受付開始

(1)シュエダイレクトで出願登録する(最終日の登録締切時間は**15:00**)

(2)入学検定料を納入する(最終日の入学検定料入金締切時間は**16:00**)

(3)出願書類を郵送する:出願書類は入学検定料の入金後、**速達・簡易書留**で早急に郵送してください(締切日消印有効)

※シュエダイレクトでの出願方法および入学検定料のお支払いについては、103～110ページを参照してください。

*出願書類に不備がある場合は、受け付けないことがありますので注意してください。

【受験生氏名等の漢字表記について】

本学では、入学試験に際して発行する受験票・合格通知書類の漢字氏名等の表記方法について、基準を設けております。その結果、**本来の漢字氏名等とは異なる表記となる場合があります**ので、あらかじめご了承ください。

5. 出願書類

出願書類は、入学検定料の支払い後にインターネット出願ページ「シュエダイレクト」の「印刷・確認」画面から印刷できます。シュエダイレクトからダウンロードする出願書類は全てA4サイズで印刷し、**速達・簡易書留**で郵送してください。

(1)出願シート

(2)出身学校調査書(出願前3カ月以内に発行し、厳封してください)

※**後期日程で複数の入試制度、学科を受験する場合でも、出身学校調査書は1通**で結構です。

ただし、一度郵送した後に追加で出願する場合は、新たに1通郵送してください。

※高等学校卒業程度認定試験の合格者(または合格見込みの者)は「合格(成績)証明書」または「合格見込成績証明書」を郵送してください。

※出身学校調査書の保存期間が経過した場合および廃校・被災その他の事情により調査書が得られない場合には、卒業証明書(原本)を郵送してください。

6. 障がいなどのある志願者の配慮について

病気・負傷や障がい等のために、受験上の配慮および入学後の支援を希望する場合、出願に先立ち2024年2月5日(月)までに本学入学センターにお問い合わせください。

7. 感染症（インフルエンザなど）について

試験日当日に感染症（インフルエンザやはしかなど）にかかっている場合は受験できません。詳細は111ページを参照してください。

8. 合格発表

(1) 合格発表日：2024年3月9日(土) 10:00(予定)

合格者に「合格通知書」と「入学手続書類」を速達で郵送します。

なお、合格通知書等は、合格発表日に発送しますが、郵便事情により遅れる場合があります。以下(2)で合格を確認したうえで、3月13日(水)を過ぎても届かない場合は本学入学センターまで連絡してください。

(2) 合否確認の補助手段について

インターネットによる合否照会システムで合否結果を確認できます。詳細については112ページを確認してください。

(3) 合格者の入学手続の状況により欠員の発生が想定される場合、以下の要領で追加合格を通知します。

■ 1回目：2024年3月23日(土) 10:00～(予定)

■ 2回目：2024年3月28日(木) 10:00～(予定)

追加合格候補者に、本学から電話連絡し、入学の意思を確認します。

【注意点】

① 本学からの電話連絡を確実に受けられるようにしておいてください。本学からの電話連絡の際、不在等のため本人の入学の意思確認ができなかった場合や、すみやかに入学の意思を表明しなかった場合は、いかなる理由があろうとも入学の意思がないものとして取り扱います。

② 追加合格は、欠員が充足した時点で終了します。

* 「合格通知書」等の不着および遅配を理由とした入学手続期間終了後の入学手続は一切認めませんので、ご注意ください。

* 合格発表および追加合格に関するお問い合わせには、いかなる理由があろうとも一切応じられません。

9. 入学試験成績（一般選抜）の開示について

本学では、希望者（受験者本人）に対して、入学試験の成績を次のように開示します。

(1) 受付期間／2024年4月8日(月)～4月19日(金)

(2) 開示する入試制度および内容

<一般選抜> 個人入試科目別（選択科目得点調整後）成績

(3) 開示対象者

一般選抜を受験して不合格となった者

(4) 開示手続きについて

① 入試成績開示申請の受付

成績開示希望の旨を上記期間内に、本学入学センターに申し出てください。申し出を受けて、本学より「入試成績開示申請書」を送付しますので、必要事項を記入のうえ、上記期間内に提出してください。

郵送で提出する場合、封筒に「入試成績開示申請書在中」と明記し、本学入学センター宛に郵送してください。**締切日必着ですので、郵送に要する日数を確認し、申し出てください。**受付期間最終日またはその前日に申し出た場合、開示ができなくなることがあります。

② 入試成績の開示

入試成績開示を許可した者に、「入試成績開示決定通知書」を発送します。

入試成績開示は、受験生本人（代理は不可）であることを確認のうえ、本学（入学センター）で行います。

受験票および本人が確認できる書類を持参してください。

受験上の注意は111ページを参照してください。



共通テスト利用選抜 (後期日程)

試験日・出願期間

学部 学科	出願期間	試験日	合格発表	入学手続期間《手続選択制》	
				一括手続	分割手続
全学部 全学科	<p>インターネット 《インターネット出願受付》 2024年 2/15(木)～2/26(月)</p> <p>※出願初日のみ8:45～ 受付開始 ※最終日の登録は15:00まで、 検定料入金は16:00まで 締切日消印有効</p>	<p>※本学での個別学力 検査はありません</p> <p>大学入学共通テスト 2024年 1/13(土)・1/14(日)</p>	<p>2024年 3/9(土)</p>	<p>2024年 3/11(月)～ 3/18(月) 締切日消印有効</p> <p>2024年 3/11(月)～ 3/18(月) 締切日消印有効</p>	<p>《第1次入学手続》 2024年 3/11(月)～ 3/18(月) 締切日消印有効</p> <p>《第2次入学手続》 2024年 3/19(火)～ 3/22(金) 締切日必着</p>

出願資格

次のいずれかに該当する者で令和6年度大学入学共通テスト(2024年1月13日(土)、14日(日)に実施)において本学が指定する教科・科目を受験する者

- 高等学校または中等教育学校を卒業した者および2024年3月卒業見込みの者
- 通常の課程による12年の学校教育を修了した者および2024年3月修了見込みの者
- 学校教育法施行規則第150条の規定により高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者および2024年3月31日までにこれに該当する見込みの者。この出願資格については2024年2月5日(月)までに本学入学センターへ問い合わせてください。ただし、高等学校卒業程度認定試験の合格者(合格見込者)または大学入学資格検定の合格者については問い合わせの必要はありません。

インターネット出願 **リシューダイレクト** を
ご利用ください。受験生のみなさんの出願にかかる時間と費用の負担を軽減します。

入試制度の特徴・入試日程

1月に実施される大学入学共通テストの成績と調査書で多面的・総合的に評価・判定する入試です。

本学での個別学力検査はありません。2月中旬から出願が始まるため、それまでの受験結果に応じての出願が可能です。

一般選抜(後期日程)との併願も可能です。

01 大学入学共通テストの成績を利用

大学入学共通テストに出願し、2024年1月13日(土)・14日(日)に実施される試験を受験してください。

大学入学共通テストにおいて、必ず本学が指定した科目を受験してください。

02 全学部・学科の併願が可能

7学部13学科全ての学部・学科で併願が可能です。(最大13出願可能)

03 経済的負担を大幅に軽減する検定料割引制度

複数出願割引 2出願目から割引されます	1出願のみ 15,000円	→	1出願追加毎に +5,000円	最大13 出願可能
一般・共通テストセット割引 一般選抜(後期日程)を 同時に 出願 すると割引されます	一般選抜 (後期日程)	+	共通テスト利用選抜 (後期日程)	2,000円 割引

割引制度は、1度の出願登録で、複数出願する場合のみ適用されます。

追加で出願した場合、既に登録済みの出願内容と合わせた割引は適用されません。

POINT みなし得点

**「英語」の資格・検定試験で基準を満たせば、
「英語」の得点を満点の8割または満点にします。**

本学が指定する**英語資格を取得していれば、スコア・級に応じて「大学入学共通テストの英語の得点」に換算。**
 合否判定には、**大学入学共通テストの英語の得点と、みなし得点のいずれか高い方の得点を使用します。**

英語資格の得点換算表

実施主体名	資格・検定試験名	満点の8割	満点
日本英語検定協会	実用英語技能検定(英検)	2級	準1級以上
	英検CSEスコア	1,980点以上	2,304点以上
	TEAP	225点以上	309点以上
	TEAP CBT	420点以上	600点以上
ベネッセコーポレーション	GTEC(4技能)※	930点以上	1,180点以上
国際ビジネスコミュニケーション協会	TOEIC(L&R)+TOEIC(S&W)	1,150点以上	1,560点以上
Educational Testing Service	TOEFL iBT	42点以上	72点以上
ケンブリッジ大学英語検定機構	ケンブリッジ英語検定	140点以上	160点以上
ブリティッシュ・カウンシル	IELTS(アカデミック・モジュール)	4.0以上	5.5以上

※GTEC(4技能)はオフィシャルスコアに限る。また、2023年3月以前に取得したスコアで申請する場合は、960点以上で満点の8割、1,190点以上で満点とする。

配点

*必ず指定された**3科目**を受験してください

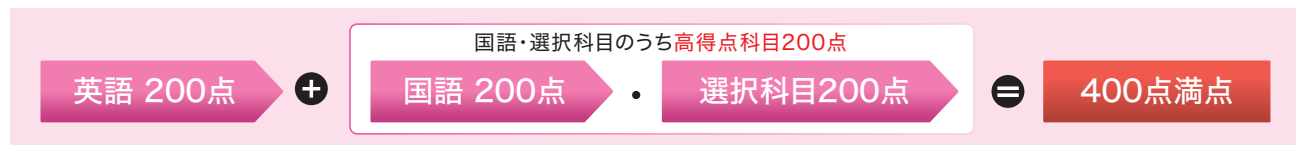


試験内容

指定	教科	科目	配点	備考
必須	外国語	[英語]	200点	リーディング100点・リスニング100点
必須	国語	[国語] 近代以降の文章、古典(古文、漢文)全て含む	200点	選択科目について2科目以上受験していた場合は、最高得点科目の得点を合否判定に使用100点を200点に換算
選択科目1科目	地理歴史・公民	[世界史A][世界史B][日本史A][日本史B] [地理A][地理B][現代社会][倫理] [政治・経済][倫理、政治・経済]		
	数 学 ①	[数学I][数学I・数学A]		
	数 学 ②	[数学II][数学II・数学B] [簿記・会計][情報関係基礎]		
	理 科 ①	[物理基礎][化学基礎][生物基礎][地学基礎] ※基礎を付した科目2科目の合計を1科目の得点として取り扱う。		
理 科 ②	[物理][化学][生物][地学]			

配点

*必ず指定された**3科目**を受験してください



試験内容

指定	教科	科目	配点	備考
必須	外国語	[英語]	200点	リーディング100点・リスニング100点
必須	国語	[国語] 近代以降の文章、古典(古文、漢文)全て含む	200点	選択科目について2科目以上受験していた場合は、最高得点科目の得点を合否判定に使用100点を200点に換算
選択科目1科目	地理歴史・公民	[世界史A][世界史B][日本史A][日本史B] [地理A][地理B][現代社会][倫理] [政治・経済][倫理、政治・経済]		
	数 学 ①	[数学I][数学I・数学A]		
	数 学 ②	[数学II][数学II・数学B] [簿記・会計][情報関係基礎]		
	理 科 ①	[物理基礎][化学基礎][生物基礎][地学基礎] ※基礎を付した科目2科目の合計を1科目の得点として取り扱う。		
理 科 ②	[物理][化学][生物][地学]			

人文学部

THE FACULTY OF HUMANITIES AND HUMAN SCIENCES

英語英文学科

*本学での個別学力検査はありません

配点

*必ず指定された3科目を受験してください



試験内容

指定	教科	科目	配点	備考
必須	外国語	「英語」	250点	リーディング100点を150点到換算・リスニング100点
必須	国語	「国語」近代以降の文章、古典(古文、漢文)全て含む	200点	選択科目について2科目以上受験していた場合は、最高得点科目の得点を合否判定に使用100点を200点到換算
選択科目1科目	地理歴史・公民	「世界史A」「世界史B」「日本史A」「日本史B」 「地理A」「地理B」「現代社会」「倫理」 「政治・経済」「倫理、政治・経済」		
	数学 ①	「数学I」「数学I・数学A」		
	数学 ②	「数学II」「数学II・数学B」 「簿記・会計」「情報関係基礎」		
	理科 ①	「物理基礎」「化学基礎」「生物基礎」「地学基礎」 ※基礎を付した科目2科目の合計を1科目の得点として取り扱う。		
理科 ②	「物理」「化学」「生物」「地学」			

法学部

THE FACULTY OF LAW

法律学科

*本学での個別学力検査はありません

配点

*必ず指定された3科目を受験してください



試験内容

指定	教科	科目	配点	備考
必須	外国語	「英語」	200点	リーディング100点・リスニング100点
必須	国語	「国語」近代以降の文章、古典(古文、漢文)全て含む		
選択科目1科目	地理歴史・公民	「世界史A」「世界史B」「日本史A」「日本史B」 「地理A」「地理B」「現代社会」「倫理」 「政治・経済」「倫理、政治・経済」	200点	選択科目について2科目以上受験していた場合は、最高得点科目の得点を合否判定に使用100点を200点到換算
	数学 ①	「数学I」「数学I・数学A」		
	数学 ②	「数学II」「数学II・数学B」 「簿記・会計」「情報関係基礎」		
	理科 ①	「物理基礎」「化学基礎」「生物基礎」「地学基礎」 ※基礎を付した科目2科目の合計を1科目の得点として取り扱う。		
理科 ②	「物理」「化学」「生物」「地学」			



配点

*必ず指定された3科目を受験してください

英語・国語のうち高得点科目200点

英語 200点 + 国語 200点 + 選択科目100点 = 300点満点

試験内容

指定	教科	科目	配点	備考
必須	外国語	[英語]	200点	リーディング100点・リスニング100点
必須	国語	[国語] 近代以降の文章、古典(古文、漢文)全て含む		
選択科目1科目	地理歴史・公民	[世界史A][世界史B][日本史A][日本史B] [地理A][地理B][現代社会][倫理] [政治・経済][倫理、政治・経済]	100点	選択科目について2科目以上受験していた場合は、最高得点科目の得点を合否判定に使用
	数 学 ①	[数学I][数学I・数学A]		
	数 学 ②	[数学II][数学II・数学B] [簿記・会計][情報関係基礎]		
	理 科 ①	[物理基礎][化学基礎][生物基礎][地学基礎] ※基礎を付した科目2科目の合計を1科目の得点として取り扱う。		
	理 科 ②	[物理][化学][生物][地学]		



配点

*必ず指定された3科目を受験してください

英語 200点 + 国語・選択科目のうち高得点科目200点 + 選択科目200点 = 400点満点

試験内容

指定	教科	科目	配点	備考
必須	外国語	[英語]	200点	リーディング100点・リスニング100点
必須	国語	[国語] 近代以降の文章、古典(古文、漢文)全て含む		
選択科目1科目	地理歴史・公民	[世界史A][世界史B][日本史A][日本史B] [地理A][地理B][現代社会][倫理] [政治・経済][倫理、政治・経済]	200点	選択科目について2科目以上受験していた場合は、最高得点科目の得点を合否判定に使用 100点を200点に換算
	数 学 ①	[数学I][数学I・数学A]		
	数 学 ②	[数学II][数学II・数学B] [簿記・会計][情報関係基礎]		
	理 科 ①	[物理基礎][化学基礎][生物基礎][地学基礎] ※基礎を付した科目2科目の合計を1科目の得点として取り扱う。		
	理 科 ②	[物理][化学][生物][地学]		

人間環境学部

THE FACULTY OF HUMAN ENVIRONMENTAL STUDIES

人間環境学科

*本学での個別学力検査はありません

配点

*必ず指定された3科目を受験してください

英語・国語・選択科目のうち高得点科目2科目

英語 200点

国語 200点

選択科目200点

=

400点満点

試験内容

指定	教科	科目	配点	備考
必須	外国語	[英語]	200点 ×2科目	リーディング100点・リスニング100点
必須	国語	[国語] 近代以降の文章		100点を200点に換算
選択科目1科目	地理歴史・公民	[世界史A][世界史B][日本史A][日本史B] [地理A][地理B][現代社会][倫理] [政治・経済][倫理、政治・経済]		選択科目について2科目以上受験していた場合は、最高得点科目の得点を合否判定に使用 100点を200点に換算
	数学①	[数学I][数学I・数学A]		
	数学②	[数学II][数学II・数学B] [簿記・会計][情報関係基礎]		
	理科①	[物理基礎][化学基礎][生物基礎][地学基礎] ※基礎を付した科目2科目の合計を1科目の得点として取り扱う。		
	理科②	[物理][化学][生物][地学]		

健康科学部

THE FACULTY OF HEALTH SCIENCES

心理学科

*本学での個別学力検査はありません

配点

*必ず指定された4科目を受験してください

英語 200点

+

数学①100点

+

数学②100点

+

選択科目100点

=

500点満点

試験内容

指定	教科	科目	配点	備考
必須	外国語	[英語]	200点	リーディング100点・リスニング100点
必須	数学①	[数学I][数学I・数学A]	100点	2科目以上受験していた場合は、最高得点科目の得点を合否判定に使用
必須	数学②	[数学II][数学II・数学B]	100点	
選択科目1科目	国語	[国語] 近代以降の文章	100点	
	地理歴史・公民	[世界史A][世界史B][日本史A][日本史B] [地理A][地理B][現代社会][倫理] [政治・経済][倫理、政治・経済]		
	理科①	[物理基礎][化学基礎][生物基礎][地学基礎] ※基礎を付した科目2科目の合計を1科目の得点として取り扱う。		
	理科②	[物理][化学][生物][地学]		



配点

*必ず指定された**4科目**を受験してください

国語・数学のうち**高得点科目1科目**

英語 200点 + 理科 200点 + **国語 100点** • **数学 100点** = **500点満点**

試験内容

指定	教科	科目	配点	備考
必須	外国語	[英語]	200点	リーディング100点・リスニング100点
理科1科目	理科 ①	[化学基礎][生物基礎] ※基礎を付した科目2科目の合計を1科目の得点として取り扱う。	200点	理科について2科目以上受験していた場合は、最高得点科目の得点を合否判定に使用 100点を200点に換算
	理科 ②	[化学][生物]		
必須	国語	[国語] 近代以降の文章	100点	数学について2科目受験していた場合は、高得点科目の得点を合否判定に使用
数学1科目	数学 ①	[数学I][数学I・数学A]		
	数学 ②	[数学II][数学II・数学B] [簿記・会計][情報関係基礎]		



配点

*必ず指定された**3科目**を受験してください

英語・国語・選択科目のうち**最高得点科目1科目を1.5倍**

英語 200点 + 国語 200点 + **選択科目200点** = **700点満点**

試験内容

指定	教科	科目	配点	備考
必須	外国語	[英語]	200点	リーディング100点・リスニング100点
必須	国語	[国語] 近代以降の文章、古典(古文、漢文)全て含む	200点	
選択科目1科目	地理歴史・公民	[世界史A][世界史B][日本史A][日本史B] [地理A][地理B][現代社会][倫理] [政治・経済][倫理、政治・経済]	200点	選択科目について2科目以上受験していた場合は、最高得点科目の得点を合否判定に使用 100点を200点に換算
	数学 ①	[数学I][数学I・数学A]		
	数学 ②	[数学II][数学II・数学B] [簿記・会計][情報関係基礎]		
	理科 ①	[物理基礎][化学基礎][生物基礎][地学基礎] ※基礎を付した科目2科目の合計を1科目の得点として取り扱う。		
	理科 ②	[物理][化学][生物][地学]		

全学部共通事項

1. 選抜方法

大学入学共通テストの得点および調査書を資料として多面的・総合的に評価・判定します。

2. 入学検定料

1出願で15,000円です。2出願目以降は、1出願追加毎にプラス5,000円となります。

※全学部・学科に併願可能です。
一般選抜(後期日程)を同時に出願すると、一般・共通テストセット割引の対象となり、入学検定料が2,000円割引になります。

(例) 2出願	20,000円
3出願	25,000円

- *提出された書類および納入された入学検定料は、いかなる理由があろうとも返還いたしません。
- *前期日程を受験された方で、補欠者の繰り上げ合格等により後期日程の受験をとりやめても、入学検定料は返還いたしません。

3. 出願期間・出願方法

シュューダイレクト

出願は、インターネット出願「シュューダイレクト」でのみ受け付けます。

【出願受付期間】2024年2月15日(木)～2月26日(月) ※出願初日のみ8:45～受付開始

- (1) シューダイレクトで出願登録する(最終日の登録締切時間は15:00)
- (2) 入学検定料を納入する(最終日の入学検定料入金締切時間は16:00)
- (3) 出願書類を郵送する: 出願書類は入学検定料の入金後、速達・簡易書留で早急に郵送してください(締切日消印有効)。

※シュューダイレクトでの出願方法および入学検定料のお支払いについては、103～110ページを参照してください。

*出願書類に不備がある場合は、受け付けないことがありますので注意してください。

【受験生氏名等の漢字表記について】

本学では、入学試験に際して発行する受験票・合格通知書類の漢字氏名等の表記方法について、基準を設けております。その結果、本来の漢字氏名等とは異なる表記となる場合がありますので、あらかじめご了承ください。

4. 出願書類

出願書類は、入学検定料の支払い後にインターネット出願ページ「シュューダイレクト」の「印刷・確認」画面から印刷できます。シュューダイレクトからダウンロードする出願書類は全てA4サイズで印刷し、速達・簡易書留で郵送してください。

- (1) 出願シート(所定欄に写真と大学入学共通テスト成績請求票を貼付)
- (2) 出身学校調査書(出願前3カ月以内に発行し、厳封してください)
- (3) 資格・検定等の証明書(写)(英語資格を利用する方のみ)

※後期日程で複数の入試制度、学科を受験する場合でも、出身学校調査書は1通で結構です。

ただし、一度郵送した後に追加で出願する場合は、新たに1通郵送してください。

※高等学校卒業程度認定試験の合格者(または合格見込みの者)は「合格(成績)証明書」または「合格見込成績証明書」を郵送してください。

※出身学校調査書の保存期間が経過した場合および廃校・被災その他の事情により調査書が得られない場合には、卒業証明書(原本)を郵送してください。

5. 障がいなどのある志願者の配慮について

病気・負傷や障がい等のために、入学後の支援を希望する場合、出願に先立ち2024年2月5日(月)までに本学入学センターに問い合わせてください。

大学入学共通テストの英語について、受験上の配慮申請により「リスニング」を免除された場合は、「リーディング」の得点を「リスニング」の得点に換算します。この場合も、本学入学センターにご連絡ください。

6. 合格発表

(1) 合格発表日: 2024年3月9日(土) 10:00(予定)

合格者に「合格通知書」と「入学手続書類」を速達で郵送します。

なお、合格通知書等は、合格発表日に発送しますが、郵便事情により遅れる場合があります。以下(2)で合格を確認したうえで、3月13日(水)を過ぎても届かない場合は本学入学センターまで連絡してください。

(2) 合否確認の補助手段について

インターネットによる合否照会システムで合否結果を確認できます。詳細については112ページを確認してください。

(3) 合格者の入学手続の状況により欠員の発生が想定される場合、以下の要領で追加合格を通知します。

■1回目: 2024年3月23日(土) 10:00～(予定)

■2回目: 2024年3月28日(木) 10:00～(予定)

追加合格候補者に、本学から電話連絡し、入学の意思を確認します。

【注意】

① 本学からの電話連絡を確実に受けられるようにしておいてください。本学からの電話連絡の際、不在等のため本人の入学の意思確認ができなかった場合や、すみやかに入学の意思を表明しなかった場合は、いかなる理由があろうとも入学の意思がないものとして取り扱います。

② 追加合格は、欠員が充足した時点で終了します。

- *「合格通知書」等の不着および遅配を理由とした入学手続期間終了後の入学手続は一切認めませんので、ご注意ください。
- *合格発表および追加合格に関するお問い合わせには、いかなる理由があろうとも一切応じられません。



インターネット出願

総合型選抜

入試制度の特徴

01 広島修道大学入学を第一志望とする専願入試

広島修道大学で学びたいという意思を強く持つ方が対象です。
合格した場合には入学する意思を明確に持っていることが出願条件になります。
2つ以上の学部・学科・方式は併願できません。

02 自己推薦で自分の能力・特技をアピール

自己推薦で受験できる入試制度です(学校長の推薦は必要ありませんが、調査書は必要です)。
出願資格や選抜方法は学部・学科によって異なりますのでよく確認してください。

03 合格者には本学独自の入学準備学習プログラムを用意

大学生活へのスムーズなスタートを目的として、独自の入学準備学習プログラムを実施します。
合格後、入学までに行う学習で、「キャンパス学習」と「通信課題学習」で構成されています。

試験日・試験地・出願期間

学部	学科・方式		募集人員	出願期間	試験日	試験地	合格発表	入学手続期間(手続選択制)		
								一括手続	分割手続	
商学部	商学科	活動実績重視方式	16名	2023年 9/19(火)～ 9/29(金) ※出願初日のみ 8:45～受付開始 ※最終日の登録は 15:00まで、 検定料入金は 16:00まで 締切日消印有効	2023年 10/21 (土)	広島 (本学)	2023年 11/1(水)	2023年 11/2(木)～ 11/10(金) 締切日消印有効	《第1次入学手続》 2023年 11/2(木)～ 11/10(金) 締切日消印有効	
		小論文重視方式								
	経営学科	活動実績重視方式	14名		10/22 (日)					
		小論文重視方式								
人文学部	社会学科		9名		10/22 (日)					《第2次入学手続》 2024年 2/26(月)～ 3/4(月)
	教育学科		8名							
	英語英文学科		15名							
法学部	法律学科	ゼミナール方式	15名		10/22 (日)					《第2次入学手続》 2024年 2/26(月)～ 3/4(月)
		スポーツ実績方式	5名							
		芸術・文化実績方式								
経済学部	現代経済学科		11名	10/21 (土)	《第2次入学手続》 2024年 2/26(月)～ 3/4(月)					
	経済情報学科		11名							
人間環境学部	人間環境学	レポート方式	10名	10/21 (土)	《第2次入学手続》 2024年 2/26(月)～ 3/4(月)					
		プレゼンテーション方式								
		活動実績方式								
健康学部	心理学科		6名	10/22 (日)	《第2次入学手続》 2024年 2/26(月)～ 3/4(月)					
	健康栄養学科		15名							
国際コミュニティ学部	国際政治学	課題図書方式	14名	10/22 (日)	《第2次入学手続》 2024年 2/26(月)～ 3/4(月)					
	地域行政学	課題図書方式	14名							

TOPICS!

インターネット出願 **ワンシューダイレクト** を
ご利用ください。受験生のみなさんの出願にかかる時間の負担を軽減します。

本学所定の出願書類は、本学入試情報サイトの出願ページから
ダウンロードしてください(詳細は108ページ)。

イベントに参加しよう!

来場型イベント「受験生・保護者対象入試説明会」と「オープンキャンパス」を実施します。
入試対策に役立つプログラムもありますので、総合型選抜の受験を考えている方は、積極的に参加しましょう。

「受験生・保護者対象入試説明会」「オープンキャンパス」

受験生・保護者対象
入試説明会

6/18
(日)

オープンキャンパス
第1回

7/15
(土)

オープンキャンパス
第2回

7/16
(日)

オープンキャンパス
第3回

8/20
(日)

イベントの詳細はP03~P04へ!



総合型選抜の課題・課題図書・テーマを発表!!

総合型選抜では、事前に課題やテーマを発表する学科があります。今年度は受験生・保護者対象入試説明会[2023年6月18日(日)]以降に発表。本学の入試情報サイトにも掲載します。受験予定の方は、必ずチェックしてください。

過去の課題

●人文学部 英語英文学科(課題図書)

2023 Oscar Wilde, *The Picture of Dorian Gray*, Oxford Bookworms
2022 Tim Vicary, *The Bronie Story*, Oxford Bookworms

●法学部 法律学科(課題)

2023 「これからの裁判員制度が18歳・19歳も対象とすることを踏まえ、若い世代への法教育のあり方と、死刑判断を求めることの是非を考えてみよう」
【主要な参考文献等】
『新版 死刑廃止を考える』(菊田幸一 著/岩波ブックレット)
『最高裁ホームページ』(https://www.saibanin.courts.go.jp/index.html)
*特に以下の各ページを参照
①広報テーマ「18歳から裁判員に!」
https://www.saibanin.courts.go.jp/vc-files/saibanin/2022/R4-4kouhou.pdf
②裁判員制度の実施状況について【データ】
https://www.saibanin.courts.go.jp/topics/detail/09_12_05-10jissi_jyoukyou.html
*特に「裁判員等経験者に対するアンケート 調査結果 令和3年度1」や
「裁判員制度の運用に関する意識調査 令和3年度1と2」を参照
【余裕がある場合の参考動画】
『政府広報オンライン』(対象年齢が広がります!裁判員裁判)
https://www.gov-online.go.jp/pr/media/tv/soko_oshiete/movie/20220107.html
『裁判員制度広報用アニメ「総務部総務課山口六平太 裁判員プロジェクト はじめます!」』
https://youtu.be/8rfaqwqj-b0
2022 「新型コロナウイルス感染症感染拡大抑制のための政策はどうあるべきか」
参考文献『最新知見で新型コロナとたたかう』(岡田晴恵 著/岩波ブックレット)

●経済科学部(講義理解力試験テーマ)

2023 「誰にだって得意なことはある」は綺麗ごとではない
2022 ライバルと競争しない方法

●人間環境学部(レポート方式・プレゼンテーション方式のテーマ)

2023 資源とエネルギーに関わる問題の一つ取り上げ、
私たちがそれのように取り組むべきか、あなたの意見をまとめなさい
2022 SDGsの17の目標のうち、環境等に関連するもの

●健康科学部 心理学科(課題図書)

2023 『無縁社会のゆくえー人々の絆はなぜなくなるの?』
(日本心理学会 監修/高木修・竹村和久 編/誠信書房)
(第3章、第4章、第9章のみ対象課題)
2022 『心理学の神話をめぐってー信じる心と見抜く心』
(日本心理学会 監修/邑本俊亮・池田まさみ 編/誠信書房)

●健康科学部 健康栄養学科(課題レポート)

2023 あなたが考える健康寿命
2022 第3次広島市食育推進計画およびその結果等について

●国際コミュニティ学部 国際政治学科(課題図書)

2023 『ホセ・ムヒカ 日本人に伝えたい本当のメッセージ』(萩一品 著/朝日新書)
2022 『宗教国家アメリカのふしぎな論理』(森本あんり 著/NHK出版新書)
『コンビニ外国人』(岸澤健介 著/新潮新書)

●国際コミュニティ学部 地域行政学科(課題図書)

2023 『日本の地方政府-1700自治体の実態と課題』(曾我謙悟 著/中公新書)
2022 『まちづくり幻想-地域再生はなぜこれほど失敗するのか』(木下斉 著/SB新書)

入学準備学習プログラムについて

総合型選抜に合格し入学手続をされた方を対象に、入学までの期間を利用し、「入学準備学習プログラム」を実施します。このプログラムの目的は、「本学での学びにむけた姿勢や知識を身に付け、入学後の学習をスムーズにスタートできるようになること」となっており、直接大学で模擬講義などを受講する2回の「キャンパス学習」と、自宅で取り組む「通信課題学習」で構成されています。合格者は、入学までの期間、入学準備学習に取り組んでください。詳しい日程・内容等は、合格者に別途送付します。



試験内容

試験内容等	時間	配点
小論文(資料小論文)	10:00~11:00	50点
面接(個別:20分程度) 面接の内容は大きく以下の2つを軸にして実施します(各々10分程度)。①高校時代に行った「ユニークな活動」を中心とした自己アピールを3分程度で行います。その際、自分のまとめとしてのメモ(A4用紙1枚)の使用は認めます。その後それに対する質疑を行います。なお、自己アピールは口頭で行うものとし、情報機器の使用やパフォーマンス、資料の配布は認めません。②志望理由、大学在学中に力を入れたいこと、将来の希望、最近関心を持った時事問題などに関する一般的な質問をします。	12:00~	50点
出願書類(志望理由書、活動報告書)	—	100点

配点

小論文 50点



面接(個別) 50点



出願書類 100点
(志望理由書・活動報告書)



200点満点

選抜方法 / 記述試験、面接の結果および出願書類にもとづき多面的・総合的に評価・判定します。

出願資格

次の①~②すべてに該当する者

- 1) 本学商学部当該学科入学を強く希望し、合格した場合には入学する意思を明確にもつ者
 - 2) 次のa~cのいずれかに該当し、かつ下記の募集要件のいずれかひとつを満たす者
 - a. 高等学校または中等教育学校を2024年3月卒業見込みの者で、高等学校または中等教育学校後期課程第3学年第1学期までの全体の学習成績の状況が**3.5以上かつ外国語・国語・数学・地理歴史・公民のうちいずれか2教科の学習成績の状況が3.5以上の者**
 - b. 高等学校または中等教育学校を2023年3月以降に卒業した者で、高等学校または中等教育学校後期課程の全体の学習成績の状況が**3.5以上かつ外国語・国語・数学・地理歴史・公民のうちいずれか2教科の学習成績の状況が3.5以上の者**
 - c. 通常の課程による12年の学校教育を2023年3月以降に修了した者(2024年3月に修了見込みの者を含む。)で、その所属する教育施設の教育課程(修了見込みの場合は第3学年第1学期まで)の全体の学習成績の状況が**3.5以上かつ外国語・国語・数学・地理歴史・公民のうちいずれか2教科の学習成績の状況が3.5以上の者**
- なお、学校教育法施行規則第150条2号、3号、4号または7号のいずれかに該当する者も出願することができます。(この出願資格について、その所属する教育施設の教育課程を2023年3月以降に修了した者または2024年3月に修了見込みの者は、2023年9月1日(金)までに本学入学センターに問い合わせてください)

【募集要件】

- ①スポーツ活動の分野
スポーツ活動(学内外を問わない)で、高校生として優秀な実績をあげた者(レギュラーとして出場し、県大会8位以上の実績を目安とします)
- ②文化・芸術・学問活動の分野
文化・芸術・学問の分野(学内外を問わない)で、高校生として優秀な実績をあげた者(団体競技参加の場合、県大会入賞以上の実績を目安とします)(個人競技参加の場合、250名にひとりの割合で選出される実績を目安とします)
- ③生徒会活動の分野
所属する高校の生徒会活動において、中心的な役割(会長・副会長・書記等)を果たした者、生徒会役員(委員長等)およびクラス代表以上の役職を、1年間以上務めた者を目安とします。
- ④ボランティア活動の分野
ボランティア活動を継続して行った者。ただし、活動は必ず自発的なものでなくてはならず、高校の活動の一環として行われたもの(例えば学校行事としての地域清掃)は含みません。また、活動は社会的なものでなければならず、家庭内や親族に対して行った活動(老人・病人に対する介護・看病等)は含みません。

⑤海外留学等活動の分野

高等学校等在学中に海外留学等経験がある者(3週間以上の海外留学等の経験がある者を目安とします)

⑥その他活動の分野

上記①~⑤のいずれの分野にも該当しないが、上記実績に相当する活動実績をあげた者

出願書類

- a. 出願シート
 - b. 出身学校調査書
 - c. 志望理由書(1,500字程度)
以下の①~④の内容を盛り込んで、まとめてください。なお、内容の順序は問いません。
 - ①商学科または経営学科を志望する動機・理由
 - ②高校時代に活動したことで学んだもの、身についたもの
 - ③将来の進路
 - ④広島修道大学(商学部)では、どのようなことを学ぼうと考えるのか(高校時代にやってきたことや将来の進路に関連づけて述べるほうが望ましい)
 - d. 活動報告書(該当する分野の全てに記入、作成してください)
 - e. 活動実績を裏付ける客観的資料
新聞記事、大会・コンクール等の冊子、印刷物、賞状等の写しを提出してください。本人の出場・参加が確認できる資料(例えばスコアブック等)も添付してください。**資料はA4判にして提出してください。**
- (注) a、c、dは本学所定の用紙です。シューダイレクト出願ページから印刷してください(108ページ参照)。出願シート以外の本学所定の用紙は、志願者本人の自筆により、黒ボールペンを使用して横書きで作成してください。

調査書は出願資格の確認および選抜の参考として活用します。学習成績の状況、総合的な学習の時間の内容・評価、特別活動の記録、指導上参考となる諸事項等をもとにして、学力の3要素全てを多面的・総合的に評価します。志願者本人が記載する出願書類は採点対象とし、合否判定に使用します。また、面接にも活用します。

試験内容

試験内容等	時間	配点
小論文(資料小論文)	10:00~11:30	120点
面接(集団) 高校時代に行った「ユニークな活動」、志望理由、大学在学中に力を入れたいこと、将来の希望、最近関心を持った時事問題などに関する一般的な質問をします。	12:30~	40点
出願書類(志望理由書、活動報告書)	—	40点

配点



選抜方法 / 記述試験、面接の結果および出願書類にもとづき多面的・総合的に評価・判定します。

OnePointADVICE ワンポイントアドバイス

1 社会情勢にいつも関心を持つこと

毎日、新聞の一面や国際面に目を通したり、ニュース番組を見たりするようにしましょう。経済やビジネスばかりでなく、政治や社会の動きにも注意。

2 自分の頭で考え、自分の言葉で語れること

1で知ったことについて自分なりにまとめて、自分の感想を書いてみましょう。文章にすることは自分の考えを整理する上で効果的です。

3 自分の知識を増やし、自分の考えを鍛えること

2ができるようになるために、新聞などに載る専門家のコメントや論説を読んだり、ニュース解説・特集番組を見たりして参考にしましょう。

4 自分の将来の夢を持つこと

将来自分がこうなりたいというイメージを育て、人に明確に伝えられるようにしましょう。「夢」は生きてゆく上で、強力なパワーになります。

出願資格

次の(1)~(3)すべてに該当する者

- (1) 本学商学部当該学科入学を強く希望し、合格した場合は入学する意思を明確に持つ者
- (2) 次のa~cのいずれかに該当する者
 - a. 高等学校または中等教育学校を2024年3月卒業見込みの者で、高等学校または中等教育学校後期課程第3学年第1学期までの全体の学習成績の状況が**3.6以上かつ外国語・国語・数学・地理歴史・公民のうちいずれか2教科の学習成績の状況が3.6以上の者**
 - b. 高等学校または中等教育学校を2023年3月以降に卒業した者で、高等学校または中等教育学校後期課程の全体の学習成績の状況が**3.6以上かつ外国語・国語・数学・地理歴史・公民のうちいずれか2教科の学習成績の状況が3.6以上の者**
 - c. 通常の課程による12年の学校教育を2023年3月以降に修了した者(2024年3月に修了見込みの者を含む。)で、その所属する教育施設(修了見込みの場合は第3学年第1学期まで)の全体の学習成績の状況が**3.6以上かつ外国語・国語・数学・地理歴史・公民のうちいずれか2教科の学習成績の状況が3.6以上の者**
- (3) 学内における課外活動において継続して活動を行った者または、その他の活動を行った者

なお、学校教育法施行規則第150条2号、3号、4号または7号のいずれかに該当する者も出願することができます。(この出願資格について、その所属する教育施設(修了見込みの場合は第3学年第1学期まで)の全体の学習成績の状況が3.6以上の者、2023年9月1日(金)までに本学入学センターに問い合わせてください)

出願書類

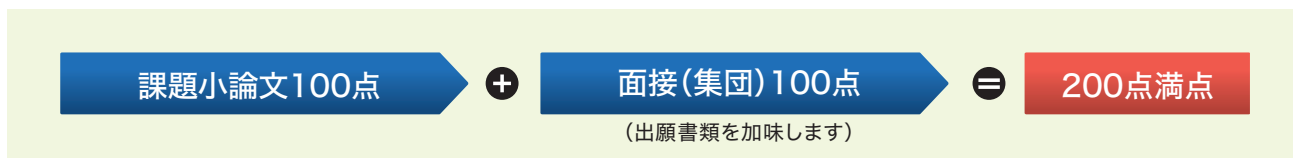
- a. 出願シート
 - b. 出身学校調査書
 - c. 志望理由書(1,500字程度)
以下の①~④の内容を盛り込んで、まとめてください。なお、内容の順序は問いません。
 - ①商学科または経営学科を志望する動機・理由
 - ②高校時代に活動したことで学んだもの、身についたもの
 - ③将来の進路
 - ④広島修道大学(商学部)では、どのようなことを学ぼうと考えるのか(高校時代にやってきたことや将来の進路に関連づけて述べるほうが望ましい)
 - d. 活動報告書(該当する分野の全てに記入、作成してください)
- (注) a, c, dは本学所定の用紙です。シューダイレクト出願ページから印刷してください(108ページ参照)。出願シート以外の本学所定の用紙は、志願者本人の自筆により、黒ボールペンを使用して横書きで作成してください。

調査書は出願資格の確認および選抜の参考として活用します。学習成績の状況、総合的な学習の時間の内容・評価、特別活動の記録、指導上参考となる諸事項等をもとにして、学力の3要素全てを多面的・総合的に評価します。志願者本人が記載する出願書類は採点対象とし、可否判定に使用します。また、面接にも活用します。

試験内容

試験内容等	時間	配点
課題小論文 課題資料1・2それぞれに関する設問:各50点。 課題資料はオープンキャンパスで配付します。 ※参考資料として、試験当日課題資料1・2を配布します。(英和辞典持込可、電子辞書持込不可)	10:00~12:00	100点
面接(集団) *出願書類にもとづき行います。	13:30~	100点

配点



選抜方法 / 出願書類・面接、課題に関する試験の結果をそれぞれ点数化したうえで、多面的・総合的に評価・判定します。

OnePointADVICE ワンポイントアドバイス

1 身の回りのさまざまな出来事に広く関心を持つ

テレビ、新聞、雑誌などの世の中のニュースや出来事はもちろんのこと、自分の身近なところで起こっている出来事や問題など、さまざまな事象に好奇心を持って接しましょう。

2 関心を持ったことを徹底的に調べる

興味を持った事象や出来事に関して、本を読むことは大変重要です。また、本を読むだけでなく、実際に街や現場に出かけ、自分で観察し経験しつつ考えることも大切です。

3 常識にとらわれず、多角的に物事を見る

自分で集めた情報を基に、既存の価値観や常識にとらわれることなく、多様な視点から考え、これまでと違った「社会の見方」が出来るように心がけましょう。

4 自分の考えを他の人に対して明快に伝える

自分自身の「社会の見方」を他の人たちに理解してもらえよう、データや情報を整理し、論理的に考え、筋道を立てて分かりやすく説明できるように訓練しましょう。

出願資格	出願書類
次の(1)~(2)すべてに該当する者 (1) 本学人文学部社会学科入学を強く希望し、合格した場合には入学する意思を明確にもつ者 (2) 次のa~dのいずれかに該当する者 a. 高等学校または中等教育学校を2024年3月卒業見込みの者 b. 高等学校または中等教育学校を卒業した者 c. 通常の課程による12年の学校教育を修了した者(2024年3月修了見込みの者を含む。) d. 高校卒業程度認定試験(学校教育法施行規則第150条5号)に合格した者または2024年3月31日までに合格する見込みの者(大学入学資格検定による合格者を含む。) なお、学校教育法施行規則第150条2号、3号、4号または7号のいずれかに該当する者も出願することができます。この出願資格については、2023年9月1日(金)までに本学入学センターに問い合わせてください。	a. 出願シート b. 出身学校調査書 c. 志望理由書 学業以外で関心を持って打ち込んできたこと(海外留学なども含む)、社会学科を志望する理由と在学中に学びたいことについて記述してください。(1,000字程度) d. 高校卒業程度認定試験の合格(成績)証明書または合格見込成績証明書(該当者のみ) (注) a, cは本学所定の用紙です。シュウダイレクト出願ページから印刷してください(108ページ参照)。自己申告書は、志願者本人の自筆により、黒ボールペンを使用して横書きで作成してください。 調査書は選抜の参考として活用します。学習成績の状況、総合的な学習の時間の内容・評価、特別活動の記録、指導上参考となる諸事項等をもとにして、学力の3要素全てを多面的・総合的に評価します。志願者本人が記載する出願書類は、面接に活用します。

受験生・保護者対象入試説明会[6/18(日)]で
課題図書発表!

試験内容

試験内容等		時間	配点
筆記試験	課題図書の内容の読解、要約、分析、論述の能力を問います。課題図書の持ち込みは不可とします。	10:00~10:45	100点
集団討論	少人数のグループに分かれ、課題図書の内容から出題されるテーマについてお互いに意見を出し合いながら合意形成を図ります。課題図書の持ち込みは不可とします。	11:00~11:45	70点
面接(個別)	課題図書に関する質問を含み、出願書類にもとづき行います。	13:30~	30点

配点

筆記試験100点

+

集団討論70点

+

面接30点

=

200点満点

選抜方法／筆記試験、集団討論、出願書類および個別面接における発言にもとづき多面的・総合的に評価・判定します。

OnePointADVICE ワンポイントアドバイス

課題図書は、受験生・保護者対象入試説明会[2023年6月18日(日)]で発表します。本学の入試情報サイトにも掲載します。

1 課題図書を熟読しましょう。

まずは課題図書の内容の理解に努める必要があります。その際、文章の構成を把握することを心がけてみましょう。目次や見出し、キーワードに着目し、節・段落ごとに内容をまとめ、それらを図示することが効果的です。

2 考えながら読みましょう。

筆記試験の論述問題や集団討論では論理的・教育的な考えをもつ必要があります。自身で「問い」を立てて読むことを心がけてみましょう。図書の内容をすべてうのみにせず、著者の考えを批評するという「著者と対話する」意識が重要です。

3 自身の考えを他者に伝える経験を積みましょう。

集団討論では合意形成(意見の一致)を図ります。その際、自身の意見をわかりやすく述べる必要があります。自身の考えを文字に起こすなどして推敲した上で他者に伝えて、フィードバックを受けてみましょう。

4 ディスカッションの経験を積みましょう。

集団討論では、他者の発言に耳を傾ける、質問する、意見をまとめるなど、合意形成を目指す言動が必要となります。また、議論の進行や多様な意見に合わせて自身の考えの中から適切な意見を選んで発言する必要もあります。授業や課外活動でこれらを心がけてみましょう。

出願資格

次の(1)~(2)すべてに該当する者

- (1) 本学人文学部教育学科入学を強く希望し、合格した場合には入学する意思を明確にもつ者
- (2) 次のa~dのいずれかに該当する者
 - a. 高等学校または中等教育学校を2024年3月卒業見込みの者で高等学校または中等教育学校後期課程第3学年第1学期までの全体の学習成績の状況が**3.5**以上の者
 - b. 高等学校または中等教育学校を卒業した者で高等学校または中等教育学校後期課程の全体の学習成績の状況が**3.5**以上の者
 - c. 通常の課程による12年の学校教育を修了した者(2024年3月修了見込みの者を含む。)で、その所属する教育施設の教育課程(修了見込みの場合は第3学年第1学期まで)の全体の学習成績の状況が**3.5**以上の者
 - d. 高校卒業程度認定試験(学校教育法施行規則第150条5号)に合格した者または2024年3月31日までに合格する見込みの者(大学入学資格検定による合格者を含む。)

なお、学校教育法施行規則第150条2号、3号、4号、または7号のいずれかに該当する者も出願することができます。この出願資格については、2023年9月1日(金)までに本学入学センターに問い合わせてください。

出願書類

- a. 出願シート
 - b. 出身学校調査書
 - c. 志望理由書(1,200字程度)
これまでに学業以外で特に関心を持って取り組んできたこと(海外留学なども含む)を関連させながら教育学科を志望する理由と在学中に学びたいことについて記述してください。
 - d. 高校卒業程度認定試験の合格(成績)証明書または合格見込成績証明書(該当者のみ)
- (注)a, cは本学所定の用紙です。シュレダイレクト出願ページから印刷してください(108ページ参照)。志望理由書は、志願者本人の自筆により、黒ボールペンを使用して横書きで作成してください。

調査書は選抜の参考として活用します。学習成績の状況、総合的な学習の時間の内容・評価、特別活動の記録、指導上参考となる諸事項等をもとにして、学力の3要素全てを多面的・総合的に評価します。志願者本人が記載する出願書類は、面接に活用します。



受験生・保護者対象入試説明会
[6/18(日)]で
課題図書発表!

試験日
10/22(日)

試験内容

試験内容等		時間	配点
英語力試験 課題図書をあらかじめ提示し、それを出題範囲として文章構成力(ライティングを含む)・読解力・リスニングテスト、音読テストを実施します。	文章構成力(ライティングを含む)・読解力・リスニングテスト	10:00~11:10	100点
	音読テスト	11:20~(1人5分)	20点
面接(個別) 課題図書に関する質問を含み、出願書類にもとづき行います。		13:30~ (1人15分程度)	30点

配点

英語力試験

文章構成力(ライティングを含む)・読解力・リスニングテスト 100点
音読テスト 20点

+

面接(個別)30点

=

150点満点

選抜方法 / 英語力試験、出願書類および個別面接における発言にもとづき多面的・総合的に評価・判定します。

OnePointADVICE ワンポイントアドバイス

課題図書は、受験生・保護者対象入試説明会 [2023年6月18日(日)] で発表します。本学の入試情報サイトにも掲載します。

1 英文の構成(いわゆる五文型がこれの代表的なものです)についての理解を深めましょう。

2 述語動詞が示す時制、法、態、相をしっかりと読み取りましょう。

3 実際に訳文を書く練習をしておきましょう。分かったつもりでもいざ訳すとすると意外にできないものです。

4 音とイントネーションに気をつけながら、英語を声に出して読んでみましょう。

出願資格

次の(1)~(2)すべてに該当する者

- (1) 本学人文学部英語英文学科入学を強く希望し、合格した場合には入学する意思を明確にもつ者
- (2) 次のa~dのいずれかに該当する者
 - a. 高等学校または中等教育学校を2024年3月卒業見込みの者
 - b. 高等学校または中等教育学校を卒業した者
 - c. 通常の課程による12年の学校教育を修了した者(2024年3月修了見込みの者を含む。)
 - d. 高校卒業程度認定試験(学校教育法施行規則第150条5号)に合格した者または2024年3月31日までに合格する見込みの者(大学入学資格検定による合格者を含む。)

なお、学校教育法施行規則第150条2号、3号、4号または7号のいずれかに該当する者も出願することができます。この出願資格については、2023年9月1日(金)までに本学入学センターに問い合わせてください。

出願書類

- a. 出願シート
- b. 出身学校調査書
- c. 志望理由書(800字程度)
- d. 活動報告書
 - ① 高校時代、あなたはどのような活動をしてきましたか。生徒会、クラブ活動、ボランティア活動、地域活動、海外留学などを自由に、その内容を記入してください。
 - ② 各種英語技能検定試験および特別な能力や技能・資格を修得している場合は、それを記入してください。
 - ③ その他、自分の得意なこと、自分の長所などを自由に書いてください。
- e. 高校卒業程度認定試験の合格(成績)証明書または合格見込成績証明書(該当者のみ)

(注) a, c, dは本学所定の用紙です。シューダイレクト出願ページから印刷してください(108ページ参照)。出願シート以外の用紙は、志願者本人の自筆により、黒ボールペンを使用して横書きで作成してください。

調査書は選抜の参考として活用します。学習成績の状況、総合的な学習の時間の内容・評価、特別活動の記録、指導上参考となる諸事項等をもとにして、学力の3要素全てを多面的・総合的に評価します。志願者本人が記載する出願書類は、面接に活用します。

受験生・保護者対象入試説明会[6/18(日)]で
課題および参考文献、参照物の詳細発表!

法学部
THE FACULTY OF LAW

法律学科

ゼミナール方式

試験日
10/22(日)

試験内容

	試験内容等	時間	配点
ゼミナール	課題について、参考文献等をもとに事前に自己の見解をまとめ、ゼミナール報告要旨を作成します。ゼミナールでは、報告要旨にもとづいて自己の見解を説明した後、集団討論を行います。ゼミナールでは、参考文献等(参照物)を利用することができます。(見解説明1人あたり5分・集団討論45分)	10:00~	100点

※ 試験当日の進行や評価のポイントについては、受験生・保護者対象入試説明会、オープンキャンパスでも説明しますので、関連する企画等への参加を強く勧めます。

配点

ゼミナール(見解説明+集団討論) 100点

=

100点満点

選抜方法 / 出願書類、ゼミナール報告要旨、自己の見解説明および集団討論の状況にもとづき多面的・総合的に評価・判定します。

OnePointADVICE ワンポイントアドバイス

ゼミナール方式では、課題について事前に作成した報告要旨にもとづいて自己の見解を説明した後、集団討論を行います。課題および参考文献、参照物の詳細等については、受験生・保護者対象入試説明会[2023年6月18日(日)]で発表します。本学の入試情報サイトにも掲載します。

1 試験当日の進行や評価のポイントについては、本学入試情報サイトでの説明に加えて、入試説明会、オープンキャンパスでの関連する企画等への参加や個別相談の利用が参考になるので、これらのイベントに参加することを強くお勧めします。

2 あらかじめ発表される総合型選抜の課題について、各自で事前に学習を行い、それをふまえて自己の見解をゼミナール報告要旨(A4用紙1枚・本学所定の用紙)に適切にまとめましょう。

3 ゼミナールでは、冒頭に各自が5分ずつ、事前に作成したゼミナール報告要旨にもとづいて自己の見解説明を行います。見解説明では、報告要旨を使いながら自分の考えを適切にまとめて報告する能力が評価されます。

4 各自の見解説明の後、大学教員の司会で集団討論を行います。集団討論では、積極的な発言、教員の質問や他の人の意見に対する確かな応答、発言の論理性などが評価されます。

出願資格

ゼミナール方式

次の(1)~(2)すべてに該当する者

- (1) 本学法学部法律学科入学を強く希望し、合格した場合には入学する意思を明確にもつ者
- (2) 次のa~dのいずれかに該当する者
 - a. 高等学校または中等教育学校を2024年3月卒業見込みで高等学校または中等教育学校後期課程第3学年第1学期までの全体の学習成績の状況が**3.5**以上の者
 - b. 高等学校または中等教育学校を2023年3月以降に卒業し、高等学校または中等教育学校後期課程の全体の学習成績の状況が**3.5**以上の者
 - c. 通常の課程による12年の学校教育を2023年3月以降に修了(2024年3月に修了見込みの者を含む。)し、かつその所属する教育施設の教育課程(修了見込みの場合は第3学年第1学期までの)全体の学習成績の状況が**3.5**以上の者
 - d. 高校卒業程度認定試験(学校教育法施行規則第150条5号)に合格した者または2024年3月31日までに合格する見込みの者(大学入学資格検定による合格者を含む。)この出願資格については2023年9月1日(金)までに本学入学センターに問い合わせてください。

出願書類

ゼミナール方式

- a. 出願シート
 - b. 出身学校調査書
 - c. 志望理由書(日本語800字程度)
これまでの学校での授業を通して学び考えたこと、課外活動・ボランティア活動を体験して考えたこと、将来の進路について考えること等を関連させながら、法律学科を志望する理由を、日本語800字程度で説明してください。
 - d. ゼミナール報告要旨(A4用紙1枚)
課題について参考文献等をもとに事前に自己の見解をまとめ、ゼミナール報告要旨を作成してください。
 - e. 高校卒業程度認定試験の合格(成績)証明書または合格見込成績証明書(該当者のみ)
- (注) a, c, dは本学所定の用紙です。シューダイレクト出願ページから印刷してください(108ページ参照)。出願シート以外の本学所定の用紙は、志願者本人の自筆により、黒ボールペンを使用して横書きで作成してください。ゼミナール報告要旨をパソコンで作成する場合は、原稿を所定用紙の枠内に直接印字または貼付してください。
- 調査書は出願資格の確認および選抜の参考として活用します。学習成績の状況、総合的な学習の時間の内容・評価、特別活動の記録、指導上参考となる諸事項等をもとにして、学力の3要素全てを多面的・総合的に評価します。志願者本人が記載する出願書類は、試験に活用します。

ゼミナール方式、スポーツ実績方式、芸術・文化実績方式共通

なお、学校教育法施行規則第150条2号、3号、4号または7号に該当する者も出願することができます。この出願資格については、2023年9月1日(金)までに本学入学センターに問い合わせてください。(法律学科全方式共通)



試験内容

試験内容等		時間	配点
出願書類	活動報告書	—	50点
社会問題についての 小論文・面接(個別)	*面接は出願書類にもとづき行います。出願書類「社会問題についての小論文」のコピー(面接時に配付)を参照できます。このコピーは面接終了時に回収します。	10:00~	50点

※ 試験当日の進行や評価のポイントについては、受験生・保護者対象入試説明会、オープンキャンパスでも説明しますので、関連する企画等への参加を強く勧めます。

配点

活動報告書50点

+

社会問題についての小論文・面接(個別)50点

=

100点満点

選抜方法 / 出願書類および面接にもとづき、多面的・総合的に評価・判定します。

OnePointADVICE ワンポイントアドバイス

スポーツ実績方式および芸術・文化実績方式では、公認部活動団体の活動において挙げた成績および日々の練習状況をあわせて50点、現代社会に対する問題意識およびこれに関する面接をあわせて50点の100点満点で評価します。

- 試験当日の進行や評価のポイントについては、入試情報サイトでの説明に加えて、入試説明会、オープンキャンパスでの関連する企画等への参加や個別相談の利用が参考になるので、これらのイベントに参加することを強くお勧めします。
- 毎日、新聞などを読み、現在の社会で何が起きているのかをチェックしておきましょう。異なる観点からさまざまなことが述べられているはずですので、できるだけ多くの記事をスクラップし、自分なりにまとめてみましょう。
- とくに自分が興味や関心を抱いた事柄については、関連する文献などを探してこれもまとめておきましょう。スポーツ活動や芸術・文化活動で培った根拠強さを生かし、「読む」「書く」習慣を入学前につけておきましょう。
- 面接試験では、「話す」「説明する」ことが求められます。自分がやってきたスポーツ活動や芸術・文化の活動・社会問題に関する調査研究などを正しく簡潔に説明できるようにしておきましょう。
- スポーツ活動や芸術・文化活動の実績は、これを証明する書類(賞状・新聞記事など)のほか、顧問の先生等に証明をしていただく必要があります。過去の記録などをよく整理しておいてください。

出願資格

スポーツ実績方式

次の(1)~(2)すべてに該当する者

- 本学法学部法律学科入学を強く希望し、合格した場合には入学する意思を明確にもつ者
- 高等学校または中等教育学校後期課程の公認部活動団体のスポーツ活動において優秀な実績をあげた者で、次のa~cのいずれかに該当する者
 - 高等学校または中等教育学校を2024年3月卒業見込みで高等学校または中等教育学校後期課程第3学年第1学期までの全体の学習成績の状況が**3.5**以上の者
 - 高等学校または中等教育学校を2023年3月以降に卒業し、高等学校または中等教育学校後期課程の全体の学習成績の状況が**3.5**以上の者
 - 通常の課程による12年の学校教育を2023年3月以降に修了(2024年3月に修了見込みの者を含む。)し、かつその所属する教育施設の教育課程(修了見込みの場合は第3学年第1学期まで)の全体の学習成績の状況が**3.5**以上の者

(注1)この入試制度の選考対象となるスポーツ活動は、硬式野球、軟式野球、体操競技・新体操、水泳、陸上競技、サッカー、フットサル、アメリカンフットボール、バスケットボール、バレーボール、ハンドボール、ソフトテニス、テニス、バドミントン、卓球、ソフトボール、ボート、ヨット、ボクシング、レスリング、柔道、空手道、剣道、弓道、アーチェリー、駅伝、ラグビー、スキー、スケート・アイスホッケー、なぎなた、登山、少林寺拳法、スカッシュ等とします。
(注2)注1にあげたもの以外に、次のa~cのいずれかに該当する競技も、この入試制度の選考対象とします。

- 全国高等学校総合体育大会における開催競技
- 全国高等学校体育連盟に競技専門部を持つ競技
- 国民体育大会における開催競技(過去3年間に1回以上、正式競技、公開競技、デモンストレーションとしてのスポーツ行事のいずれかに選ばれたもの)

(注3)出願を希望する競技(スポーツ活動)が選考対象となるものかどうかについては、2023年9月1日(金)までに本学入学センターへ問い合わせてください。この期限を過ぎた問い合わせには応じられません。

芸術・文化実績方式

次の(1)~(2)すべてに該当する者

- 本学法学部法律学科入学を強く希望し、合格した場合には入学する意思を明確にもつ者
- 高等学校または中等教育学校後期課程の公認部活動団体の芸術・文化活動において優秀な実績をあげた者で、次のa~cのいずれかに該当する者
 - 高等学校または中等教育学校を2024年3月卒業見込みで高等学校または中等教育学校後期課程第3学年第1学期までの全体の学習成績の状況が**3.5**以上の者

- 高等学校または中等教育学校を2023年3月以降に卒業し、高等学校または中等教育学校後期課程の全体の学習成績の状況が**3.5**以上の者
 - 通常の課程による12年の学校教育を2023年3月以降に修了(2024年3月に修了見込みの者を含む。)し、かつその所属する教育施設の教育課程(修了見込みの場合は第3学年第1学期まで)の全体の学習成績の状況が**3.5**以上の者
- (注1)この入試制度の選考対象となる芸術・文化活動は、演劇、合唱、吹奏楽、器楽・管弦楽、日本音楽、吟詠、詩舞、郷土芸能、マーチングバンド・パトントワリング、ダンスドリル、美術・工芸、書道、写真、放送、囲碁、将棋、弁論、小倉百人一首競技かるた、新聞、文芸、自然科学等とします。
(注2)出願を希望する芸術・文化活動が選考対象となるものかどうかについては、2023年9月1日(金)までに本学入学センターへ問い合わせてください。この期限を過ぎた問い合わせには応じられません。

出願書類

スポーツ実績方式 / 芸術・文化実績方式

- 出願シート
- 出身学校調査書
- 志望理由書(日本語800字程度)
これまでの学校での授業を通して学び考えたこと、課外活動・ボランティア活動を体験して考えたこと、将来の進路について考えること等を関連させながら、法律学科を志望する理由を、日本語800字程度で説明してください。
- 活動報告書
これまでのスポーツ活動または芸術・文化活動についての実績を記入してください。この報告書は、顧問の先生等その活動を証明できる方の署名、捺印が必要です。
- 活動実績を証明する資料(賞状、新聞記事、大会パンフレット(抜粋)のコピーなど)をA4判にして提出してください。
- 社会問題についての小論文(日本語800字程度)
あなたが考える社会問題について日本語800字程度で説明してください。
(注) a. c. d. fは本学所定の用紙です。シュレダイレクト出願ページから印刷してください(108ページ参照)。出願シート以外の本学所定の用紙は、志願者本人の自筆により、黒ボールペンを使用して横書きで作成してください。

調査書は出願資格の確認および選抜の参考として活用します。学習成績の状況、総合的な学習の時間の内容・評価、特別活動の記録、指導上参考となる諸事項等をもとにして、学力の3要素全てを多面的・総合的に評価します。志願者本人が記載する出願書類d・fは採点対象とし、合否判定に使用します。また、面接にも活用します。

受験生・保護者対象入試説明会[6/18(日)]で
講義テーマ発表!

試験内容

試験内容等	時間	配点
講義理解力試験 講義(ビデオ等を使用することもある)を聴き、その内容が理解できたか、簡単な試験を行います。試験は講義で配布する資料およびメモ用紙を持ち込んでよいこととします。	10:00~12:00 講義 50分程度 試験 50分程度	100点
面接(個別) 主に、次の2点に関して面接を行います。 ①経済科学部現代経済学科または経済情報学科を志望する理由 ②高校時代に行ったユニークな活動 面接は質疑応答の形式で行います。メモ(A4用紙1枚)を持ち込んでよいこととします。	13:00~ (20分程度)	50点
出願書類(志望理由書、活動報告書)	—	50点

配点

講義理解力試験
100点

+

面接(個別)
50点

+

出願書類(志望理由書、活動報告書)
50点

=

200点満点

選抜方法 / 講義理解力試験、出願書類および面接にもとづき多面的・総合的に評価・判定します。

OnePointADVICE ワンポイントアドバイス

講義テーマは、受験生・保護者対象入試説明会[2023年6月18日(日)]で発表します。本学の入試情報サイトにも掲載します。

1 日頃から経済問題に関心を持ちましょう

日頃から新聞やテレビのニュースなどから、経済問題に触れる機会を増やしておきましょう。疑問を感じたならば、すぐに調べる習慣をつけることも知識を蓄えていくうえで重要なことです。

2 調べるといっても…どうやって?

入試説明会・オープンキャンパスでは、経済科学部の先生がブースにいますので、遠慮せずに質問してみてください。的確なアドバイスはもちろん、総合型選抜に役立つヒントを与えてもらえるかもしれません。

3 問題の相互関係について考えよう

ひとつひとつの問題は、まったく独立に発生しているのではなく、意外と相互関係がある場合が多いものです。今調べている問題はこれまで自分が調べた問題と何らかのつながりがないか考えてみましょう。

4 調べたことをまとめよう

調べたことをまとめる習慣をつけておきましょう。自分の言葉で文章にすることにより、さらに理解が深まります。できれば、書いた文章を先生や友人に読んでもらい自分の言いたいことが相手に伝わっているかチェックしておくことがカンベキです。

講義理解力試験について

1 講義理解力試験は、特に準備は要りません。*よくわかる*と評判の先生が、丁寧に講義します。真剣に聴けば、きっとよくわかります。普段から、学校の授業を、よく聴いて、しっかり理解するよう努力しましょう。

2 試験には講義で取ったメモを持ち込むことができます。講義を聴きながら、しっかりとメモを取りましょう。赤青黄など、色鉛筆(カラマーカー)もあると、もしかしら役に立つかも?

面接について

1 面接では、特に「これまでに行ったユニークな活動」を話してください。活動の種類や内容は、特に限定しません。緊張することなくしっかりと「自己推薦」してください。

2 面接には、メモ(A4サイズ1枚、両面使用可)を持ち込むことができます。けれども、メモを「読む」のはダメです。必要な時だけ「見る」ようにしましょう。熱心であることを伝えることができれば、合格が近づきます。

出願資格

次の1)~2)すべてに該当する者

- 1) 本学経済科学部当該学科入学を強く希望し、合格した場合には入学する意思を明確にもつ者
- 2) 次のa~cのいずれかに該当する者
 - a. 高等学校または中等教育学校を2024年3月卒業見込みの者で、高等学校または中等教育学校後期課程第3学年第1学期までの全体の学習成績の状況が**3.5**以上の者
 - b. 高等学校または中等教育学校を2023年3月以降に卒業した者で、高等学校または中等教育学校後期課程の全体の学習成績の状況が**3.5**以上の者
 - c. 通常の課程による12年の学校教育を2023年3月以降に修了した者(2024年3月に修了見込みの者を含む。)で、かつその所属する教育施設の教育課程(修了見込みの場合は第3学年第1学期まで)の全体の学習成績の状況が**3.5**以上の者
ただし、a、b、cいずれの場合も、英語・国語・数学いずれか1教科の学習成績の状況が**3.7**以上の者は、全体の学習成績の状況が**3.3**以上でよい。
なお、学校教育法施行規則第150条2号、3号、4号または7号のいずれかに該当する者も出願することができます。この出願資格について、その所属する教育施設の教育課程を2023年3月以降に修了した者または2024年3月に修了見込みの者は、2023年9月1日(金)までに本学入学センターに問い合わせてください。

出願書類

- a. 出願シート
 - b. 出身学校調査書
 - c. 志望理由書(800字程度)
経済科学部現代経済学科または経済情報学科を志望する理由を説明してください。
 - d. 活動報告書(これまでのユニークな活動について報告してください)
この報告書は、**顧問の先生等その活動を証明できる方の署名、捺印が必要です。**活動実績を証明する資料(資料は**A4判にしてください**)
 - e. 活動実績を証明する書類(新聞記事、大会・コンクールの冊子、印刷物等)の写しを提出してください。
- (注) a、c、dは本学所定の用紙です。シュタイレクト出願ページから印刷してください(108ページ参照)。出願シート以外の本学所定の用紙は、志願者本人の自筆により、黒ボールペンを使用して横書きで作成してください。
調査書は出願資格の確認および選抜の参考として活用します。学習成績の状況、総合的な学習の時間の内容・評価、特別活動の記録、指導上参考となる諸事項等をもとにして、学力の3要素全てを多面的・総合的に評価します。志願者本人が記載する出願書類は採点対象とし、合否判定に使用します。また、面接にも活用します。

受験生・保護者対象入試説明会[6/18(日)]で
レポートのテーマ発表!



人間環境学部

THE FACULTY OF HUMAN ENVIRONMENTAL STUDIES



人間環境学科

レポート方式

試験日

10/21(土)

試験内容

試験内容等		時間	配点
出願書類	志望理由書(800字程度)	—	10点
	レポート(3,000字以内) *本文の文字数についてレポート末尾に記入してください。	—	100点
筆記試験	レポートのテーマに関連する基礎的な知識を問います。なお、レポートの持ち込みは不可とします。	10:00~10:30	50点
レポートに関する 質疑応答審査	事前に提出したレポート内容についての教員による質疑への応答(15分程度)をもって審査します。なお、レポートの持ち込みは不可とします。	11:00~ (質疑応答15分程度)	40点

配点



選抜方法 / レポート、質疑応答審査、筆記試験、志望理由書および調査書にもとづき、多面的・総合的に評価・判定します。

OnePointADVICE ワンポイントアドバイス

レポートのテーマは、受験生・保護者対象入試説明会[2023年6月18日(日)]で発表します。本学の入試情報サイトにも掲載します。

1 レポートのテーマについて調べましょう。

- テーマに関連する本を読んだり、ニュース、報道番組を見て、その内容をメモにまとめてみましょう。
- 自分の意見をまとめてみましょう。

2 自分の考えを正確に伝える工夫をしましょう。

- 自分の意見を自分の言葉で表現できるようにしましょう。
- 自分の意見と他の意見の違いや、自分の意見の根拠が説明できるようにしておきましょう。

3 レポートを作成しましょう。

- 担任の先生、友人、家族に自分の意見を聞いてもらいましょう。
- 聞いてくれた人からの質問に答えられる練習をしましょう。
- それをレポートとしてまとめてみましょう。

出願資格

次の(1)~(2)すべてに該当する者

(1) 本学人間環境学部人間環境学科入学を強く希望し、合格した場合には入学する意思を明確にもつ者

(2) 次のa~cのいずれかに該当する者

- 高等学校または中等教育学校を2024年3月卒業見込みの者で、高等学校または中等教育学校後期課程第3学年第1学期までの全体の学習成績の状況が**3.5**以上の者
- 高等学校または中等教育学校を2023年3月以降に卒業した者で、高等学校または中等教育学校後期課程の全体の学習成績の状況が**3.5**以上の者
- 通常の課程による12年の学校教育を2023年3月以降に修了した者(2024年3月に修了見込みの者を含む。)で、かつその所属する教育施設の教育課程(修了見込みの場合は第3学年第1学期まで)の全体の学習成績の状況が**3.5**以上の者

なお、学校教育法施行規則第150条2号、3号、4号または7号に該当する者も出願することができます。この出願資格については、2023年9月1日(金)までに本学入学センターに問い合わせてください。

出願書類

- 出願シート
 - 出身学校調査書
 - 志望理由書(800字程度)
本学人間環境学部を志望する動機・理由を説明してください。
 - レポート
 - ① あらかじめ提示されたテーマについて、図書、雑誌、新聞等で調べ、3,000字以内のレポートを作成してください。また、本文の文字数について、レポートの末尾に記入してください。試験当日、このレポートに関し、教員による質疑応答を実施します。
 - ② レポートはA4サイズ用紙を使用してください(パソコン使用を認めます)。
 - ③ レポートの冒頭に論題、氏名を明記してください。なお、図表を使用する場合は文字数に含めません。
 - ④ レポートは、2023年9月29日(金)までに(消印有効)、入学センターに郵送してください(提出後の修正は、一切受け付けません。また、提出物の返却はしません)。
- (注) a, cは本学所定の用紙です。シュウダイレクト出願ページから印刷してください(108ページ参照)。志望理由書は、志願者本人の自筆により、黒ボールペンを使用して横書きで作成してください。

調査書は出願資格の確認および選抜の参考として活用します。学習成績の状況、総合的な学習の時間の内容・評価、特別活動の記録、指導上参考となる諸事項等をもとにして、学力の3要素全てを多面的・総合的に評価します。志願者本人が記載する出願書類は採点対象とし、合否判定に使用します。また、面接にも活用します。

受験生・保護者対象入試説明会[6/18(日)]で
プレゼンテーションのテーマ発表!

人間環境学部
THE FACULTY OF HUMAN ENVIRONMENTAL STUDIES

人間環境学科

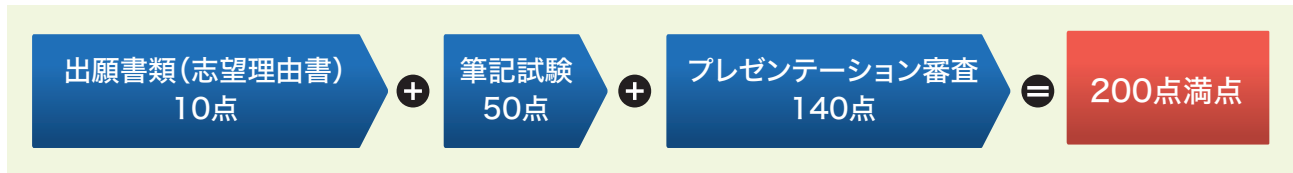
プレゼンテーション方式

試験日
10/21(土)

試験内容

試験内容等		時間	配点
出願書類	志望理由書(800字程度)	—	10点
筆記試験	プレゼンテーションのテーマに関連する基礎的な知識を問います。なお、プレゼンテーション資料の持ち込みは不可とします。	10:00~10:30	50点
プレゼンテーション 審査	あらかじめ提示されたテーマについて、所定の時間でプレゼンテーション(5分程度)を行い、その後、教員による質疑への応答(10分程度)をもって、審査します。	11:00~ (15分程度)	140点

配点



選抜方法 / プレゼンテーション審査、筆記試験、志望理由書および調査書にもとづき、多面的・総合的に評価・判定します。

OnePointADVICE ワンポイントアドバイス

プレゼンテーションのテーマは、受験生・保護者対象入試説明会[2023年6月18日(日)]で発表します。
本学の入試情報サイトにも掲載します。

1 プレゼンテーションのテーマについて調べましょう。

- テーマに関連する本を読んだり、ニュース、報道番組を見て、その内容をメモにまとめてみましょう。
- 自分の意見をまとめてみましょう。

2 分かりやすい発表資料を作りましょう。

- 調べたことやデータを整理し、原稿を作りましょう。
- 発表時間を考え、話す分量や図表の見やすさを工夫しましょう。

3 プレゼンテーションの練習をしましょう。

- 担任の先生、友人、家族に発表を聞いてもらいましょう。
- 聞いてくれた人からの質問に答えられる練習をしましょう。

出願資格

次の(1)~(2)すべてに該当する者

- 本学人間環境学部人間環境学科入学を強く希望し、合格した場合には入学する意思を明確にもつ者
 - 次のa~cのいずれかに該当する者
 - 高等学校または中等教育学校を2024年3月卒業見込みの者で、高等学校または中等教育学校後期課程第3学年第1学期までの全体の学習成績の状況が**3.5**以上の者
 - 高等学校または中等教育学校を2023年3月以降に卒業した者で、高等学校または中等教育学校後期課程の全体の学習成績の状況が**3.5**以上の者
 - 通常の課程による12年の学校教育を2023年3月以降に修了した者(2024年3月に修了見込みの者を含む。)で、かつその所属する教育施設の教育課程(修了見込みの場合は第3学年第1学期まで)の全体の学習成績の状況が**3.5**以上の者
- なお、学校教育法施行規則第150条2号、3号、4号または7号に該当する者も出願することができます。この出願資格については、2023年9月1日(金)までに本学入学センターに問い合わせてください。

出願書類

- 出願シート
 - 出身学校調査書
 - 志望理由書(800字程度)
本学人間環境学部を志望する動機・理由を説明してください。
 - プレゼンテーション資料
 - あらかじめ提示されたテーマについて、パソコン(マイクロソフト社パワーポイント)、模造紙、画用紙を使って、発表を行います。
 - プレゼンテーション方法について、志望理由書の所定の欄(最下段)に、志願者が実施するプレゼンテーションの方法を具体的に記入してください。
 - プレゼンテーション資料の1枚目に論題、氏名を明記してください。
 - 発表に使用するパワーポイントのファイルを保存したUSBメモリ、模造紙、画用紙等は2023年9月29日(金)までに(消印有効)入学センターに郵送してください(提出後の修正は一切受け付けません。また、提出物の返却はしません)。
- (注) a, cは本学所定の用紙です。シューダイレクト出願ページから印刷してください(108ページ参照)。志望理由書は、志願者本人の自筆により、黒ボールペンを使用して横書きで作成してください。

調査書は出願資格の確認および選抜の参考として活用します。学習成績の状況、総合的な学習の時間の内容・評価、特別活動の記録、指導上参考となる諸事項等をもとにして、学力の3要素全てを多面的・総合的に評価します。志願者本人が記載する出願書類は採点対象とし、合否判定に使用します。また、面接にも活用します。



試験内容

試験内容等		時間	配点
出願書類	志望理由書(800字程度)	—	10点
	活動実績書・活動実績証明資料	—	80点
小論文	資料小論文 *読解・要約・分析・論述	10:00~11:30	70点
面接(個別)	出願書類にもとづき行います。	13:00~(15分程度)	40点

配点



選抜方法 / 活動実績、小論文、面接、志望理由書および調査書にもとづき、多面的・総合的に評価・判定します。

OnePointADVICE ワンポイントアドバイス

1 環境問題と持続可能性について調べましょう。

- 環境問題だけでなく最近話題の「SDGs」についても普段から関心を持つようにしましょう。

2 読解力を養いましょう。

- 文章を読み解き、その意図や背景についても理解するよう努力しましょう。

3 表現力を身につけましょう。

- 自分の考えを自分の言葉で筋道をたてて表現できるようにしましょう。

出願資格

次の1)~2)すべてに該当する者

- 1) 本学人間環境学部人間環境学科入学を強く希望し、合格した場合には入学する意思を明確にもつ者
- 2) 次のa~cのいずれかに該当し、かつ下記の募集要件のいずれかひとつを満たす者
 - a. 高等学校または中等教育学校を2024年3月卒業見込みの者で、高等学校または中等教育学校後期課程第3学年第1学期までの全体の学習成績の状況が**3.5**以上の者
 - b. 高等学校または中等教育学校を2023年3月以降に卒業した者で、高等学校または中等教育学校後期課程の全体の学習成績の状況が**3.5**以上の者
 - c. 通常の課程による12年の学校教育を2023年3月以降に修了した者(2024年3月に修了見込みの者を含む。)で、かつその所属する教育施設(修了見込みの場合は第3学年第1学期まで)の全体の学習成績の状況が**3.5**以上の者

なお、学校教育法施行規則第150条2号、3号、4号または7号のいずれかに該当する者も出願することができます。この出願資格については、2023年9月1日(金)までに本学入学センターにお問い合わせください。

【募集要件】

活動実績書に、募集要件①~⑦のうち、いずれかひとつを選択し記入してください。選択した募集要件においては、もっともその実績をアピールすることができる活動一つを記入してください。

①環境に関する活動

高等学校在学中に、環境保護活動、環境に関するボランティア活動を1年間以上継続し、これらに複数回以上参加した経験がある者。
※ただし、高等学校の活動の一環として行われたものや家庭内や親族に対して行った活動は除きます。

②環境コンテスト

高等学校在学中に、国・地方自治体や環境団体等が実施する環境関連のコンテスト等に中心的な役割を果たして出場した者。なお、高校生として優秀な成績(奨励賞や特別賞等を含む)をあげた者については加点評価します。

③スポーツ活動

スポーツ活動の分野で、学内外を問わず、高等学校在学期間を通じて継続的に活動した者。なお、各種団体等主催の試合・競技会等に選手・競技者等として出場し、高校生として優秀な成績をあげた者については加点評価します。

④文化・芸術・学問活動

文化・芸術・学問の分野で、学内外を問わず、高等学校在学期間を通じて継続的に活動した者。なお、各種団体等主催のコンクールやコンテストへ出場し、高校生として優秀な成績をあげた者については加点評価します。学問活動の分野は、高等学校在学中に14日以上海外留学経験を含みます。

⑤生徒会活動

高等学校在学中に、生徒会活動で中心的な役割(会長・副会長・書記等)を1年間以上務めた者、またはクラス代表以上の役職を、1年間以上務めた者。

⑥資格取得

高等学校在学中に、各種団体等が主催する資格試験や検定試験等を受験し、合格している者、または高校生として優秀な成績をあげた者。

⑦その他(社会的活動等で自己推薦出来るもの)

高等学校在学中にアピールすることができる社会的活動等を継続的に複数回行った者。

出願書類

- a. 出願シート
- b. 出身学校調査書
- c. 志望理由書(800字程度)
本学人間環境学部を志望する動機・理由を説明してください。
- d. 活動実績書
高校時代に勉強と同時にやってきた主要な活動について、その内容を記入してください。
- e. 活動実績を証明する資料
活動実績を証明する資料のコピーを**A4判にして**提出してください。

(注) a, c, dは本学所定の用紙です。シュウダイレクト出願ページから印刷してください(108ページ参照)。活動実績書、志望理由書は、志願者本人の自筆により、黒ボールペンを使用して横書きで作成してください。

調査書は出願資格の確認および選抜の参考として活用します。学習成績の状況、総合的な学習の時間の内容・評価、特別活動の記録、指導上参考となる諸事項等をもとにして、学力の3要素全てを多面的・総合的に評価します。志願者本人が記載する出願書類は採点対象とし、合否判定に使用します。また、面接にも活用します。

受験生・保護者対象入試説明会[6/18(日)]で
課題図書発表!

健康科学部
THE FACULTY OF HEALTH SCIENCES

心理学科

試験日
10/22(日)

試験内容

試験内容等	時間	配点
出願書類(志望理由書)	—	20点
筆記試験 課題図書の内容に関連する基礎的な知識を問います。なお課題図書の持ち込みは不可とします。	10:00~10:20	50点
集団活動試験 少人数のグループに分かれ、課題図書の内容から出題される課題についてお互いに意見を出し合いながらその解を導きます。課題図書・自筆のメモ(A4用紙1枚・両面使用可)の参照可とします。なお、この活動時間内に、課題の解ならびにその根拠を示したプレゼンテーション資料を作成します。	10:30~11:50	80点
集団討論 集団活動試験で作成したプレゼンテーション資料にもとづき、グループごとに討論内容のまとめを発表し、質疑応答を行います。	12:00~12:40	50点

配点



選抜方法 / 出願書類(志望理由書)、筆記試験、集団活動試験、および集団討論の結果に重点を置き、調査書にもとづく知識等の評価を加味して多面的・総合的に評価・判定します。

OnePointADVICE ワンポイントアドバイス

課題図書は、受験生・保護者対象入試説明会[2023年6月18日(日)]で発表します。本学の入試情報サイトにも掲載します。

1 課題図書をしっかり読み込みましょう。

筆記試験では主に多肢選択方式によって課題図書の内容に関連する基礎的な知識を問います。一般常識だけでは正解を見つけることは困難でしょう。試験日まで課題図書を繰り返し読み込む必要があります。

2 自分の意見を積極的に表明する態度を養いましょう。

集団活動試験ではグループディスカッションを通じてあるひとつの課題を解決していきます。自分の意見を積極的に述べる必要があります。ただし「積極的発言=他者の意見の完全否定」ではないことをココロに留めておきましょう。

3 メモをとる習慣を身につけましょう。

集団活動試験ではディスカッションを行うため、他の人の発言内容や議論の流れを正確に理解することが大切になります。メモを取るとはその役に立ちます。常日頃からメモを取る習慣を身につけ、正しい情報伝達と情報収集を心がけましょう。

4 簡潔・明瞭に伝える技術を養いましょう。

集団討論では先の集団活動試験の中で得られた結論をグループごとに紹介し、その内容をもとに議論を進めます。限られた時間の中で議論になります。他者への質問や自らの意見を述べる際は、簡潔・明瞭を心がけましょう。

出願資格

次の(1)~(2)すべてに該当する者

- (1) 本学健康科学部心理学科入学を強く希望し、合格した場合には入学する意思を明確にもつ者
- (2) 次のa~dのいずれかに該当する者
 - a. 高等学校または中等教育学校を2024年3月卒業見込みの者
 - b. 高等学校または中等教育学校を卒業した者
 - c. 通常の課程による12年の学校教育を修了した者(2024年3月修了見込みの者を含む。)
 - d. 高校卒業程度認定試験(学校教育法施行規則第150条5号)に合格した者または2024年3月31日までに合格する見込みの者(大学入学資格検定による合格者を含む。)

なお、学校教育法施行規則第150条2号、3号、4号、または7号のいずれかに該当する者も出願することができます。この出願資格については、2023年9月1日(金)までに本学入学センターにお問い合わせください。

出願書類

- a. 出願シート
- b. 出身学校調査書
- c. 志望理由書(1,200字程度)
本学健康科学部心理学科を志望する理由および大学卒業後の進路について現在考えていることの2点について説明してください。
- d. 高校卒業程度認定試験の合格(成績)証明書または合格見込成績証明書(該当者のみ)

(注) a, cは本学所定の用紙です。シューダイレクト出願ページから印刷してください(108ページ参照)。志望理由書は、志願者本人の自筆により、黒ボールペンを使用して横書きで作成してください。

調査書は選抜の参考として活用します。学習成績の状況、総合的な学習の時間の内容・評価、特別活動の記録、指導上参考となる諸事項等をもとにして、学力の3要素全てを多面的・総合的に評価します。志願者本人が記載する出願書類は採点対象とし、合否判定に使用します。

受験生・保護者対象入試説明会[6/18(日)]で
課題発表!



健康科学部
THE FACULTY OF HEALTH SCIENCES

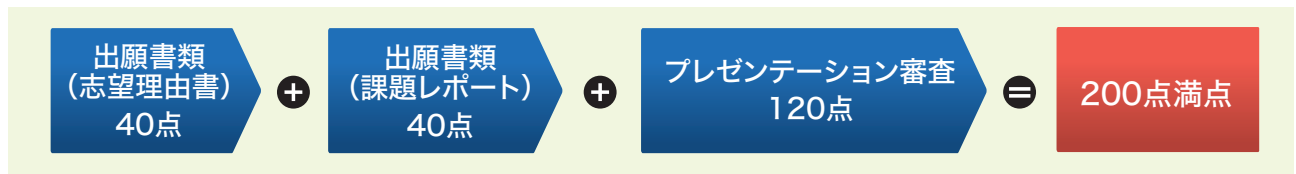
健康栄養学科

試験日
10/22(日)

試験内容

試験内容等	時間	配点
出願書類(志望理由書)	—	40点
出願書類(課題レポート)	—	40点
プレゼンテーション審査 あらかじめ提示された課題について、所定の時間でプレゼンテーション(5分程度)を行い、その後教員による質疑への応答(10分程度)をもって、審査します。	10:00~ (15分程度)	120点

配点



選抜方法 / 出願書類(志望理由書、課題レポート)、プレゼンテーション審査、調査書にもとづき多面的・総合的に評価・判定します。

OnePointADVICE ワンポイントアドバイス

課題は、受験生・保護者対象入試説明会[2023年6月18日(日)]で発表します。本学の入試情報サイトにも掲載します。

1 世の中の状況・動きに 日ごろから関心を持ちましょう。 現在の我が国が抱える健康問題、健康増進の方策、保健・福祉行政の動きなどについて日ごろから関心を持ち、毎日、新聞に目を通すだけでなく、ニュース番組を見たり、雑誌・書籍・ネット等も利用しているいろいろ調べましょう。	2 一つの考えに固執することなく、 様々な方向から考えましょう。 固定観念(一つの考え)に固執すると、それに隠された別の問題や基準を見落としてしまいます。必要ないと思っても少しでも関連しそうな情報には必ず目を通し、最後にまとめるまで大事に取っておきましょう。	3 自分で考え、 自分の言葉で語りましょう。 情報をそのまま右から左では十分な理解ができていません。他者の言葉そのままでは相手には伝わりません。自分の頭で考え(整理し)、自分の言葉にすることが、他者に伝えるためには不可欠なステップです。	4 発表の内容を十分に検討し、 質問に対して明確に答えられるよう練習しましょう。 調べたことや考えを整理し、図表等を用いて時間を守った発表ができるようにしましょう。
---	--	---	---

出願資格

次の(1)~(2)すべてに該当する者

- (1) 本学健康科学部健康栄養学科入学を強く希望し、合格した場合には入学する意思を明確にもつ者
- (2) 次のa~dのいずれかに該当する者
 - 高等学校または中等教育学校を2024年3月卒業見込みの者
 - 高等学校または中等教育学校を卒業した者
 - 通常の課程による12年の学校教育を修了した者(2024年3月修了見込みの者を含む。)
 - 高校卒業程度認定試験(学校教育法施行規則第150条5号)に合格した者または2024年3月31日までに合格する見込みの者(大学入学資格検定による合格者を含む。)

なお、学校教育法施行規則第150条2号、3号、4号、または7号のいずれかに該当する者も出願することができます。この出願資格については、2023年9月1日(金)までに本学入学センターに問い合わせてください。

出願書類

- 出願シート
- 出身学校調査書
- 志望理由書(1,200字程度)
本学健康科学部健康栄養学科を志望する理由および大学卒業後の進路について現在考えていることの2点について説明してください。
- 課題レポート(1,200字程度)
- プレゼンテーション資料
 - あらかじめ提出した課題レポートの内容について、パソコン(マイクロソフト社パワーポイント)、模造紙、画用紙を使って、発表を行います。
 - プレゼンテーション方法については、課題レポートの所定の欄(最下段)に、志願者が実施するプレゼンテーションの方法を具体的に記入してください。なお、発表に使用するパワーポイントのファイルを保存したUSBメモリ、模造紙、画用紙は2023年9月29日(金)までに(消印有効)入学センターに郵送してください(提出後の修正は一切受け付けません。また、提出物の返却はしません。)
- 高校卒業程度認定試験の合格(成績)証明書または合格見込成績証明書(該当者のみ)

(注) a, c, dは本学所定の用紙です。シュートダイレクト出願ページから印刷してください(108ページ参照)。志望理由書は、志願者本人の自筆により、黒ボールペンを使用して横書きで作成してください。

調査書は選抜の参考として活用します。学習成績の状況、総合的な学習の時間の内容・評価、特別活動の記録、指導上参考となる諸事項等をもとにして、学力の3要素全てを多面的・総合的に評価します。志願者本人が記載する出願書類は採点対象とし、合否判定に使用します。

受験生・保護者対象入試説明会[6/18(日)]で
課題図書発表!

国際コミュニティ学部
THE FACULTY OF GLOBAL AND COMMUNITY STUDIES

国際政治学科
地域行政学科

課題図書方式

試験日
10/22(日)

試験内容

試験内容等		時間	配点
小論文	課題図書に関する小論文 *課題図書の読解・要約・分析を求める論述問題や、課題図書に関連する基礎的知識を問う設問を出題します。 *課題図書の持ち込み不可。	10:00~11:30	100点
出願書類	志望理由書、自己アピール書	—	10点
面接(個別)	*出願書類にもとづき行います。	12:30~	90点

※ 選抜方法の詳細は、受験生・保護者対象入試説明会、オープンキャンパスで説明しますので、関連する企画等への参加を強く勧めます。

配点

小論文100点

+

出願書類10点

+

面接(個別)90点

=

200点満点

選抜方法 / 出願書類、課題図書に関する小論文および面接にもとづき、多面的・総合的に評価・判定します。

OnePointADVICE ワンポイントアドバイス

課題図書は、受験生・保護者対象入試説明会[2023年6月18日(日)]で発表します。本学の入試情報サイトにも掲載します。

1 著者の意見やその理由づけなど、課題図書の内容をしっかりと理解しましょう。読むだけでなく、課題図書の内容を、章ごとに文章にまとめたり、家族や友人に説明を試みたり、実際に表現をすることで、理解できているかどうか確かめることができます。

2 課題図書を読んでわからなかったことや関心を持ったことを、調べてみましょう。課題図書で取り上げられている問題の背景を、より深く正確に理解することにつながります。また、わからないことを調べる力を伸ばすことができます。

3 課題図書が取り上げる問題や著者の意見に対する、自分自身の意見や考えをまとめてみましょう。文章で書いてみたり、家族や友人に説明することで、自分の意見や考えが伝わるかどうかを確かめてみましょう。

4 オープンキャンパスでの「入試対策講座」や「個別相談」を積極的に活用してください。これらに参加することで、総合型選抜では何が求められ、どのように準備をすればよいのかを、より具体的に確かめてください。

出願資格

次の(1)~(2)すべてに該当する者

- (1) 本学国際コミュニティ学部当該学科入学を強く希望し、合格した場合には入学する意思を明確にもつ者
- (2) 次のa~eのいずれかに該当する者
 - a. 高等学校または中等教育学校を2024年3月卒業見込みの者
 - b. 高等学校または中等教育学校を卒業した者
 - c. 高等専門学校第3学年を修了した者(2024年3月に修了見込みの者を含む。)
 - d. 通常の課程による12年の学校教育を修了した者(2024年3月に修了見込みの者を含む。)
 - e. 高校卒業程度認定試験(学校教育法施行規則第150条5号)に合格した者または2024年3月31日までに合格する見込みの者(大学入学資格検定による合格者を含む。)
この出願資格については、2023年9月1日(金)までに本学入学センターに問い合わせてください。

なお、学校教育法施行規則第150条2号、3号、4号または7号に該当する者も出願することができます。この出願資格については、2023年9月1日(金)までに本学入学センターに問い合わせてください。

出願書類

- a. 出願シート
- b. 出身学校調査書
- c. 志望理由書(800字程度)
志望理由書に記載されている1)~4)の事項について記入し、国際コミュニティ学部当該学科を志望する理由を説明してください。
***志望理由書に記載する事項**
 - 1) 国内外の問題、国際問題、政治・行政について学び、探究したいと考えた動機
 - 2) 本学国際コミュニティ学部当該学科への入学を志望した動機
 - 3) 本学部を卒業するまでに成し遂げたいこと。
 - 4) 大学卒業後の進路について考えていること。
- d. 自己アピール書(600字程度)
***自己アピール書に記載する事項**
以下の1)~3)の事柄を志願者本人が自筆で記入し、自分自身をアピールしてください。記入できない項目があれば、空欄のまま結構です。
 - 1) 生徒会活動、クラス活動、クラブ活動、実行委員会活動、ボランティア活動、地域活動等を通して得たこと、考えたこと。
 - 2) 検定試験の受験、各種資格の取得を通して得たこと、考えたこと。
 - 3) 高等学校等での授業や留学を通して得たこと、考えたこと。
- e. 高校卒業程度認定試験の合格(成績)証明書または合格見込成績証明書(該当者のみ)

(注) a, c, dは本学所定の用紙です。シュウダイレクト出願ページから印刷してください(108ページ参照)。出願シート以外の本学所定の用紙は、志願者本人の自筆により、黒ボールペンを使用して横書きで作成してください。

調査書は選抜の参考として活用します。学習成績の状況、総合的な学習の時間の内容・評価、特別活動の記録、指導上参考となる諸事項等をもとにして、学力の3要素のうち特に知識・技能および主体性を多面的・総合的に評価します。志願者本人が記載する出願書類は採点対象とし、可否判定に使用します。また、面接にも活用します。

全学部共通事項

1. 入学検定料

30,000円

2. 出願方法

eScholarDirect

出願は、インターネット出願「シューダイレクト」でのみ受け付けます。

【出願期間】2023年9月19日(火)～9月29日(金) ※出願初日のみ8:45～受付開始

- (1)シューダイレクトで出願登録する(最終日の登録締切時間は**15:00**)
- (2)入学検定料を納入する(最終日の入学検定料入金締切時間は**16:00**)
- (3)出願書類を郵送する:出願書類は入学検定料の入金後、**速達・簡易書留**で早急に郵送してください(**締切日消印有効**)。 ※シューダイレクトでの出願方法および入学検定料のお支払いについては、103～110ページを参照してください。

*提出された書類および納入された入学検定料は、返還しませんので、出願にあたってはよく確認して手続きしてください。

*出願書類の送付は郵送に限ります(締切日消印有効)。

*出願書類に不備がある場合は、受け付けないことがありますので注意してください。

【受験生氏名等の漢字表記について】

本学では、入学試験に際して発行する受験票・合格通知書類の漢字氏名等の表記方法について、基準を設けております。その結果、**本来の漢字氏名等とは異なる表記となる場合があります**ので、あらかじめご了承ください。

3. 障がいなどのある志願者の配慮について

病気・負傷や障がい等のために、受験上の配慮および入学後の支援を希望する場合、出願に先立ち2023年9月1日(金)までに本学入学センターに問い合わせてください。

4. 感染症(インフルエンザなど)について

試験日当日に感染症(インフルエンザやはしかなど)にかかっている場合は受験できません。詳細は111ページを参照してください。

5. 出身学校調査書について(出願前3カ月以内に発行されたもの)

- ① 高等学校、中等教育学校後期課程、高等専門学校または通常の課程による12年の学校教育課程在学中の者は、第3学年第1学期までの成績が記入されたもので、学校長が証明し、厳封したものを提出してください。
- ② 高等学校、中等教育学校後期課程、高等専門学校または通常の課程による12年の学校教育課程を卒業(修了)した者は、すべての成績が記入されたもので、出身学校長が証明し、厳封したものを提出してください。

③ 高等学校卒業程度認定試験合格者または合格見込みの者は、「合格(成績)証明書」または「合格見込成績証明書」を提出してください。

※上記③については、人文学部、法学部(ゼミナール方式)、健康科学部、国際コミュニティ学部のみ。

※出身学校調査書の保存期間が経過した場合および廃校・被災その他の事情により調査書が得られない場合には、卒業証明書(原本)を郵送してください。

6. 合格発表

合格発表日:2023年11月1日(水)10:00(予定)

(1) 合格者には、「合格通知書」と「入学書類」を速達で郵送します。なお、「合格通知書」等は、合格発表日に発送しますが、郵便事情により遅れる場合があります。以下(2)で合格を確認したうえで、11月6日(月)を過ぎても届かない場合は入学センターへ問い合わせてください。

(2) 合否確認の補助手段について

インターネットによる合否照会システムにより合否結果を確認することができます。詳細につきましては112ページを確認してください。

***合格発表に関する本学への電話での問い合わせには、いかなる理由があろうとも一切応じられません。**

7. 入学手続

(1) 入学手続について

【一括手続】または【分割手続】のいずれかを選択し、手続をしてください。

【一括手続】 手続期間/2023年11月2日(木)~11月10日(金)(締切日消印有効)

手続内容/(入学金の納入)、(前期分諸納付金の納入)、(インターネット入力)および(書類の提出)

【分割手続】 第1次入学手続

手続期間/2023年11月2日(木)~11月10日(金)(締切日消印有効)

手続内容/(入学金の納入)、(インターネット入力)および(書類の提出)

第2次入学手続

手続期間/2024年2月26日(月)~3月4日(月)

手続内容/(前期分諸納付金の納入)

***一括手続、分割手続ともに、2024年2月26日(月)~3月18日(月)の期間内に卒業証明書(原本)または高等学校卒業程度認定試験合格証明書(原本)を必ず郵送してください(既卒者は不要、締切日消印有効)。**

***入学手続期間内に入学手続を完了しない場合は、いかなる理由があろうとも入学を許可しません。**

***入学手続完了後、高等学校等の課程を卒業(修了)しないなどの事由が生じた場合は、入学を取り消します。**

入学金および諸納付金については113ページを参照してください。

(2) 教育ローン

公的な融資機関として日本政策金融公庫があります。相談については教育ローンコールセンター(TEL0570-008656)へお問い合わせください。

受験上の注意は111ページを参照してください。



インターネット出願

学校推薦型選抜(公募)

入試制度の特徴

01 出身学校長の推薦が必要

出願には出身学校長の推薦が必要です。

高校の「学習成績の状況」が出願基準となり、高校での成績や取得資格が評価されます。

02 専願制

広島修道大学で学びたい、という意思を強く持つことが大切です。合格した場合には入学する意思を明確に持っていることが出願条件になります。2つ以上の学部・方式は併願できません。

03 併願制

人文学部社会学科と人間環境学部(英語資格方式・数学資格方式)では他大学などとの併願が可能な併願制を実施します。

例えば国公立大学の合格発表を確認した後に、本学への入学を決めることができます。

*本学学校推薦型選抜(公募)内で、複数の学科に併願できる制度ではありません。

*併願制の入学手続は、分割手続のみです。

試験日・試験地・出願期間

専 … 専願制 併 … 併願制

学部	学科・方式	募集人員	出願期間	試験日	試験地	合格発表	入学手続期間《手続選択制》			
							一括手続	分割手続		
商 学 部	商学科	英語方式	インターネット (インターネット出願受付) 2023年 11/1(水)～ 11/10(金) ※出願初日のみ 8:45～受付開始 ※最終日の登録は 15:00まで、 検定料入金は 16:00まで 締切日消印有効	2023年 11/25 (土)	広島 (本学)	2023年 12/1(金)	2023年 12/4(月)～ 12/12(火) 締切日消印有効	2023年 12/4(月)～ 12/12(火) 締切日消印有効		
		指定資格方式							専 22名	
		英語資格方式								
	経営学科	英語方式							専 17名	
		指定資格方式								
		英語資格方式								
人 文 学 部	社会学科	併 3名								
	教育学科	専 15名								
	英語英文学科	専 10名								
法 学 部	法律学科	英語方式	専 5名							
		小論文方式	専 15名							
	現代経済 学科	英語方式	専 10名							
		小論文方式								
		指定資格方式								
		英語資格方式								
経済情報 学科	英語方式	専 10名								
	小論文方式									
	指定資格方式									
人間環境学部	人間環境学科	英語方式	専 3名							
		英語資格方式	併 5名							
		数学資格方式								
健康科学部	心理学科	専 6名								
	健康栄養学科	専 15名								
国際コミュニティ 学部	国際政治学科	英語方式	専 8名							
		指定資格方式								
		課題探究方式								
	地域行政学科	英語方式	専 8名							
		指定資格方式								
		課題探究方式								

TOPICS! インターネット出願 **ワンシューダイレクト** を
ご利用ください。受験生のみなさんの出願にかかる時間の負担を軽減します。

本学所定の出願書類は、本学入試情報サイトの出願ページからダウンロードしてください。

※「学校長の推薦書」は、検定料入金前でもダウンロードできます(6月中旬予定。詳細は108ページ)。

イベントに参加しよう!

来場型イベント「受験生・保護者対象入試説明会」と「オープンキャンパス」を実施します。
入試対策に役立つプログラムもありますので、学校推薦型選抜(公募)の受験を考えている方は、積極的に参加しましょう。

「受験生・保護者対象入試説明会」「オープンキャンパス」

受験生・保護者対象
入試説明会

6/18
(日)

オープンキャンパス
第1回

7/15
(土)

オープンキャンパス
第2回

7/16
(日)

オープンキャンパス
第3回

8/20
(日)



イベントの詳細はP03~P04へ!

法学部・経済科学部・国際コミュニティ学部の各テーマは 受験生・保護者対象入試説明会[6/18(日)]で発表

法学部小論文方式のテーマおよび参考文献、経済科学部小論文方式のテーマ、国際コミュニティ学部課題探究方式の課題は、受験生・保護者対象入試説明会[2023年6月18日(日)]で発表します。本学入試情報サイトにも掲載します。試験当日の進行や評価のポイントについては、受験生・保護者対象入試説明会、オープンキャンパスで説明しますので関連する企画等への参加を強くお勧めします。

過去の課題

● 法学部小論文方式(小論文テーマおよび参考文献)

2023テーマ:「インターネット時代の情報とそれらを利用する際の心構え」
参考文献:「フェイクニュースを科学するー拡散するデマ、陰謀論、プロパガンダのしくみ」(笹原和俊 著/化学同人)
「フェイクニュース時代を生き抜くデータ・リテラシー」
(マーティン・ファクラー 著/光文社)

2022テーマ:「離婚後の親権のあり方について」

参考文献:「親権とこども」(榎原富士子・池田清貴 著/岩波新書)
「離婚後の共同親権について」(参議院)

● 経済科学部小論文方式

2023テーマ:A.「カーボンニュートラル」
B.「広島駅」

2022テーマ:A.「軽減税率」
B.「ひろしまフラワーフェスティバル」

● 国際コミュニティ学部 国際政治学科課題探究方式

2023テーマ:「ロシアによるウクライナ侵攻について」
2022テーマ:「新冷戦」

● 国際コミュニティ学部 地域行政学科課題探究方式

2023テーマ:「コミュニティビジネスは、地域の
どのような問題に対して、力を発揮するか」
2022テーマ:「所得格差」「税収格差」「地域間格差」
「東京一極集中」

入学準備学習プログラムについて

学校推薦型選抜(公募)(専願)に合格し入学手続きをされた方を対象に、入学までの期間を利用し、入学準備学習プログラムを実施します。このプログラムの目的は、「本学での学びにむけた姿勢や知識を身に付け、入学後の学習をスムーズにスタートできるようになること」となっており、直接大学で模擬講義などを受講する2回の「キャンパス学習」と、自宅で取り組む「通信課題学習」で構成されています。**合格者は、入学までの期間、入学準備学習に取り組んでください。**詳しい日程・内容等は、合格者に別途送付します。

試験内容

方式	試験内容等	時間	配点
英語方式	英語	英語読解・論述・文法問題を出题します。	10:00~11:40
	出願書類	志望理由書(1,000字程度)	—
	面接(集団)	出願書類にもとづき行います。	13:00~
指定資格方式	資格	評価する資格・検定等一覧を参照 学科試験は実施しません。	—
	出願書類	志望理由書(1,000字程度)	—
	面接(個別)	出願書類にもとづき行います。	10:00~
英語資格方式	資格	学科試験は実施しません。	—
	出願書類	志望理由書(1,000字程度)	—
	面接(個別)	出願書類にもとづき行います。	10:00~

配点

英語方式	英語 100点	+	出願書類(志望理由書) 30点	+	面接(集団) 30点	=	160点満点
指定資格方式	資格 100点	+	出願書類(志望理由書) 30点	+	面接(個別) 30点	=	160点満点
英語資格方式	資格 100点	+	出願書類(志望理由書) 30点	+	面接(個別) 30点	=	160点満点

選抜方法

- 英語方式** …………… 記述試験(英語)、面接、志望理由書および調査書にもとづき、多面的・総合的に評価・判定します。
- 指定資格方式** …………… 資格・検定等申請書、志望理由書、調査書および面接にもとづき、多面的・総合的に評価・判定します。「評価する資格・検定等一覧」において、1つの分野で複数の資格・検定を保有している場合は、最も高い資格・検定を1つ評価します(申請書には保有している全ての資格・検定等について、最もよい級、点数を記入してください)。
- 英語資格方式** …………… 資格・検定等の証明書、志望理由書、調査書および面接にもとづき、多面的・総合的に評価・判定します。

出願書類

英語方式

- a. 出願シート
- b. 出身学校長の推薦書
- c. 出身学校調査書
- d. 志望理由書(1,000字程度)
商学部(商学科または経営学科)を志望する動機・理由を書いてください。

(注) a, b, dは本学所定の用紙です。シュウダイレクト出願ページから印刷してください(108ページ参照)。出身学校長の推薦書は、学校長および記載責任者(担当の先生等)が、必要事項を記入し、署名捺印のうえ、厳封し郵送してください。志望理由書は、志願者本人の自筆により、黒ボールペンを使用して横書きで作成してください。

指定資格方式

- a. 出願シート
- b. 出身学校長の推薦書
- c. 出身学校調査書
- d. 資格・検定等申請書
本学が評価対象とする資格・検定等を現在取得しているものは、その全ての資格・検定等を申請してください。
- e. 資格・検定等の証明書(写)
取得している資格・検定等を、「資格・検定等申請書」で全て申請するとともに、証明書のコピーをA4判にして提出してください(ITパスポート試験は、試験結果レポートでも可)。
1つの分野で複数の資格・検定等を保有している場合でも、全ての資格・検定等

を申請し、証明書のコピーをA4判にして提出してください。ただし、同じ資格・検定等において複数の級を取得している場合は、最もよい級・点数を申請してください。

- f. 志望理由書(1,000字程度)
商学部(商学科または経営学科)を志望する動機・理由を書いてください。

(注) a, b, d, fは本学所定の用紙です。シュウダイレクト出願ページから印刷してください(108ページ参照)。出身学校長の推薦書は、学校長および記載責任者(担当の先生等)が、必要事項を記入し、署名捺印のうえ、厳封し郵送してください。資格・検定等申請書、志望理由書は、志願者本人の自筆により、黒ボールペンを使用して横書きで作成してください。

英語資格方式

- a. 出願シート
- b. 出身学校長の推薦書
- c. 出身学校調査書
- d. 資格・検定等の証明書(写)
出願の資格要件の証明書のコピーをA4判にして提出してください。
- e. 志望理由書(1,000字程度)
商学部(商学科または経営学科)を志望する動機・理由を書いてください。

(注) a, b, eは本学所定の用紙です。シュウダイレクト出願ページから印刷してください(108ページ参照)。出身学校長の推薦書は、学校長および記載責任者(担当の先生等)が、必要事項を記入し、署名捺印のうえ、厳封し郵送してください。志望理由書は、志願者本人の自筆により、黒ボールペンを使用して横書きで作成してください。

調査書は出願資格の確認および選抜の参考として活用します。学習成績の状況、総合的な学習の時間の内容、評価、特別活動の記録、指導上参考となる諸事項等をもとにして、学力の3要素全てを多面的・総合的に評価します。志願者本人が記載する出願書類は採点対象とし、合否判定に使用します。また、面接にも活用します。



出願資格

英語方式

次の(1)~(3)すべてに該当する者

- (1) 本学商学部当該学科入学を強く希望し、合格した場合には入学する意思を明確にもつ者
- (2) 出身学校長の推薦を受けた者
- (3) 次のいずれかに該当する者
 - a. 高等学校または中等教育学校を2024年3月卒業見込みの者で、かつ高等学校または中等教育学校後期課程第3学年第1学期までの全体の学習成績の状況が**3.6**以上の者
 - b. 高等学校または中等教育学校を2023年3月以降に卒業した者で、かつ高等学校または中等教育学校後期課程の全体の学習成績の状況が**3.6**以上の者
 - c. 通常の課程による12年の学校教育を2023年3月以降に修了した者(2024年3月に修了見込みの者を含む。)で、かつその所属する教育施設の教育課程(修了見込みの場合は第3学年第1学期まで)の全体の学習成績の状況が**3.6**以上の者

指定資格方式

次の(1)~(4)すべてに該当する者

- (1) 本学商学部当該学科入学を強く希望し、合格した場合には入学する意思を明確にもつ者
- (2) 出身学校長の推薦を受けた者
- (3) 下記の資格のうちいずれか1つを有する者
 - a. 日本商工会議所 リテールマーケティング(販売士)検定2級以上
 - b. 日本商工会議所 簿記検定2級以上
 - c. 全国商業高等学校協会 簿記実務検定1級
 - d. 全国商業高等学校協会 情報処理検定 プログラミング部門1級
 - e. 全国商業高等学校協会 情報処理検定 ビジネス情報部門1級
 - f. 情報処理推進機構 基本情報技術者試験合格
 - g. 情報処理推進機構 応用情報技術者試験合格
 - h. 情報処理推進機構 ITパスポート試験合格
 - i. 全国商業高等学校協会 英語検定1級
- (4) 次のいずれかに該当する者
 - a. 高等学校または中等教育学校を2024年3月卒業見込みの者で、かつ高等学校または中等教育学校後期課程第3学年第1学期までの全体の学習成績の状況が**3.8**以上の者
 - b. 通常の課程による12年の学校教育を2024年3月修了見込みの者で、かつその所属する教育施設の教育課程第3学年第1学期までの全体の学習成績の状況が**3.8**以上の者

(4) 次のいずれかに該当する者

- a. 高等学校または中等教育学校を2024年3月卒業見込みの者で、かつ高等学校または中等教育学校後期課程第3学年第1学期までの全体の学習成績の状況が**3.8**以上の者
- b. 通常の課程による12年の学校教育を2024年3月修了見込みの者で、かつその所属する教育施設の教育課程第3学年第1学期までの全体の学習成績の状況が**3.8**以上の者

英語資格方式

次の(1)~(4)すべてに該当する者

- (1) 本学商学部当該学科入学を強く希望し、合格した場合には入学する意思を明確にもつ者
- (2) 出身学校長の推薦を受けた者
- (3) 下記の資格のうちいずれか1つを有する者
 - a. 日本英語検定協会 実用英語技能検定(英検)準2級以上
(従来型、CBT、1day S-CBT、2days S-Interviewを対象にします)
 - b. 日本英語検定協会 英検CSEスコア 1,728点以上
 - c. ベネッセコーポレーション GTEC(4技能)(CBTタイプも可)680点以上
※GTEC(4技能)はオフィシャルスコアに限る。また、2023年3月以前に取得したスコアで申請する場合は690点以上とします。
 - d. 国際ビジネスコミュニケーション協会 TOEIC(L&R)/ TOEIC(S&W)625点以上
※TOEIC(S&W)のスコアを2.5倍して合算したスコアを使用します。
 - e. Educational Testing Service TOEFL iBT 42点以上
 - f. 日本英語検定協会 TEAP 135点以上
 - g. 日本英語検定協会 TEAP CBT 235点以上
 - h. ケンブリッジ大学英語検定機構 ケンブリッジ英語検定 120点以上
 - i. プリティッシュ・カウンシル IELTS(アカデミック・モジュール)4.0以上
- (4) 次のいずれかに該当する者
 - a. 高等学校または中等教育学校を2024年3月卒業見込みの者で、かつ高等学校または中等教育学校後期課程第3学年第1学期までの全体の学習成績の状況が**3.8**以上の者
 - b. 通常の課程による12年の学校教育を2024年3月修了見込みの者で、かつその所属する教育施設の教育課程第3学年第1学期までの全体の学習成績の状況が**3.8**以上の者

指定資格方式では、様々な資格・検定を評価! 出願資格とは別に、以下の分野の資格を取得している場合は評価の対象になります。

評価する資格・検定等一覧

■流通ビジネス

- 日本FP協会 ファイナンシャル・プランナー 3級以上(一部合格可)
- 全国旅行業協会 国内旅行業務取扱管理者 合格
- 日本商工会議所 リテールマーケティング(販売士)検定 2級以上

■簿記会計

- 全国商業高等学校協会 簿記実務検定 2級以上
- 日本商工会議所 簿記検定 3級以上
- 全国経理教育協会 簿記能力検定 2級以上

■経営情報

- 全国商業高等学校協会 情報処理検定 プログラミング部門 1級
- 全国商業高等学校協会 情報処理検定 ビジネス情報部門 1級

■情報技術

- 情報処理推進機構 基本情報技術者試験 合格
- 情報処理推進機構 応用情報技術者試験 合格
- 情報処理推進機構 ITパスポート試験 合格

■秘書技能

- 実務技能検定協会 秘書技能検定 3級以上

■英語実務

- 日本英語検定協会 実用英語技能検定(英検)準2級以上
(従来型、CBT、1day S-CBT、2days S-Interviewを対象にします)
- 日本英語検定協会 英検CSEスコア 1,728点以上
- ベネッセコーポレーション GTEC(4技能)(CBTタイプも可)680点以上
※GTEC(4技能)はオフィシャルスコアに限る。また、2023年3月以前に取得したスコアで申請する場合は690点以上とします。
- 国際ビジネスコミュニケーション協会 TOEIC(L&R)/ TOEIC(S&W)625点以上
※TOEIC(S&W)のスコアを2.5倍して合算したスコアを使用します。
- Educational Testing Service TOEFL iBT 42点以上
- 日本英語検定協会 TEAP 135点以上
- 日本英語検定協会 TEAP CBT 235点以上
- ケンブリッジ大学英語検定機構 ケンブリッジ英語検定 120点以上
- プリティッシュ・カウンシル IELTS(アカデミック・モジュール)4.0以上
- 全国商業高等学校協会 英語検定 2級以上
- 日本商工会議所 日商ビジネス英語検定(日商商業英語検定も可)3級以上



なお、学校教育法施行規則第150条2号、3号、4号または7号のいずれかに該当する者も出願することができます。この出願資格について、2024年3月にその所属する教育施設の教育課程を修了見込みの者および2023年3月以降に修了した者は、2023年10月13日(金)までに本学入学センターに問い合わせてください。(全方式共通)



試験内容

学科	試験内容等		時間	配点
社会学科	小論文	資料小論文*読解・要約・分析・論述 (英和辞典持込可、電子辞書持込不可)	10:00~12:00	100点
	面接(集団)	出願書類にもとづき行います。	13:00~	100点
教育学科	小論文	資料小論文*読解・要約・分析・論述 (英和辞典持込可、電子辞書持込不可)	10:00~12:00	100点
	面接(個別)	出願書類にもとづき行います。	13:00~	100点



配点


社会学科


小論文 100点



面接(集団) 100点

200点満点

教育学科


小論文 100点



面接(個別) 100点

200点満点

選抜方法

- 社会学科** …… 出願書類・面接、小論文の結果をそれぞれ点数化したうえで、多面的・総合的に評価・判定します。
- 教育学科** …… 面接、小論文の結果をそれぞれ点数化したうえで、多面的・総合的に評価・判定します。

出願資格

社会学科

次の(1)~(3)すべてに該当する者

- (1) 本学人文学部社会学科での学修に意欲を持つ者
***この入試制度は「併願制」です。**
***本学学校推薦型選抜(公募)内で、他学科との併願はできません。また、本学社会学科に合格した後、他大学などの可否判定結果を見てから、本学社会学科への入学を決めることができます。ただし、入学手続の最終日は2024年3月22日(金)とします。**
- (2) 出身学校長の推薦を受けた者
- (3) 次のa~cのいずれかに該当する者
 - a. 高等学校または中等教育学校を2024年3月卒業見込みの者で、高等学校または中等教育学校後期課程第3学年第1学期までの全体の学習成績の状況が**3.5**以上の者
 - b. 高等学校または中等教育学校を2023年3月以降に卒業した者で、高等学校または中等教育学校後期課程の全体の学習成績の状況が**3.5**以上の者
 - c. 通常の課程による12年の学校教育を2023年3月以降に修了した者(2024年3月に修了見込みの者を含む。)で、かつその所属する教育施設の教育課程(修了見込みの場合は第3学年第1学期まで)の全体の学習成績の状況が**3.5**以上の者

教育学科

次の(1)~(3)すべてに該当する者

- (1) 本学人文学部教育学科入学を強く希望し、合格した場合には入学する意思を明確にもつ者
- (2) 出身学校長の推薦を受けた者
- (3) 次のa~cのいずれかに該当する者
 - a. 高等学校または中等教育学校を2024年3月卒業見込みの者で、高等学校または中等教育学校後期課程第3学年第1学期までの全体の学習成績の状況が**3.5**以上の者
 - b. 高等学校または中等教育学校を2023年3月以降に卒業した者で、高等学校または中等教育学校後期課程の全体の学習成績の状況が**3.5**以上の者
 - c. 通常の課程による12年の学校教育を2023年3月以降に修了した者(2024年3月に修了見込みの者を含む。)で、かつその所属する教育施設の教育課程(修了見込みの場合は第3学年第1学期まで)の全体の学習成績の状況が**3.5**以上の者

なお、学校教育法施行規則第150条2号、3号、4号または7号のいずれかに該当する者も出願することができます。この出願資格について、2024年3月にその所属する教育施設の教育課程を修了見込みの者および2023年3月以降に修了した者は、2023年10月13日(金)までに本学入学センターに問い合わせてください。

出願書類

社会学科

- a. 出願シート
 - b. 出身学校長の推薦書
 - c. 出身学校調査書
 - d. 志望理由書(1,000字程度)
 学業以外で関心を持って打ち込んできたこと(海外留学なども含む)、社会学科を志望する理由と在学中に学びたいことについて記述してください。
- (注) a, b, dは本学所定の用紙です。シュウダイレクト出願ページから印刷してください(108ページ参照)。出身学校長の推薦書は、学校長および記載責任者(担当の先生等)が、必要事項を記入し、署名捺印のうえ、厳封し郵送してください。志望理由書は、志願者本人の自筆により、黒ボールペンを使用して横書きで作成してください。
- 調査書は出願資格の確認および選抜の参考として活用します。学習成績の状況、総合的な学習の時間の内容・評価、特別活動の記録、指導上参考となる諸事項等をもとにして、学力の3要素全てを多面的・総合的に評価します。志願者本人が記載する出願書類は、面接に活用します。

教育学科

- a. 出願シート
 - b. 出身学校長の推薦書
 - c. 出身学校調査書
 - d. 志望理由書(1,200字程度)
 これまでに学業あるいはそれ以外で特に関心を持って打ち込んできたこと(海外留学なども含む)を関連させながら教育学科を志望する理由と在学中に学びたいことについて記述してください。
- (注) a, b, dは本学所定の用紙です。シュウダイレクト出願ページから印刷してください(108ページ参照)。出身学校長の推薦書は、学校長および記載責任者(担当の先生等)が、必要事項を記入し、署名捺印のうえ、厳封し郵送してください。志望理由書は、志願者本人の自筆により、黒ボールペンを使用して横書きで作成してください。
- 調査書は出願資格の確認および選抜の参考として活用します。学習成績の状況、総合的な学習の時間の内容・評価、特別活動の記録、指導上参考となる諸事項等をもとにして、学力の3要素全てを多面的・総合的に評価します。志願者本人が記載する出願書類は、面接に活用します。

試験内容

試験内容等		時間	配点
小論文	資料小論文*英語読解・論述を出題します(辞書の持込不可)	10:00~12:00	150点
面接(個別)	出願書類にもとづき行います。なお、次の英語資格を取得している場合は10点加点します。(ただし、満点は超えない)	13:00~	50点

面接で加点対象となる英語資格

実施主体名	資格・検定試験名	10点加点
日本英語検定協会	実用英語技能検定(英検)※1	2級以上
	英検CSEスコア	1,980点以上
	TEAP	225点以上
	TEAP CBT	420点以上
ベネッセコーポレーション	GTEC(4技能)(CBTタイプも可)※2	930点以上
国際ビジネスコミュニケーション協会	TOEIC(L&R)/TOEIC(S&W)※3	1,150点以上
Educational Testing Service	TOEFL iBT	42点以上
ケンブリッジ大学英語検定機構	ケンブリッジ英語検定	140点以上
ブリティッシュ・カウンシル	IELTS(アカデミック・モジュール)	4.0以上

※1:英検は、従来型、CBT、1day S-CBT、2days S-Interviewを対象にします。
 ※2:GTEC(4技能)はオフィシャルスコアに限る。また、2023年3月以前に取得したスコアで申請する場合は960点以上とします。
 ※3:TOEICは、(S&W)のスコアを2.5倍して合算したスコアを使用します。

配点

小論文 150点

+

面接(個別) 50点

=

200点満点

選抜方法 /面接、小論文の結果をそれぞれ点数化したうえで、多面的・総合的に評価・判定します。

出願資格

次の(1)~(3)すべてに該当する者

- (1) 本学人文学部英語英文学科入学を強く希望し、合格した場合には入学する意思を明確にもつ者
- (2) 出身学校長の推薦を受けた者
- (3) 次のa~cのいずれかに該当する者
 - a. 高等学校または中等教育学校を2024年3月卒業見込みの者で、高等学校または中等教育学校後期課程第3学年第1学期までの**全体の学習成績の状況が3.5以上かつ「英語」の学習成績の状況が3.8以上の者**

- b. 高等学校または中等教育学校を2023年3月以降に卒業した者で、高等学校または中等教育学校後期課程の**全体の学習成績の状況が3.5以上かつ「英語」の学習成績の状況が3.8以上の者**
- c. 通常の課程による12年の学校教育を2023年3月以降に修了した者(2024年3月に修了見込みの者を含む。)で、かつその所属する教育施設の教育課程(修了見込みの場合は第3学年第1学期まで)の**全体の学習成績の状況が3.5以上かつ「英語」の学習成績の状況が3.8以上の者**

なお、学校教育法施行規則第150条2号、3号、4号または7号のいずれかに該当する者も出願することができます。この出願資格について、2024年3月にその所属する教育施設の教育課程を修了見込みの者および2023年3月以降に修了した者は、2023年10月13日(金)までに本学入学センターに問い合わせてください。

出願書類

- a. 出願シート
- b. 出身学校長の推薦書
- c. 出身学校調査書
- d. 志望理由書(1,000字程度)
 これまでに、学業あるいはそれ以外で特に興味を持って打ち込んできたこと(海外留学なども含む)、ならびに英語英文学科を志望する理由と在学中に学びたいことについて記述してください。
- e. 資格・検定等の証明書(写)
 資格・検定等の証明書のコピーをA4判にして提出してください。
 ※加点申請する方のみ

(注) a, b, dは本学所定の用紙です。シューダイレクト出願ページから印刷してください(108ページ参照)。出身学校長の推薦書は、学校長および記載責任者(担当の先生等)が、必要事項を記入し、署名捺印のうえ、厳封し郵送してください。志望理由書は、志願者本人の自筆により、黒ボールペンを使用して横書きで作成してください。

調査書は出願資格の確認および選抜の参考として活用します。学習成績の状況、総合的な学習の時間の内容・評価、特別活動の記録、指導上参考となる諸事項等をもとにして、学力の3要素全てを多面的・総合的に評価します。志願者本人が記載する出願書類は、面接に活用します。

受験生・保護者対象入試説明会[6/18(日)]で
小論文方式のテーマおよび参考文献発表!



法学部
THE FACULTY OF LAW

法律学科 専願

試験日
11/25(土)

試験内容

方式	試験内容等		時間	配点
英語方式	英語	英語読解・論述・文法問題を出题します。	10:00~11:40	100点
	面接(個別)	出願書類にもとづき行います。	13:00~	30点
小論文方式	小論文	資料小論文 *読解・要約・論述問題を出题	10:00~12:00	100点
	面接(個別)	出願書類にもとづき行います。	13:00~	30点

※ 試験当日の進行や評価のポイントについては、受験生・保護者対象入試説明会、オープンキャンパスでも説明しますので、関連する企画等への参加を強く勧めます。

配点

英語方式	英語100点	+	面接(個別)30点	=	130点満点
小論文方式	小論文100点	+	面接(個別)30点	=	130点満点

選抜方法

英語方式	…………	記述試験(英語)、面接および出願書類にもとづき、多面的・総合的に評価・判定します。
小論文方式	…………	記述試験(小論文)、面接および出願書類にもとづき、多面的・総合的に評価・判定します。

出願資格

英語方式・小論文方式

次の(1)~(3)すべてに該当する者

- (1) 本学法学部法律学科入学を強く希望し、合格した場合には入学する意思を明確にもつ者
- (2) 出身学校長の推薦を受けた者
- (3) 次のa~cのいずれかに該当する者
 - a. 高等学校または中等教育学校を2024年3月卒業見込みの者で、高等学校または中等教育学校後期課程第3学年第1学期までの全体の学習成績の状況が**3.5**以上の者

- b. 高等学校または中等教育学校を2023年3月以降に卒業した者で、高等学校または中等教育学校後期課程の全体の学習成績の状況が**3.5**以上の者
- c. 通常の課程による12年の学校教育を2023年3月以降に修了した者(2024年3月に修了見込みの者を含む。)で、かつその所属する教育施設の教育課程(修了見込みの場合は第3学年第1学期まで)の全体の学習成績の状況が**3.5**以上の者

なお、学校教育法施行規則第150条2号、3号、4号または7号に該当する者も出願することができます。この出願資格について、2024年3月にその所属する教育施設の教育課程を修了見込みの者および2023年3月以降に修了した者は、2023年10月13日(金)までに本学入学センターに問い合わせてください。

出願書類

英語方式・小論文方式

- a. 出願シート
- b. 出身学校長の推薦書
- c. 出身学校調査書
- d. 志望理由書(800字程度)

(注) a, b, dは本学所定の用紙です。シュウダイレクト出願ページから印刷してください(108ページ参照)。出身学校長の推薦書は、学校長および記載責任者(担当の先生等)が、必要事項を記入し、署名捺印のうえ、厳封し郵送してください。志望理由書は、志願者本人の自筆により、黒ボールペンを使用して横書きで作成してください。

調査書は出願資格の確認および選抜の参考として活用します。学習成績の状況、総合的な学習の時間の内容・評価、特別活動の記録、指導上参考となる諸事項等をもとにして、学力の3要素全てを多面的・総合的に評価します。志願者本人が記載する出願書類は、面接に活用します。

志望理由書についての注意

これまでの学校での授業を通して学び考えたこと、課外活動・ボランティア活動を体験して考えたこと、留学経験を通して考えたこと、将来の進路について考えること等を関連させながら、法律学科を志望する理由を、日本語800字程度で説明してください。

受験生・保護者対象入試説明会[6/18(日)]で
小論文方式のテーマ発表!

試験内容

方式	試験内容等		時間	配点
英語方式	英語	英語読解・論述・文法問題を出題します。	10:00~11:40	100点
	面接(集団)	出願書類にもとづき行います。	13:00~	50点
	出願書類	志望理由書(800字程度)	—	50点
小論文方式	小論文	小論文(テーマ方式) *予め指定されたテーマ2つから1つを選び、そのテーマについて調べたことを600字以内、そのテーマと経済等との関係について自分が考えることなどを600字以内、合計1,200字以内で論述してください。本学所定の用紙で400字以内のメモを持込可とします。	10:00~11:30	100点
	面接(集団)	出願書類にもとづき行います。	13:00~	50点
	出願書類	志望理由書(800字程度)	—	50点

配点

英語方式	英語100点	+	面接(集団)50点	+	出願書類(志望理由書)50点	=	200点満点
小論文方式	小論文100点	+	面接(集団)50点	+	出願書類(志望理由書)50点	=	200点満点

選抜方法

英語方式	…………	記述試験(英語)、出願書類および面接にもとづき、多面的・総合的に評価・判定します。
小論文方式	…………	記述試験(小論文)、出願書類および面接にもとづき、多面的・総合的に評価・判定します。

出願資格(現代経済学科・経済情報学科共通)

英語方式・小論文方式

次の(1)~(3)すべてに該当する者

- 1) 本学経済科学部当該学科入学を強く希望し、合格した場合には入学する意思を明確にもつ者
- 2) 出身学校長の推薦を受けた者
- 3) 次のa、bのいずれかに該当する者

- a. 高等学校または中等教育学校を2023年3月以降に卒業または2024年3月に卒業見込みの者で、全体(2024年3月卒業見込みの者は第3学年第1学期まで)の学習成績の状況が**3.5**以上の者
- b. 通常の課程による12年の学校教育を2023年3月以降に修了した者(2024年3月に修了見込みの者を含む。)で、かつその所属する教育施設の教育課程(修了見込みの場合は第3学年第1学期まで)の全体の学習成績の状況が**3.5**以上の者
ただし、a、bいずれの場合も、英語・国語・数学いずれか1教科の学習成績の状況が**3.7**以上の者は、全体の学習成績の状況が**3.3**以上でよい。

なお、学校教育法施行規則第150条2号、3号、4号または7号のいずれかに該当する者も出願することができます。この出願資格について、2024年3月にその所属する教育施設の教育課程を修了見込みの者および2023年3月以降に修了した者は、2023年10月13日(金)までに本学入学センターに問い合わせてください。

出願書類

英語方式・小論文方式

- a. 出願シート
- b. 出身学校長の推薦書
- c. 出身学校調査書
- d. 志望理由書(800字程度)
経済科学部(現代経済学科または経済情報学科)を志望する理由と自己PRを書いてください。

(注) a、b、dは本学所定の用紙です。シューダイレクト出願ページから印刷してください(108ページ参照)。出身学校長の推薦書は、学校長および記載責任者(担当の先生等)が、必要事項を記入し、署名捺印のうえ、厳封し郵送してください。志望理由書は、志願者本人の自筆により、黒ボールペンを使用して横書きで作成してください。

調査書は出願資格の確認および選抜の参考として活用します。学習成績の状況、総合的な学習の時間の内容・評価、特別活動の記録、指導上参考となる諸事項等をもとにして、学力の3要素全てを多面的・総合的に評価します。志願者本人が記載する出願書類は採点対象とし、合否判定に使用します。また、面接にも活用します。

試験内容

方式	試験内容等		時間	配点
指定資格方式	出願書類	志望理由書(1,500字程度)、資格・検定等申請書	—	150点
	面接(集団)	出願書類にもとづき行います。	13:00~	50点
英語資格方式	出願書類	志望理由書(1,500字程度)、資格・検定等申請書	—	150点
	面接(集団)	出願書類にもとづき行います。	13:00~	50点

配点

指定資格方式
英語資格方式

出願書類(志望理由書、資格・検定等申請書) 150点

+

面接(集団) 50点

=

200点満点

選抜方法

指定資格方式
英語資格方式

……

出願書類、資格および面接にもとづき、多面的・総合的に評価・判定します。

出願資格(現代経済学科・経済情報学科共通)

指定資格方式

次の(1)~(4)すべてに該当する者

- (1) 本学経済科学部当該学科入学を強く希望し、合格した場合には入学する意思を明確にもつ者
- (2) 出身学校長の推薦を受けた者
- (3) 下記の資格のうちいずれか1つを有する者
 - a. 日本商工会議所 簿記検定2級以上
 - b. 全国商業高等学校協会 簿記実務検定1級
 - c. 全国商業高等学校協会 情報処理検定プログラミング部門1級
 - d. 情報処理推進機構 ITパスポート試験合格
 - e. 情報処理推進機構 基本情報技術者試験合格
 - f. 情報処理推進機構 応用情報技術者試験合格
- (4) 次のa、bのいずれかに該当する者
 - a. 高等学校または中等教育学校を2024年3月に卒業見込みの者で、高等学校または中等教育学校後期課程第3学年第1学期までの全体の学習成績の状況が**3.8**以上の者
 - b. 通常の課程による12年の学校教育を2024年3月に修了見込みの者で、かつその所属する教育施設の教育課程の第3学年第1学期までの全体の学習成績の状況が**3.8**以上の者

英語資格方式

次の(1)~(4)すべてに該当する者

- (1) 本学経済科学部当該学科入学を強く希望し、合格した場合には入学する意思を明確にもつ者
- (2) 出身学校長の推薦を受けた者
- (3) 下記の資格のうちいずれか1つを有する者
 - a. 日本英語検定協会 実用英語技能検定(英検)準2級以上
(従来型、CBT、1day S-CBT、2days S-Interviewを対象にします)
 - b. 日本英語検定協会 英検CSEスコア 1,728点以上
 - c. ベネッセコーポレーション GTEC(4技能)(CBTタイプも可)680点以上
※GTEC(4技能)はオフィシャルスコアに限る。また、2023年3月以前に取得したスコアで申請する場合は690点以上とします。
 - d. 国際ビジネスコミュニケーション協会 TOEIC(L&R)/ TOEIC(S&W)625点以上
※TOEIC(S&W)のスコアを2.5倍して合算したスコアを使用します。
 - e. Educational Testing Service TOEFL iBT 42点以上
 - f. 日本英語検定協会 TEAP 135点以上
 - g. 日本英語検定協会 TEAP CBT 235点以上
 - h. ケンブリッジ大学英語検定機構 ケンブリッジ英語検定 120点以上
 - i. プリティッシュ・カウンシル IELTS(アカデミック・モジュール)4.0以上
- (4) 次のa、bのいずれかに該当する者
 - a. 高等学校または中等教育学校を2024年3月に卒業見込みの者で、高等学校または中等教育学校後期課程第3学年第1学期までの全体の学習成績の状況が**3.8**以上の者
 - b. 通常の課程による12年の学校教育を2024年3月に修了見込みの者で、かつその所属する教育施設の教育課程の第3学年第1学期までの全体の学習成績の状況が**3.8**以上の者

なお、学校教育法施行規則第150条2号、3号、4号または7号のいずれかに該当する者も出願することができます。この出願資格について、2024年3月にその所属する教育施設の教育課程を修了見込みの者および2023年3月以降に修了した者は、2023年10月13日(金)までに本学入学センターに問い合わせてください。

出願書類

指定資格方式・英語資格方式

- a. 出願シート
- b. 出身学校長の推薦書
- c. 出身学校調査書
- d. 資格・検定等申請書
- e. 資格・検定等の証明書(写)
出願資格の証明書等のコピーを**A4判にして**提出してください。
(ITパスポート試験は、試験結果レポートでも可)
- f. 志望理由書(1,500字程度)
 - ①志望理由および学びたいこと。
 - ②資格取得を通じ、高校時代に学んだことや培ってきたもの。

- ③大学卒業後の進路や将来の夢について。
- ④その他アピールしたいことがあれば、それを記してください。

(注) a、b、d、fは本学所定の用紙です。シュレダイレクト出願ページから印刷してください(108ページ参照)。出身学校長の推薦書は、学校長および記載責任者(担当の先生等)が、必要事項を記入し、署名捺印のうえ、厳封し郵送してください。資格・検定等申請書、志望理由書は、志願者本人の自筆により、黒ボールペンを使用して横書きで作成してください。

調査書は出願資格の確認および選抜の参考として活用します。学習成績の状況、総合的な学習の時間の内容・評価、特別活動の記録、指導上参考となる諸事項等をもとにして、学力の3要素全てを多面的・総合的に評価します。志願者本人が記載する出願書類は採点対象とし、合否判定に使用します。また、面接にも活用します。

人間環境学部

THE FACULTY OF HUMAN ENVIRONMENTAL STUDIES

人間環境学科

専願

試験日

11/25(土)

試験内容

方式	試験内容等		時間	配点
英語方式	英語	英語読解・論述・文法問題を出题します。	10:00~11:40	100点
	出願書類	志望理由書(800字程度)	—	50点
	面接(個別)	出願書類にもとづき行います。	13:00~	

配点



選抜方法

英語方式 …… 英語、面接、志望理由書、推薦書および調査書にもとづき、多面的・総合的に評価・判定します。

出願資格

英語方式

次の(1)~(3)すべてに該当する者

- (1) 本学人間環境学部入学を強く希望し、合格した場合には入学する意思を明確にもつ者
- (2) 出身学校長の推薦を受けた者
- (3) 次のa~dのいずれかに該当する者
 - a. 高等学校または中等教育学校を2024年3月卒業見込みの者で、かつ高等学校または中等教育学校後期課程第3学年第1学期までの全体の学習成績の状況が**3.5**以上の者

- b. 高等学校または中等教育学校を2023年3月以降に卒業した者で、かつ高等学校または中等教育学校後期課程の全体の学習成績の状況が**3.5**以上の者
- c. 通常の課程による12年の学校教育を2023年3月以降に修了した者(2024年3月に修了見込みの者を含む。)で、かつその所属する教育施設の教育課程(修了見込みの場合は第3学年第1学期まで)の全体の学習成績の状況が**3.5**以上の者
- d. 国際バカロレア(IB)カリキュラムのDiploma Program(DP)を2023年3月に修了し最終試験6科目に合格した者、または2024年3月までにその見込みの者

なお、学校教育法施行規則第150条2号、3号、4号または7号のいずれかに該当する者も出願することができます。この出願資格について、2024年3月にその所属する教育施設の教育課程を修了見込みの者および2023年3月以降に修了した者は、2023年10月13日(金)までに本学入学センターに問い合わせてください。

出願書類

英語方式

- a. 出願シート
- b. 出身学校長の推薦書
- c. 出身学校調査書
- d. 志望理由書(800字程度)
本学人間環境学部を志望する動機・理由を説明してください。

(注) a, b, dは本学所定の用紙です。シュウダイレクト出願ページから印刷してください(108ページ参照)。出身学校の推薦書は、学校長および記載責任者(担当の先生等)が、必要事項を記入し、署名捺印のうえ、厳封して郵送してください。志望理由書は、志願者本人の自筆により、黒ボールペンを使用して横書きで作成してください。

調査書は出願資格の確認および選抜の参考として活用します。学習成績の状況、総合的な学習の時間の内容・評価、特別活動の記録、指導上参考となる諸事項等をもとにして、学力の3要素全てを多面的・総合的に評価します。志願者本人が記載する出願書類は採点対象とし、合否判定に使用します。また、面接にも活用します。

試験内容

方式	試験内容等		時間	配点
英語資格方式 数学資格方式	出願書類	資格・検定等の証明書(写)	—	100点
	出願書類	志望理由書(800字程度)	—	100点
	面接(個別)	出願書類にもとづき行います。	10:00~	

配点



選抜方法

英語資格方式
数学資格方式

資格・検定等の証明書(写)、面接、志望理由書、推薦書および調査書にもとづき、多面的・総合的に評価・判定します。

出願資格

英語資格方式

次の(1)~(3)すべてに該当する者

- (1) 出身学校長の推薦を受けた者
- (2) 次の資格のうちいずれか1つを有する者
 - a. 日本英語検定協会 実用英語技能検定(英検) 準2級以上(従来型、CBT、1day S-CBT、2days S-Interviewを対象にします)
 - b. 日本英語検定協会 英検CSEスコア 1,728点以上
 - c. ベネッセコーポレーション GTEC(4技能)(CBTタイプも可)680点以上
※GTEC(4技能)はオフィシャルスコアに限る。また、2023年3月以前に取得したスコアで申請する場合は690点以上とします。
 - d. 国際ビジネスコミュニケーション協会 TOEIC(L&R)/TOEIC(S&W)625点以上
※TOEIC(S&W)のスコアを2.5倍して合算したスコアを使用します。
 - e. Educational Testing Service TOEFL iBT 42点以上
 - f. 日本英語検定協会 TEAP 135点以上
 - g. 日本英語検定協会 TEAP CBT 235点以上
 - h. ケンブリッジ大学英語検定機構 ケンブリッジ英語検定 120点以上
 - i. プリティッシュ・カウンシル IELTS(アカデミック・モジュール) 4.0以上
- (3) 次のa~dのいずれかに該当する者
 - a. 高等学校または中等教育学校を2024年3月卒業見込みの者で、かつ高等学校または中等教育学校後期課程第3学年第1学期までの全体の学習成績の状況が**3.5**以上の者
 - b. 高等学校または中等教育学校を2023年3月以降に卒業した者で、かつ高等学校または中等教育学校後期課程の全体の学習成績の状況が**3.5**以上の者
 - c. 通常の課程による12年の学校教育を2023年3月以降に修了した者(2024年3月に修了見込みの者を含む。)で、かつその所属する教育施設の教育課程(修了見込みの場合は第3学年第1学期まで)の全体の学習成績の状況が**3.5**以上の者
 - d. 国際バカロレア(IB)カリキュラムのDiploma Program(DP)を2023年3月に修了し最終試験6科目に合格した者、または2024年3月までにその見込みの者

数学資格方式

次の(1)~(3)すべてに該当する者

- (1) 出身学校長の推薦を受けた者
- (2) 次の資格を有する者
 - 日本数学検定協会 実用数学技能検定 2級以上
- (3) 次のa~dのいずれかに該当する者
 - a. 高等学校または中等教育学校を2024年3月卒業見込みの者で、かつ高等学校または中等教育学校後期課程第3学年第1学期までの全体の学習成績の状況が**3.5**以上の者
 - b. 高等学校または中等教育学校を2023年3月以降に卒業した者で、かつ高等学校または中等教育学校後期課程の全体の学習成績の状況が**3.5**以上の者
 - c. 通常の課程による12年の学校教育を2023年3月以降に修了した者(2024年3月に修了見込みの者を含む。)で、かつその所属する教育施設の教育課程(修了見込みの場合は第3学年第1学期まで)の全体の学習成績の状況が**3.5**以上の者
 - d. 国際バカロレア(IB)カリキュラムのDiploma Program(DP)を2023年3月に修了し最終試験6科目に合格した者、または2024年3月までにその見込みの者

両方式共通

- *この入試制度は「併願制」です。
- *本学学校推薦型選抜(公募)内で、他学科との併願はできません。また人間環境学科の英語方式(専願)、英語資格方式(併願)、数学資格方式(併願)を同時に受験することもできません。
- *英語資格方式(併願)、数学資格方式(併願)において人間環境学科に合格した後、他大学などの合否判定結果を見てから、本学人間環境学科への入学を決めることができます。ただし、入学手続の最終日は2024年3月22日(金)とします。

なお、学校教育法施行規則第150条2号、3号、4号または7号のいずれかに該当する者も出願することができます。この出願資格について、2024年3月にその所属する教育施設の教育課程を修了見込みの者および2023年3月以降に修了した者は、2023年10月13日(金)までに本学入学センターにお問い合わせください。

出願書類

英語資格方式・数学資格方式

- a. 出願シート
- b. 出身学校長の推薦書
- c. 出身学校調査書
- d. 資格・検定等の証明書(写)
出願資格の証明書等のコピーを**A4判にして**提出してください。
- e. 志望理由書(800字程度)
本学人間環境学部を志望する動機・理由を説明してください。

(注) a、b、eは本学所定の用紙です。シュウダイレクト出願ページから印刷してください(108ページ参照)。出身学校の推薦書は、学校長および記載責任者(担当の先生等)が、必要事項を記入し、署名捺印のうえ、厳封して郵送してください。志望理由書は、志願者本人の自筆により、黒ボールペンを使用して横書きで作成してください。

調査書は出願資格の確認および選抜の参考として活用します。学習成績の状況、総合的な学習の時間の内容・評価、特別活動の記録、指導上参考となる諸事項等をもとにして、学力の3要素全てを多面的・総合的に評価します。志願者本人が記載する出願書類は採点対象とし、合否判定に使用します。また、面接にも活用します。

試験内容

学科	試験内容等		時間	配点
心理学科	小論文	資料小論文 *英文を含む読解・要約、図表等のデータの分析と論述 *英和辞典持込可、電子辞書持込不可	10:00~11:40	100点
	面接(集団)	出願書類にもとづき行います。	13:00~	100点
健康栄養学科	小論文	資料小論文 *英文を含む読解・要約、図表等のデータの分析と論述 *英和辞典持込可、電子辞書持込不可	10:00~11:40	100点
	面接(集団)	出願書類にもとづき行います。	13:00~	100点

配点

心理学科	小論文 100点	+	面接(集団) 100点	=	200点満点
健康栄養学科	小論文 100点	+	面接(集団) 100点	=	200点満点

選抜方法 / 出願書類・面接、小論文の結果をそれぞれ点数化したうえで、多面的・総合的に評価・判定します。

出願資格(心理学科・健康栄養学科共通)

次の(1)~(3)すべてに該当する者

- (1) 本学健康科学部当該学科入学を強く希望し、合格した場合には入学する意思を明確にもつ者
- (2) 出身学校長の推薦を受けた者
- (3) 次のa~cのいずれかに該当する者
 - a. 高等学校または中等教育学校を2024年3月卒業見込みの者で、高等学校または中等教育学校後期課程第3学年第1学期までの全体の学習成績の状況が**3.5**以上の者(かつ健康栄養学科は生物基礎および化学基礎を履修している者)

- b. 高等学校または中等教育学校を2023年3月以降に卒業した者で、高等学校または中等教育学校後期課程の全体の学習成績の状況が**3.5**以上の者(かつ健康栄養学科は生物基礎および化学基礎を履修している者)
- c. 通常の課程による12年の学校教育を2023年3月以降に修了した者(2024年3月に修了見込みの者を含む。)で、かつその所属する教育施設の教育課程(修了見込みの場合は第3学年第1学期まで)の全体の学習成績の状況が**3.5**以上の者(かつ健康栄養学科は生物基礎および化学基礎を履修している者)

なお、学校教育法施行規則第150条2号、3号、4号または7号のいずれかに該当する者も出願することができます。この出願資格について2024年3月にその所属する教育施設の教育課程を修了見込みの者および2023年3月以降に修了した者は、2023年10月13日(金)までに本学入学センターに問い合わせてください。

出願書類

- a. 出願シート
- b. 出身学校長の推薦書
- c. 出身学校調査書
- d. 志望理由書(日本語1,000字程度)
これまでに、学業あるいはそれ以外で特に興味を持って打ち込んできたこと(海外留学なども含む)、ならびに心理学科または健康栄養学科を志望する理由と在学中に学びたいことについて記述してください。

(注) a、b、dは本学所定の用紙です。シュウダイレクト出願ページから印刷してください(108ページ参照)。出身学校長の推薦書は、学校長および記載責任者(担当の先生等)が、必要事項を記入し、署名捺印のうえ、厳封し郵送してください。志望理由書は、志願者本人の自筆により、黒ボールペンを使用して横書きで作成してください。

調査書は出願資格の確認および選抜の参考として活用します。学習成績の状況、総合的な学習の時間の内容・評価、特別活動の記録、指導上参考となる諸事項等をもとにして、学力の3要素全てを多面的・総合的に評価します。志願者本人が記載する出願書類は、面接に活用します。

受験生・保護者対象入試説明会[6/18(日)]で
課題探究方式の課題発表!

試験内容

方式	試験内容等		時間	配点
英語方式	英語	英語読解・論述・文法問題を出题します。	10:00~11:40	100点
	出願書類	志望理由書(800字程度)、自己アピール書(600字程度)	—	10点
	面接(個別)	出願書類にもとづき行います。	13:00~	90点
課題探究方式	小論文	課題探究に関する小論文 *現代社会の特定の課題に関する分析結果の論述を求めるとともに、課題に関連した問いを出题します。 課題探究の取り組み状況についても記述を求めます。 *あらかじめ提示する課題についての探究が必要です。	10:00~11:40	100点
	出願書類	志望理由書(800字程度)、自己アピール書(600字程度)	—	10点
	面接(個別)	出願書類にもとづき行います。	13:00~	90点

※ 選抜方法の詳細は、受験生・保護者対象入試説明会、オープンキャンパスでも説明しますので、関連する企画等への参加を強く勧めます。

配点

英語方式	英語100点	+	出願書類(志望理由書、自己アピール書)10点	+	面接(個別)90点	=	200点満点
課題探究方式	小論文100点	+	出願書類(志望理由書、自己アピール書)10点	+	面接(個別)90点	=	200点満点

選抜方法

英語方式	……………	記述試験(英語)、面接および出願書類にもとづき、多面的・総合的に評価・判定します。
課題探究方式	……………	課題探究に関する小論文、面接および出願書類にもとづき、多面的・総合的に評価・判定します。

出願資格(国際政治学科・地域行政学科共通)

英語方式

次の(1)~(3)すべてに該当する者

- 1) 本学国際コミュニティ学部当該学科入学を強く希望し、合格した場合には入学する意思を明確にもつ者
- 2) 出身学校長の推薦を受けた者
- 3) 次のa~dのいずれかに該当する者
 - a. 高等学校または中等教育学校を2024年3月卒業見込みの者で、高等学校または中等教育学校後期課程第3学年第1学期までの全体の学習成績の状況が**3.5**以上の者
 - b. 高等学校または中等教育学校を2023年3月以降に卒業した者で、高等学校または中等教育学校後期課程の全体の学習成績の状況が**3.5**以上の者
 - c. 通常の課程による12年の学校教育を2023年3月以降に修了した者(2024年3月に修了見込みの者を含む。)で、かつその所属する教育施設(修了見込みの場合は第3学年第1学期まで)の全体の学習成績の状況が**3.5**以上の者
 - d. 高等学校または中等教育学校在学中に連続して3カ月以上の留学経験を有する者

課題探究方式

次の(1)~(3)すべてに該当する者

- 1) 本学国際コミュニティ学部当該学科入学を強く希望し、合格した場合には入学する意思を明確にもつ者
- 2) 出身学校長の推薦を受けた者
- 3) 次のa~cのいずれかに該当する者
 - a. 高等学校または中等教育学校を2024年3月卒業見込みの者で、高等学校または中等教育学校後期課程第3学年第1学期までの全体の学習成績の状況が**3.5**以上の者
 - b. 高等学校または中等教育学校を2023年3月以降に卒業した者で、高等学校または中等教育学校後期課程の全体の学習成績の状況が**3.5**以上の者
 - c. 通常の課程による12年の学校教育を2023年3月以降に修了した者(2024年3月に修了見込みの者を含む。)で、かつその所属する教育施設(修了見込みの場合は第3学年第1学期まで)の全体の学習成績の状況が**3.5**以上の者

なお、学校教育法施行規則第150条2号、3号、4号または7号に該当する者も出願することができます。この出願資格について、2024年3月にその所属する教育施設(修了見込みの者および2023年3月以降に修了した者)は、2023年10月13日(金)までに本学入学センターに問い合わせてください。

出願書類

英語方式・課題探究方式

- a. 出願シート
- b. 出身学校長の推薦書
- c. 出身学校調査書
- d. 志望理由書(800字程度)
志望理由書に記載されている1)~4)の事項について記入し、国際コミュニティ学部当該学科を志望する理由を説明してください。
*志望理由書に記載する事項
 - 1) 国内外の問題、国際問題、政治・行政について学び、探究したいと考えた動機
 - 2) 本学国際コミュニティ学部当該学科への入学を志望した動機
 - 3) 本学を卒業するまでに成し遂げたいこと。
 - 4) 大学卒業後の進路について考えていること。
- e. 自己アピール書(600字程度)
*自己アピール書に記載する事項
以下の1)~3)の事柄を志願者本人が自筆で記入し、自分自身をアピールしてく

ださい。記入できない項目があれば、空欄のままに結構です。

- 1) 生徒会活動、クラス活動、クラブ活動、実行委員会活動、ボランティア活動、地域活動等を通して得たこと、考えたこと。
- 2) 検定試験の受験、各種資格の取得を通して得たこと、考えたこと。
- 3) 高等学校等での授業や留学を通して得たこと、考えたこと。

(注) a, b, d, eは本学所定の用紙です。シュウダイレクト出願ページから印刷してください(108ページ参照)。出身学校長の推薦書は、学校長および記載責任者(担当の先生等)が、必要事項を記入し、署名捺印のうえ、厳封し郵送してください。志望理由書は、志願者本人の自筆により、黒ボールペンを使用して横書きで作成してください。

調査書は出願資格の確認および選抜の参考として活用します。学習成績の状況、総合的な学習の時間の内容・評価、特別活動の記録、指導上参考となる諸事項等をもとにして、学力の3要素のうち特に思考力・判断力・表現力を多面的・総合的に評価します。志願者本人が記載する出願書類は採点対象とし、合否判定に使用します。また、面接にも活用します。



試験内容

方式	試験内容等		時間	配点
指定資格方式	面接(個別)	出願書類にもとづき行います。	10:00~	90点
	出願書類	志望理由書(800字程度)、自己アピール書(600字程度)	—	10点
	資格	出願資格欄参照	—	100点

※ 選抜方法の詳細は、受験生・保護者対象入試説明会、オープンキャンパスでも説明しますので、関連する企画等への参加を強く勧めます。

配点



選抜方法

指定資格方式 …… 面接および出願書類にもとづき、多面的・総合的に評価・判定します。

出願資格(国際政治学科・地域行政学科共通)

指定資格方式

次の(1)~(4)すべてに該当する者

- (1) 本学国際コミュニティ学部当該学科入学を強く希望し、合格した場合には入学する意思を明確にもつ者
- (2) 出身学校長の推薦を受けた者
- (3) 次のa~rの資格を1つ以上有する者
 - a. 日本ニュース時事能力検定協会 ニュース時事能力検定試験 準2級以上
 - b. 地図地理検定 基礎以上
 - c. 日本語検定委員会 日本語検定 3級以上
 - d. 日本漢字能力検定協会 日本漢字能力検定(漢検) 準2級以上
 - e. 歴史能力検定協会 歴史能力検定(歴検) 3級以上
 - f. 世界遺産アカデミー 世界遺産検定 4級以上
 - g. 日本英語検定協会 実用英語技能検定(英検) 準2級以上
(従来型、CBT、1day S-CBT、2days S-Interviewを対象にします)
 - h. 日本英語検定協会 英検CSEスコア 1,728点以上
 - i. ベネッセコーポレーション GTEC(4技能)(CBTタイプも可)680点以上
※GTEC(4技能)はオフィシャルスコアに限る。また、2023年3月以前に取得したスコアで申請する場合は690点以上とします。

- j. 国際ビジネスコミュニケーション協会 TOEIC(L&R) / TOEIC(S&W)625点以上
※TOEIC(S&W)のスコアを2.5倍して合算したスコアを使用します。
- k. Educational Testing Service TOEFL iBT 42点以上
 - l. 日本英語検定協会 TEAP 135点以上
 - m. 日本英語検定協会 TEAP CBT 235点以上
 - n. ケンブリッジ大学英語検定機構 ケンブリッジ英語検定 120点以上
 - o. プリティッシュ・カウンシル IELTS(アカデミック・モジュール) 4.0以上
 - p. 日本国際連合協会 国際連合公用語英語検定試験 C級以上
 - q. 日本数学検定協会 実用数学技能検定 2級以上
 - r. ベネッセコーポレーション Literas論理言語力検定(語彙・読解力検定も可) 準2級以上
- (4) 次のa~cのいずれかに該当する者
 - a. 高等学校または中等教育学校を2024年3月卒業見込みの者で、高等学校または中等教育学校後期課程第3学年第1学期までの全体の学習成績の状況が**3.5**以上の者
 - b. 高等学校または中等教育学校を2023年3月以降に卒業した者で、高等学校または中等教育学校後期課程の全体の学習成績の状況が**3.5**以上の者
 - c. 通常の課程による12年の学校教育を2023年3月以降に修了した者(2024年3月に修了見込みの者を含む。)で、かつその所属する教育施設の教育課程(修了見込みの場合は第3学年第1学期まで)の全体の学習成績の状況が**3.5**以上の者

なお、学校教育法施行規則第150条2号、3号、4号または7号に該当する者も出願することができます。この出願資格について、2024年3月にその所属する教育施設の教育課程を修了見込みの者および2023年3月以降に修了した者は、2023年10月13日(金)までに本学入学センターに問い合わせてください。

出願書類

指定資格方式

- a. 出願シート
- b. 出身学校長の推薦書
- c. 出身学校調査書
- d. 志望理由書(800字程度)
志望理由書に記載されている1)~4)の事項について記入し、国際コミュニティ学部当該学科を志望する理由を説明してください。
*志望理由書に記載する事項
 - 1) 国内外の問題、国際問題、政治・行政について学び、探究したいと考えた動機
 - 2) 本学国際コミュニティ学部当該学科への入学を志望した動機
 - 3) 本学部を卒業するまでに成し遂げたいこと。
 - 4) 大学卒業後の進路について考えていること。
- e. 自己アピール書(600字程度)
*自己アピール書に記載する事項
以下の1)~3)の事柄を志願者本人が自筆で記入し、自分自身をアピールしてく

ださい。記入できない項目があれば、空欄のまま結構です。

- 1) 生徒会活動、クラス活動、クラブ活動、実行委員会活動、ボランティア活動、地域活動等を通して得たこと、考えたこと。
- 2) 検定試験の受験、各種資格の取得を通して得たこと、考えたこと。
- 3) 高等学校等での授業や留学を通して得たこと、考えたこと。

- f. 資格・検定等の証明書(写)
出願資格の証明書等のコピーを**A4判にして**提出してください。
(注) a, b, d, eは本学所定の用紙です。シュウダイレクト出願ページから印刷してください(108ページ参照)。出身学校長の推薦書は、学校長および記載責任者(担当の先生等)が、必要事項を記入し、署名捺印のうえ、厳封し郵送してください。志望理由書は、志願者本人の自筆により、黒ボールペンを使用して横書きで作成してください。

調査書は出願資格の確認および選抜の参考として活用します。学習成績の状況、総合的な学習の時間の内容・評価、特別活動の記録、指導上参考となる諸事項等をもとにして、学力の3要素のうち特に知識・技能および主体性を多面的・総合的に評価します。志願者本人が記載する出願書類は採点対象とし、合否判定に使用します。また、面接にも活用します。

全学部共通事項

1. 入学検定料

30,000円

2. 出願方法



出願は、インターネット出願「シュューダイレクト」でのみ受け付けます。

【出願期間】2023年11月1日(水)～11月10日(金) ※出願初日のみ8:45～受付開始

- (1)シュューダイレクトで出願登録する(最終日の登録締切時間は15:00)
 - (2)入学検定料を納入する(最終日の入学検定料入金締切時間は16:00)
 - (3)出願書類を郵送する:出願書類は入学検定料の入金後、**速達・簡易書留**で早急に郵送してください(締切日消印有効)。
- ※シュューダイレクトでの出願方法および入学検定料のお支払いについては、103～110ページを参照してください。

*提出された書類および納入された入学検定料は、返還しません。出願にあたってはよく確認して手続きしてください。
*出願書類の送付は郵送に限ります(締切日消印有効)。
*出願書類に不備がある場合は、受け付けないことがありますので注意してください。

【受験生氏名等の漢字表記について】

本学では、入学試験に際して発行する受験票・合格通知書類の漢字氏名等の表記方法について、基準を設けております。その結果、**本来の漢字氏名等とは異なる表記となる場合があります**ので、あらかじめご了承ください。

3. 障がいなどのある志願者の配慮について

病気・負傷や障がい等のために、受験上の配慮および入学後の支援を希望する場合、出願に先立ち2023年10月13日(金)までに本学入学センターに問い合わせてください。

4. 感染症(インフルエンザなど)について

試験日当日に感染症(インフルエンザやはしかなど)にかかっている場合は受験できません。詳細は111ページを参照してください。

5. 出身学校調査書について(出願前3カ月以内に発行されたもの)

学校長は推薦にあたって志願者の入学意思を十分確認してください。

- ①高等学校、中等教育学校後期課程または通常の課程による12年の学校教育課程在学中の者は、第3学年第1学期までの成績が記入されたもので、学校長が証明し、厳封したものを提出してください。
 - ②高等学校、中等教育学校後期課程または通常の課程による12年の学校教育課程を卒業(修了)した者は、すべての成績が記入されたもので、出身学校長が証明し、厳封したものを提出してください。
- ※廃校・被災その他の事情により調査書が得られない場合には、それに代わる措置を講じますので、本学入学センターに2023年10月13日(金)までに問い合わせてください。

6. 合格発表

合格発表日: 2023年12月1日(金) 10:00(予定)

- (1) 合格者には、「合格通知書」と「入学書類」を速達で郵送します。なお、「合格通知書」等は、合格発表日に発送しますが、郵便事情により遅れる場合があります。以下(2)で合格を確認したうえで、12月6日(水)を過ぎても届かない場合は本学入学センターまで連絡してください。
- (2) 合否確認の補助手段について
インターネットによる合否照会システムにより合否結果を確認することができます。詳細につきましては112ページを確認してください。
- (3) 学校長宛に合否結果を通知します。

*合格発表に関する本学への電話での問い合わせには、いかなる理由があろうとも一切応じられません。

7. 入学手続

(1) 入学手続について

【一括手続】または【分割手続】のいずれかを選択し、手続をしてください。

人文学部社会学科と人間環境学部英語資格方式・数学資格方式の合格者は【分割手続】のみとなります。

【一括手続・専願】

手続期間/2023年12月4日(月)～12月12日(火)(締切日消印有効)

手続内容/【入学金の納入】、【前期分諸納付金の納入】、【インターネット入力】および【手続書類の提出】

- * 2024年2月26日(月)～3月18日(月)の期間内に卒業証明書の原本または高等学校卒業程度認定試験合格証明書の原本(見込みで受験した者のみ)を必ず郵送してください(既卒者は不要、締切日消印有効)。

【分割手続・専願】

第1次入学手続

手続期間/2023年12月4日(月)～12月12日(火)(締切日消印有効)

手続内容/【入学金の納入】、【インターネット入力】および【手続書類の提出】

第2次入学手続

手続期間/2024年2月26日(月)～3月4日(月)

手続内容/【前期分諸納付金の納入】

- * 2024年2月26日(月)～3月18日(月)の期間内に卒業証明書の原本または高等学校卒業程度認定試験合格証明書の原本(見込みで受験した者のみ)を必ず郵送してください(既卒者は不要、締切日消印有効)。

【分割手続・併願】(人文学部社会学科と人間環境学部英語資格方式・数学資格方式の合格者)

第1次入学手続

手続期間/2023年12月4日(月)～12月12日(火)(締切日消印有効)

手続内容/【入学金の納入】、【インターネット入力】および【手続書類の提出】

第2次入学手続

手続期間/2024年3月11日(月)～3月22日(金)(締切日必着)

手続内容/【前期分諸納付金の納入】および【手続書類の提出】

- * 2024年3月11日(月)～3月22日(金)の期間内に卒業証明書の原本または高等学校卒業程度認定試験合格証明書の原本(見込みで受験した者のみ)を必ず郵送してください(既卒者は不要、締切日必着)。

* 入学手続期間内に入学手続を完了しない場合は、いかなる理由があろうとも入学を許可しません。

* 入学手続完了後、高等学校等の課程を卒業(修了)しないなどの事由が生じた場合は、入学を取り消します。

入学金および諸納付金については113ページを参照してください。

(2) 教育ローン

公的な融資機関として日本政策金融公庫があります。相談については教育ローンコールセンター(TEL0570-008656)へお問い合わせください。

受験上の注意は111ページを参照してください。



郵送受付のみ

帰国生選抜

入試制度の特徴

01 広島修道大学入学を第一志望とする帰国生を対象とした専願入試

広島修道大学で学びたいという意思を強く持つことが大切です。
合格した場合には入学する意思を明確に持っていることが出願条件になります。
2つ以上の学部・学科・方式は併願できません。

02 自己推薦で自分の能力・特技をアピール

自己推薦で受験できる入試制度です(学校長の推薦は必要ありません)。
出願資格や審査方法は学部・学科によって異なるのでよく確認してください。

03 合格者には本学独自の入学準備学習プログラムを用意

大学生生活へのスムーズなスタートを目的として、独自の入学準備学習プログラムを用意。
合格後、入学までに行う学習で、「キャンパス学習」と「通信課題学習」で構成されています。
詳細は総合型選抜(一般受験生)のページ(64ページ)を参照してください。

試験日・試験地・出願期間

学部	学科・方式		募集人員	出願期間	試験日	試験地	合格発表	入学手続期間(手続選択制)	
								一括手続	分割手続
商学部	商学科	活動実績重視方式	若干名	《郵送受付》 2023年 9/19(火)～ 9/29(金) 締切日消印有効	2023年 10/21 (土)	広島 (本学)	2023年 11/1(水)	2023年 11/2(木)～ 11/10(金) 締切日消印有効	《第1次入学手続》 2023年 11/2(木)～ 11/10(金) 締切日消印有効 《第2次入学手続》 2024年 2/26(月)～ 3/4(月)
	経営学科	活動実績重視方式	若干名						
人文学部	社会学科		若干名		10/22 (日)				
	英語英文学科		若干名						
法学部	法律学科	ゼミナール方式	若干名		10/22 (日)				
経済科学部	現代経済学科		若干名		10/21 (土)				
	経済情報学科		若干名						
人間環境学部	人間環境学 科	レポート方式	若干名		10/21 (土)				
		プレゼンテーション方式							
		活動実績方式							
健康科学部	心理学科		若干名		10/22 (日)				
	健康栄養学科		若干名						
国際コミュニティ学部	国際政治学 科	課題図書方式	若干名	10/22 (日)					
	地域行政学 科	課題図書方式	若干名						

全学部共通事項

1. 出願資格

次の(1)～(2)すべてに該当する者

- (1) 本学当該学部・学科入学を強く希望し、合格した場合には入学する意思を明確にもつ者
- (2) 日本の国籍を有する者、または日本に永住する外国人およびそれに準ずる者で、次の各項のいずれかに該当する者
 - a. 外国において学校教育における12年の課程(日本における通常の課程による期間を含む)を2022年4月1日から2024年3月31日までに修了または修了見込みの者で、外国において最終学年を含め原則として2年以上継続して正規の教育制度に基づく学校教育を受けた者または受けている者
 - b. 外国において、原則として2年以上継続して正規の教育制度に基づく学校教育を受け、日本の高等学校の第2学年または第3学年に編入学を認められた者で、2024年3月に卒業見込みの者

なお、上記の他、外国において大学入学資格(国際バカロレア資格等)を授与された者も出願することができます。この出願資格については、2023年9月1日(金)までに本学入学センターに問い合わせてください。

※外国に設置されたものであっても、日本の学校教育法に準拠した教育を施している学校に在学した者については、その期間は、外国において学校教育を受けたものとはみなしません。

2. 入学検定料

30,000円

※入学検定料は、郵便局で30,000円分の郵便為替(普通為替)を発行してもらってください。普通為替証書には何も記入しないで出願書類とともに郵送してください。

3. 出願方法

【出願期間:2023年9月19日(火)～9月29日(金)(締切日消印有効)】

帰国生の出願は、郵送受付のみです。

本学所定の出願書類は、入試情報サイトからダウンロード・印刷してください(2023年6月中旬掲載予定)。出願書類と入学検定料は、市販の角2封筒で、必ず速達・簡易書留で送付してください。

<郵送先> 〒731-3195 広島市安佐南区大塚東1-1-1 広島修道大学 入学センター

※封筒には「入試願書在中」と朱書きしてください。

- *提出された書類および納入された入学検定料は、返還しませんので、出願にあたってはよく確認して手続きしてください。
- *出願書類の送付は郵送に限ります(締切日消印有効)。
- *出願書類に不備がある場合は、受け付けないことがありますので注意してください。

【受験生氏名等の漢字表記について】

本学では、入学試験に際して発行する受験票・合格通知書類の漢字氏名等の表記方法について、基準を設けております。その結果、本来の漢字氏名等とは異なる表記となる場合がありますので、あらかじめご了承ください。

4. 障がいなどのある志願者の配慮について

病気・負傷や障がい等のために、受験上の配慮および入学後の支援を希望する場合、出願に先立ち2023年9月1日(金)までに本学入学センターに問い合わせてください。

5. 感染症(インフルエンザなど)について

試験日当日に感染症(インフルエンザやはしかなど)にかかっている場合は受験できません。詳細は111ページを参照してください。

6. 受験票の交付について

- (1) 受験票は、郵送により交付します。
- (2) 受験票の発送は郵便事情や願書処理状況により多少遅れる場合があります。2023年10月16日(月)を経過しても受験票が届かない場合は、本学入学センターへ問い合わせてください。

7. 合格発表日、入学手続について

総合型選抜(一般受験生)と同じです。80ページを参照してください。



郵送受付のみ

8. 出願書類等

商学部

商学科 経営学科

活動実績重視方式

1. 試験科目・内容・試験時間・配点・選抜方法

試験科目、募集要件等については、総合型選抜(活動実績重視方式)と同じです。商学部の一般受験生のページ(65ページ)を参照してください。

2. 出願書類

出願書類は、入試情報サイトの「入試情報」ページに掲載します(6月中旬予定)。ダウンロード、印刷、記入の上、郵送してください。記入にあたっては、文字は楷書、数字は算用数字とし、黒ボールペンで正確に記入してください。誤って記入した場合は、修正液等を使用し、再記入してください。

- a. 入学志願票(本学所定用紙) b. 卒業証明書または卒業見込証明書 c. 成績証明書
d. 国外の高等学校が発行する在籍期間証明書 e. 志望理由書(本学所定用紙)

eには以下の①~④の内容を盛り込み、日本語で1,500字程度にまとめてください。なお、以下の内容の順序は問いません。また、この志望理由書は、志願者本人の自筆、横書きで作成してください。

- ① 商学科または経営学科を志望する動機・理由 ② 国外生活で学んだもの、身についたもの
③ 将来の進路 ④ 広島修道大学(商学部)では、どのようなことを学ぼうと考えるのか
(高校時代にやってきたことや将来の進路に関連づけて述べるほうが望ましい)

なお、日本の高等学校を卒業または卒業見込みの者は、bおよびcについては、出身学校調査書とします。

人文学部

社会学科

1. 試験科目・内容・試験時間・配点・選抜方法

試験科目等については、総合型選抜と同じです。人文学部社会学科のページ(67ページ)を参照してください。

2. 出願書類

出願書類は、入試情報サイトの「入試情報」ページに掲載します(6月中旬予定)。ダウンロード、印刷、記入の上、郵送してください。記入にあたっては、文字は楷書、数字は算用数字とし、黒ボールペンで正確に記入してください。誤って記入した場合は、修正液等を使用し、再記入してください。

- a. 入学志願票(本学所定用紙) b. 卒業証明書または卒業見込証明書 c. 成績証明書
d. 国外の高等学校が発行する在籍期間証明書 e. 志望理由書(本学所定用紙)

※eの内容は一般受験生と同じです。67ページを参照してください。

なお、日本の高等学校を卒業または卒業見込みの者は、bおよびcについては、出身学校調査書とします。

人文学部

英語英文学科

1. 試験科目・内容・試験時間・配点・選抜方法

試験科目等については、総合型選抜と同じです。人文学部英語英文学科の一般受験生のページ(69ページ)を参照してください。

2. 出願書類

出願書類は、入試情報サイトの「入試情報」ページに掲載します(6月中旬予定)。ダウンロード、印刷、記入の上、郵送してください。記入にあたっては、文字は楷書、数字は算用数字とし、黒ボールペンで正確に記入してください。誤って記入した場合は、修正液等を使用し、再記入してください。

- a. 入学志願票(本学所定用紙) b. 卒業証明書または卒業見込証明書 c. 成績証明書
d. 国外の高等学校が発行する在籍期間証明書 e. 志望理由書(本学所定用紙) f. 活動報告書(本学所定用紙)

※e、fの内容は一般受験生と同じです。69ページを参照してください。

なお、日本の高等学校を卒業または卒業見込みの者は、bおよびcについては、出身学校調査書とします。

法学部

法律学科

ゼミナール方式

1. 試験科目・内容・試験時間・配点・選抜方法

試験科目等については、総合型選抜(ゼミナール方式)と同じです。法学部法律学科の一般受験生のページ(70ページ)を参照してください。

2. 出願書類

出願書類は、入試情報サイトの「入試情報」ページに掲載します(6月中旬予定)。ダウンロード、印刷、記入の上、郵送してください。記入にあたっては、文字は楷書、数字は算用数字とし、黒ボールペンで正確に記入してください。誤って記入した場合は、修正液等を使用し、再記入してください。

- a. 入学志願票(本学所定用紙) b. 卒業証明書または卒業見込証明書 c. 成績証明書
d. 国外の高等学校が発行する在籍期間証明書 e. 志望理由書(本学所定用紙) f. ゼミナール報告要旨(本学所定用紙)

※e、fの内容は一般受験生と同じです。70ページを参照してください。

なお、日本の高等学校を卒業または卒業見込みの者は、bおよびcについては、出身学校調査書とします。

経済科学部 現代経済学科 経済情報学科

1. 試験科目・内容・試験時間・配点・選抜方法

試験科目等については、総合型選抜と同じです。経済科学部の一般受験生のページ(72ページ)を参照してください。

2. 出願書類

出願書類は、入試情報サイトの「入試情報」ページに掲載します(6月中旬予定)。ダウンロード、印刷、記入の上、郵送してください。記入にあたっては、文字は楷書、数字は算用数字とし、黒ボールペンで正確に記入してください。誤って記入した場合は、修正液等を使用し、再記入してください。

- a. 入学志願票 (本学所定用紙)
- b. 卒業証明書または卒業見込証明書
- c. 成績証明書
- d. 国外の高等学校が発行する在籍期間証明書
- e. 志望理由書 (本学所定用紙)
- f. 活動報告書 (本学所定用紙)
- g. 活動実績を証明する資料

※e、f、gの内容は一般受験生と同じです。72ページを参照してください。
なお、日本の高等学校を卒業または卒業見込みの者は、bおよびcについては、出身学校調査書とします。

人間環境学部 人間環境学科 レポート方式 プレゼンテーション方式 活動実績方式

1. 試験科目・内容・試験時間・配点・選抜方法

試験科目、募集要件等については、総合型選抜と同じです。人間環境学部人間環境学科の一般受験生のページ(73~75ページ)を参照してください。

2. 出願書類

出願書類は、入試情報サイトの「入試情報」ページに掲載します(6月中旬予定)。ダウンロード、印刷、記入の上、郵送してください。記入にあたっては、文字は楷書、数字は算用数字とし、黒ボールペンで正確に記入してください。誤って記入した場合は、修正液等を使用し、再記入してください。

- a. 入学志願票 (本学所定用紙)
- b. 卒業証明書または卒業見込証明書
- c. 成績証明書
- d. 国外の高等学校が発行する在籍期間証明書
- e. 志望理由書 (本学所定用紙)
- f. レポート(レポート方式のみ)
プレゼンテーション資料(プレゼンテーション方式のみ)
活動実績書および活動実績を証明する資料(活動実績方式のみ)

※e、fの内容は一般受験生と同じです。73~75ページを参照してください。
なお、日本の高等学校を卒業または卒業見込みの者は、bおよびcについては、出身学校調査書とします。

健康科学部 心理学科 健康栄養学科

1. 試験科目・内容・試験時間・配点・選抜方法

試験科目等については、総合型選抜と同じです。健康科学部の一般受験生のページ(76・77ページ)を参照してください。

2. 出願書類

出願書類は、入試情報サイトの「入試情報」ページに掲載します(6月中旬予定)。ダウンロード、印刷、記入の上、郵送してください。記入にあたっては、文字は楷書、数字は算用数字とし、黒ボールペンで正確に記入してください。誤って記入した場合は、修正液等を使用し、再記入してください。

- a. 入学志願票 (本学所定用紙)
- b. 卒業証明書または卒業見込証明書
- c. 成績証明書
- d. 国外の高等学校が発行する在籍期間証明書
- e. 志望理由書 (本学所定用紙)
- f. 課題レポート(健康栄養学科のみ) (本学所定用紙)
- g. プレゼンテーション資料(健康栄養学科のみ)

※e、fの内容は一般受験生と同じです。76・77ページを参照してください。
なお、日本の高等学校を卒業または卒業見込みの者は、bおよびcについては出身学校調査書とします。

国際コミュニティ学部 国際政治学科 地域行政学科 課題図書方式

1. 試験科目・内容・試験時間・配点・選抜方法

試験科目等については、総合型選抜と同じです。国際コミュニティ学部の一般受験生のページ(78ページ)を参照してください。

2. 出願書類

出願書類は、入試情報サイトの「入試情報」ページに掲載します(6月中旬予定)。ダウンロード、印刷、記入の上、郵送してください。記入にあたっては、文字は楷書、数字は算用数字とし、黒ボールペンで正確に記入してください。誤って記入した場合は、修正液等を使用し、再記入してください。

- a. 入学志願票 (本学所定用紙)
- b. 卒業証明書または卒業見込証明書
- c. 成績証明書
- d. 国外の高等学校が発行する在籍期間証明書
- e. 志望理由書 (本学所定用紙)
- f. 自己アピール書 (本学所定用紙)

※eの内容は一般受験生と同じです。78ページを参照してください。
なお、日本の高等学校を卒業または卒業見込みの者は、bおよびcについては、出身学校調査書とします。

受験上の注意は111ページを参照してください。

アドミッション・ポリシー
一般前期
一般後期
共通テスト利用
後期
共通テスト利用
総合型
学校推薦型
(公募)
特別
出願ガイド
合格への道

社会人選抜

修業年限を選択可能。状況に応じて、ゆとりある学修を実現

社会人選抜を受験する方は、通常の4年を修業年限とする場合と、5～8年を修業年限とする場合（長期履修学生制度）のいずれかを選択することができます。

「長期履修学生制度」を選択した場合、履修登録した科目の単位分だけ授業料を支払う単位制授業料となり経済的です。これにより、仕事を続けながら無理なく学生生活を実現することができます。

*「長期履修学生制度」を希望しない場合は、通常の授業料となります。

***出願資格・出願書類および出願方法等詳細については、本学の「社会人選抜要項」で確認してください。**

出願資格

2024年4月1日現在において、満22歳に達し、以下のいずれかに該当する社会人

- 高等学校または中等教育学校を卒業した者および2024年3月卒業見込みの者
- 通常の課程による12年の学校教育を修了した者および2024年3月修了見込みの者
- 学校教育法施行規則第150条の規定により高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者および2024年3月31日までにこれに該当する見込みの者（この出願については2023年11月6日（月）までに本学入学センターに問い合わせてください。ただし、高等学校卒業程度認定試験の合格者（合格見込者）または大学入学資格検定の合格者については問い合わせの必要はありません。）

*「見込み」で受験した者が2024年3月31日までに各条件を満たせなかった場合は、合格しても入学が許可されません。

*（人間環境学部のみ）社会人とは、企業等の在職者、離職者、家事従事者とします。

試験日・試験地・出願期間

学部	学科	募集人員	出願期間	試験日	試験地	合格発表	入学手続期間
人文学部	社会学科 教育学科	若干名	《 郵送受付 》 2023年 12/13(水)～12/21(木) 締切日必着	2024年 1/6 (土)	広島 (本学)	2024年 1/11 (木)	《 一括手続 》 2024年 2/16(金)～2/22(木) 締切日消印有効
人間環境学部	人間環境学科	若干名					

試験内容

学部	学科	試験内容等		時間	配点
人文学部	社会学科 教育学科	小論文(資料小論文)		10:00～11:00	100点
		面接(個別)	出願書類にもとづき行います	11:30～	100点
人間環境学部	人間環境学科	小論文(資料小論文)		10:00～11:00	100点
		面接(個別)	面接+志望理由書	11:30～	100点

外国人留学生選抜

出願資格

次のいずれかに該当し、2022年度または2023年度日本留学試験の「日本語」、「総合科目」を受験した者

(ただし、経済科学部・人間環境学部・国際コミュニティ学部は「日本語」のみの受験でよい)

(英語英文学科は、上記に加えて国際教育交換協議会の行うTOEFL(ペーパー版テスト・ITP)で470点以上(iBT方式では52点以上)を取得した者)

a. 外国において学校教育12年の課程を修了した者または修了見込みの者

b. 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、18歳に達した者

* bの出願資格については、2023年11月6日(月)までに本学入学センターに問い合わせてください。

* 「見込み」で受験した者が2024年3月31日までに各条件を満たせなかった場合は、合格しても入学が許可されません。

*** 出願資格・出願書類および出願方法等詳細については、本学の「外国人留学生選抜要項」で確認してください。**

試験日・試験地・出願期間

学部	学科	募集人員	出願期間	試験日	試験地	合格発表	入学手続期間
全学部	全学科	若干名	《郵送受付》 2023年 12/13(水)~12/27(水) 締切日必着	2024年 1/6 (土)	広島 (本学)	2024年 1/11 (木)	《一括手続》 2024年 2/16(金)~2/22(木) 締切日消印有効

*2022年度、2023年度において受験した日本留学試験の受験票(写)、成績通知書(写)、成績確認書(写)のいずれかを提出してください。複数回の受験票等を提出する場合は、どの成績を使用するか、2023年12月27日(水)16:00までに本学入学センターまでご連絡ください。連絡がない場合は直近の成績を使用します。

試験内容

学部	学科	試験内容等		時間	配点
商学部	商学科 経営学科	小論文(資料小論文)		10:00~11:30	100点
		日本語	試験は実施しません。 日本留学試験の「日本語」(読解・聴解・聴読解)400点、「総合科目」200点の配点をそれぞれ100点、50点として換算	—	150点
		面接(個別)	出願書類にもとづき行います。	12:30~	50点
人文学部	社会学科 教育学科 英語英文学科	日本語	試験は実施しません。 日本留学試験の「日本語」(読解・聴解・聴読解)400点の配点を100点として換算、「日本語」(記述)50点、「総合科目」200点の配点を50点として換算	—	200点
		面接(個別)	日本語読解力を判定する質問を含みます。	10:00~	200点
法学部	法律学科	小論文(資料小論文)		10:00~11:30	100点
		日本語	試験は実施しません。 日本留学試験の「日本語」(読解・聴解・聴読解)400点、「総合科目」200点の配点をそれぞれ100点、50点として換算	—	150点
		面接(個別)	出願書類にもとづき行います。	12:30~	—
経済科学部	現代経済学科 経済情報学科	小論文(資料小論文)		10:00~11:10	100点
		日本語	試験は実施しません。 日本留学試験の「日本語」(読解・聴解・聴読解)400点の配点を100点として換算	—	100点
		出願書類(志望理由書)		—	50点
		面接(個別)		12:30~	50点
人間環境学部	人間環境学科	小論文(資料小論文)		10:00~11:00	100点
		日本語	試験は実施しません。 日本留学試験の「日本語」(読解・聴解・聴読解)400点の配点を100点として換算	—	100点
		面接(個別)	面接+志望理由書	11:30~	100点
健康科学部	心理学科 健康栄養学科	日本語	試験は実施しません。 日本留学試験の「日本語」(読解・聴解・聴読解)400点の配点を100点として換算、「日本語」(記述)50点、「総合科目」200点の配点を50点として換算	—	200点
		面接(個別)	日本語読解力を判定する質問を含みます。	10:00~	200点
国際コミュニティ学部	国際政治学科 地域行政学科	小論文(資料小論文)		10:00~11:30	100点
		日本語	試験は実施しません。 日本留学試験の「日本語」(読解・聴解・聴読解)400点の配点を100点として換算	—	100点
		出願書類(志望理由書)		—	50点
		面接(個別)	出願書類にもとづき行います。	12:30~	100点

2024出願ガイド

◎入学検定料割引制度	104
◎シューダイレクト(インターネット出願)の流れ	105
◎入学検定料のお支払い	107
◎書類の印刷・郵送	108
◎インターネット出願Q&A	110
◎ご宿泊についてのご案内	110

●各種手続き期限

出願登録期限	出願期間※1最終日の	15:00まで
検定料の支払い期限	出願期間※1最終日の	16:00まで※2
出願書類の郵送期限	出願期間※1最終日の	消印有効または必着※1

※1 入試種別によって異なります。

それぞれの出願期間は、各入試の詳細ページを確認してください。

※2 検定料を支払っても、出願書類の郵送がなければ出願は無効となりますので注意してください。
また、提出された出願書類は、一切返却しません。

*出願書類に虚偽の記載をした者およびインターネット出願システムに虚偽の情報を登録した者は、
入学決定後であっても入学の許可を取り消すことがあります。

経済的負担を大幅に軽減する検定料割引制度

※割引制度は、1度の出願登録で複数出願する場合のみ適用されます。追加で出願した場合、既に登録済みの出願内容と合わせた割引は適用されません。

1 複数出願割引

以下の入試制度は、2出願目から割引されます。

一般選抜(前期・スタンダード方式)

1出願のみ 27,000円 → 1出願追加毎に +15,000円

共通テスト利用選抜(前期・後期)

1出願のみ 15,000円 → 1出願追加毎に +5,000円

一般選抜(後期)

1出願のみ 27,000円 → 1出願追加毎に +10,000円

2 3方式セット割引

一般選抜(前期)において、3つの方式を「同一日・同一学科に」同時に申し込むと割引されます。

出願パターン別 検定料比較	スタンダード方式のみ	スタンダード方式 + 高得点科目重視方式	スタンダード方式 + 共通テストプラス方式	スタンダード方式 + 高得点科目重視方式 + 共通テストプラス方式
① スタンダード方式 (27,000円) 出願必須	○	○	○	○
② 高得点科目重視方式 (10,000円)		○		○
③ 共通テストプラス方式 (10,000円)			○	○
検定料	① (1出願) 27,000円	① + ② (2出願) 37,000円	① + ③ (2出願) 37,000円	① + ② + ③ (3出願) 47,000円

3方式セット割引で (3出願)
7,000円引き **40,000円**

3出願目を実質
+3,000円で出願可

POINT

割引制度を組み合わせると、より経済的に合格のチャンスが広がります!

検定料早見表

方式	1日目		2日目		3日目	
	1学科目	2学科目	1学科目	2学科目	1学科目	2学科目
① スタンダード方式 (2出願目から12,000円引き)	27,000円	27,000円 15,000円	27,000円 15,000円	27,000円 15,000円	27,000円 15,000円	27,000円 15,000円
② 高得点科目重視方式(1出願一律10,000円)	10,000円	10,000円	10,000円	10,000円	10,000円	10,000円
③ 共通テストプラス方式(1出願一律10,000円)	10,000円	10,000円	10,000円	10,000円	10,000円	10,000円
① + ② + ③ (3方式セット割引で7,000円引き)	47,000円 40,000円	35,000円 28,000円	35,000円 28,000円	35,000円 28,000円	35,000円 28,000円	35,000円 28,000円
合計の出願数と検定料	計3出願 40,000円	計6出願 68,000円	計9出願 96,000円	計12出願 124,000円	計15出願 152,000円	計18出願 180,000円

3方式セット割引を活用した、おすすめ出願パターン

例 第1志望の商学科のみ2日間受験する場合

方式	1日目	2日目
	商学科	商学科
① スタンダード方式	27,000円	15,000円
② 高得点科目重視方式	10,000円	10,000円
③ 共通テストプラス方式	10,000円	10,000円
① + ② + ③ 7,000円引き	40,000円	28,000円
合計の出願数と検定料	計6出願	68,000円

例 第1志望の商学科を2日間受験し、第2志望の経営学科を1日受験する場合

方式	1日目		2日目
	商学科	経営学科	商学科
① スタンダード方式	27,000円	15,000円	15,000円
② 高得点科目重視方式	10,000円	10,000円	10,000円
③ 共通テストプラス方式	10,000円	10,000円	10,000円
① + ② + ③ 7,000円引き	40,000円	28,000円	28,000円
合計の出願数と検定料	計9出願 96,000円		

シューダイレクト

— 出願の流れ —

1 情報の登録

- 入試情報サイトから、出願ページにアクセス。

🔍 広島修道大学 入試情報サイト

- 出願情報、個人情報を入力し、支払方法を確認してください。



2 入学検定料のお支払い

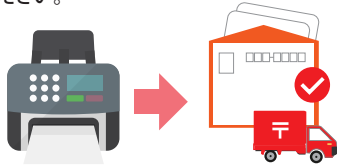
クレジットカード、コンビニエンスストア、銀行ATM (Pay-easy対応端末)、ネットバンキングのいずれかで、入学検定料をお支払いください。

出願登録後、翌日(23:59)までにお支払いください。



3 書類の印刷・郵送

- ※各入試制度で**必要な書類を印刷**してください。
- ※市販の角2封筒に「宛名シート」を貼付し、期間内に**出願書類を速達・簡易書留**で郵送してください(締切日消印有効)。
- ※大学から受験票と写真票は郵送しません。**必ず本人で印刷して試験日に持参**してください。
- ※出願シートまたは写真票の所定の欄に**写真を貼付**してください。



出願手続き完了

受験

- 受験票記載の試験会場で受験してください。
- 「受験票」は、試験日当日必ず持参**してください。
- ※一般選抜(前期・後期)は「写真票」も必ず持参してください。

① 情報の登録

①はじめに 出願ページにアクセス

本学入試情報サイトのトップページ下にある「シューダイレクト」のバナーをクリックすると、出願ページにアクセスできます。

入試情報サイト



出願ページ トップ画面



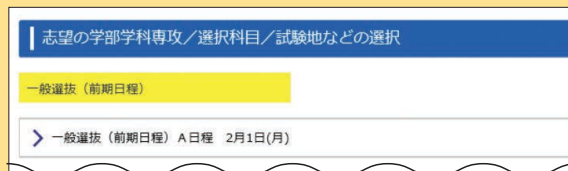
STEP1 「入試制度」を選択

受験する入試制度を選択してください。



STEP2 「出願情報」を選択

志望する学部・学科、選択科目、試験地等を選択してください。



※前ページに戻る場合は、画面下の「◀戻る」ボタンを使用してください。ブラウザの戻るボタン(矢印)は使用しないでください。
 ※出願画面のデザインは変更になることがあります。

STEP3 「個人情報」の入力

画面に従い、氏名、性別、生年月日、住所、メールアドレス等を入力してください。

! 入力情報は正確に入力してください。



STEP4 アンケートの入力

今後の広報活動の参考とするもので、入学試験の可否とは一切関係ありません。回答は任意ですが、ご協力ください。



STEP5 入力内容の確認

この画面の次に進むと、登録内容の変更はできません。内容に誤りがないか、必ず確認してください。

STEP6 お支払い方法の確認

クレジットカード、コンビニエンスストア、銀行ATM (Pay-easy対応端末)、ネットバンキングのいずれかでお支払いが可能です。お支払い方法を確認した後、ページ下部の「登録」ボタンをクリックしてください(お支払い方法の詳細は107ページ参照)。

◆クレジットカード決済

以下のクレジットカードよりお支払いが可能です。



◆コンビニエンスストア決済

以下のコンビニエンスストアよりお支払いが可能です。
 ※現金のみの取り扱いとなります。支払い金額の上限は30万円です。



◆銀行ATM (Pay-easy対応端末)

銀行ATMは、Pay-easy(ペイジー)のマークのある、みずほ銀行、三井住友銀行、三菱UFJ銀行、りそな銀行ATM等(一覧は選択画面でご確認ください)。

◆ネットバンキング

楽天銀行、NEOBANK(住信SBIネット銀行)、auじぶん銀行、都市銀行、地方銀行、信用金庫、農協等(一覧は選択画面でご確認ください)。

◀戻る **登録** ▶ 「登録」ボタンをクリック。



登録完了画面

「登録番号6桁(受験番号ではありません)」と「認証コード4桁」が表示されます。申し込み確認や問い合わせの際に必要となりますので「登録内容確認票(本人保存用)」を印刷し、必ず保管してください。印刷ができない場合は、メモを取っておいてください。

次に、「検定料のお支払い」に表示されているURLをクリックし、お支払い方法の選択ページに進んでください。

2. 検定料のお支払い

下記URLのサイトにてお支払い方法を選択の上、画面に従い検定料をお支払いください。

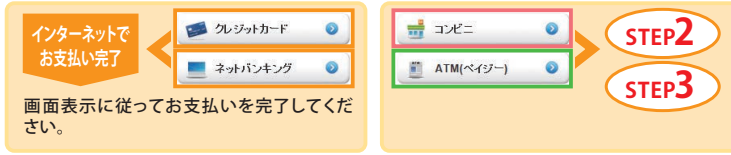
URLをクリックすると、お支払い方法の選択ページに進みます。

お支払い方法の詳細は次ページに記載

②入学検定料のお支払い

出願登録後、翌日(23:59)までにお支払いください。※出願最終日は16:00まで

STEP1 検定料の支払い方法を選択します。



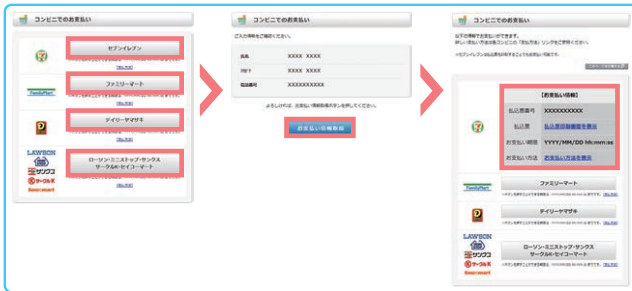
登録完了画面、または申込確認画面より決済代行業者の専用サイトへ移動し、支払い方法を選択します。

- クレジットカード
VISA、MasterCard、JCB、AMERICAN EXPRESS、Diners Club
- ネットバンキング
主要メガバンクをはじめ、全国1,000行以上対応。
ご利用には、ネットバンキングの利用契約が必要です。

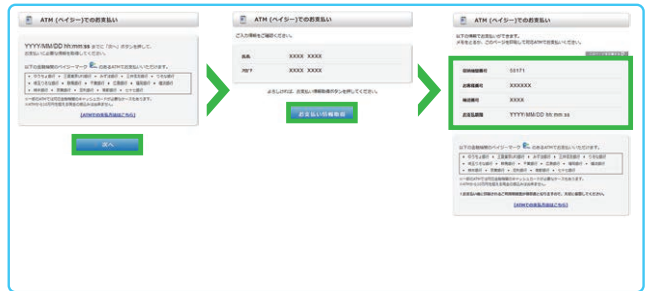
STEP2 お支払い情報を確認します。

コンビニ・ATMでのお支払いに必要なお支払い情報を取得します。
お支払い情報は、お支払いをする際に必要な情報ですので、必ずメモを取るか印刷してください。

- コンビニ
コンビニ名を選択した後、お支払い情報取得ボタンを押してください。

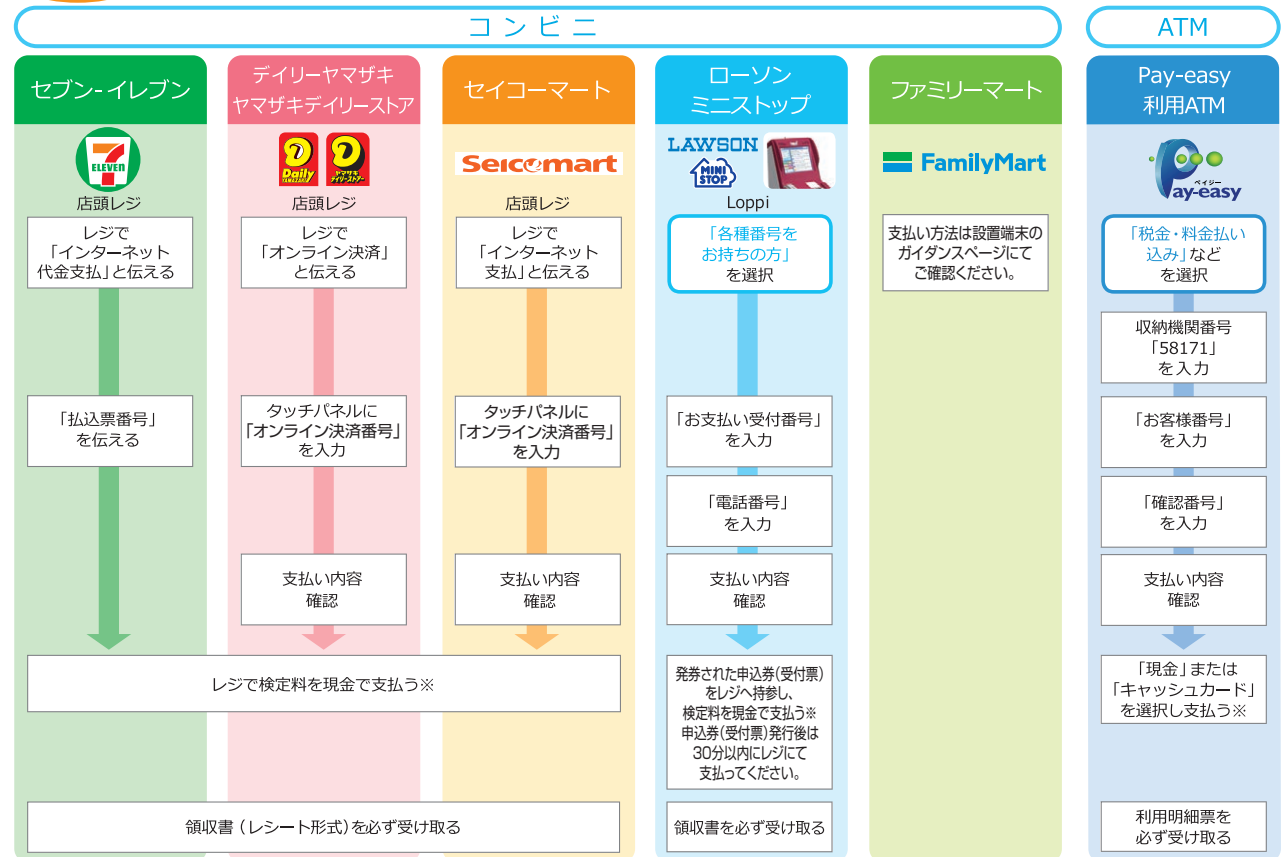


- ATM (Pay-easy)
画面表示に従い、お支払い情報取得ボタンを押してください。



STEP3 選択した支払い方法で検定料を支払います。

STEP2で取得したお支払い情報を持参し、コンビニ(レジ、設置端末)・ATMにて検定料を支払います。領収書は必ず受け取ってください。



※ATMを利用する際、現金で10万円を超える場合はキャッシュカードで支払ってください。コンビニを利用の場合は現金で30万円までの支払いとなります。

お支払いの注意事項

- ※入学検定料お支払い後の受験方式・学科・試験地等、**出願内容についての変更はできません。**
- ※入学検定料の他に、支払手数料が一律990円かかります。
- ※入学検定料のお支払いは、必ず出願登録後**翌日(23:59)まで**に行ってください。出願登録後、支払期限を過ぎてもお支払いが完了していない場合、**出願内容が取り消されますのでご注意ください。**なお、**出願締切最終日の入金完了時間は16:00です。**
- ※入金された入学検定料は、いかなる理由があろうとも返還しません。

③ 書類の印刷・郵送

総合型選抜、学校推薦型選抜(公募)

出願書類の入手方法について

出願書類は、入学検定料の支払い後に「印刷・確認」画面から印刷できます。
 ※学校推薦型選抜(公募)の「学校長の推薦書」は、入学検定料の「支払い前」でも、入試情報サイトからダウンロード・印刷できます(6月中旬予定)。ご不明な点は、本学入学センターにお問い合わせください。



出願書類は全てA4サイズ(片面)で印刷してください。

※入試制度・方式別の出願書類の見本は、入試情報サイトの「シューダイレクト」ページに掲載します(6月中旬予定)。

① 全学部「共通」の出願書類

総合型選抜	出願期間内に郵送		試験当日に持参	学校推薦型選抜(公募)	出願期間内に郵送		試験当日に持参
	出願ページから印刷	出身学校で作成	出願ページから印刷		出願ページから印刷	出身学校で作成	出願ページから印刷
	出願シート	出身学校調査書	受験票		出願シート	出身学校長の推薦書	出身学校調査書
	出願内容 所定欄に 写真を 貼付	詳細 P79 参照	受験票		出願内容 所定欄に 写真を 貼付	推薦者が 記入	詳細 P95 参照
	厳封				厳封		

※受験票は郵送しません。入学検定料の支払い後に、「印刷・確認」画面から印刷し、試験日に必ず持参してください。

② 入試制度・方式別 出願書類(上記①の出願シート、出身学校調査書、推薦書(学校推薦型選抜(公募)のみ)と一緒に郵送してください。)

- の出願書類は、出願ページからダウンロードし、出願期間内に郵送してください。※全てA4サイズ(片面)で印刷してください。
- の出願書類の記入にあたっては、志願者本人の自筆により黒ボールペンを使用して横書きで作成してください。
- ※志望理由書等、複数枚印刷される出願書類は、最後の1枚を記入していなくても全て郵送してください。

学部	学科	総合型選抜		学校推薦型選抜(公募)	
		方式	出願書類	方式	出願書類
商	商 経営 (共通)	活動実績 重視	●志望理由書(1,500字程度) ●活動報告書 活動実績を裏付ける客観的資料(写)	英語	●志望理由書(1,000字程度) ●資格・検定等申請書 資格・検定等の証明書(写)
		小論文 重視	●志望理由書(1,500字程度) ●活動報告書	指定資格	●志望理由書(1,000字程度) 資格・検定等の証明書(写)
人文	社会	—	●志望理由書(1,000字程度)	英語資格	●志望理由書(1,000字程度)
	教育	—	●志望理由書(1,200字程度)	—	●志望理由書(1,000字程度)
	英語英文	—	●志望理由書(800字程度) ●活動報告書	—	●志望理由書(1,000字程度) 資格・検定等の証明書(写)
法	法律	ゼミナール	●志望理由書(800字程度) ●ゼミナール報告要旨	英語	●志望理由書(800字程度)
		スポーツ 実績	●志望理由書(800字程度) ●活動報告書	小論文	●志望理由書(800字程度)
		芸術・文化 実績	●活動実績を証明する資料(写) ●社会問題について的小論文(800字程度)		
		—	●志望理由書(800字程度) ●活動報告書	英語	●志望理由書(800字程度)
経済科	現代経済 経済情報 (共通)	—	●志望理由書(800字程度) ●活動報告書	小論文	●志望理由書(800字程度) ●メモ用紙(※郵送不要・試験当日持参)
		—	活動実績を証明する資料(写)	指定資格 英語資格	●資格・検定等申請書 資格・検定等の証明書(写) ●志望理由書(1,500字程度)
人間環境	人間環境	レポート	●志望理由書(800字程度) レポート(3,000字以内)	[専願] 英語	●志望理由書(800字程度)
		プレゼン テーション	●志望理由書(800字程度) プレゼンテーション資料	[併願] 英語資格	●志望理由書(800字程度) 資格・検定等の証明書(写)
		活動実績	●志望理由書(800字程度) ●活動実績書 活動実績を証明する資料(写)	[併願] 数学資格	●志望理由書(800字程度) 資格・検定等の証明書(写)
		—	●志望理由書(1,200字程度) ●志望理由書(1,200字程度)	—	●志望理由書(1,000字程度)
健康科	心理	—	●課題レポート(1,200字程度) プレゼンテーション資料	—	●志望理由書(1,000字程度)
	健康栄養	—	—	—	●志望理由書(1,000字程度)
国際 コミュニティ	国際政治 地域行政 (共通)	課題図書	●志望理由書(800字程度)	英語	●志望理由書(800字程度) ●自己アピール書(600字程度)
			●自己アピール書(600字程度)	指定資格	●志望理由書(800字程度) ●自己アピール書(600字程度) 資格・検定等の証明書(写)
			—	課題探究	●志望理由書(800字程度) ●自己アピール書(600字程度)

③書類の印刷・郵送

一般選抜、共通テスト利用選抜

出願書類の入手方法について

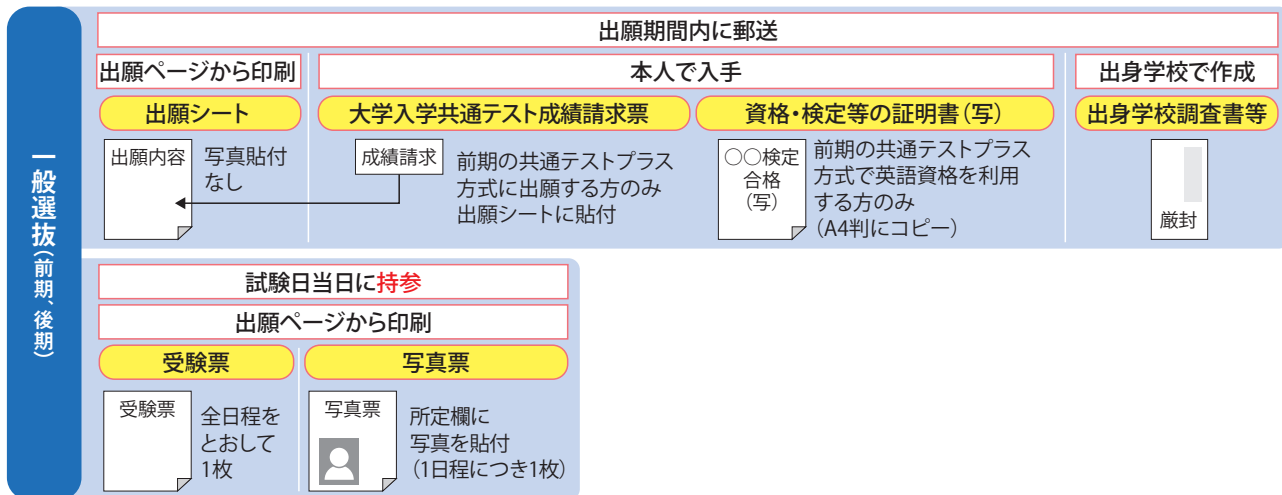
出願書類は、入学検定料の支払い後に出願ページの「印刷・確認」画面から印刷できます。

出願書類は全てA4サイズで印刷してください。

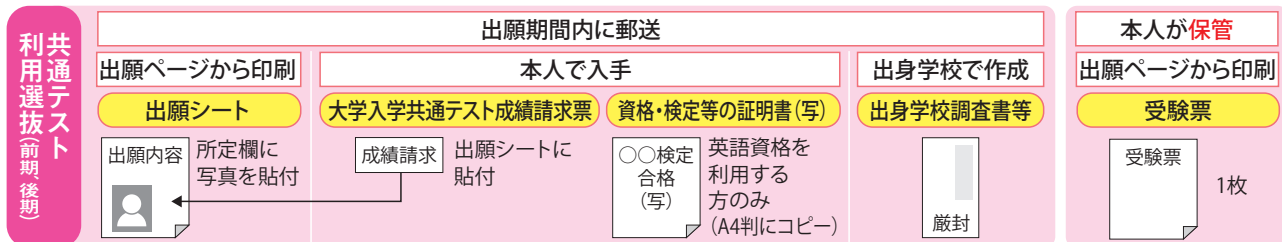
以下に従って必要な書類を速達・簡易書留で郵送してください。



入試制度別 出願書類



※受験票は郵送しません。入学検定料の支払い後に、「印刷・確認」画面から印刷し、試験日に必ず持参してください。



※受験票は郵送しません。入学検定料の支払い後に、「印刷・確認」画面から印刷し、合格発表日まで本人が保管してください。

出身学校調査書等について

※出身学校調査書の保存期間が経過した場合および廃校・被災その他の事情により調査書が得られない場合は、卒業証明書(原本)を郵送してください。

※出願前3カ月以内に発行されたもの(原本)。

※高等学校卒業程度認定試験の合格者(または合格見込みの者)は「合格(成績)証明書」または「合格見込成績証明書」を郵送してください。

※出身学校調査書等は、**複数の入試制度、学科を受験する場合でも1通**で結構です。

ただし、一度郵送した後に追加で出願する場合は、新たに1通郵送してください。

写真について

※出願前3カ月以内に撮影したカラー写真(4cm×3cm)で、上半身脱帽、正面向き、背景なし、顔の鮮明なものを糊付けしてください。
 ※不鮮明な写真、スナップ写真の切り抜きは受け付けません。また、髪の毛が目にかかっている等、顔が判別しにくいものも受け付けません。

※写真の裏面に、出願する受付番号・氏名を記入してください。

※高等学校の制服で撮影された写真でも可としますが、入学を許可された場合には、今回提出された写真を学生証に使用します。

出願書類の郵送について

総合型選抜、学校推薦型選抜(公募)、一般選抜、共通テスト利用選抜 共通

※必ずインターネット出願サイトの「印刷・確認」画面から「**宛名シート**」を印刷し、市販の角2封筒の表面に貼付して**速達・簡易書留**で郵送してください。

※**締切日を過ぎた消印の出願書類は無効になります。**

インターネット出願Q&A

Q 出願書類の漢字等の表示が■になりました。

A 氏名や住所などの個人情報を入力する際に、JIS第1水準・第2水準以外の漢字は表示エラーになる場合があります(■で表示されます)。その場合は、代替の文字を入力してください。

例) 高→高 崎→崎

なお、入学手続の際に、戸籍等に記載されている漢字への変更を申請することができます。(変更できない場合もあります。)

Q 登録内容を間違えた場合、修正はできますか？

A 入学検定料をお支払いの前であればやり直すことはできますが、入学検定料をお支払いの後は入力内容の変更は一切できません。入力内容確認画面でよく確認してお支払いください。万一間違いがあった場合は、入学検定料の入金をせず、再度「新規出願」ボタンから入力し直してください。入金された入学検定料は、いかなる理由があろうとも一切返還しませんので、よく注意して手続きを行ってください。

Q 受験票は大学から郵送されますか？

A 本学から郵送しません(帰国生選抜は郵送します)。本人で印刷し、試験日に持参してください。

Q 写真は何枚必要ですか？

A 一般選抜は、1日程につき1枚(最大3枚)が必要です。共通テスト利用選抜、総合型選抜、学校推薦型選抜(公募)は1枚必要です。

Q iPhoneなどのスマートフォンや、タブレット端末で出願登録は可能ですか？

A iPhoneなどのスマートフォンや、タブレット端末での出願も可能です。ただし、出願書類を印刷する必要がありますので、入力完了後、プリンターのある場所でガイダンス画面の「印刷・確認」ボタンから印刷してください。

Q インターネット出願を完了した後に、追加で出願することはできますか？

A いったんインターネット出願を完了し、入学検定料をお支払いの後に追加で出願する場合は、あらかじめガイダンス画面の「新規出願」ボタンから追加のみ出願してください。
ただし、いったん完了した出願と合わせて割引はできません。高得点科目重視方式や共通テストプラス方式を追加出願する場合は、ガイダンス画面の「方式追加出願」ボタンから出願してください。入学検定料のお支払い前であれば、追加分を含めて最初から出願登録をしてください。

Q プリンターを持っていないのですが、出願登録は可能ですか？

A プリンターは必要です。出願において、「登録内容確認票」(本人保存用)を印刷したり、「出願シート」(大学送付用)を印刷して、大学へ郵送する必要があります。また、試験当日持参する受験票等も印刷する必要があります。自宅にプリンターのない人は、公共施設、コンビニエンスストア等の、プリンターのある場所での出願書類を印刷してください。

Q インターネット出願の登録が上手くいきません。

A 以下にお問い合わせください。
①サイトにつながらない等、パソコンの入力操作に関するお問い合わせ
【インターネット出願サポートセンター】
電話番号：0120-752-257
受付期間：出願期間中 9:00～20:00
②入試制度等、登録内容に関するお問い合わせ
【広島修道大学 入学センター】
電話番号：082-830-1100
受付時間：平日 8:45～16:45

Q メールアドレスを持っていないのですが、出願登録は可能ですか？

A メールアドレスは必要です。登録確定や入学検定料お支払い完了時にお知らせメールを送信します。携帯メールの場合は、送信元(大学のアドレス:s-direct@js.shudo-u.ac.jp)の受信を許可してください。受信許可の設定方法は、各携帯会社にお問い合わせください。確認メールが迷惑メールフォルダなどに振り分けられる場合がありますので、注意してください。メールアドレスを入力する際に、テストメールの送信を必ず行い、受信できることを確認してください。

Q 調査書は何通必要ですか？

A 複数の入試制度、学科を受験する場合でも、1通で結構です。ただし、一度郵送した後に追加で出願する場合は、新たに1通郵送してください。

Q 出願した内容は確認できますか？

A 出願期間内であれば、出願ページの「印刷・確認」ボタンから確認できます。

※インターネット出願および入試関係の最新情報は、本学入試情報サイト上で随時更新しますので、確認をお願いします。

ご宿泊についてのご案内

広島修道大学生生活協同組合では、受験生の皆様へのホテルのご予約をさせていただいております。ご希望の方は、以下までお問い合わせください。満室になることもございますので、お早めにお申し込みください。

お問い合わせ先

広島修道大学生生活協同組合旅行部
〒731-3195 広島市安佐南区大塚東1-1-1 TEL 082-830-1004

広島県知事登録旅行業 第3-200号

営業時間 月～金 10:00～16:00

※営業時間は変更になることもございます。広島修道大学生生活協同組合HPでご確認ください。



受験上の注意

試験当日の注意事項

- (1) 試験当日は、試験開始20分前までに所定の試験室に入室してください(可能な限り、公共交通機関で来場ください)。
- (2) **受験票**および**写真票**は、試験当日必ず持参してください(総合型選抜、学校推薦型選抜(公募)は写真票の持参は不要です)。写真票に貼付する写真は、高等学校の制服での写真も可とします。ただし、入学が許可された場合は、学生証用写真として使用します。
- (3) **毎試験開始後20分以上の遅刻者は受験できません。**
- (4) 受験票および写真票を忘れたり紛失した場合は、入試本部に申し出てください。
- (5) 台風や積雪等による気象状況の悪化、感染症等により入学試験実施が危ぶまれる場合は、本学ホームページ(<https://www.shudo-u.ac.jp>)にて延期および開始時刻繰り下げ等の対応をお知らせしますので必ずご確認ください。
- (6) 感染症(インフルエンザ・はしかなど)にかかっている場合は受験できません。

感染症(インフルエンザ・はしかなど)による入学試験の欠席および入学検定料の返還について

I. 学校保健安全法で出席停止が定められている感染症(インフルエンザ・はしかなど)にかかり、治癒していない場合、その感染症が他の受験生や監督者に拡がるおそれがありますので、原則として入学試験の受験をご遠慮願います。

II. I.により本学入学試験を欠席する場合は、当該入学試験(欠席日分)にかかる入学検定料を返還しますので、次の要領で手続きを行ってください。

①入学検定料返還の対象者

学校保健安全法で出席停止が定められている感染症(インフルエンザ・はしかなど)にかかり、治癒していないために入学試験を欠席した志願者。

注：大学入学共通テストを欠席した場合、共通テスト利用選抜の入学検定料は返還いたしません。また、一般選抜共通テストプラス方式において、一般選抜を欠席した場合は返還の対象になりますが、大学入学共通テストを欠席した場合は、返還いたしません。

②入学検定料返還の申請方法

(A) 以下の日時に電話をしてください。

受付日：欠席をする試験当日 受付時間：9:00～15:00 電話番号：082-830-1100(広島修道大学入学センター)
注：申請受付時間中に連絡することなく欠席した場合は、通常の欠席として取り扱うこととし、入学検定料の返還はしません。

(B) 以下の申請書類を提出してください。

- (a) 入学検定料返還申請書(本学所定用紙) ※電話による申請受付後に本学から郵送します。
- (b) 診断書 ※以下の内容が記載されているもの

病 名：学校保健安全法で出席停止が定められている感染症
加療期間：欠席した試験日が含まれているもの

試験時間中の注意事項

- (1) 試験時間中に机の上に置けるものは、受験票のほかに、黒鉛筆(H、F、HBに限る)、シャープペンシル(黒い芯に限る)、プラスチック製の消しゴム、鉛筆削り、時計(計算機能や辞書機能および通信機能つきのものを除く)、直線定規、メガネ、ハンカチ、ティッシュペーパー(袋または箱から中身だけ取り出したもの)、目薬です。
- (2) 携帯電話等の電子機器類は、試験室に入る前に必ずアラームの設定を解除し電源を切っておいてください。試験時間中にこれらをカバン等にしまわず、身につけていたり手に持っている不正行為になることがあります。
- (3) 試験室には壁掛時計を設置していません。時計を持参してください。なお、計算機能や辞書機能および通信機能つきの時計は使用できません。また、携帯電話等は時計・計算機として使用できません。
- (4) 漢字や英単語、和歌等がプリントされている衣服の着用や筆記用具の使用は認めません。
- (5) 試験時間中の退室は認めません。
- (6) 試験室においては試験監督者の指示に従ってください。
- (7) 不正行為者には退場を命じ、全科目無効とします。

解答上の注意事項(一般選抜)

- (1) 「数学」と「理科」以外の科目は各学部とも全部または一部マークシート方式で実施します。解答には黒鉛筆(H、F、HBに限る)、シャープペンシル(黒い芯に限る)、プラスチック製の消しゴムを使用してください。ただし、マークシートにシャープペンシルを使用してマークした場合には、解答が正しく読み取れないことがあります。
- (2) 座席番号が正しくマークされていない場合は、採点できないことがあります。
- (3) マークシートには、「マーク例」に従って正しくマークしてください。マークが薄い場合、一部分しかマークしていない場合、訂正箇所を消しゴムできれいに消していない(消し跡が残っている)場合は、解答が正しく読み取れないことがあります。
- (4) 不正行為者には退場を命じ、全科目無効とします。
- (5) **スタンダード方式は、指定された3科目全てを必ず受験してください。1科目でも受験しなかった場合は、スタンダード方式、高得点科目重視方式、共通テストプラス方式の全てにおいて採点対象外となり、受験が無効になります。**

インターネット合否照会システムについて

合格発表は「合格通知書」をもって正式なものとしますので、この「合否照会システム」は合格発表の補助的手段として利用してください。

利用方法および注意点

- インターネットに接続されたパソコンやスマートフォンで利用できます(通信料金が発生します)。
- 本システムは、**合格発表当日の10:00から3日間利用**できます。本学入試情報サイトに、合否照会システムの案内を掲載します。案内に従い、操作してください。**※受験番号は、半角で入力してください。アルファベットが含まれる場合は、半角大文字で入力してください。**
- 操作方法や受験した学部・学科・入試制度・受験番号に関する問い合わせには応じられません。**
- 併願している場合は、それぞれの受験番号ごとに確認してください。
- 本システムの「誤操作」や「見間違い」等を理由とした、**入学手続期間終了後の入学手続は一切認めません。**
- 合格発表直後はアクセスが集中することが予想されます。アクセスが集中した場合は表示に時間がかかる場合がありますので、少し時間をずらしてアクセスしてください。

入学手続について

【一括手続】または【分割手続】のいずれかを選択し、手続をしてください。**※他大学と併願する場合は、【分割手続】を選択してください。**

分割手続の場合、第1次入学手続を完了していないと、第2次入学手続はできませんので注意してください。

一般選抜(前期日程) / 共通テスト利用選抜(前期日程)

手続種別	手続内容	手続期間				
		2024年2月16日(金)～	2月22日(木)	…	3月11日(月)～	3月22日(金)
一括手続	入学金の納入	→				
	前期分諸納付金の納入	→				
	インターネット入力	→				
	手続書類の郵送(締切日消印有効)	→				
分割手続	入学金の納入	→				
	前期分諸納付金の納入	→				
	インターネット入力	→				
	手続書類の郵送(締切日 必着)	→				
一括手続 分割手続 共通	卒業証明書または高等学校卒業程度認定試験合格証明書の原本の郵送(既卒者は不要、締切日 必着) 2024年3月11日(月)～3月22日(金)					

一般選抜(後期日程) / 共通テスト利用選抜(後期日程)

手続種別	手続内容	手続期間			
		2024年3月11日(月)～	3月18日(月)	3月19日(火)～	3月22日(金)
一括手続	入学金の納入	→			
	前期分諸納付金の納入	→			
	インターネット入力	→			
	手続書類の郵送(締切日消印有効)	→			
分割手続	入学金の納入	→			
	前期分諸納付金の納入	→			
	インターネット入力	→			
	手続書類の郵送(締切日 必着)	→			
一括手続 分割手続 共通	卒業証明書または高等学校卒業程度認定試験合格証明書の原本の郵送(既卒者は不要、締切日 必着) 2024年3月11日(月)～3月22日(金)				

***入学手続期間内に入学手続を完了しない場合は、いかなる理由があろうとも入学を許可しません。**

***入学手続完了後、高等学校等の課程を卒業(修了)しないなどの事由が生じた場合は、入学を取り消します。**

追加合格者、補欠者の繰り上げ合格者の入学手続は、個別にご案内します。

総合型選抜の入学手続は80ページ、学校推薦型選抜(公募)の入学手続は96ページを参照してください。

諸納付金について(2024年度)

現在、広島修道大学の初年度および4年間の学費は以下のとおりです。

商学部／人文学部 社会学科／人文学部 英語英文学科／法学部／経済科学部 現代経済学科／人間環境学部／国際コミュニティ学部

(単位:円)

区 分			初年度				合 計	2～4年次の 1年間あたり	4年間 合 計
			一括手続	分割手続		初年度後期 諸納付金 (納付期限9月30日)			
				入学手続時	第1次 入学手続時				
諸納付金	学費	入 学 金	220,000	220,000	0	0	220,000	—	220,000
		授 業 料	390,000	0	390,000	390,000	780,000	780,000	3,120,000
		施設設備資金	110,000	0	110,000	110,000	220,000	220,000	880,000
	その他	後 援 会 費	5,000	0	5,000	0	5,000	5,000	20,000
		学 友 会 費	6,000	0	6,000	0	6,000	6,000	24,000
合 計			731,000	220,000	511,000	500,000	1,231,000	1,011,000	4,264,000

人文学部 教育学科／経済科学部 経済情報学科

(単位:円)

区 分			初年度				合 計	2～4年次の 1年間あたり	4年間 合 計
			一括手続	分割手続		初年度後期 諸納付金 (納付期限9月30日)			
				入学手続時	第1次 入学手続時				
諸納付金	学費	入 学 金	220,000	220,000	0	0	220,000	—	220,000
		授 業 料	405,000	0	405,000	405,000	810,000	810,000	3,240,000
		施設設備資金	110,000	0	110,000	110,000	220,000	220,000	880,000
	その他	後 援 会 費	5,000	0	5,000	0	5,000	5,000	20,000
		学 友 会 費	6,000	0	6,000	0	6,000	6,000	24,000
合 計			746,000	220,000	526,000	515,000	1,261,000	1,041,000	4,384,000

健康科学部 心理学科

(単位:円)

区 分			初年度				合 計	2～4年次の 1年間あたり	4年間 合 計
			一括手続	分割手続		初年度後期 諸納付金 (納付期限9月30日)			
				入学手続時	第1次 入学手続時				
諸納付金	学費	入 学 金	220,000	220,000	0	0	220,000	—	220,000
		授 業 料	410,000	0	410,000	410,000	820,000	820,000	3,280,000
		施設設備資金	110,000	0	110,000	110,000	220,000	220,000	880,000
	その他	後 援 会 費	5,000	0	5,000	0	5,000	5,000	20,000
		学 友 会 費	6,000	0	6,000	0	6,000	6,000	24,000
合 計			751,000	220,000	531,000	520,000	1,271,000	1,051,000	4,424,000

健康科学部 健康栄養学科

(単位:円)

区 分			初年度				合 計	2～4年次の 1年間あたり	4年間 合 計
			一括手続	分割手続		初年度後期 諸納付金 (納付期限9月30日)			
				入学手続時	第1次 入学手続時				
諸納付金	学費	入 学 金	220,000	220,000	0	0	220,000	—	220,000
		授 業 料	450,000	0	450,000	450,000	900,000	900,000	3,600,000
		施設設備資金	110,000	0	110,000	110,000	220,000	220,000	880,000
	その他	後 援 会 費	5,000	0	5,000	0	5,000	5,000	20,000
		学 友 会 費	6,000	0	6,000	0	6,000	6,000	24,000
合 計			791,000	220,000	571,000	560,000	1,351,000	1,131,000	4,744,000

※分割手続または一括手続のどちらかを選択することができます。

※学校推薦型選抜(指定校)(後期日程)、社会人選抜、外国人留学生選抜、編入学試験、学士入学試験の手続は、一括手続となります。

入学辞退者への入学金を除く前期分諸納付金の返還について

入学手続を完了した後に、本学入学を辞退する方については、入学金を除く前期分諸納付金を返還いたします。返還を希望される方は、2024年3月25日(月)～3月29日(金)(16:45必着)までに「入学辞退届」を提出してください。提出されない場合は返還いたしません。

教育ローン

公的な融資機関として日本政策金融公庫があります。

相談については教育ローンコールセンター(TEL 0570-008656)へお問い合わせください。

奨学金制度

奨学金制度

のびのびとした学生生活を送るには経済的な安定が必要です。広島修道大学では日本学生支援機構(旧 日本育英会)や地方公共団体などの奨学金制度に加え、本学独自の奨学金制度を設けています。経済的理由により修学が困難な学生や、家計の急変によって学業の継続が困難になった学生などを対象に、奨学金の貸与・給付を行っています。毎年多くの学生が利用し学業の継続を実現しています。

奨学金制度一覧(2023年度)

区分	種別	貸与・給付・減免金額	募集要件/人数	募集時期
学部	高等教育の修学支援新制度	給付奨学金(月額) 支援区分*1 自宅通学 自宅外通学 ()内は生活保護世帯等 第I区分 38,300円(42,500円) 75,800円 第II区分 25,600円(28,400円) 50,600円 第III区分 12,800円(14,200円) 25,300円 授業料等減免 支援区分*1 授業料減免(年額) 入学金減免(1年次生) 第I区分 700,000円 220,000円 第II区分 466,700円 146,700円 第III区分 233,400円 73,400円	住民税非課税世帯・準ずる世帯の学生で所定の学力基準を満たす者	4月・9月*2
	日本学生支援機構貸与型奨学金	第一種(無利子) (月額) 自宅通学:2万円、3万円、4万円、54,000円(貸与) 自宅外通学:2万円、3万円、4万円、5万円、64,000円(貸与) の中から選択できる ただし、最高月額(自宅通学54,000円、自宅外通学64,000円)は併用貸与の基準を満たした者のみ選択できる。	特に優れた学生で経済的理由により著しく修学困難な者	4月
		第二種(有利子) (月額) 2万円、3万円、4万円、5万円、6万円、7万円、8万円、9万円、10万円、11万円、12万円 の中から選択できる(貸与)	特に優れた学生で経済的理由により著しく修学困難な者(第一種奨学金よりゆるやかな基準)	
	広島修道大学短期特別奨学金	授業料等諸納付金相当額(貸与)	一時的に学費の支払いが困難な学生で2ヵ月以内に全額返済が可能な場合。貸与回数3回まで	
	広島修道大学修学奨学金	年額20万円(給付) (在学中1回)	若干名。前期募集は前年度において、後期募集は前年度10月から当該年度9月において、家計が急変し極めて修学が困難な者	前期募集:4月 後期募集:9月
	広島修道大学同窓会奨学金	年額20万円(給付) (在学中1回)	7名以内。修学意欲があるにもかかわらず、家計困窮により学業の継続が困難な者	4月
	広島修道大学経済支援奨学金	年額20万円(給付) (在学中1回)	20名(前期10名、後期10名)以内。修学の熱意があるにもかかわらず、経済的な事由により学業の継続が困難な者	前期募集:4月 後期募集:9月

*1 支援区分はマイナンバーによる住民税情報により算出された支給額算定基準額による収入基準で判定されます。詳細は日本学生支援機構の奨学金の制度(給付型)でご確認ください。

*2 家計急変については随時申し込みを受け付けます。ただし、家計急変の事由が発生した時点から3ヵ月以内に申し込む必要があります。

在学生スカラシップ制度

在学生スカラシップは、学業成績が優秀な学生を対象に奨学金を給付する制度です。社会に貢献できる人材を積極的に育成するのがねらいです。

区分	採用人員	一人あたりの金額
在学生スカラシップ	2~4年生 171名※	15万円

※2023年度の対象者数

課外活動スカラシップ制度

課外活動やこれに類する活動を通じて、社会に貢献できる有為な人材を育成するためのスカラシップ制度です。この制度は、本学学部に在学する正規学生で学業、人物ともに優れ、特に文化活動、体育活動その他課外活動、またこれに類する活動において顕著な実績を挙げ、当該年度に学長賞を受賞した者に奨学金を支給するものです。奨学金の額は、個人10万円、団体30万円です。

資格取得スカラシップ制度

複雑多様化する高度社会に対応する人材を育成するため、本学学部に在籍する正規学生で学業、人物ともに優れ、特に難易度の高い資格取得者に対し奨学金を支給する制度です。奨学金の額は、最優秀賞5万円、優秀賞3万円です。

合格への道

受験生へのアドバイス[一般選抜・前期日程]

2023年度入学試験を振り返って

■出題のねらい

従来どおり、高校の学習内容に基づいた入試内容として、基本的な語彙や成句、文法・語法、日常的な会話文、英語長文を出題しています。やや難解に感じる問題であっても、基礎的な知識を活用して推測できるようにしています。大学入学後に継続的に英語を学習し、より高い英語力を目指すための基礎を測る試験問題です。

それぞれの問題の出題意図は、以下のとおりです。語彙・成句問題では、基本的な語彙や頻出の慣用表現を知っていて使えること。文法・語法問題、語句の並び替え問題、文章の穴埋め問題では、伝えたい内容を適切な表現や文法を用いて表せること。会話問題では、会話の文脈を理解すると同時に、日常的な場面で使用される慣用表現を知り、適切に応答できること。長文問題では、一定時間内に様々なジャンルにおよぶ文章を読んで、大意やテーマをつかみ、論理的な流れや結論を理解すること。その際には、描かれている状況や問題となっている内容を段落ごとに整理しながら、著者の意図やメッセージを理解することが求められます。

■答案を採点して

A日程

平均正答率は、150点満点の学科で50%、100点満点の学科で48%と少々難しかったようです。[I]の会話、[VI]、[VII]の長文問題は比較的よくできていましたが、[I]の空所補充、[III]の文法・語法問題で正答率の低い問題が散見されました。不定詞、分詞、動詞句等、動詞に関連した語法はコミュニケーション上重要ですので、しっかりと理解して間違えないようにしましょう。

B日程

平均正答率は、150点満点の学科で61%、100点満点の学科で62%でした。[I]の空所補充と[IV]の会話問題はよくできていました。一方、[II]の文法・語法問題と[III]の語句の並び替え問題では正答率がよくありませんでした。英語と日本語の大きく異なる文法・語法事項、例えば名詞の単数・複数の区別や動詞の時制の表し方等を十分理解してください。長文問題は、比較的よくできていました。

C日程

平均正答率は150点満点の学科で65%、100点満点の学科で59%でした。[I]の空所補充と[II]の会話問題は非常によくできていました。また、[IV]の文章の穴埋め問題、[V]、[VI]の長文問題もよくできていました。得点差がついたのは[III]の文法・語法問題で正答率は40%前後と全ての日程で低い正答率でした。それぞれ、[28]は接続詞、[29]は関連語句の表現、[30]は動詞の自動詞と他動詞の区別、[31]は仮定法の用法を問う問題でした。文法・語法はそれぞれの言語の語句の配列のルールで

低く、差がつく問題だと言えるようです。

D日程

平均正答率は、150点満点の学科で52%、100点満点の学科で49%と、A日程と同様に平均点が低い結果となりました。[I]の空所補充、[II]の文法・語法問題、[III]の語句の並び替え問題は比較的よくできていました。一方、[VI]、[VII]の長文問題の正答率が低かったことが、全体の平均点に影響を及ぼしたようです。時間内に長文が読み切れなかったのではないかと思います。日頃より試験開始直後に一度問題全体に目を通して、適切な時間配分を心がける練習が必要です。

E日程

平均正答率は、150点満点の学科で62%、100点満点の学科で53%、200点満点の学科で56%でした。[II]の会話問題は非常によくできていました。また、[III]の文法・語法問題と[IV]の語句の並び替え問題も比較的よくできていました。得点率が低かったのは、[VI]の最後の長文問題でした。D日程でも指摘しましたように、時間内に長文が読み切れなかったのではないかと思います。同じアドバイスになりますが、日頃より試験開始直後に一度問題全体に目を通して、適切な時間配分を心がける練習が必要です。

■受験生へのアドバイス

日頃から様々なトピックの英文に触れて、語彙力を身につけておくことが必要です。全く知らないトピックの英文で、文章中に知らない単語がたくさんある状況では、正答を導くのは困難です。日頃の学習では、分からない単語はしっかりと意味と用例を調べて、成句や慣用表現などは使用場面もあわせて覚えていきましょう。普段から自分に合った方法で英語の語彙を増やしておくことが必要です。その際には、英語と日本語を一对一の対応で覚えるのではなく、文章中での単語の使い方と、語のイメージを正確に捉えることが大切です。一方で、限られた時間にたくさんの英文を読む速読も身につけましょう。速読では、分からない単語があっても、そこで立ち止まるのではなく、前後の文脈から判断し、全体の内容をつかむことが必要です。日頃の学習では、比較的易しい単語で書かれた英文を多く読み、単語の一語一語をたどっていくのではなく、意味のかたまりとして英文を捉えていく方法を意識しましょう。多読・多聴は英語の感覚を養うのに効果的です。最後に文法・語法についてですが、文法は語句の配列のルールです。他の言語に比べてほとんど単語の活用がない英語では、効果的なコミュニケーションをとるうえで語順が非常に大切になります。決しておろそかにせず、基本的な英文法・語法のルールの習得を心がけてください。

が低い傾向にありました。

古文では、文法に関する出題がすべての日程でありました。動詞の活用や意味を判別したり、敬語の種類を判別したりするような設問の正答率が低く、差がつく設問になっているようです。

■受験生へのアドバイス

現代文では、語彙の問題で差がつくものがあります。日常的に辞書を活用したり、国語の教科書の巻末資料や国語便覧などを参照して、評論等で用いられる概念的な語の意味を理解し、説明できるようにしておくとういでしょう。また、記述式の漢字については、点画をはっきりと書くようにしましょう。

文章の内容理解に関わる問いについて、評論や論説、随筆では、接続詞などに注目して、筆者の論理展開に気を付けながら読む練習をしましょう。部分と文章全体の関係に注意して読むことも重要です。筆者の主張やそれを支える理由や根拠の関係に注意して読みましょう。また、その主張についても、限定的な示し方やあらかじめ反論を予想してそれに応えているような表現に注意し、筆者の主張を的確にとらえるようにしましょう。小説では、情景や登場人物の心情を表す表現や修辞に注意して読み、その意味や効果を考えるようにしましょう。

古文については、古文における時間や方角の表し方、月の異名や旧国名などの古典常識について教科書や便覧を使って確認しておきましょう。また、重要語句や文法の知識を用いて訳ができるようにしておくとういでしょう。

国語では、例年、やや長めの文章が3題出題されます。基礎的な知識を基盤に、文章内容や全体の要旨、表現の工夫や効果について、時間を意識しながら把握したり、気づいたりするような読み方を練習しましょう。

■出題のねらい

本学の国語入試では、評論、論説、随筆、小説、古典文学などを題材に、3つの文章が出題されます。設問は、国語の基礎知識・技能、文章の読解力を問うものです。各大問につき設問が6つ程度出題されています。

現代文では、漢字の読み書き、語彙や修辞、文学史の知識等が問われる他、文章全体の要旨や論理展開の把握、本文中の一節の理解等が問われます。例えば、設問で取り上げられる箇所の言い換えや具体的に指し示す内容などを本文中から抜き出した後、選択肢の中から選ぶことを求められるような問題が出題されています。また、空欄に当てはまる接続詞を選択肢から選ぶなど論理展開の理解を問う問題も出題されています。

古文に関しても、語彙や文法の知識や文学史的知識などの基礎知識を問う設問と内容の読解に関わる設問が出題されます。

■答案を採点して

全ての日程で漢字の読み書きに関する出題がありました。昨年度は、該当する漢字を選択肢から選ぶ形式での出題の方が多かったものの、記述式でも出題されています。選択肢から選ぶ形式では、記述式よりも正答率が高い傾向にあるようです。記述式については、点画がはっきりと認識できず、不正解になる回答が散見されます。語彙に関わる問題も全ての日程で出題されました。語彙に関わる問題は、そのほとんどが、正答率が高い一方で、評論文等に使用される概念的な語については正答率が低く、差がつく問題だと言えるようです。

昨年度は、文章のキーワードや言い換えの表現を選択したり補充したりするような設問の正答率が高い一方で、文章の要旨について、選択肢の真偽を問う問題の正答率

■出題のねらい

本学の「世界史」の問題は、東洋史(東アジアから西アジアまでの地域の歴史)から1問、西洋史(ヨーロッパと南北アメリカ大陸の歴史が主ですが、アフリカやオセアニアなどの地域の歴史もここに含めます)から2問の計3問からなります。古代から現代までの地球上のすべての地域の歴史についての受験生の理解を幅広く試す問題が出されます。問題は高校で採用されている教科書に準拠して作成され、とくに難しい設問はありません。受験生の平均点が50点から60点程度になるように作られています。複数の地域や広い時代にまたがる内容の問題もありますし、また文化、政治、経済など特定のテーマに関する設問もあります。解答形式はマーク解答が大半ですが、毎年、数題は記述解答の問題も出題されます。

■答案を採点して

以下に、昨年度出題されたすべての問題のテーマを掲げます。(記述式)という表示のない問題は、すべてマーク解答の問題です。

A日程 [I] 秦・漢時代の中国史 [II] ルネサンスと大航海時代 [III] 第二次世界大戦後のアメリカとヨーロッパ

B日程 [I] 唐を中心とした中国史 [II] 古代ローマ史 [III] 近世ヨーロッパ史

C日程 [I] 東南アジアの近代史 [II] イギリス・フランスを中心としたヨーロッパ史(記述式) [III] 20世紀前半のヨーロッパ史

D日程 [I] 清の時代の中国史 [II] 古代ギリシア史 [III] 近世・近代のアメリカとヨーロッパ

E日程 [I] オスマン帝国とティムール朝 [II] 中世ヨーロッパ史 [III] ラテンアメリカの歴史

マーク解答問題の受験生の正答率は以下のようでした。A日程75.1%、B日程76.6%、C日程63.0%、D日程79.0%、E日程71.2%。マーク解答問題で全体的に正答率が高かったのは、極端に難しい問題が少なかったということです。記述解答の問題では、語句・人名・地名などを教科書の表記にしたがって漢字あるいはカタカナで正しく書くことが求められます。中国史の問題で、漢字で書くべきところをひらがなで解答すると減点の対象となりますし、西洋史の問題でも漢字やカタカナ

■出題のねらい

「日本史」の問題は、日本史についての基礎的な理解を試すことに力点を置いています。ですので、標準的な問題で、受験生の日本史についての基本的な学力を幅広く試したいと考えています。出題の時代は、古代、中世、近世、近代、現代のすべての範囲にわたります。出題の対象分野は、政治史、経済史、文化史、社会史など多様な分野にまたがります。設問によっては、古代、中世、近世など特定の一時期に関するものもありますし、教育史や貨幣史、仏教史など一つの対象分野について通時的に問う問題もあります。時代、分野については、偏らないようにバラエティーに富むように心がけています。作問にあたっては、高校日本史の教科書に準拠して問題を作成し、平均点が60点程度になるように作成しています。

昨年度の問題は、以下のようになっています。

A日程 [I] 奈良時代の総合的問題、[II] 明治・大正期の教育・学問、[III] 第2次世界大戦時の世界と日本

B日程 [I] 縄文時代から天武期の総合的問題、[II] 鎌倉時代の政治と文化、[III] 明治期の工業

C日程 [I] 沖縄と北海道の歴史、[II] 室町時代の政治・経済、[III] 第2次世界大戦後の文化と生活の変容

D日程 [I] 平安時代の政治と対外関係、[II] 江戸時代の教育・学問、[III] 第1次世界大戦期・後の政治

E日程 [I] 古代と中世の教育、[II] 江戸時代中期の政治・経済、[III] 第1次世界大戦期から第2次世界大戦期における政治

このように、各試験日とも、江戸時代以前と明治時代以降の両方が含まれるように、問題を組み合わせています。現代史や文化史・教育史が出題されている点には注意してください。出題形式ですが、A日程の試験では、正確な歴史理解を問うために、記述式の問題を含めています。他日程はマーク式問題です。全日程を通じて、教科書を丁寧に繰り返し勉強しておけば、対処できる設問となるように心がけています。教科書の表や注の記述、基本的な史料(絵画などの写真も含む)にも十分に注意を払ってください。

ナの誤記によって減点されるケースが少なくありません。人名・地名のなかには市販の歴史書や新聞記事の表記方法と教科書の表記方法とが異なるものもありますが、皆さんは教科書の表記方法にしたがって解答してください。

■受験生へのアドバイス

世界史の問題は高校で使用される教科書に準拠して作成されており、皆さんが日頃の勉強を通じて基本的な事柄を理解しているかどうかを問うものです。基本的な歴史事実を覚え、それらが生じた因果関係を流れとして理解するよう心がけてください。また、ヨーロッパ史や中国史など特定の地域に偏ることなく、南北アメリカ大陸、イスラーム地域、中央アジア・東南アジア・南アジア、さらにアフリカの歴史についても広く学習することが大切です。時代についても古代から現代まで、幅広く歴史の流れを把握するようにしましょう。また記述解答の問題に対応するために、教科書の語句・人名・地名などについては漢字・カタカナで正確に書けるようにしましょう。教科書に掲載されている人物、建築物、事件などを表した絵画、写真、地図などと教科書の本文の記述とを照合して、世界史の動きを立体的に理解することも勧めます。

■答案を採点して

記述式も含めた平均正答率をみますと、A日程は[I] 67%、[II] 50%、[III] 60%、B日程は[I] 64%、[II] 54%、[III] 61%、C日程は[I] 79%、[II] 67%、[III] 61%、D日程は[I] 71%、[II] 60%、[III] 69%、E日程は[I] 73%、[II] 67%、[III] 70%です。日程ごとの平均正答率は、A日程59%、B日程61%、C日程69%、D日程67%、E日程70%です。

記述式問題で正答率が低かったのは、A日程の[II] 明治・大正期の教育・学問(平均正答率36%)、[III] 第2次世界大戦時の世界と日本(平均正答率23%)でした。毎年、記述式問題では、近現代史と教育・文化史は正答率が低くなります。C日程[I] 沖縄と北海道の歴史とE日程[I] 古代と中世の教育は、よくできていました。比較的定番の内容を問う設問に関しては正答できても、少し応用が加わると、できなくなってしまうという印象があります。言葉の単純な暗記ではなく、物事の意味内容まで踏み込んだ理解が求められます。また、歴史的事柄の因果関係を理解することも重要です。

記述式問題は、うろ覚えでは対処できません。漢字で正確に書かなければ正答になりません。重要な用語は、普段から繰り返し書くように心がけて欲しいと思います。基本的な用語については、確実に書けるようにしておきましょう。

■受験生へのアドバイス

過去問をみておくのは、一応の出題傾向を知るうえで有効です。そうすると、古代から現代までの歴史全体の流れを勉強することが必要であることが分かると思います。全体的にみると、近現代よりそれ以前の時代がよくできています。特に、現代に関する問題も毎年出ているので、現代についての学習も心がけてください。

勉強に近道や抜け道はありません。日頃の着実な積み重ねが大事だと思います。健闘を祈ります。

合格への道

受験生へのアドバイス[一般選抜・前期日程]

2023年度入学試験を振り返って

地理

Geography

■出題のねらい

地理が扱う内容は多方面に渡り、それらが相互に関連しあっています。幅広い学習の達成度が得点に反映されるように、どの日程でも主題が広範囲にわたり、地域的に偏りなく出題するように配慮しています。大切なのは、基礎的事項の正確な理解と、諸事象を関連させて理解する応用的な思考力です。出題のねらいは、そのような着実かつ柔軟な学習の達成度を問うことにあります。

■答案を採点して

A日程:[I]静岡県浜松市を中心とした地域調査問題。正答率はやや高めでした。[II]余暇と観光に関する問題。正答率はまずまずでした。[III]生活文化に関する問題。正答率はやや低めでした。[IV]北アメリカ地誌の問題。正答率は低めでした。全体の平均点はやや低く、やや難しいレベルの問題だったといえます。

B日程:[I]環境問題に関する問題。正答率はやや低めでした。[II]貿易に関する問題。正答率はやや低めでした。[III]宗教と民族に関する問題。正答率はまずまずでした。[IV]南アメリカ地誌の問題。正答率は低めでした。全体の平均点はやや低く、やや難しいレベルの問題だったといえます。

C日程:[I]北海道の地域調査問題。正答率はやや高めでした。[II]資源・エネルギーに関する問題。正答率はまずまずでした。[III]人口に関する問題。正答率はやや低めでした。[IV]東南・東アジア地誌の問題。正答率はやや高めでした。全体の平均点はまずまずで、標準レベルの問題だったといえます。

D日程:[I]自然災害と防災に関する問題。正答率はまずまずでした。[II]農林水産業に関する問題。正答率は低めでした。[III]都市に関する問題。正

答率はやや高めでした。[IV]アフリカ地誌の問題。正答率は低めでした。全体の平均点はやや低く、やや難しいレベルの問題であったといえます。

E日程:[I]自然環境に関する問題。正答率はまずまずでした。[II]工業に関する問題。正答率はまずまずでした。[III]世界の諸課題に関する問題。正答率は高めでした。[IV]オーストラリア地誌の問題。正答率は低めでした。問題による差はあったものの、全体の平均点はまずまずで、標準レベルの問題であったといえます。

■受験生へのアドバイス

今後も、いずれかの日程でマーク・記述併用となります。世界の国々や日本の都道府県の地図上の位置を憶えておくことも重要です。統計は、統計表にある国の順位を正確に暗記することが重要なものではありません。その背景にあることを理解していれば解ける問題が多いはずで、正誤判定問題は、用語や事象について、その原因や背景を含めた正確な理解が必要となるので、その点に留意して学習を進めて下さい。

■出題のねらい

出題のねらいは、高校の授業や、教科書・資料集で説明されていることを理解しているかを確認することにあります。また、時事問題など、現実起こっている政治上・経済上の事象を、授業や教科書・資料集での説明をもとに考えることができるかについても、確認します。各日程では、政治・経済の各分野に関する問題を出題します(政治・経済いずれの分野についても、国際的な問題も含みます)。

■答案を採点して

A日程、B日程、C日程では、マークシートと記述の両方で解答する問題を、D日程とE日程では、マークシートで解答する問題を出題しました。出題した問題の正答率の平均を日程ごとに見ると、およそ6割から7割でした。確実に点を取っていくためには、高校の授業や教科書で説明されることを理解しておくことが重要です。用語だけでなく、用語の意味、制度の全体の仕組み、時間上の流れなども理解しましょう。

教科書に太字で書かれている用語を、選択肢で選ぶ、または、記述するだけでは、正解にならない場合があります。応用して使うことができるように、情報を理解しましょう。

記述での解答が求められている問題では、漢字を正確に書くことができません、点数を落とす場合もあります。細かく注意を払って正確に漢字を書き、読んで理解できる文を書くよう、心がけましょう。

■受験生へのアドバイス

第一に、教科書で説明されていることを理解しましょう。試験で確認したい

のは、高校の授業で説明されることを理解しているかどうかということですので、そのため、授業で使われている教科書を理解することが重要です。太字の用語だけを覚え、切り取られた無意味な言葉を頭に詰め込むというよりも、用語の意味、制度の全体的な仕組み、時間上の流れなどを理解したうえで、それを応用できる準備をしておく必要があります。

第二に、授業で使われる資料集で示されている情報を確認しましょう。資料集には、重要な情報があります。表にまとめられた情報、数値で表現された情報、図示された情報は、理解の助けにもなります。教科書で示されている表や図といっしょに、確認しておきましょう。そうすることで、応用のきかない用語の記憶だけに時間を割いてしまうことなく、全体像、関係性、時間上の流れが理解できるようになります。

第三に、分野を限定せずに、教科書の全体を勉強しましょう。出題される問題は、政治と経済のどちらかが極端に多いということはありません。また、政治・経済いずれの分野においても、特定の部分に絞ることなく、いろいろな部分の情報を使って出題されます。加えて、両分野の融合問題が出題されることもあります。そのため、勉強する分野と勉強しない分野をつくることなく、教科書で扱われているすべての分野を勉強しましょう。

最後に、時事問題に関心を持ちましょう。「政治・経済」で学習する内容は、現代の社会生活に関わるものですから、時事問題に関する事項が出題される場合もあります。授業で説明される情報は、時事問題の理解にも役立ちます。ニュースは難しいと考えるのではなく、わからないことであっても、徐々に理解していこうと考えて、関心を持っておくと、授業で学習したことへの理解も深まり、試験で解答をするときに役立ちます。

■出題のねらい

中学・高校で学習した数学の基礎学力(基礎概念の理解、論理の展開、計算力等)が身についているかどうかを判定できるような問題を出題した。本学は文系の大学であるが、文系でも数学・統計を使う分野は少なくない。

■答案を採点して

[I]は穴埋め問題で、途中経過が採点の対象とならないので、計算ミスや解答の書き間違いは致命的であるし、要求された形で解答する必要がある。なお、数学の解答の数値や数式はなるべく整理した形で書き、分数も既約分数の形で表すのが常識である。[II]、[III]は記述式の問題なので、途中経過を論理的に説明しなければならないが、それがきちんと書いてある答案ならば、最後までできていなくても、できているところまでは評価される。一方、答のみの答案や、計算用紙のような答案は、数学の答案とは言えないので、記述式の問題が苦手な人は、教科書の例題の解答などを参考にして、途中経過を書く練習をするとよい。

今回の問題はほとんどが典型的な手法で解けるものであったが、複雑な計算を要するものも少なからずあった。C日程の[II](1)は与えられた直線に関して点Aと対称な点Bの座標を求める問題であり、線分ABがその直線に対して垂直であることとABの中点はその直線を通ることの2条件を数式化することが典型的な手順のひとつであるが、計算によって得られる数値はやや複雑な分数式となるため慎重に計算する必要がある。D日程の[II](1)は指数方程式であり、構成する指数関数を別の文字に置きかえるという標準的な手段で解を導けるが、指数関数の底として25, 75, 125というバラバラで大きな整数が使われており、具体的にどの指数関数を置きかえるべきか判断つきづらい。そこで、構成する数値を素因数分解したう

■出題のねらい

生物基礎の設問は、高等学校教科書の内容である「生物と遺伝子」、「生物の体内環境の維持」、「生物の多様性と生態系」から、生物は、「生命現象と物質」、「生殖と発生」、「生物の環境応答」から出題し、受験生の平均として60%程度の正答率を想定して作成しています。生物基礎では生命科学理解の基礎となる知識を、生物では生命現象をさらに広範囲に扱って原理原則の理解を問う内容が中心となっています。生命の成り立ちや仕組み、ヒトを取り巻く環境について十分に理解していることが求められます。出題は、基本用語の理解はもちろんのこと、図表だけでなく問題文を正しく読み取ったうえで全体の流れを理解して正解を導き出すといった思考を要する設問構成となっています。

■答案を採点して

文章中の説明文を読み、正しい用語を埋める問題がある一方で、本質的な仕組みを理解していないと解くのが難しい問題も出題されましたが、全体としての難易度は標準的であったと思います。しかし、できている人とそうでない人の点数差が非常に大きいだけでなく二極化傾向もみられるようです。この傾向は、基礎をしっかりと固めているかそうでないかによるようです。用語を記入する問題は容易な内容ではありましたが、全体像として理解しているか、正しく問題文を読み取っているかによって大きく差が出ています。教科書で太字になっている用語だけでなく、生命活動における前後のつながりにもしっかり目を向けてください。同様に、計算を必要とするものや図表から思考する問題においても、前後のつながりを理解しているかいないかで差がついています。記憶した点をつない

で一回落ち着いて眺めてみるとよいだろう。それにより方程式をどう整理すれば解けるようになるか判断するきっかけとなるはずだ。E日程の[III]は主に整数を用いた計算問題であり、4桁程度の整数の掛け算などの計算が現れるが、これに対しても素因数分解が有用であり、約分したり約数の個数を計算したりする際に大いに役立つ道具となる。実際、直接計算するよりも手間が少なく、計算ミスのリスクも軽減される。

■受験生へのアドバイス

数学は暗記物ではないが、当然のことながら、まず基本的な定義・定理・公式は正確に覚える必要がある。そのうえで、教科書にある基礎事項を納得がいくまでしっかり学習し、理解するように努力することが重要である。練習問題を多く解かないと、得た知識を自由に使いこなすことができないが、解法のマニュアルを鵜呑みにして、問題をパターン処理するだけでは、本当の学力はつかない。なぜそういう解き方をするとよいのかを考え、理解することが大切である。どんなことでも自分の頭で考えてみる態度は大変大事である。

で線にして思考する問題にも慣れておく必要があるでしょう。

■受験生へのアドバイス

まずは、本学の入試要項を確認し、試験範囲を正確に把握しておいてください。教科書の内容をきちんと理解しているかどうかを試す知識問題を土台としていますので、教科書を使用した学習で正確な知識を増やしておいてください。

そのうえで、きちんと理解できているか思考を問うための図表を用いた問題が増えています。表面的な知識を単純に覚えようとするだけでは、理解が進みません。また、用語を単に記憶するだけではなく、その前後のつながりや全体像を意識して理解しておく必要があります。そのためには、教科書内の写真や図、表を参考にしながらイメージし、時には自分や身の周りの環境に置き換えたりすることも理解を深めるために役立つでしょう。教科書にある「観察・実験」や「思考」の部分もしっかり学習し、実践的な問題にも対応できるようになっておきましょう。とくに、生物では図表の数値を正しく読み取るだけでなく、問題文を正しく読み取って流れを理解したうえで判断したり計算したりする問題も増えています。生物に限らず、基本的な文章の読み取り力や計算力もしっかり身につけるようにしてください。

合格への道

受験生へのアドバイス[一般選抜・前期日程]

2023年度入学試験を振り返って

■出題のねらい

本学の化学基礎・生物基礎では、受験生が平均して60%程度の正答率になるように想定した設問を作成しています。基礎的な内容を正確に理解しているかを問うようにしています。化学基礎の設問は、概ね高等学校教科書の化学基礎の範囲の全内容から選んで出題するようにしています。「化学と人間生活」、「物質の構成と化学結合」、「物質の変化」などの各内容について、化学の理解に必要な用語や化学反応や現象に関する基礎的な内容を十分に理解しているかどうかを問います。問題は、選択肢から正解を選ぶ問題と化学反応式や計算、用語等の記述式問題から構成されています。

生物基礎の設問は、高等学校教科書の生物基礎の内容である「生物と遺伝子」、「生物の体内環境の維持」、「生物の多様性と生態系」から出題しています。生命科学理解の基礎となる知識を問う内容となっており、生命の成り立ちや仕組み、ヒトを取り巻く環境について十分に理解していることが求められます。そのうえで、基本用語の理解はもちろんのこと、図表を正しく読み取ったうえで正解を導き出すといった思考を要する出題も取り入れています。

■答案を採点して

化学基礎の出題は、問題内容に応じて語句・説明文などを選択肢の中から選ぶもの、化学を理解するカギとなる語句や化学式等を記述する形式の問題、および化学反応式などの記述や計算問題を出題しました。化学の基本的な用語や基礎知識を問う問題については、得点にあまり違いが見られませんでした。

各日程において、Iでは主に化学に関する基本的な用語や現象の意味を正しく理解しているか、IIでは主に化学構造・物質・反応等に関連する用語・記述法・計算法を理解しているか、IIIでは、主に「酸と塩基の反応」と「酸化還元反応」について、基礎的な現象を理解しているかどうかを問いました。化学反応式や計算について問う問題で、得点の差がついたように見えました。基礎知識を活用して、なぜそのように反応が起こるのか、どう計算できるのが大切で、それがキチンと理解できている人とそうでない人に分かれていたようです。

全体的には標準レベルから易しいレベルの難易度で出題しています。今回も教科書をベースにしたベーシックな問題が多かったのですが、様々な出題形式に対応できるように、理解が曖昧な部分のないように、まんべんなく丁寧に学習していれば正解を得られる問題でした。

生物基礎の出題の難易度は標準的でしたが、できている人とそうでない人の点数差が非常に大きいだけでなく二極化傾向もみられるようです。こ

の傾向は、基礎をしっかり固めているかそうでないかによるようです。用語を記入する問題は容易な内容ではありませんでしたが、全体像として理解しているか、正しく問題文を読み取っているかによって大きく差が出ています。教科書で太字になっている用語だけでなく、生命活動における前後のつながりにもしっかり目を向けてください。計算を必要とするものや図や表から思考する問題においても、前後のつながりを理解しているかないかで差がついています。記憶した点をつないで線にして思考する問題にも慣れておく必要があるでしょう。教科書をベースにして基礎的な知識を全体像として定着させておけば容易に正答を導くことができたと考えられます。

■受験生へのアドバイス

理科の勉強は、教科書に書かれていることを暗記することこそが大事と誤解していないでしょうか。もちろん、基本的な知識は覚えることは必須ですが、それを利用し正確に応用・理解することがより大切です。そのためには、基礎に重点を置いた積み重ねの勉強が大切となります。

化学基礎では目で確認しにくい世界を扱うので、授業を聞き教科書・参考書を読むだけで理解することはなかなか難しいと思われます。そこで、原子・分子などの世界をビジュアルイメージし、自分で図や絵として書くことで理解が進むでしょう。概ね化学基礎の範囲は、前半部分が「物質の構成+化学結合」で化学物質の世界の土台を学び、後半部分は「物質の変化」で酸と塩基の反応や酸化還元反応を中心とした化学反応について学びます。前半で目に見えない世界をビジュアルイメージしながら繰り返し学習することで、後半部分の理解も進むものと思われます。後半部分が分からなくなったら、前半部分を学びなおしてください。大学入学後も必要に応じてそのように見直しすることで大学生としての自然科学系の教養が身につく、専門的知識も深まるものと思われます。

生物基礎は、表面的な知識を単純に覚えようとするだけでは、理解が進みません。また、用語を単に記憶するだけでなくその前後のつながりや全体像を意識して理解しておく必要があります。そのためには、教科書内の写真や図、表を参考にしながらイメージし、時には自分や身の周りの環境に置き換えたりすることも理解を深めるために役立つでしょう。生物基礎の教科書にある「観察・実験」や「思考」の部分もしっかり学習し、実践的な問題にも対応できるようになっておきましょう。そして、基本的な計算力や正しく文章を読み取る国語力も必要であることを忘れないでください。

合格への道

入学試験Q&A

Q 学部間の併願はできますか？

一般選抜(前期日程)の併願について

A 一般選抜(前期日程)では、2月1日から3日までの全日程において、1日につき2学科まで併願できます。さらに、3つの方式を組み合わせると、1回の受験で1学科につき3出願が可能です。(2学科出願すると、1回の受験で最大6出願可。3日間で最大18出願可。)

共通テスト利用選抜の併願について

A 共通テスト利用選抜では、全ての学部・学科に併願できます。前期日程、後期日程で、それぞれ最大13出願が可能です。

Q 一般選抜の基準点は設けていますか？

A 基準点は一切設けていません。したがって仮に1科目の得点が低くても総合点が高ければ合格できます。

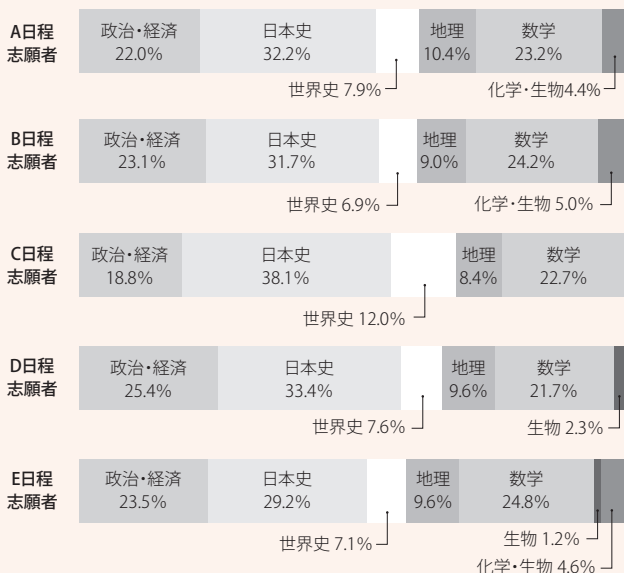
Q 一般選抜は記述式ですか、マークシート方式ですか？

A 全部または一部マークシート方式で実施します。ただし、数学と理科についてはすべて記述式で実施します。

Q 一般選抜では選択科目によって有利、不利はあるのでしょうか？

A 選択科目は科目間の調整を行うため中央値補正法を取り入れていますが、これにより選択科目の違いによる有利、不利はありません。

●一般選抜(前期日程)選択科目別の選択割合(2023年度入試) (小数点第2位四捨五入)



Q すでに、一般選抜前期日程、共通テスト利用選抜前期日程で第2志望の学科に合格していますが、一般選抜後期日程または共通テスト利用選抜後期日程で第1志望の学科を受験することはできますか？

A 再度受験できます。一般選抜前期日程、共通テスト利用選抜前期日程で合格し、第1次入学手続を完了している場合、納入していた入学金を後期日程で合格した第1志望の学部・学科に振り替えることができます。これにより、入学金を重複して納入する必要もありません。詳細は合格者に送付する入学手続要項で確認してください。

Q 共通テスト利用選抜の選択科目のうち、2科目以上受験した場合はどうなりますか？

A 受験した科目のうち、最高得点の科目を採用して、合否を判定します。

Q 試験当日、どんなことに注意をすればよいですか？

- A**
- ①入学試験要項にある時間を守り、早めに入室してください(各制限とも試験開始後20分までの遅刻は認めませんが、それ以降は入室できません)。
 - ②受験票は必ず持ってきてください。受験票・写真票は、インターネット出願の画面から各自でプリントアウトして当日必ず持参してください。
 - ③可能な限り、公共交通機関を利用して来場してください。
 - ④体調管理に気を配り、試験当日に実力を発揮できるよう、万全の準備をしてください。

Q 学校推薦型選抜や総合型選抜で不合格になった場合、一般選抜、共通テスト利用選抜は受験できますか？

A 受験できます。改めて出願手続を行ってください。

MEMO

 DATA 2023

◎一般選抜・前期日程	123
志願者数・受験者数・合格者数 合格者の最高点・平均点・最低点・得点率 出身県別志願者数・合格者数	
◎共通テスト利用選抜・前期日程	125
受験者数・合格者数 合格者の最高点・平均点・最低点・得点率	
◎一般・共通テスト併用選抜	126
受験者数・合格者数 合格者の最高点・平均点・最低点・得点率	
◎一般選抜・後期日程	127
志願者数・受験者数・合格者数 合格者の最高点・平均点・最低点・得点率	
◎共通テスト利用選抜・後期日程	128
受験者数・合格者数 合格者の最高点・平均点・最低点・得点率	
◎総合型選抜	129
志願者数・受験者数・合格者数	
◎学校推薦型選抜(公募)	129
志願者数・受験者数・合格者数	

DATA 2023

《一般選抜・前期日程》志願者数・受験者数・合格者数

学部	学科・専攻	日程	募集人員	志願者			受験者(A)			合格者(B)			競争率(A/B)
				男子	女子	計	男子	女子	計	男子	女子	計	
商学部	商学科	A	75	73	34	107	71	34	105	48	22	70	1.5
		B		57	22	79	56	22	78	37	13	50	1.6
		C		16	22	38	15	22	37	9	14	23	1.6
		D		49	16	65	48	15	63	35	7	42	1.5
		E		46	34	80	46	33	79	31	24	55	1.4
	計	75	241	128	369	236	126	362	160	80	240	1.5	
	経営学科	A	70	89	31	120	87	29	116	56	20	76	1.5
		B		52	8	60	52	8	60	32	5	37	1.6
		C		20	6	26	20	6	26	11	6	17	1.5
		D		52	9	61	48	9	57	29	7	36	1.6
E		92		14	106	92	14	106	53	10	63	1.7	
計	70	305	68	373	299	66	365	181	48	229	1.6		
商学部合計			145	546	196	742	535	192	727	341	128	469	1.6
人文学部	人間関係学科 社会学専攻	A	40	59	42	101	57	42	99	25	25	50	2.0
		B		29	28	57	27	28	55	15	16	31	1.8
		C		14	23	37	14	23	37	7	16	23	1.6
		D		36	29	65	34	29	63	19	13	32	2.0
		E		11	15	26	10	15	25	5	9	14	1.8
	計	40	149	137	286	142	137	279	71	79	150	1.9	
	教育学科	A	45	77	39	116	75	38	113	55	30	85	1.3
		B		45	29	74	45	29	74	34	22	56	1.3
		C		29	28	57	29	27	56	21	22	43	1.3
		D		44	28	72	43	28	71	34	20	54	1.3
		E		67	44	111	67	44	111	52	34	86	1.3
	計	45	262	168	430	259	166	425	196	128	324	1.3	
	英語英文学科	A	50	42	41	83	39	41	80	25	34	59	1.4
		B		29	26	55	29	25	54	19	25	44	1.2
		C		34	31	65	33	31	64	31	27	58	1.1
D		27		13	40	27	13	40	22	10	32	1.3	
E		23		10	33	22	9	31	19	5	24	1.3	
計	50	155	121	276	150	119	269	116	101	217	1.2		
人文学部合計			135	566	426	992	551	422	973	383	308	691	1.4
法学部	法律学科	A	85	59	36	95	56	36	92	38	27	65	1.4
		B		70	46	116	68	46	114	52	37	89	1.3
		C		35	27	62	32	27	59	27	26	53	1.1
		D		90	45	135	88	40	128	74	38	112	1.1
		E		56	34	90	54	31	85	41	28	69	1.2
計	85	310	188	498	298	180	478	232	156	388	1.2		
経済科学部	現代経済学科	A	56	134	18	152	133	18	151	48	9	57	2.6
		B		80	12	92	78	12	90	28	4	32	2.8
		C		23	4	27	22	4	26	10	3	13	2.0
		D		111	12	123	107	12	119	57	7	64	1.9
		E		80	8	88	78	8	86	48	3	51	1.7
	計	56	428	54	482	418	54	472	191	26	217	2.2	
	経済情報学科	A	56	71	10	81	70	10	80	29	7	36	2.2
		B K方式		31	8	39	31	8	39	11	4	15	2.6
		B S方式		54	7	61	53	7	60	36	6	42	1.4
		C K方式		15	5	20	15	5	20	6	4	10	2.0
		C S方式		13	2	15	12	2	14	7	2	9	1.6
		D		66	14	80	62	14	76	35	10	45	1.7
E K方式		28		6	34	28	6	34	14	2	16	2.1	
E S方式	49	8	57	48	8	56	30	7	37	1.5			
計	56	327	60	387	319	60	379	168	42	210	1.8		
経済科学部合計			112	755	114	869	737	114	851	359	68	427	2.0
人間環境学部	人間環境学科	A	60	30	9	39	28	8	36	22	6	28	1.3
		B		33	15	48	31	14	45	26	12	38	1.2
		C		17	6	23	16	6	22	14	5	19	1.2
		D		52	6	58	52	5	57	48	5	53	1.1
		E		42	16	58	42	16	58	39	16	55	1.1
計	60	174	52	226	169	49	218	149	44	193	1.1		
健康科学部	心理学科	A	42	30	36	66	29	36	65	12	22	34	1.9
		B		22	28	50	22	27	49	8	18	26	1.9
		C		10	11	21	10	11	21	6	7	13	1.6
		D		23	31	54	22	31	53	14	20	34	1.6
		E		26	32	58	26	32	58	14	20	34	1.7
	計	42	111	138	249	109	137	246	54	87	141	1.7	
	健康栄養学科	A	16	6	12	18	6	12	18	1	9	10	1.8
		B		3	9	12	3	9	12	1	7	8	1.5
		C		3	6	9	3	6	9	0	6	6	1.5
		D		6	6	12	6	6	12	5	5	10	1.2
E		7		17	24	7	17	24	5	16	21	1.1	
計	16	25	50	75	25	50	75	12	43	55	1.4		
健康科学部合計			58	136	188	324	134	187	321	66	130	196	1.6
国際コミュニティ学部	国際政治学科	A	34	20	26	46	20	25	45	11	18	29	1.6
		B		25	24	49	23	24	47	14	19	33	1.4
		C		14	20	34	13	20	33	8	17	25	1.3
		D		33	19	52	32	19	51	22	18	40	1.3
		E		26	26	52	26	26	52	17	21	38	1.4
	計	34	118	115	233	114	114	228	72	93	165	1.4	
	地域行政学科	A	34	25	16	41	25	16	41	12	11	23	1.8
		B		25	14	39	24	14	38	15	9	24	1.6
		C		24	16	40	24	15	39	15	8	23	1.7
		D		40	29	69	39	29	68	26	20	46	1.5
E		25		19	44	23	19	42	19	11	30	1.4	
計	34	139	94	233	135	93	228	87	59	146	1.6		
国際コミュニティ学部合計			68	257	209	466	249	456	159	152	311	1.5	
全学部	A	663	715	350	1,065	696	345	1,041	382	240	622	1.7	
	B		555	276	831	542	273	815	328	197	525	1.6	
	C		267	207	474	258	205	463	172	163	335	1.4	
	D		629	257	886	608	250	858	420	180	600	1.4	
	E		578	283	861	569	278	847	387	206	593	1.4	
総計			663	2,744	1,373	4,117	2,673	1,351	4,024	1,689	986	2,675	1.5

《一般選抜・前期日程》合格者の最高点・平均点・最低点・得点率

*最低点と得点率は、追加合格前の数値

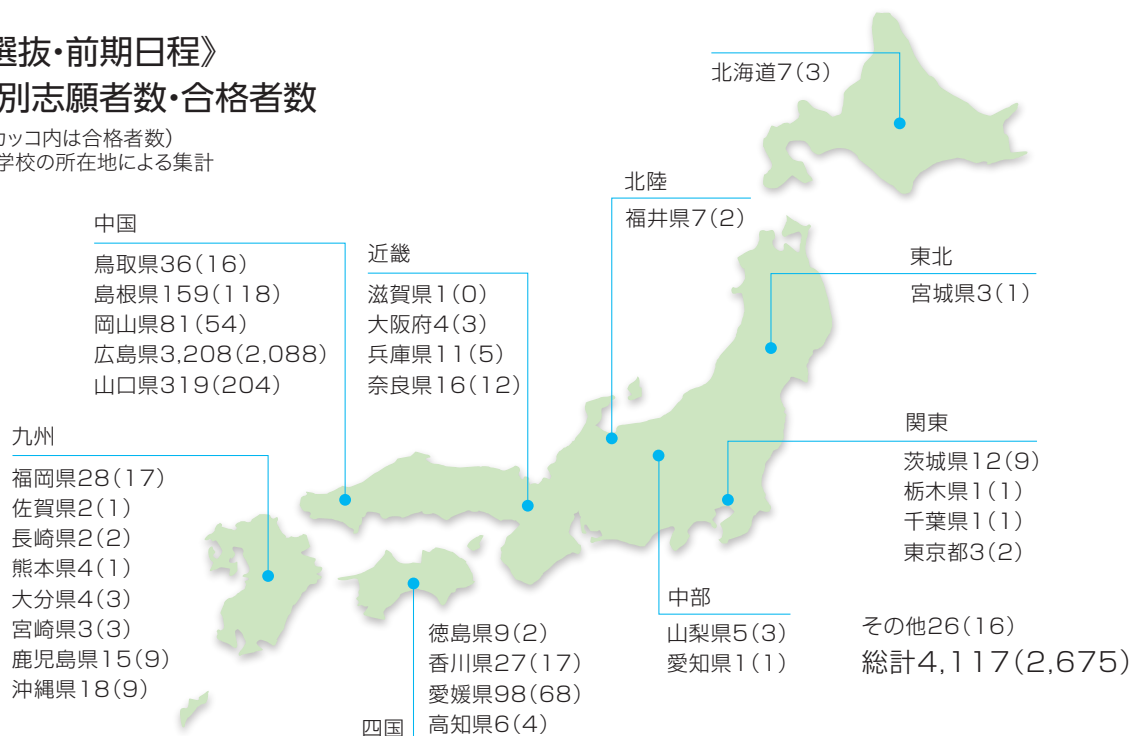
学部	学科・専攻	A日程	B日程	C日程	D日程	E日程	
商学部	商学科	満点	350	350	350	250	500
		最高点	277	292	309	214	464
		平均点	199.4	225.8	246.7	172.5	326.9
		最低点	157	197	215	145	290
		得点率(%)	44.9	56.3	61.4	58.0	58.0
	経営学科	満点	350	350	350	250	500
		最高点	270	278	316	209	418
		平均点	184.8	217.3	232.1	152.4	335.3
		最低点	147	174	190	131	284
		得点率(%)	42.0	49.7	54.3	52.4	56.8
人文学部	人間関係学科	満点	300	300	300	200	350
		最高点	246	250	248	169	313
		平均点	189.3	197.3	211.0	139.4	249.3
		最低点	161	177	188	121	215
		得点率(%)	53.7	59.0	62.7	60.5	61.4
	社会学専攻	満点	300	300	300	200	350
		最高点	246	250	248	169	313
		平均点	189.3	197.3	211.0	139.4	249.3
		最低点	161	177	188	121	215
		得点率(%)	53.7	59.0	62.7	60.5	61.4
	教育学科	満点	350	350	350	250	350
		最高点	274	299	308	206	290
		平均点	194.9	213.3	237.5	152.1	225.3
		最低点	148	174	198	122	185
		得点率(%)	42.3	49.7	56.6	48.8	52.9
英語英文学科	満点	250	250	250	250	300	
	最高点	228	225	245	214	221	
	平均点	166.4	179.6	181.8	174.6	197.9	
	最低点	133	152	138	140	168	
	得点率(%)	53.2	60.8	55.2	56.0	56.0	
法学部	法律学科	満点	350	300	300	200	350
		最高点	291	258	278	184	307
		平均点	229.0	199.5	215.1	143.9	244.1
		最低点	189	160	175	121	211
		得点率(%)	54.0	53.3	58.3	60.5	60.3

学部	学科・専攻	A日程	B日程	C日程	D日程	E日程				
経済科学部	現代経済学科	満点	350	350	350	200	500			
		最高点	307	290	299	184	406			
		平均点	222.9	229.0	242.4	148.0	343.2			
		最低点	193	205	221	127	306			
		得点率(%)	55.1	58.6	63.1	63.5	61.2			
	経済情報学科		A日程	B日程(K方式)	B日程(S方式)	C日程(K方式)	C日程(S方式)	D日程	E日程(K方式)	E日程(S方式)
		満点	350	200	200	200	200	200	300	300
		最高点	248	176	181	185	167	179	246	276
		平均点	211.7	143.1	151.6	149.4	141.2	145.5	216.4	210.4
		最低点	183	124	125	128	125	129	194	172
得点率(%)		52.3	62.0	62.5	64.0	62.5	64.5	64.7	57.3	
人間環境学部	人間環境学科	満点	300	300	250	200	500			
		最高点	200	218	197	160	398			
		平均点	152.3	163.9	159.4	127.4	298.1			
		最低点	126	121	128	96	220			
		得点率(%)	42.0	40.3	51.2	48.0	44.0			
健康科学部	心理学科	満点	300	300	300	200	400			
		最高点	254	245	256	166	321			
		平均点	196.9	196.9	211.2	137.7	274.7			
		最低点	168	164	180	118	237			
		得点率(%)	56.0	54.7	60.0	59.0	59.3			
	健康栄養学科	満点	300	300	300	300	400			
		最高点	206	228	241	263	332			
		平均点	182.6	197.9	219.6	220.2	281.6			
		最低点	162	176	196	180	249			
		得点率(%)	54.0	58.7	65.3	60.0	62.3			
国際コミュニケーション学部	国際政治学科	満点	350	300	300	200	350			
		最高点	284	249	254	177	282			
		平均点	221.9	193.0	197.3	144.9	237.1			
		最低点	177	160	163	123	207			
		得点率(%)	50.6	53.3	54.3	61.5	59.1			
	地域行政学科	満点	350	300	300	200	350			
		最高点	271	217	231	170	283			
		平均点	202.4	188.1	199.1	140.8	234.4			
		最低点	169	170	178	128	211			
		得点率(%)	48.3	56.7	59.3	64.0	60.3			

《一般選抜・前期日程》

出身県別志願者数・合格者数

志願者数(カッコ内は合格者数)
※出身高等学校の所在地による集計



《共通テスト利用選抜・前期日程》受験者数・合格者数

学部	学科・専攻	募集人員	受験者(A)			合格者(B)			競争率(A/B)
			男子	女子	計	男子	女子	計	
商 学 部	商学科	6	78	29	107	30	13	43	2.5
	経営学科	6	79	20	99	29	7	36	2.8
	合 計	12	157	49	206	59	20	79	2.6
人 文 学 部	人間関係学科 社会学専攻	2	39	39	78	10	8	18	4.3
	教育学科	6	48	30	78	16	13	29	2.7
	英語英文学科	6	42	37	79	20	15	35	2.3
	合 計	14	129	106	235	46	36	82	2.9
法 学 部	法律学科	15	128	78	206	97	70	167	1.2
	合 計	15	128	78	206	97	70	167	1.2
経 済 学 部	現代経済学科	5	100	22	122	41	10	51	2.4
	経済情報学科	5	81	25	106	33	13	46	2.3
	合 計	10	181	47	228	74	23	97	2.4
人間環境学部	人間環境学科	4	45	19	64	20	9	29	2.2
	合 計	4	45	19	64	20	9	29	2.2
健 康 学 部	心理学科	3	29	41	70	5	9	14	5.0
	健康栄養学科	2	7	16	23	1	5	6	3.8
	合 計	5	36	57	93	6	14	20	4.7
国際コミュニティ学 部	国際政治学科	4	56	45	101	25	24	49	2.1
	地域行政学科	4	48	41	89	23	29	52	1.7
	合 計	8	104	86	190	48	53	101	1.9
総 計		68	780	442	1,222	350	225	575	2.1

《共通テスト利用選抜・前期日程》合格者の最高点・平均点・最低点・得点率

学部	学科・専攻	満点	最高点	平均点	最低点	得点率(%)	
商 学 部	商学科	満点	500				
		最高点	408				
		平均点	334.7				
		最低点	295				
		得点率(%)	59.0				
	経営学科	満点	500				
		最高点	395				
		平均点	330.3				
		最低点	295				
		得点率(%)	59.0				
人 文 学 部	人間関係学科 社会学専攻	満点	500				
		最高点	413				
		平均点	384.8				
		最低点	360				
		得点率(%)	72.0				
	教育学科	満点	500				
		最高点	410				
		平均点	362.7				
		最低点	330				
		得点率(%)	66.0				
	英語英文学科	満点	550				
		最高点	473				
		平均点	407.0				
		得点率(%)	66.4				
法 学 部	法律学科	満点	500				
		最高点	454				
		平均点	336.2				
		最低点	260				
		得点率(%)	52.0				
経 済 学 部	現代経済学科	満点	500				
		最高点	417				
		平均点	336.4				
		最低点	300				
		得点率(%)	60.0				
	経済情報学科	満点	400				
		最高点	332				
		平均点	278.8				
		最低点	244				
		得点率(%)	61.0				
	人間環境学部	人間環境学科	満点	500			
			最高点	431			
			平均点	314.4			
			最低点	279			
得点率(%)			55.8				
健 康 学 部	心理学科	満点	500				
		最高点	432				
		平均点	391.1				
		最低点	364				
		得点率(%)	72.8				
	健康栄養学科	満点	500				
		最高点	413				
		平均点	340.7				
		最低点	307				
		得点率(%)	61.4				
国際コミュニティ学 部	国際政治学科	満点	700				
		最高点	597				
		平均点	481.1				
		最低点	421				
		得点率(%)	60.1				
	地域行政学科	満点	700				
		最高点	598				
		平均点	468.4				
		最低点	392				
		得点率(%)	56.0				

*最低点と得点率は、追加合格前の数値

DATA 2023

《一般・共通テスト併用選抜》受験者数・合格者数

学部	学科・専攻	日程	募集人員	受験者(A)			合格者(B)			競争率(A/B)
				男子	女子	計	男子	女子	計	
商学部	商学科	A	3	32	15	47	18	5	23	2.0
		B		31	9	40	15	5	20	2.0
		C		6	10	16	4	4	8	2.0
		D		22	7	29	14	0	14	2.1
		E		16	17	33	8	8	16	2.1
	計	3	107	58	165	59	22	81	2.0	
	経営学科	A	3	35	10	45	18	4	22	2.0
		B		17	4	21	9	1	10	2.1
		C		9	3	12	3	3	6	2.0
		D		16	3	19	8	1	9	2.1
E		36		4	40	18	2	20	2.0	
計	3	113	24	137	56	11	67	2.0		
商学部合計			6	220	82	302	115	33	148	2.0
人文学部	人間関係学科 社会学専攻	A	3	28	25	53	7	8	15	3.5
		B		10	15	25	3	2	5	5.0
		C		7	13	20	3	6	9	2.2
		D		16	19	35	3	3	6	5.8
		E		5	11	16	2	3	5	3.2
	計	3	66	83	149	18	22	40	3.7	
	教育学科	A	8	47	22	69	28	16	44	1.6
		B		28	13	41	16	9	25	1.6
		C		19	17	36	12	11	23	1.6
		D		23	15	38	14	10	24	1.6
		E		45	21	66	28	16	44	1.5
	計	8	162	88	250	98	62	160	1.6	
	英語英文学科	A	4	25	17	42	23	15	38	1.1
		B		12	9	21	7	8	15	1.4
		C		20	12	32	13	9	22	1.5
		D		15	4	19	11	4	15	1.3
E		17		1	18	12	0	12	1.5	
計	4	89	43	132	66	36	102	1.3		
人文学部合計			15	317	214	531	182	120	302	1.8
経済科学部	現代経済学科	A	3	54	7	61	13	2	15	4.1
		B		30	6	36	10	2	12	3.0
		C		9	1	10	4	1	5	2.0
		D		62	7	69	26	3	29	2.4
		E		40	2	42	22	2	24	1.8
	計	3	195	23	218	75	10	85	2.6	
	経済情報学科	A	3	40	8	48	16	4	20	2.4
		B		41	8	49	13	3	16	3.1
		C		11	4	15	5	2	7	2.1
		D		30	7	37	11	3	14	2.6
		E		44	8	52	15	1	16	3.3
計	3	166	35	201	60	13	73	2.8		
経済科学部合計			6	361	58	419	135	23	158	2.7

学部	学科・専攻	日程	募集人員	受験者(A)			合格者(B)			競争率(A/B)
				男子	女子	計	男子	女子	計	
人間環境学部	人間環境学科	A	4	17	5	22	9	1	10	2.2
		B		12	9	21	5	6	11	1.9
		C		7	3	10	3	2	5	2.0
		D		22	3	25	11	2	13	1.9
		E		20	9	29	8	5	13	2.2
人間環境学部合計			4	78	29	107	36	16	52	2.1
健康科学部	心理学科	A	5	16	15	31	7	9	16	1.9
		B		12	10	22	5	7	12	1.8
		C		6	6	12	5	5	10	1.2
		D		13	12	25	5	7	12	2.1
		E		15	16	31	9	8	17	1.8
	計	5	62	59	121	31	36	67	1.8	
	健康栄養学科	A	2	4	8	12	1	2	3	4.0
		B		1	8	9	1	5	6	1.5
		C		3	3	6	1	2	3	2.0
		D		4	5	9	3	4	7	1.3
E		4		11	15	3	5	8	1.9	
計	2	16	35	51	9	18	27	1.9		
健康科学部合計			7	78	94	172	40	54	94	1.8
国際コミュニケーション学部	国際政治学科	A	2	11	8	19	6	4	10	1.9
		B		11	10	21	5	4	9	2.3
		C		5	10	15	3	6	9	1.7
		D		19	10	29	12	8	20	1.5
		E		13	10	23	9	6	15	1.5
	計	2	59	48	107	35	28	63	1.7	
	地域行政学科	A	2	13	7	20	7	3	10	2.0
		B		12	7	19	7	2	9	2.1
		C		14	9	23	8	2	10	2.3
		D		22	21	43	12	12	24	1.8
E		16		12	28	9	7	16	1.8	
計	2	77	56	133	43	26	69	1.9		
国際コミュニケーション学部合計			4	136	104	240	78	54	132	1.8
全学部	A	42	322	147	469	153	73	226	2.1	
	B		217	108	325	96	54	150	2.2	
	C		116	91	207	64	53	117	1.8	
	D		264	113	377	130	57	187	2.0	
	E		271	122	393	143	63	206	1.9	
総計			42	1,190	581	1,771	586	300	886	2.0

《一般・共通テスト併用選抜》合格者の最高点・平均点・最低点・得点率

学部	学科・専攻	日程					
		A日程	B日程	C日程	D日程	E日程	
商学部	商学科	満点	800	800	800	800	800
		最高点	612	655	614	604	576
		平均点	512.0	532.3	539.8	531.5	497.0
		最低点	430	472	477	484	446
		得点率(%)	53.8	59.0	59.6	60.5	55.8
	経営学科	満点	800	800	800	800	800
		最高点	558	531	580	548	597
		平均点	457.8	437.5	525.0	478.1	499.7
		最低点	413	374	450	407	448
		得点率(%)	51.6	46.8	56.3	50.9	56.0
人文学部	人間関係学科 社会学専攻	満点	400	400	400	400	400
		最高点	334	323	327	331	300
		平均点	292.5	302.4	308.8	315.3	283.6
		最低点	265	292	289	301	261
		得点率(%)	66.3	73.0	72.3	75.3	65.3
	教育学科	満点	400	400	400	400	400
		最高点	333	310	346	305	323
		平均点	267.5	263.0	285.8	266.8	278.8
		最低点	225	225	245	237	247
		得点率(%)	56.3	56.3	61.3	59.3	61.8
英語英文学科	満点	550	550	550	550	550	
	最高点	497	448	513	453	417	
	平均点	350.4	388.0	420.0	368.0	353.3	
	最低点	238	336	334	302	296	
	得点率(%)	43.3	61.1	60.7	54.9	53.8	
経済科学部	現代経済学科	満点	400	400	400	400	400
		最高点	323	284	312	343	335
		平均点	295.7	269.3	288.2	293.8	281.5
		最低点	274	256	270	266	247
		得点率(%)	68.5	64.0	67.5	66.5	61.8
	経済情報学科	満点	400	400	400	400	400
		最高点	299	341	306	319	312
		平均点	270.3	295.9	273.9	280.1	271.9
		最低点	253	273	239	257	257
		得点率(%)	63.3	68.3	59.8	64.3	64.3

学部	学科・専攻	日程					
		A日程	B日程	C日程	D日程	E日程	
人間環境学部	人間環境学科	満点	400	400	400	400	400
		最高点	287	288	272	285	290
		平均点	254.9	265.8	252.2	265.7	265.3
		最低点	236	236	236	250	240
		得点率(%)	59.0	59.0	59.0	62.5	60.0
健康科学部	心理学科	満点	400	400	400	400	400
		最高点	303	307	325	332	309
		平均点	275.9	278.9	284.4	281.4	277.0
		最低点	254	255	255	252	254
		得点率(%)	63.5	63.8	63.8	63.0	63.5
	健康栄養学科	満点	400	400	400	400	400
		最高点	284	291	274	284	298
		平均点	270.7	258.7	261.0	269.4	268.5
		最低点	261	241	246	247	252
		得点率(%)	65.3	60.3	61.5	61.8	63.0
国際コミュニケーション学部	国際政治学科	満点	400	400	400	400	400
		最高点	312	312	337	319	321
		平均点	267.6	274.4	296.6	279.5	275.5
		最低点	244	241	265	250	250
		得点率(%)	61.0	60.3	66.3	62.5	62.5
	地域行政学科	満点	400	400	400	400	400
		最高点	285	288	324	350	350
		平均点	248.4	260.3	268.6	283.6	276.8
		最低点	232	239	239	247	241
		得点率(%)	58.0	59.8	59.8	61.8	60.3

DATA 2023 4

《一般選抜・後期日程》志願者数・受験者数・合格者数

学部	学科・専攻	募集人員	志願者			受験者(A)			合格者(B)			競争率(A/B)
			男子	女子	計	男子	女子	計	男子	女子	計	
商 学 部	商学科	3	29	12	41	27	11	38	5	3	8	4.8
	経営学科	2	39	10	49	37	8	45	8	1	9	5.0
	合 計	5	68	22	90	64	19	83	13	4	17	4.9
人 文 学 部	人間関係学科 社会学専攻	2	14	9	23	13	9	22	3	1	4	5.5
	教育学科	6	23	3	26	23	3	26	6	0	6	4.3
	英語英文学科	5	16	10	26	15	10	25	13	7	20	1.3
	合 計	13	53	22	75	51	22	73	22	8	30	2.4
法 学 部	法律学科	10	18	3	21	15	3	18	4	0	4	4.5
	合 計	10	18	3	21	15	3	18	4	0	4	4.5
経 済 学 部	現代経済学科	5	43	4	47	40	3	43	6	0	6	7.2
	経済情報学科	5	33	5	38	30	5	35	5	2	7	5.0
	合 計	10	76	9	85	70	8	78	11	2	13	6.0
人間環境学部	人間環境学科	3	31	4	35	30	4	34	24	2	26	1.3
	合 計	3	31	4	35	30	4	34	24	2	26	1.3
健 康 学 部	心理学科	3	12	5	17	12	4	16	4	1	5	3.2
	健康栄養学科	3	7	6	13	7	6	13	7	5	12	1.1
	合 計	6	19	11	30	19	10	29	11	6	17	1.7
国際コミュニティ学 部	国際政治学科	3	21	11	32	19	9	28	10	4	14	2.0
	地域行政学科	3	22	8	30	21	6	27	17	4	21	1.3
	合 計	6	43	19	62	40	15	55	27	8	35	1.6
総 計		53	308	90	398	289	81	370	112	30	142	2.6

《一般選抜・後期日程》合格者の最高点・平均点・最低点・得点率

学部	学科・専攻	満点	得点率(%)
商 学 部	商学科	満点	200
		最高点	161
		平均点	148.1
		最低点	141
		得点率(%)	70.5
	経営学科	満点	200
		最高点	161
		平均点	151.8
		最低点	144
		得点率(%)	72.0
人 文 学 部	人間関係学科 社会学専攻	満点	250
		最高点	195
		平均点	184.8
		最低点	180
		得点率(%)	72.0
	教育学科	満点	250
		最高点	198
		平均点	185.3
		最低点	179
		得点率(%)	71.6
	英語英文学科	満点	250
		最高点	208
		平均点	172.5
		最低点	138
		得点率(%)	55.2
法 学 部	法律学科	満点	200
		最高点	161
		平均点	155.5
		最低点	147
		得点率(%)	73.5

学部	学科・専攻	満点	得点率(%)
経 済 学 部	現代経済学科	満点	200
		最高点	161
		平均点	157.7
		最低点	154
		得点率(%)	77.0
	経済情報学科	満点	200
		最高点	179
		平均点	158.4
		最低点	147
		得点率(%)	73.5
人間環境学部	人間環境学科	満点	200
		最高点	160
		平均点	136.3
		最低点	117
		得点率(%)	58.5
健 康 学 部	心理学科	満点	200
		最高点	157
		平均点	138.8
		最低点	131
		得点率(%)	65.5
	健康栄養学科	満点	200
		最高点	157
		平均点	120.9
		最低点	105
		得点率(%)	52.5
国際コミュニティ学 部	国際政治学科	満点	200
		最高点	154
		平均点	140.0
		最低点	133
		得点率(%)	66.5
	地域行政学科	満点	200
		最高点	161
		平均点	133.4
		最低点	111
		得点率(%)	55.5

*最低点と得点率は、追加合格前の数値

DATA 2023 5

《共通テスト利用選抜・後期日程》受験者数・合格者数

学部	学科・専攻	募集人員	受験者(A)			合格者(B)			競争率(A/B)
			男子	女子	計	男子	女子	計	
商 学 部	商学科	2	3	1	4	1	1	2	2.0
	経営学科	2	2	2	4	2	0	2	2.0
	合 計	4	5	3	8	3	1	4	2.0
人 文 学 部	人間関係学科 社会学専攻	1	3	1	4	2	0	2	2.0
	教育学科	3	8	1	9	2	1	3	3.0
	英語英文学科	2	5	3	8	3	2	5	1.6
	合 計	6	16	5	21	7	3	10	2.1
法 学 部	法律学科	5	6	2	8	3	1	4	2.0
	合 計	5	6	2	8	3	1	4	2.0
経 済 科 学 部	現代経済学科	2	7	2	9	1	1	2	4.5
	経済情報学科	2	6	3	9	4	2	6	1.5
	合 計	4	13	5	18	5	3	8	2.3
人間環境学部	人間環境学科	2	6	3	9	4	1	5	1.8
	合 計	2	6	3	9	4	1	5	1.8
健 康 科 学 部	心理学科	2	4	1	5	3	0	3	1.7
	健康栄養学科	2	2	1	3	1	1	2	1.5
	合 計	4	6	2	8	4	1	5	1.6
国際コミュニティ学 部	国際政治学科	2	5	2	7	1	1	2	3.5
	地域行政学科	2	3	3	6	1	1	2	3.0
	合 計	4	8	5	13	2	2	4	3.3
総 計		29	60	25	85	28	12	40	2.1

《共通テスト利用選抜・後期日程》合格者の最高点・平均点・最低点・得点率

学部	学科・専攻	満点	得点率(%)
商 学 部	商学科	満点	400
		最高点	258
		平均点	238.0
		最低点	218
		得点率(%)	54.5
	経営学科	満点	400
		最高点	293
		平均点	286.0
		最低点	279
		得点率(%)	69.8
人 文 学 部	人間関係学科 社会学専攻	満点	400
		最高点	318
		平均点	314.5
		最低点	311
		得点率(%)	77.8
	教育学科	満点	400
		最高点	314
		平均点	295.3
		最低点	268
		得点率(%)	67.0
	英語英文学科	満点	450
		最高点	420
		平均点	335.6
		最低点	284
		得点率(%)	63.1
法 学 部	法律学科	満点	400
		最高点	367
		平均点	315.0
		最低点	269
		得点率(%)	67.3

学部	学科・専攻	満点	得点率(%)
経 済 科 学 部	現代経済学科	満点	300
		最高点	232
		平均点	217.0
		最低点	202
		得点率(%)	67.3
	経済情報学科	満点	400
		最高点	320
		平均点	282.7
		最低点	258
		得点率(%)	64.5
人間環境学部	人間環境学科	満点	400
		最高点	322
		平均点	292.4
		最低点	270
		得点率(%)	67.5
健 康 科 学 部	心理学科	満点	500
		最高点	351
		平均点	329.7
		最低点	319
		得点率(%)	63.8
	健康栄養学科	満点	500
		最高点	339
		平均点	285.5
		最低点	232
		得点率(%)	46.4
国際コミュニティ学 部	国際政治学科	満点	700
		最高点	477
		平均点	464.0
		最低点	451
		得点率(%)	64.4
	地域行政学科	満点	700
		最高点	553
		平均点	513.5
		最低点	474
		得点率(%)	67.7

DATA 2023

《総合型選抜》志願者数・受験者数・合格者数

学部	学科・専攻・方式		募集人員	志願者			受験者(A)			合格者(B)			競争率(A/B)
				男子	女子	計	男子	女子	計	男子	女子	計	
商 学 部	商学科	活動実績重視	10	9	8	17	9	8	17	4	5	9	1.9
		小論文重視		20	25	45	20	25	45	5	19	24	1.9
	経営学科	活動実績重視	8	16	3	19	16	3	19	7	3	10	1.9
		小論文重視		33	8	41	33	8	41	17	4	21	2.0
合 計			18	78	44	122	78	44	122	33	31	64	1.9
人 文 学 部	人間関係学科 社会学専攻		3	14	18	32	14	18	32	5	13	18	1.8
	英語英文学科		15	20	10	30	20	9	29	9	6	15	1.9
	合 計			18	34	28	62	34	27	61	14	19	33
法 学 部	法律学科	ゼミナール	15	20	8	28	20	8	28	19	8	27	1.0
		スポーツ実績		5	8	0	8	8	0	8	6	0	6
			芸術・文化実績	5	0	2	2	0	2	2	0	2	1.0
	合 計			20	28	10	38	28	10	38	25	10	35
経 済 学 部	現代経済学科		11	49	5	54	49	5	54	21	4	25	2.2
	経済情報学科		11	22	8	30	22	8	30	10	6	16	1.9
	合 計			22	71	13	84	71	13	84	31	10	41
人間環境学部	人間環境学科	レポート	10	10	7	17	10	7	17	9	5	14	1.2
		プレゼンテーション		5	0	5	5	0	5	4	0	4	1.3
		活動実績		4	0	4	4	0	4	3	0	3	1.3
	合 計			10	19	7	26	19	7	26	16	5	21
健康科学部	心理学科		6	18	21	39	18	21	39	2	9	11	3.5
	健康栄養学科		15	5	28	33	5	28	33	3	23	26	1.3
	合 計			21	23	49	72	23	49	72	5	32	37
国際コミュニティ学	国際政治学科	課題図書	12	19	7	26	19	7	26	11	7	18	1.4
	地域行政学科	課題図書	12	20	6	26	20	6	26	12	4	16	1.6
	合 計			24	39	13	52	39	13	52	23	11	34
総 計			133	292	164	456	292	163	455	147	118	265	1.7

《学校推薦型選抜(公募)》志願者数・受験者数・合格者数

学部	学科	方式	募集人員	志願者			受験者(A)			合格者(B)			競争率(A/B)
				男子	女子	計	男子	女子	計	男子	女子	計	
商 学 部	商学科	英語	25	8	4	12	8	4	12	7	3	10	1.2
		指定資格		4	2	6	4	2	6	2	2	4	1.5
		英語資格		7	3	10	7	3	10	5	3	8	1.3
		計		25	19	9	28	19	9	28	14	8	22
	経営学科	英語	20	10	1	11	10	1	11	5	1	6	1.8
		指定資格		6	2	8	6	2	8	4	2	6	1.3
		英語資格		7	1	8	7	1	8	5	1	6	1.3
合 計			20	23	4	27	23	4	27	14	4	18	1.5
合 計			45	42	13	55	42	13	55	28	12	40	1.4
人 文 学 部	人間関係学科 社会学専攻		2	4	2	6	4	2	6	1	2	3	2.0
	教育学科		15	18	13	31	18	13	31	10	7	17	1.8
	英語英文学科		10	3	3	6	3	3	6	3	3	6	1.0
	合 計			27	25	18	43	25	18	43	14	12	26
法 学 部	法律学科	英語	5	1	0	1	1	0	1	1	0	1	1.0
		小論文	15	13	1	14	13	1	14	12	1	13	1.1
	合 計			20	14	1	15	14	1	15	13	1	14
経 済 学 部	現代経済学科	英語	10	7	1	8	7	1	8	5	0	5	1.6
		小論文		20	3	23	20	3	23	5	3	8	2.9
		指定資格		0	0	0	0	0	0	0	0	0	—
		英語資格		4	0	4	4	0	4	3	0	3	1.3
		計		10	31	4	35	31	4	35	13	3	16
	経済情報学科	英語	10	2	0	2	2	0	2	2	0	2	1.0
		小論文		5	1	6	5	0	5	5	0	5	1.0
		指定資格		0	0	0	0	0	0	0	0	0	—
		英語資格		2	0	2	2	0	2	2	0	2	1.0
		計		10	9	1	10	9	0	9	9	0	9
合 計			20	40	5	45	40	4	44	22	3	25	1.8
人間環境学部	人間環境学科	英語	3	0	1	1	0	1	1	0	0	0	—
		英語資格	5	4	1	5	4	1	5	4	1	5	1.0
		数学資格	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	—
合 計			8	4	2	6	4	2	6	4	1	5	1.2
健康科学部	心理学科		6	10	13	23	9	13	22	4	8	12	1.8
	健康栄養学科		15	2	3	5	1	3	4	0	3	3	1.3
	合 計			21	12	16	28	10	16	26	4	11	15
国際コミュニティ学	国際政治学科	英語	6	0	1	1	0	1	1	0	1	1	1.0
		指定資格		5	2	7	5	2	7	4	1	5	1.4
		課題探究		5	1	6	5	1	6	5	1	6	1.0
		計		6	10	4	14	10	4	14	9	3	12
	地域行政学科	英語	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	—
		指定資格		2	1	3	2	0	2	2	0	2	1.0
		課題探究		1	1	2	1	1	2	0	1	1	2.0
		計		6	3	2	5	3	1	4	2	1	3
合 計			12	13	6	19	13	5	18	11	4	15	1.2
総 計			153	150	61	211	148	59	207	96	44	140	1.5

アクセス

大学へのアクセス Access to the University



- JR 広島駅** から
 JR山陽本線・可部線 → 広電バス(免許センター・五月が丘団地・ジアウトレット広島行き) **広島～横川【約5分】**
 JR山陽本線・可部線 → アストラムライン **広島～新白鳥【約3分】**
 JR可部線 → アストラムライン **広島～大町【約20分】**
- 市内中心部** から
 広電バス(免許センター・五月が丘団地・ジアウトレット広島行き) **広島バスセンター～横川駅前～広島修道大学キャンパス【約26分】**
 アストラムライン **県庁前～広域公園前(修道大学前)【約36分】**
- JR 横川駅** から
 広電バス(免許センター・五月が丘団地・ジアウトレット広島行き) **横川駅前～広島修道大学キャンパス【約19分】**
- JR 西広島駅** から
 ボン・バス(五月が丘団地(修道大学南口)行き) **横川駅前～広島修道大学キャンパス【約19分】**
 己斐(西広島)～五月が丘団地(修道大学南口) **【約24分】**
 ※THE OUTLETS HIROSHIMAを経由するバスの場合【約32分】
- 広島空港** から
 広島空港リムジンバス(広島バスセンター行き) → アストラムライン **広島空港～中筋駅【約38分】**
 中筋～広域公園前(修道大学前) **【約22分】**
- 広島港** から
 広電路面電車(①広島駅行き③西広島行き) → アストラムライン **広島港～本通【約30分】**
 本通～広域公園前(修道大学前) **【約37分】**
- マイカー** 利用
 山陽自動車道五日市ICを降りて沼田方面へ向かってすぐ

周辺スポット Nearby Spots



④ THE OUTLETS HIROSHIMA
中四国最大級のアウトレットモールが本学の近くにありま。ショッピングや食事、映画などを楽しむことができます。



⑥ MAZDA Zoom-Zoom スタジアム広島
広島東洋カープの本拠地球場。独特な座席やおいしいグルメなど、観戦以外にも楽しみがたくさんあります！



③ 平和記念公園
「原爆ドーム」など平和の象徴となっています。広島修道大学では、「広島から平和を発信」をテーマに学んでいます。



① ひろしま美術館
フランス印象派を中心としたヨーロッパ近代美術などを展示。芸術的感性を磨く場として学生に活用されています。



⑤ エディオンスタジアム広島
サンフレッチェ広島のホームスタジアム。広島修道大学からも近く、熱狂する試合を気軽に観戦しに行けます。



UNIVERSITY
ACCREDITED
2019.4-2026.3

本学は大学基準
協会から適合認定
を受けています



Hiroshima Shudo
University

広島修道大学 入学センター

〒731-3195 広島市安佐南区大塚東一丁目1番1号

TEL.082-830-1100

ホームページ <https://www.shudo-u.ac.jp>

入試情報サイト <https://www.shudo-u.ac.jp/admissions/>



携帯電話からもこのQRコードで
アクセス可能です。

※対応できない機種もありますのでご注意ください。
